令和７年度決算における

主要な施策の成果に関する説明書

安曇野市

地方自治法（昭和 22 年法律第 67 号）第 233 条第５項の規定により、令和７年度決算における主要な施策の成果に関する説明書を次のとおり提出します。

令和８年８月 28 日

安曇野市長　　中山　栄樹

令和７年度決算における主要な施策の成果に関する説明書目次

令和７年度決算の概要 ……４

１　各会計予算額の推移
２　補正予算の内容（一般会計）
３　各会計別予算と決算の状況
４　重点事業

一般会計 ……11

１　一般会計決算の前年度との比較
２　地方債現在高の状況（一般会計）
３　基金残高の状況（特会含む）
４　財政健全化判断比率の状況
５　年度別市税の状況

部・課別の成果と評価

議会事務局 ……24
危機管理課 ……28
総務部
　総務課 ……34
　職員課 ……41
　財政課 ……45
　税務課 ……51
　収納課 ……54
　財産管理課 ……56
　契約検査課 ……63
選挙管理委員会事務局 ……68
監査委員事務局 ……76
公平委員会事務局 ……78
会計課 ……80
政策部
　政策経営課 ……82
　秘書広報課 ……97
　行革デジタル推進課 ……101
　人権共生課 ……104
市民生活部
　地域づくり課 ……108
　市民課 ……121
　環境・ゼロカーボン推進課……124
　生活環境保全課 ……130
　移住定住推進課 ……141
福祉部
　福祉課 ……146
　高齢者介護課 ……166
　障がい者支援課 ……177
保健医療部
　健康推進課 ……188
　健康支援課 ……201
　国保年金課 ……209
農林部
　農政課 ……214
　耕地林務課 ……233
農業委員会事務局 ……252
商工観光スポーツ部
　商工労政課 ……254
　観光課 ……265
　スポーツ推進課 ……283
都市建設部
　建設整備課 ……294
　維持管理課 ……310
　都市計画課 ……321
　建築住宅課 ……328
上下水道部
　経営管理課 ……334
教育委員会　教育部
　学校教育課 ……338
　学校給食課 ……375
　生涯学習課 ……381
　文化課 ……396
　子ども家庭支援課 ……408
　こども園幼稚園課 ……431

特別会計

国民健康保険特別会計 ……444
後期高齢者医療特別会計 ……482
介護保険特別会計 ……492
山林財産区特別会計 ……530
産業団地造成事業特別会計 ……542
有明荘特別会計 ……546

令和７年度決算の概要

１　各会計予算額の推移

（単位：千円）

会計名	当初予算	①補正予算 （６月議会報告）	②補正予算 （６月議会提案）	③補正予算 （６月議会提案）	④補正予算 （９月議会提案）	⑤補正予算 （12月議会提案）
一般会計	50,250,000	20,000	723,000	38,000	1,460,000	889,000
国民健康保険特別会計	9,391,481				72,048	2,109
後期高齢者医療特別会計	1,704,684				48,329	△ 513
介護保険特別会計	10,230,754		700		210,734	11,000
上川手山林財産区特別会計	1,831				1,309	
北の沢山林財産区特別会計	791					
有明山林財産区特別会計	774					
富士尾沢山林財産区特別会計	701					
穂高山林財産区特別会計	731					
産業団地造成事業特別会計	2,243				132	
有明荘特別会計	29,971				△ 21,681	
合計	71,613,961	20,000	723,700	38,000	1,770,871	901,596

会計名	⑥補正予算 （12月議会提案）	⑦補正予算 （１月臨時議会報告）	⑧補正予算 （１月臨時議会提案）	⑨補正予算 （３月議会提案）	⑩補正予算 （６月議会報告）	最終予算額
一般会計	554,000	65,000	653,000	△ 251,000	△ 1,902,000	52,499,000
国民健康保険特別会計	1,510			48,070	△ 107,875	9,407,343
後期高齢者医療特別会計				61,320	△ 5,042	1,808,778
介護保険特別会計	3,364			7,983	△ 120,131	10,344,404
上川手山林財産区特別会計				796		3,936
北の沢山林財産区特別会計				△ 106		685
有明山林財産区特別会計				△ 71		703
富士尾沢山林財産区特別会計				87		788
穂高山林財産区特別会計				26		757
産業団地造成事業特別会計					△ 372	2,003
有明荘特別会計					△ 947	7,343
合計	558,874	65,000	653,000	△ 132,895	△ 2,136,367	74,075,740

２　補正予算の内容（一般会計）

補正予算	主な内容
①補正予算（専決第１号）	令和７年４月14日に発生した一般県道槍ヶ岳矢村線（通称：中房線）の路面崩落事故を受け、林道一の沢線災害復旧工事の安全対策を講じるための補正
②補正予算（補正第１号）	市民の安全確保や利便性確保のため緊急を要するものや国・県等による政策的な事業に係るものの補正
③補正予算（補正第２号）	早期に着手する必要がある事業に係る補正
④補正予算（補正第３号）	市民の安全確保や利便性確保のため緊急を要するものや早期着手が必要な案件に係る補正
⑤補正予算（補正第４号）	本年度の予算執行段階において見直し等を決定したものの増減、年度途中の実施に正当な事由がある事業等の補正
⑥補正予算（補正第５号）	令和７年度人事院勧告に基づく人件費、令和８年１月18日執行の安曇野市長選挙に係る経費、物価高対応子育て応援手当支給事業補助金を活用した子育て世帯への給付に必要な経費等の補正
⑦補正予算（専決第２号）	令和８年２月８日執行の衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査に係る選挙執行経費の補正
⑧補正予算（補正第６号）	国の総合経済対策として交付される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して実施する事業、急を要する事業の補正
⑨補正予算（補正第７号）	明らかに不用となる予算の減額補正、国の補正予算を伴うものや翌年度当初からの事業実施のため必要となる経費の増額補正
⑩補正予算（専決第３号）	決算を踏まえた歳入の整理及び歳出不執行額の整理にかかる補正

3　各会計別予算と決算の状況

（単位：千円）

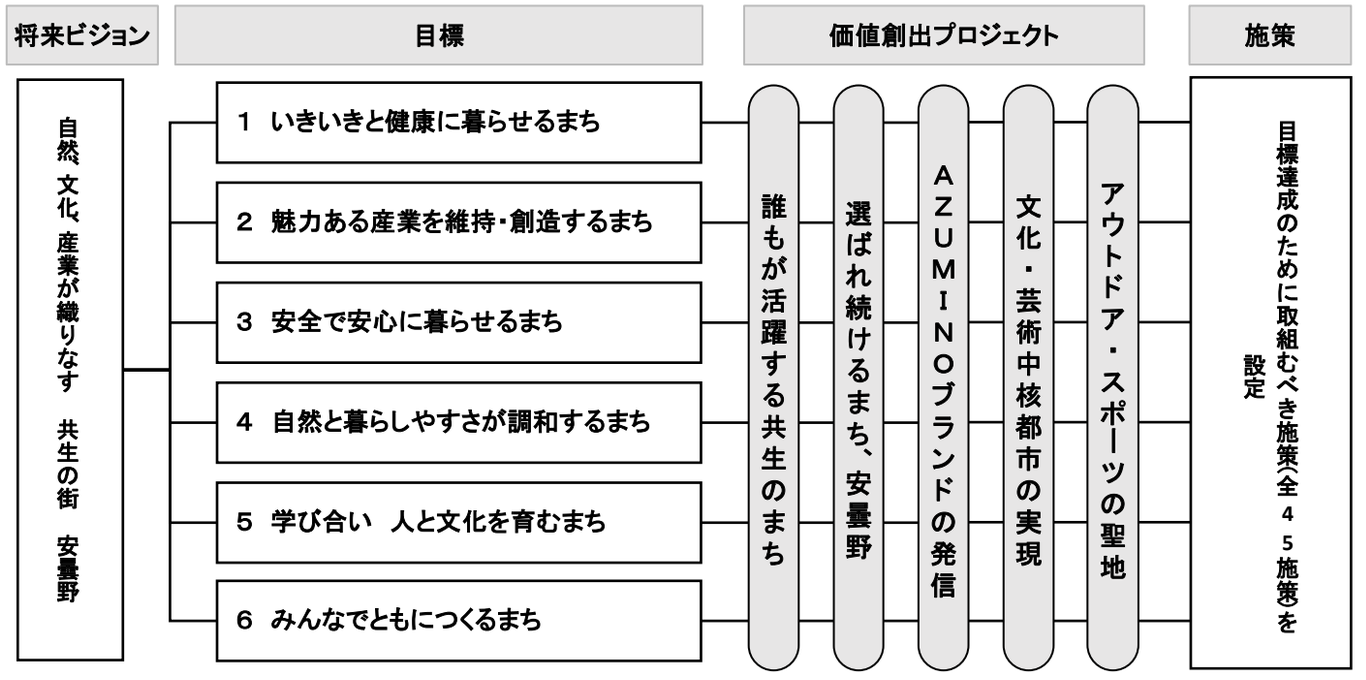
会計名	最終予算額	決算時の予算現額	決算額		予算現額に対する増減
一般会計	52,499,000	55,632,658	歳入	53,832,846	△ 1,799,812
			歳出	52,274,396	3,358,262
国民健康保険特別会計	9,407,343	9,407,343	歳入	9,469,592	62,249
			歳出	9,374,750	32,593
後期高齢者医療特別会計	1,808,778	1,808,778	歳入	1,812,553	3,775
			歳出	1,769,179	39,599
介護保険特別会計	10,344,404	10,344,404	歳入	10,349,145	4,741
			歳出	10,116,101	228,303
上川手山林財産区特別会計	3,936	3,936	歳入	3,935	△ 1
			歳出	3,112	824
北の沢山林財産区特別会計	685	685	歳入	486	△ 199
			歳出	265	420
有明山林財産区特別会計	703	703	歳入	704	1
			歳出	319	384
富士尾沢山林財産区特別会計	788	788	歳入	790	2
			歳出	363	425
穂高山林財産区特別会計	757	757	歳入	759	2
			歳出	282	475
産業団地造成事業特別会計	2,003	2,003	歳入	2,003	0
			歳出	1,927	76
有明荘特別会計	7,343	7,343	歳入	7,343	0
			歳出	7,339	4
合計	74,075,740	77,209,398	歳入	75,480,156	△ 1,729,242
			歳出	73,548,033	3,661,365

※決算額については、単位未満四捨五入しています。
※決算時の予算現額とは、当該年度の予算に前年度からの繰越明許費繰越額及び
　事故繰越し繰越額を加えたものになります。

４　重点事業

市では、総合計画に掲げた将来ビジョンの実現に向け、施策横断的に取組むこととしている「価値創出プロジェクト」に紐づく事業、および地域課題の解決や市民サービスの向上のための主要な取組を令和７年度の重点事業として取組みました。

総合計画後期基本計画　施策体系（概略）



価値創出プロジェクトとは

総合計画後期基本計画に掲げた将来ビジョン達成のため、組織横断的に注力する施策で、以下の５つのテーマを「価値創出プロジェクト」として設定しています。

誰もが活躍する共生のまち

- 互いの違いを認め合い、様々な人が活躍することのできるまちを目指す
- 「誰一人取り残さない」という理念のもとプロジェクトを推進する

選ばれ続けるまち、安曇野

- 地方共通の課題である、人口減少、少子高齢化への対策を講じる
- 関連施策が多岐にわたるため、優先度の高い事項に財源と人的資源を集中投下

ＡＺＵＭＩＮＯブランドの発信

- 各部門が有する安曇野の価値を「戦略をもって」国内外へ売り込む

文化・芸術中核都市の実現

- 安曇野が誇る歴史文化、芸術を生かし、文化・芸術の「拠点」を目指す

アウトドア・スポーツの聖地

- 豊かな自然環境を活用した各種スポーツを推進
- 多様なジャンルを組み合わせて発信、様々な層に安曇野の魅力を伝える

総合計画後期基本計画の目標ごとの重点事業

将来ビジョン

自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野

1　いきいきと健康に暮らせるまち

	事業	決算額
新	堀金福祉センター改修事業 （長寿命化工事の設計）	768万４千円
新	三郷社会就労センター改修事業 （長寿命化工事の設計）	449万７千円
価 拡	母子・子育て支援事業 （１か月児健康診査の実施、両親学級（パパママ教室）開催、 オプショナル　新生児スクリーニング検査費用助成など）	9,171万円
	福祉医療費給付事業 （子ども（0～18歳）の福祉医療費の窓口負担無料化など）	７億7,572万３千円
新	豊科認定こども園改修事業 （照明のLED化やプールの改修など）	１億4,649万８千円
	三郷東部認定こども園建設事業 （園舎建設工事）	10億1,864万６千円

2　魅力ある産業を維持・創造するまち

	事業	決算額
価 拡	農産物等販路拡大事業 （首都圏、関西圏での農作物販売PR、シンガポールでの農作物プロモーションなど）	2,443万円
価	農業・農村計画事業 （第４次農業農村振興計画（R9～）策定に向け着手など）	1,248万３千円
拡	森林経営管理等整備事業 （民有林の森林整備に必要な経費に対する補助など）	3,572万円
新 価	林道長峰線改良事業 （林道長峰線の部分拡幅工事など）	1,681万６千円
価 拡	しごと創出事業 （中小企業奨学金返還支援補助金及びリモートワーカー活用事業補助金の新設など）	1,752万１千円
価 拡	商業事業者支援事業 （空き店舗等活用促進事業補助金、商業系省エネ・ゼロカーボン推進事業補助金、創業支援事業補助金の新設など）	2,068万６千円
価 拡	企業サポート事業（経営支援・事業者間連携支援） （市内事業者のHP・SNS発信等のWEBマーケティング強化・経営支援、オープンファクトリー事業実施など）	1,533万８千円
価	来訪者受入環境整備事業 （観光パンフレット（安曇野ひがし山トレッキングガイド）作成など）	１億2,499万８千円
価	登山道等整備事業 （北アルプス登山道駐車管理システムの充実、長峰登山口駐車場整備など）	6,644万８千円
価	観光イベント事業 （安曇野アップルハロウィンイベント（東山活用イベント）の開催など	1,133万７千円
価 拡	観光プロモーション事業 （台湾教育旅行誘致によるインバウンドの推進など）	3,370万６千円
価	東部アウトドア拠点整備事業 （前川カヌーコースの設計・工事、公園・拠点施設の基本設計など）	6,569万５千円

3 安全で安心に暮らせるまち

	事業	決算額
	防災行政無線設備新設・更新事業 （防災行政無線（同報系）の親局設備の更新など）	１億4,345万２千円
拡	災害対策事業 （災害対策用備蓄品や災害発生時における迅速対応に資する被災者生活再建支援システムの導入など）	1,731万６千円
	内水対策事業 （万水川下流域における内水被害軽減のための排水路整備）	1,475万４千円

4 自然と暮らしやすさが調和するまち

	事業	決算額
拡	地球温暖化対策事業 （地球温暖化対策設備設置補助の拡充（電気自動車（EV）補助）など）	2,568万６千円
拡	地域脱炭素化推進事業 （公共施設へ屋根置など自家消費型太陽光発電事業の推進、バイオマス燃料を市内温浴施設等へ供給するなど）	１億8,351万５千円
	水資源対策事業 （アルプス地域地下水保全対策協議会による地下水位一斉測水調査の実施など）	2,865万９千円
新	合葬墓造成事業 （穂高墓地公園内への合葬墓建築工事の実施設計）	235万円
価 拡	移住定住推進事業 （移住ポータルサイトのリニューアルによる情報発信の強化など）	7,045万８千円
	市道新設改良事業(松糸道路関連) (アクセス道路の補償調査など)	3,930万７千円
拡	公共交通事業 （山岳バス（三股線登山口バス）の実証運行など）	１億7,083万７千円
価	空家等対策事業 （空家戸数実態調査、空家等管理活用支援法人の指定、地域おこし協力隊による明科地域の空家掘り起しと活用促進など）	5,398万３千円
	公園施設長寿命化事業 （豊科南部総合公園テニスコート照明LED化事業など）	１億9,378万２千円

5 学び合い　人と文化を育むまち

	事業	決算額
	国民スポーツ大会実施運営事業費 （2028年に長野県内で開催される国民スポーツ大会に向けた準備：穂高総合体育館床補強工事、空調設置工事設計など）	516万８千円
価	小説「安曇野」による地域振興事業 （若者に向けた動画作成など）	231万９千円
価	スポーツ教室等開催事業 （前川ウォータースポーツ体験会、ウォータースポーツ合宿の開催など）	1,339万８千円
	豊科近代美術館大規模修繕工事事業 （大規模改修工事）	４億5,045万円
価	新市立博物館準備事業 （新市立博物館方針の検討）	277万７千円
	黒沢洞合自然公園整備事業 （公園整備工事）	１億9,878万３千円

6 みんなでともにつくるまち

事業	決算額
人権啓発費 （令和７年度安曇野市共生社会×文化芸術フェスタの開催など）	1,283万９千円
総合計画等策定事業 （第３次総合計画策定に向けた準備）	４万９千円
人権集会所解体事業 （穂高・堀金人権集会所解体工事の設計）	257万９千円

一　般　会　計

1　一般会計決算の前年度との比較

令和７年度一般会計歳入決算額は、前年度対比5.5%増の538億3,285万円、歳出決算額は前年度対比5.0%増の522億7,440万円で、形式収支は15億5,845万円となりました。翌年度に繰り越すべき財源４億9,404万円を除いた実質収支は、10億6,441万円の黒字となりました。

（１）歳入

各歳入項目の主な増減は次のとおりです。

市税　　…　法人市民税（+１億3,600万円）、個人市民税(+６億6,500万円)

地方交付税…○普通交付税　120億7,409万５千円（+２億7,200万円）
基準財政需要額24,979,125千円（臨時経済対策費+２億6,100万円、包括算定経費+１億4,100万円）
基準財政収入額12,905,030千円（市町村民税+１億9,000万円、地方消費税交付金+１億400万円）
○特別交付税　７億9,104万２千円（+2,900万円）

国県支出金…　児童手当国庫負担金（+４億700万円）
物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（不足額給付分）（+３億6,300万円）
物価高対応子育て応援手当支給事業補助金（国経済対策）（+２億7,300万円）

市債　　…　保育所建設事業（特例債）（+５億4,200万円）
保育所建設事業（施設整備事業債）（+３億7,300万円）
穂高健康支援センター改修事業（+２億5,700万円）
借換債（臨時財政対策債）（△5,000万円）

諸収入等　…　市制度資金貸付金元金収入（△２億円）

（単位：円）

項目	令和７年度	令和６年度	増減	前年度比(%)
市税	13,252,669,686	12,320,687,334	931,982,352	107.56%
地方譲与税	513,789,000	508,899,000	4,890,000	100.96%
利子割交付金	24,245,000	5,261,000	18,984,000	460.84%
配当割交付金	99,150,000	94,632,000	4,518,000	104.77%
株式等譲渡所得割交付金	154,031,000	126,054,000	27,977,000	122.19%
法人事業税交付金	220,103,000	208,013,000	12,090,000	105.81%
地方消費税交付金	2,619,145,000	2,425,328,000	193,817,000	107.99%
ゴルフ場利用税交付金	36,267,072	35,591,042	676,030	101.90%
環境性能割交付金	53,702,000	54,773,000	△ 1,071,000	98.04%
地方特例交付金	113,829,000	556,021,000	△ 442,192,000	20.47%
地方交付税	12,865,200,000	12,564,858,000	300,342,000	102.39%
交通安全対策特別交付金	10,439,000	10,725,000	△ 286,000	97.33%
分担金及び負担金	299,246,895	298,535,472	711,423	100.24%
使用料及び手数料	302,329,139	307,769,034	△ 5,439,895	98.23%
国庫支出金	7,084,881,940	5,883,529,123	1,201,352,817	120.42%
県支出金	2,850,404,121	2,720,102,974	130,301,147	104.79%
財産収入	102,344,362	120,928,562	△ 18,584,200	84.63%
寄附金	778,665,199	667,203,230	111,461,969	116.71%
繰入金	2,122,358,904	1,756,762,002	365,596,902	120.81%
繰越金	1,230,558,103	1,157,578,696	72,979,407	106.30%
諸収入	2,517,287,377	3,105,301,975	△ 588,014,598	81.06%
市債	6,582,200,000	6,109,467,000	472,733,000	107.74%
合計	53,832,845,798	51,038,020,444	2,794,825,354	105.48%

※款別で集計しています。

（２）歳出

目的別歳出の主な増減は次のとおりです。

総務費…　寄附採納事務（+8,900万円）、電算システム更新事業（+１億5,000万円）
選挙費（参議院、市長・市議、市長、衆議院）（+１億7,300万円）

民生費…　三郷東部認定こども園建設事業（+９億6,400万円）、児童手当給付事業（+３億8,400万円）
定額減税に係る不足額給付金給付事業（+３億4,600万円）

衛生費…　穂高健康支援センター施設改修事業（+２億7,300万円）、予防接種事業（△7,400万円）

農林水産業費…　三郷堆肥センター解体事業（+4,100万円）
三郷農村環境改善センター多目的ホール天井耐震化工事（△7,700万円）

商工費…　制度資金貸付事業（△２億円）、【明許】プレミアム付商品券事業（△６億5,000万円）、
古民家活用再生事業（+8,000万円）

土木費…　公営住宅整備事業（＋２億9,900万円）、市道新設改良事業（交付金）（+２億8,800万円）
市道新設改良事業（特例債）（+１億4,000万円）

消防費…　防災行政無線設備新設・更新事業（+8,500万円）、常備消防負担金事業（+4,900万円）、
消防団詰所更新・統廃合事業（△6,300万円）

教育費…　【明許】三郷小学校施設改修事業（+５億9,200万円）
【明許】穂高西小学校施設改修事業（+１億4,600万円）
三郷公民館長寿命化事業（△４億1,100万円）

（単位：円）

項目	令和７年度	令和６年度	増減	前年度比(%)
議会費	235,806,798	242,061,821	△ 6,255,023	97.42%
総務費	6,440,619,540	5,814,892,854	625,726,686	110.76%
民生費	18,810,191,881	16,189,563,012	2,620,628,869	116.19%
衛生費	2,893,022,610	2,715,229,681	177,792,929	106.55%
労働費	61,348,238	61,369,057	△ 20,819	99.97%
農林水産業費	1,927,703,939	1,971,640,231	△ 43,936,292	97.77%
商工費	2,738,168,464	3,369,203,234	△ 631,034,770	81.27%
土木費	5,448,098,768	4,631,966,207	816,132,561	117.62%
消防費	1,616,589,724	1,550,690,821	65,898,903	104.25%
教育費	6,238,789,267	5,997,878,939	240,910,328	104.02%
災害復旧費	49,983,000	8,228,000	41,755,000	607.47%
公債費	5,814,074,015	7,254,738,484	△ 1,440,664,469	80.14%
予備費	0	0	0	－
合計	52,274,396,244	49,807,462,341	2,466,933,903	104.95%

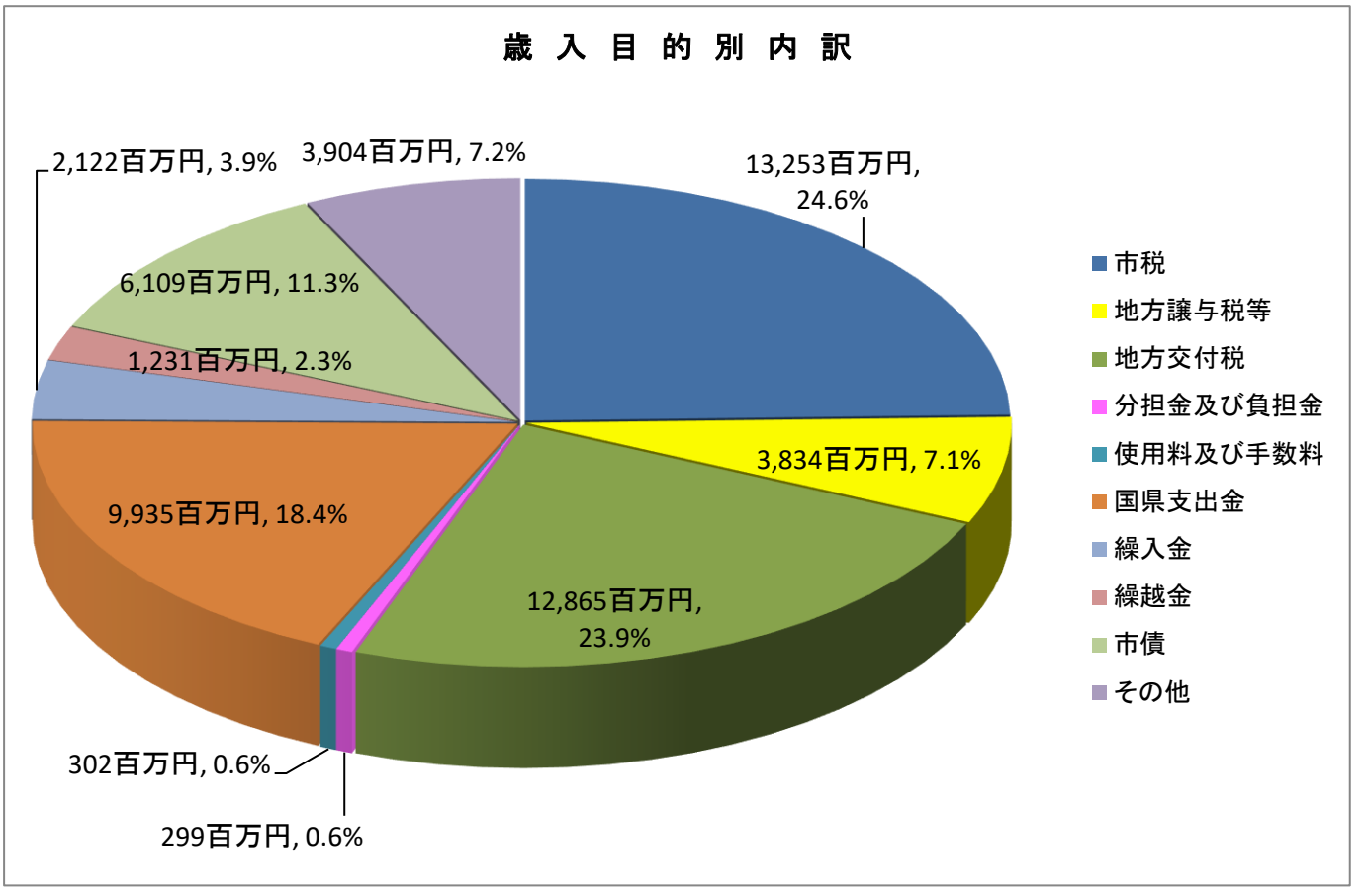
※款別で集計しています。

歳出（性質別）　（単位：千円）

項目	令和７年度	令和６年度	増減	前年度比(%)
人件費	8,006,121	7,391,266	614,855	108.32%
物件費	7,959,789	8,009,608	△ 49,819	99.38%
維持補修費	227,038	190,007	37,031	119.49%
扶助費	7,669,704	7,029,235	640,469	109.11%
補助費	6,617,277	6,668,513	△ 51,236	99.23%
普通建設事業費	8,879,465	6,116,486	2,762,979	145.17%
うち補助事業	3,367,673	1,658,734	1,708,939	203.03%
うち単独事業	5,511,792	4,457,752	1,054,040	123.65%
災害復旧事業費	49,983	8,228	41,755	607.47%
公債費	5,814,074	7,254,738	△ 1,440,664	80.14%
積立金	1,519,016	1,475,960	43,056	102.92%
投資及び出資金・貸付金	1,677,735	1,928,694	△ 250,959	86.99%
繰出金	3,854,194	3,734,727	119,467	103.20%
合計	52,274,396	49,807,462	2,466,934	104.95%

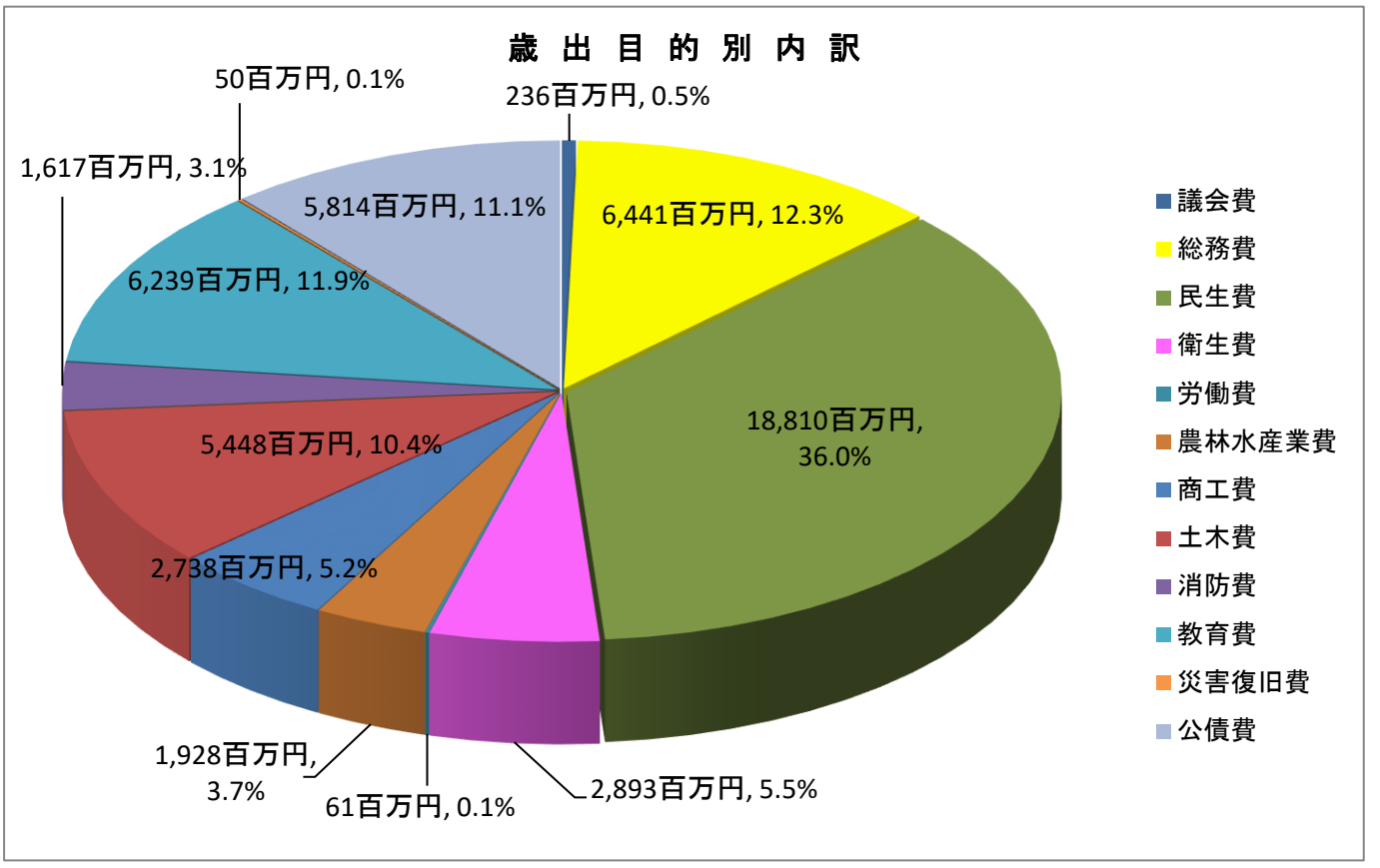
※上記の性質別決算額については、地方財政状況調査に準じて集計したものです。
単位は「千円」で、千円未満四捨五入しています。

【一般会計の決算額の内訳（グラフ）】　　（総額538億3,284万6千円）

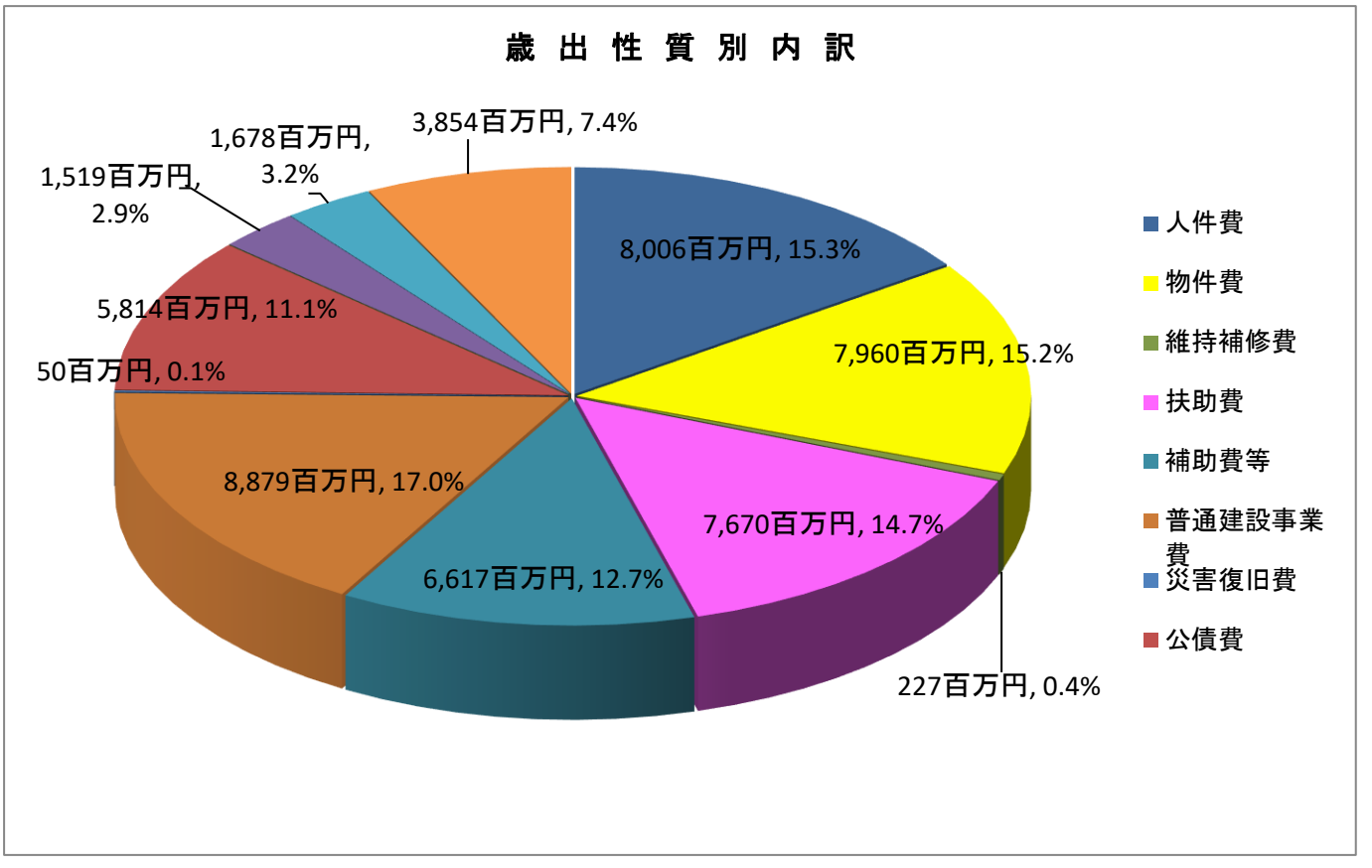


※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。
※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。

【一般会計の決算額の内訳（グラフ）】　　（総額522億7,439万6千円）



※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しません。
※構成比については、単位未満四捨五入により100%になりません。



2　地方債現在高の状況（一般会計）

（1）借入目的別

（単位：円）

区　　分	令和６年度 末現在高A	令和７年度 発行額　B	令和７年度元利償還額 元　金　C	令和７年度元利償還額 利　　子	令和７年度元利償還額 計　　D	差引現在高 A+B−C E
1　公共事業等債	1,087,040,291	19,400,000	237,090,909	2,466,918	239,557,827	869,349,382
うち　財源対策債等	2,780,998		1,377,352	46,328	1,423,680	1,403,646
2　防災・減災・国土強靭化緊急対策事業債	1,198,567,779	132,900,000	103,731,777	4,070,569	107,802,346	1,227,736,002
3　公営住宅建設事業債	263,690,750	363,200,000	32,163,216	2,906,409	35,069,625	594,727,534
うち　復旧・復興事業分						
うち　（旧）緊急防災・減災事業分						
4　災害復旧事業債	56,122,470	9,600,000	6,119,610	373,907	6,493,517	59,602,860
（1）単独災害復旧事業債	51,335,214	9,600,000	5,580,424	345,541	5,925,965	55,354,790
（2）補助災害復旧事業債	4,787,256		539,186	28,366	567,552	4,248,070
5　（旧）緊急防災・減災事業債						
6　全国防災事業債	25,270,104		12,634,420	2,212	12,636,632	12,635,684
7　教育・福祉施設等整備事業債	2,105,345,496	909,800,000	374,624,318	14,776,978	389,401,296	2,640,521,178
（1）学校教育施設等整備事業債	637,670,496	537,200,000	209,024,318	8,716,460	217,740,778	965,846,178
（2）社会福祉施設等整備事業債						
（3）一般廃棄物処理事業債						
（4）一般補助施設整備等事業債						
（5）施設整備事業債(一般財源化分)	1,467,675,000	372,600,000	165,600,000	6,060,518	171,660,518	1,674,675,000
8　一般単独事業債	17,396,097,736	4,196,500,000	2,673,960,592	87,605,621	2,761,566,213	18,918,637,144
うち　防災対策事業債	106,300,000		30,960,000	475,032	31,435,032	75,340,000
うち　旧合併特例事業債	16,319,465,000	3,091,000,000	2,490,165,000	79,527,503	2,569,692,503	16,920,300,000
（1）旧市町村合併特例事業債	16,319,465,000	3,091,000,000	2,490,165,000	79,527,503	2,569,692,503	16,920,300,000
（2）旧市町村合併推進事業債						
うち　地方道路等整備事業債	85,532,736		47,655,592	1,401,644	49,057,236	37,877,144
うち　(新)緊急防災・減災事業債	109,310,000	166,200,000	10,960,000	1,008,815	11,968,815	264,550,000
うち　公共施設等適正管理推進事業債	168,260,000	249,700,000	28,160,000	437,710	28,597,710	389,800,000
（1）集約化・複合化事業分						
（2）長寿命化（公共用建物）事業分	3,900,000	249,700,000	390,000	36,241	426,241	253,210,000
（3）長寿命化（社会基盤施設）事業分	164,360,000		27,770,000	401,469	28,171,469	136,590,000
うち　緊急自然災害防止対策事業債	319,730,000	115,700,000	36,710,000	2,514,376	39,224,376	398,720,000
うち　緊急浚渫推進事業債	19,000,000		2,500,000	70,841	2,570,841	16,500,000
うち　脱炭素化推進事業債		49,100,000				49,100,000
うち　こども・子育て支援事業債	268,500,000	447,100,000	26,850,000	2,169,700	29,019,700	688,750,000
うち　デジタル活用推進事業債		77,700,000				77,700,000
9　辺地対策事業債						
10　過疎対策事業債	400,580,385	150,800,000	39,665,047	3,409,489	43,074,536	511,715,338
うち　過疎地域持続的発展特別事業分	47,668,189	35,000,000	4,827,269	376,539	5,203,808	77,840,920
11　公共用地先行取得等事業債						
12　行政改革推進債						
13　厚生福祉施設整備事業債						
14　退職手当債（～平成17年度）						
15　退職手当債（平成18年度～）						
16　国の予算貸付・政府関係機関貸付債						
うち　転貸によるもの						
うち　地方道路整備臨時貸付金						
17　地域改善対策特定事業債						
18　財源対策債	81,891,770		31,414,429	1,457,171	32,871,600	50,477,341
19　減収補填債(S61･H5～7･9～30･R1～7年度分)	101,376,361		6,312,293	49,899	6,362,192	95,064,068
うち　令和2年度追加税目分	101,376,361		6,312,293	49,899	6,362,192	95,064,068
20　臨時財政特例債						
21　公共事業等臨時特例債						
22　減税補填債	8,885,335		8,885,335	6,665	8,892,000	
23　臨時税収補填債						
24　臨時財政対策債	12,401,801,725	800,000,000	2,137,137,033	27,068,262	2,164,205,295	11,064,664,692
25　調整債（令和1～6年度分）						
26　減収補補填特例分(H14・19～30・R1～6年度分)						
27　都道府県貸付金						
28　特別減収対策債						
29　その他	3,597,071		2,468,793	71,641	2,540,434	1,128,278
合　計　（1～29）	35,130,267,273	6,582,200,000	5,666,207,772	144,265,741	5,810,473,513	36,046,259,501
うち　財源対策債等	84,672,768		32,791,781	1,503,499	34,295,280	51,880,987
うち　減収補填債	101,376,361		6,312,293	49,899	6,362,192	95,064,068

（２）借入利率別

（単位：円）

借　入　先	令和７年度末現在高	現在高の内訳					
		0.5%以下	1.0%以下	1.5%以下	2.0%以下	2.5%以下	3.0%以下
政府資金	9,886,300,083	7,337,851,549	968,089,602	578,934,861	352,671,442	284,895,793	363,856,836
(1)財政融資資金	9,635,220,728	7,337,851,549	925,626,603	578,934,861	267,250,879	161,700,000	363,856,836
うち旧資金運用部資金	656,836						656,836
うち旧還元融資資金							
(2)旧郵政公社資金	251,079,355		42,462,999		85,420,563	123,195,793	
(ｱ)旧郵便貯金資金							
(ｲ)旧簡易生命保険資金	251,079,355		42,462,999		85,420,563	123,195,793	
地方公共団体金融機構	3,021,904,418	2,885,082,846	40,400,000	50,490,000	43,804,836	2,126,736	
うち旧公営企業金融公庫資金	43,083,106				40,956,370	2,126,736	
国の予算貸付等							
市中銀行	14,750,635,000	5,961,140,000	2,183,630,000	2,821,065,000	3,713,800,000	71,000,000	
その他の金融機関	8,387,420,000	2,769,070,000	2,998,280,000	550,170,000	2,060,300,000	9,600,000	
保険会社等							
交付公債							
市場公募債							
共済等							
政府保証付外債							
その他							
計	36,046,259,501	18,953,144,395	6,190,399,602	4,000,659,861	6,170,576,278	367,622,529	363,856,836

（注）利率が3.0%を超える地方債の借入残高はありません。

3　基金残高の状況（特会含む）

（単位：円）

区分		令和６年度	令和７年度				
		年度末現在高	積立額	積立利子	積立額計	繰入額	年度末現在高
一般	財政調整基金	5,370,581,883	467,000,000	19,712,023	486,712,023	471,811,000	5,385,482,906
	減債基金	3,008,695,663	88,905,000	9,325,128	98,230,128	778,000,000	2,328,925,791
	公共施設整備基金	5,145,672,359	20,000,000	16,387,395	36,387,395	0	5,182,059,754
	地域振興基金	2,154,645,879	0	6,678,093	6,678,093	157,710,000	2,003,613,972
	分収造林事業基金	7,395,827	0	22,922	22,922	0	7,418,749
	旧穂高町外１ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金	93,058,216	0	288,423	288,423	2,836,000	90,510,639
	旧穂高町外１ヶ町淺川山林組合に関する基金	5,442,232	0	16,867	16,867	0	5,459,099
	旧安曇野市・松本市山林組合に関する基金	0	39,227,740	0	39,227,740	0	39,227,740
	国際交流基金	15,560,829	0	48,229	48,229	300,000	15,309,058
	福祉基金	267,962,620	20,000,000	830,521	20,830,521	15,986,000	272,807,141
	ふるさと水と土保全基金	41,592,500	0	0	0	0	41,592,500
	豊科安曇野の里基金	990	5,400,000	3	5,400,003	3,943,500	1,457,493
	天蚕振興基金	3,853,285	0	11,942	11,942	0	3,865,227
	三郷農林漁業体験実習館基金	296	0	0	0	0	296
	堀金産地形成促進施設基金	8,869,877	2,340,000	27,491	2,367,491	2,609,882	8,627,486
	堀金観光開発基金	27,518,042	0	85,289	85,289	27,518,000	85,331
	安曇野市森林環境贈与税基金	99,652,218	29,999,000	308,861	30,307,861	11,359,189	118,600,890
	安曇野市山岳環境整備基金	28,141,860	0	87,222	87,222	6,493,030	21,736,052
	青少年育成基金	37,247	0	115	115	0	37,362
	青少年交流事業支援基金	16,504,797	0	38,757	38,757	4,000,000	12,543,554
	文化振興基金	38,789,564	14,000,000	120,224	14,120,224	14,619,866	38,289,922
	名誉市民田淵行男顕彰基金	1,733,545	0	5,372	5,372	1,738,917	0
	入学準備金貸付基金	80,196,013	6,707,600	248,558	6,956,158	6,800,000	80,352,171
	公式スポーツ施設整備基金	274,631,962	0	851,192	851,192	0	275,483,154
	ちくに生きものみらい基金	48,283,037	0	149,648	149,648	1,382,520	47,050,165
	霊園施設整備基金	154,292,858	17,625,000	478,214	18,103,214	13,615,000	158,781,072
	ふるさと寄附基金	2,605,864,719	744,014,801	8,076,597	752,091,398	600,000,000	2,757,956,117
土地	土地開発基金	253,957,585	0	623,129	623,129	0	254,580,714
	（うち現金）	201,049,024	0	623,129	623,129	0	201,672,153
	（うち土地）	52,908,561	0		0	0	52,908,561
国	国民健康保険支払準備基金	285,626,512	63,000,000	885,268	63,885,268	71,100,000	278,411,780
財産区	上川手財産区基金	16,254,429	1,464,000	50,378	1,514,378	1,309,000	16,459,807
	北の沢山林財産区基金	11,689,167	159,000	36,229	195,229	0	11,884,396
	有明山林財産区基金	36,957,487	148,000	114,545	262,545	0	37,220,032
	富士尾沢山林財産区基金	4,443,237	284,000	13,771	297,771	0	4,741,008
	穂高山林財産区基金	3,647,699	195,000	11,305	206,305	0	3,854,004
介	介護保険支払準備基金	1,224,135,967	64,048,000	3,794,077	67,842,077	0	1,291,978,044
基金合計		21,335,690,401	1,584,517,141	69,327,788	1,653,844,929	2,193,131,904	20,796,403,426

（注）　会計年度を基準とした基金の状況です。

【参考】令和７年度 ふるさと寄附基金 繰入事業

（単位：千円）

繰入事業名	繰入額	繰入事業名	繰入額	繰入事業名	繰入額	繰入事業名	繰入額
ＤＸ推進事業	10,000	予防接種事業	116,000	市農業振興作物等推進事業	60,000	外国語指導助手配置事業	50,000
交通安全対策推進事業	12,000	任意予防接種支援事業	13,000	企業助成事業	56,000	小学校就学援助事業	29,000
入浴料金割引券交付事業	8,000	母子・子育て支援事業	62,000	観光プロモーション事業	15,000	中学校就学援助事業	29,000
子育て応援手当給付事業	20,000	不妊・不育症治療費助成事業	7,000	ハーフマラソン事業	30,000		
三郷小児童クラブ整備事業	15,000	地球温暖化対策事業	20,000	災害対策事業	10,000		
園庭芝生化事業	20,000	空家等対策事業	15,000	コミュニティスクール事業	3,000	合　計	600,000

４　財政健全化判断比率の状況

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が平成19年度に成立し、以来毎年前年度決算に基づいて算出した数値を公表しています。

公表内容は「実質赤字比率」「連結実質赤字比率」「実質公債費比率」「将来負担比率」です。企業会計については「資金不足比率」も公表します。

令和７年度については以下のとおりです。

令和７年度決算における安曇野市健全化判断比率（暫定値）

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
―	―	7.4	―
(11.89)	(16.89)	(25.0)	(350.0)

備考

１　実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合及び実質公債費比率又は将来負担比率が算定されない場合は「－」を記載しています。

２　早期健全化基準は括弧内に記載しています。

5　　年度別市税状況

令和７年度は、米国の通商政策の影響が自動車産業を中心にみられ、加えて長引く物価高など地域経済の先行きに不透明感が残りました。その一方で、物価高騰対策や経済対策など各種政策効果もあり、個人消費や設備投資が増加し緩やかな回復基調が続いています。

その結果、個人市民税は、物価高対策として実施した定額減税の令和７年度対象者が限られたことによる大幅な増額や給与所得納税者の増加により調定額が約６億8,572万円の増額、法人市民税は、一部の製造業において設備投資需要の拡大により受注高が増加し、約１億3,601万円の増額になりました。

区　　分		調　定　額			収　入　済　額		
		現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計
個人市民税	７年度	5,366,075,500	76,186,101	5,442,261,601	5,321,071,225	21,853,888	5,342,925,113
	６年度	4,680,351,100	77,979,523	4,758,330,623	4,649,998,056	27,813,163	4,677,811,219
	５年度	4,971,415,700	73,346,913	5,044,762,613	4,935,738,287	24,777,978	4,960,516,265
法人市民税	７年度	942,890,900	4,644,130	947,535,030	941,689,200	559,400	942,248,600
	６年度	806,879,100	4,005,523	810,884,623	805,160,900	1,001,593	806,162,493
	５年度	934,558,200	1,532,197	936,090,397	931,338,600	709,370	932,047,970
純固定資産税	７年度	5,845,871,900	131,689,097	5,977,560,997	5,801,971,552	42,942,102	5,844,913,654
	６年度	5,725,066,000	135,147,914	5,860,213,914	5,679,125,350	45,864,585	5,724,989,935
	５年度	5,730,977,900	131,693,293	5,862,671,193	5,681,416,194	40,442,113	5,721,858,307
国有資産等所在市町村交付金	７年度	31,923,200	0	31,923,200	31,923,200	0	31,923,200
	６年度	31,306,100	0	31,306,100	31,306,100	0	31,306,100
	５年度	31,085,900	0	31,085,900	31,085,900	0	31,085,900
軽自動車税（種別割）	７年度	397,288,700	6,831,166	404,119,866	394,732,650	1,529,820	396,262,470
	６年度	388,215,800	6,268,668	394,484,468	385,578,185	1,438,326	387,016,511
	５年度	378,555,000	6,160,509	384,715,509	376,250,300	1,443,941	377,694,241
軽自動車税環境性能割	７年度	34,979,600	0	34,979,600	34,979,600	0	34,979,600
	６年度	30,259,300	0	30,259,300	30,259,300	0	30,259,300
	５年度	26,152,200	0	26,152,200	26,152,200	0	26,152,200
市たばこ税	７年度	599,093,649	0	599,093,649	599,093,649	0	599,093,649
	６年度	602,480,526	0	602,480,526	602,480,526	0	602,480,526
	５年度	618,588,173	0	618,588,173	618,588,173	0	618,588,173
入湯税	７年度	60,323,400	0	60,323,400	60,323,400	0	60,323,400
	６年度	60,115,250	546,000	60,661,250	60,115,250	546,000	60,661,250
	５年度	59,498,100	0	59,498,100	58,952,100	0	58,952,100
合　　計	７年度	13,278,446,849	219,350,494	13,497,797,343	13,185,784,476	66,885,210	13,252,669,686
	６年度	12,324,673,176	223,947,628	12,548,620,804	12,244,023,667	76,663,667	12,320,687,334
	５年度	12,750,831,173	212,732,912	12,963,564,085	12,659,521,754	67,373,402	12,726,895,156

また、純固定資産税は、新増築家屋の増加等により、約１億2,080万円の増額、軽自動車税は、課税対象台数の増加により約1,379万円の増額になりました。たばこ税は、健康増進法による受動喫煙防止等の影響もあり販売本数は減少し約338万円の減額になりました。

滞納繰越分を含めた市税全体の歳入決算額は、132億5,266万円で前年比較で9億3,198万円の増額、収納率は前年度と同水準の98.18%となりました。今後も物価高騰の影響や人口減少に伴う税収の変化、そして賃上げや経済対策などの社会経済状況を注視していく必要があります。

不　納　欠　損　額			収入未済額			収　納　率　（%）		
現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計	現年分	滞繰分	計
0	2,023,749	2,023,749	45,004,275	52,308,464	97,312,739	99.16	28.68	98.17
0	4,545,233	4,545,233	30,353,044	45,621,127	75,974,171	99.35	35.67	98.31
0	6,688,463	6,688,463	35,677,413	41,880,472	77,557,885	99.28	33.78	98.33
0	0	0	1,201,700	4,084,730	5,286,430	99.87	12.05	99.44
0	78,000	78,000	1,718,200	2,925,930	4,644,130	99.79	25.01	99.42
0	86,904	86,904	3,219,600	735,923	3,955,523	99.66	46.30	99.57
0	3,610,227	3,610,227	43,900,348	85,136,768	129,037,116	99.25	32.61	97.78
0	3,366,382	3,366,382	45,940,650	85,916,947	131,857,597	99.20	33.94	97.69
0	5,022,572	5,022,572	49,561,706	86,228,608	135,790,314	99.14	30.71	97.60
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	363,772	363,772	2,556,050	4,937,574	7,493,624	99.36	22.39	98.06
0	505,091	505,091	2,637,615	4,325,251	6,962,866	99.32	22.94	98.11
0	649,400	649,400	2,304,700	4,067,168	6,371,868	99.39	23.44	98.17
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	0	0	0	100.00	—	100.00
0	0	0	546,000	0	546,000	99.08	—	99.08
0	5,997,748	5,997,748	92,662,373	146,467,536	239,129,909	99.30	30.49	98.18
0	8,494,706	8,494,706	80,649,509	138,789,255	219,438,764	99.35	34.23	98.18
0	12,447,339	12,447,339	91,309,419	132,912,171	224,221,590	99.28	31.67	98.17

部・課別の成果と評価

議会事務局

令和８年度	
部	議会事務局
課	議会事務局
係等	庶務係

決算書ページ	63

予算				総合計画		
	款	01	議会費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	議会費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	議会費			
	事業	0101010	議会費		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
241,406,000	235,806,798	0	5,599,202	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　議会議員定数　　22人
　議員数：令和７年４月１日から令和７年10月22日まで　19人
　　：令和７年10月23日から　22人

２　議会事務局職員　６人

３　議会の活動状況（特に記載のない限り、令和７年１月１日から同年12月31日までの期間）

（１）本会議

（日数と人数は延べ数）

	定例会	臨時会	計
開催回数	4回	1回	5回
会期日数	99日	1日	100日
本会議日数	23日	1日	24日
傍聴者総数	130人	0人	130人

	会期日数	本会議日数	傍聴者数
３月	30日	7日	16人
６月	22日	5日	33人
９月	24日	6日	30人
１２月	23日	5日	51人

（２）議案審議

区　分	条　例（１号）	予　算（２号）	決　算（３号）	96条１項４～14号	その他	専決処分(179条)	計
市長提出事件件数	41	45	13	12	33	10	154

区　分	条　例	会議規則	意見書	決　議	その他
議員提出議案			6(5)		
委員会提出議案	2(2)		3(3)		

カッコ内は原案可決の件数

予算				総合計画		
	款	01	議会費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	議会費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	議会費			
	事業	0101010	議会費		施策	共生社会の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（３）常任委員会等　　（日数は延べ数）

	常任委員会（３委員会合計）	広報特別委員会	議会運営委員会	全員協議会
会期中の開催日数	28日	4日	15日	10日
閉会中の開催日数	2日	13日	20日	9日
計	30日	17日	35日	19日

（４）請願・陳情

	採択	不採択	継続審査	審議未了	その他	合計
請 願	2					2
陳 情	7	4	1			12

（５）本会議映像配信視聴件数（年度）［使用料：3,234,000円］
ライブ　2,433件（前年度比165.4％増）　　録画　4,765件（前年度比234.3％増）

（６）議会だよりの発行（年度）［印刷製本費：5,269,440円　事務事業委託料：45,100円］
年４回発行しました。

（７）議会報告会（年度）

開催期日	令和７年７月19日（土）	参 加 者	28人（うちオンライン参加５人）
開催方法	本庁舎４階大会議室及びオンライン開催（手話通訳者、字幕表示あり）		

（８）行政視察（年度）［記念品・土産等、普通旅費、費用弁償、事務事業委託料：947,798円］
ア　委員会

区　分	期　日	視察先
総務環境委員会	令和７年５月12日、13日	愛知県みよし市、大阪府箕面市
経済建設委員会	令和７年７月22日、23日	新潟県上越市、石川県加賀市、富山県南砺市

イ　議会

期　日	視察先
令和７年７月９日、10日	東京都江戸川区

４　議員研修（年度）［費用弁償：366,920円　手数料：229,570円　負担金：147,500円］
（１）市町村国際文化研修所研修　　来所受講10人　オンライン受講５人
（２）市町村職員中央研修所研修　　来所受講６人
（３）令和７年11月11日開催　　内容：議員としての心構えと議会の仕組み

５　議員改選に伴う事務（年度）［消耗品費、印刷製本費：531,689円］
（１）令和７年10月23日から第６期が始まりました。
（２）令和７年10月29日の臨時会で正副議長の選出等が行われました。

予算				総合計画		
	款	01	議会費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	議会費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	議会費			
	事業	0101010	議会費		施策	共生社会の実現

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

６　市議会から市へ要望等（令和７年９月18日付け政策提言）
（１）防犯カメラなどの防犯対策と安全安心なまちづくりについて
（２）子どもの権利の理念を推進する具体的施策に関する提言
（３）持続可能な安曇野の農業を目指して

７　政務活動費　（年度）［補助金：1,366,031円］
（１）令和７年４月分から同年10月分まで

会派等名	金額（円）
日本共産党安曇野市議団	210,000
会派　あづみ野	32,400
会派　さきがけ	28,740
会派　きぼう	201,845
会派　クレール	188,103

会派等名	金額（円）
小林　純子	70,000
増田　望三郎	70,000

（２）令和７年11月分から令和８年１月分まで

会派等名	金額（円）
大竹　啓正	0
辻谷　洋一	34,280
矢澤　毅彦	26,303
今井　美智子	5,535
高橋　健	0
小林　浩	1,260

（３）令和８年２月分及び３月分

会派等名	金額（円）
青藍会	0

（４）令和７年11月分から令和８年３月分まで（青藍会に所属する議員は除く。）

会派等名	金額（円）
会派　アヅミライ	97,036
増田　望三郎	50,000
中村　今朝子	50,000
林　孝彦	50,000
平林　明	0
臼井　泰彦	50,000
中村　芳朗	0

会派等名	金額（円）
遠藤　武文	50,000
吉澤　茉帆	30,415
野部　知江	50,000
木船　潤一	0
田口　貞夫	38,850
菊池　久美子	31,264
丸山　健太	0

上記の評価と課題等

オンライン及び手話通訳者の配置のほか、字幕表示用モニターを設置した議会報告会の開催、議員視察・研修の実施、政策立案や政策提言等の支援をしました。また、議会活動におけるICT化の一環として導入したタブレットの運用も２年目となり、ペーパレス化やグループウェアの活用による情報提供がスムーズにできるなど業務の効率化が図られました。
今後も、より開かれた議会運営を行うとともに、市民への情報提供や意見を聴く機会を設ける仕組みづくりに取り組んでまいります。

危機管理課

令和８年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書ページ	197

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	常備消防費			
	事業	0109010	常備消防負担金		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,070,229,000	1,070,185,190	0	43,810	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,282,190		高速自動車道救急支弁金	2,282,190		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　常備消防負担金事業

①松本広域連合の構成団体として、松本広域連合規約第４条及び第18条により、消防に関する事務の経費（消防団に関する事務並びに消防水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く）を負担しました。

・松本広域連合市村負担金　…　1,062,656,000円
（松本広域連合規約第18条）

・消防防災ヘリコプター運航協議会市町村負担金　…　2,885,000円
（長野県航空消防防災体制整備要綱第5条）

②穂高消防署における女性消防士受入れのための施設改修に伴う経費を負担しました。

・松本広域連合消防費負担金　…　2,362,000円
（女性専用設備特別負担金）

③「高速自動車国道における救急業務に関する覚書」に基づき、東日本高速道路株式会社と中日本高速道路株式会社から安曇野市へ支払われた支弁金を、高速道路における救急業務を実施している松本広域連合へ負担金として支出しました。

・高速自動車国道救急事業負担金　…　2,282,190円

消防・救急業務が確実に実施され、市民の安全と安心の確保が図られました。

上記の評価と課題等

消防・救急業務は住民の生命、身体、財産を守り、地域の安全と安心を確保する上で欠かすことのできないものであることから、松本広域消防局との一層の連携強化に向けて取り組んでいく必要があります。

令和８年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書ページ	197

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	02	非常備消防費			
	事業	0109020	非常備消防費		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
160,573,000	152,297,258	0	8,275,742	94.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,592,768		消防団員退職報奨金	10,732,000		
		消防団員福祉共済	76,780		
		消防団員等公務災害補償給付金	69,988		
		消防団設備整備費補助金	4,714,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　非常備消防運営事業

市消防団は16分団・35部・３隊、令和７年度の団員数は681人（R７年度入団者：34人、R６年度末退団者：49人）の体制で、消防団の特性である地域密着性、即時対応能力、動員力を活かして、災害現場において常備消防と連携して活動を行いました。

消火技術訓練会を開催し、消防ポンプの取扱い技術の維持・向上が図られました。市消防団女性消防隊が県代表として全国女性消防操法大会に出場しました。５月から10月末の大会まで週２回の練習を行い44チーム中21位と健闘しました。

・消防団員の出動件数：3,192件（延べ 19,556人）
　内訳　火災　：　35件（延べ　1,739人）　行方不明者捜索：　2件（延べ　56人）
　警戒活動：　912件（延べ　5,341人）　訓練等　：343件（延べ 2,225人）
　会議等　：1,900件（延べ 10,195人）
・消防団出席謝礼（災害出動、警戒活動等）　…　30,492,000円
・消防団員退職報償金（令和６年度末該当退職者31人）　…　11,717,000円
・消防団員等公務災害補償等共済基金掛金　…　20,374,777円
・消防団員活動服・雨着・装備品一式等　…　25,469,545円
・消防団員募集啓発用品（ボールペン・風船等）　…　779,560円
・大規模災害対応資機材（電動式チェーンソー）　…　3,927,000円

２　分団等運営補助金交付事業

・消防団分団等運営費補助金　…　11,170,000円

上記の評価と課題等

消防団員の確保やイメージアップを図るために、消防団応援キャラクターを用いた消防団員募集啓発用品を作成し、各種イベント等において配布しました。

今後も消防団員の士気向上と、消防団のイメージアップを図り、家族等の理解と協力を得ながら消防団員を確保していくための、処遇改善や出動、訓練その他の活動内容を検討する必要があります。

令和８年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	消防防災係

決算書ページ	199

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	03	消防施設費			
	事業	0109030	消防施設維持整備事業		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
101,287,000	97,398,397	0	3,888,603	96.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
41,600,000		消防団詰所統廃合事業（特例債）	17,500,000		
		消防団詰所統廃合事業（緊防債）	24,100,000		
				（入湯税）	(18,576,400)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　消防施設維持整備事業

消火栓等消防水利施設の新設・維持管理及び老朽化した火の見櫓、防火水槽の撤去を実施しました。

- 消防用資機材購入（消火栓用ホース等）　…　3,797,200円
- 消火栓用ホース格納箱等設置工事　…　1,749,000円
- 防火水槽有蓋化工事等　…　2,366,650円
- 防火水槽・火の見櫓撤去工事　…　8,349,000円
- 消火栓用ホース格納箱購入　…　948,750円
- 消火栓新設・移設負担金　…　11,240,900円
- 消火栓修繕等負担金　…　5,190,900円
- 消火栓維持管理負担金（消防法第20条第２項により）　…　6,187,600円

2　消防団詰所更新・統廃合事業

①前年度に本事業により更新しました第11分団第２部・第３部の旧詰所の解体工事を行いました。

- 第11分団第２部・第３部旧詰所解体工事監理業務委託　…　495,000円
- 第11分団第２部・第３部旧詰所解体工事　…　19,360,000円

②令和８年度から実施する第９分団第１部・第３部の統合詰所新築事業に伴う用地の取得を行いました。

- 第９分団第１部・第３部詰所解体工事アスベスト調査業務委託　…　578,600円
- 第９分団第１部・第３部統合詰所新築事業に伴う用地取得　…　24,150,000円

3　耐震性防火水槽新設・更新事業

- 令和８年度工事個所（豊科高家、三郷温）実施設計業務委託　…　990,000円

4　令和７年度末現在の消防水利の状況

- 消火栓　公設：3,162基　私設：32基　合計：3,194基
- 防火水槽　公設：　551基　私設：44基　合計：　595基

上記の評価と課題等

安曇野市公共施設再配置計画及び安曇野市消防団詰所統廃合事業計画に基づき、消防団詰所の統廃合を含めた組織再編を行い、詰所等の集約による適正な配置を行うことで、地域防災力の向上と出動体制の強化を図りました。消防法第20条第２項及び安曇野市公設消防水利施設設置基準に基づき、区等から要望があった消火栓の設置等を行い、消防水利の確保に努めました。

令和８年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	危機管理担当

決算書ページ	199

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	03	消防施設費			
	事業	0109040	防災無線維持管理費		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
181,461,000	177,587,408	0	3,873,592	97.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
145,818,000		災害時通信機器整備促進補助金	3,718,000		
		防災行政無線親局設備操作卓等更新事業（緊防債）	128,900,000		
		県防災行政無線設備更新工事一部負担金（緊防債）	13,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　防災行政無線維持整備事業

①災害時等における市民等への情報伝達手段である、デジタル同報系防災行政無線施設の正常な機能の維持と障害発生の未然防止を図るため、保守点検・維持管理業務を委託しました。

・デジタル同報系防災行政無線保守点検業務委託　…　7,293,000円

②デジタル同報系防災行政無線と併せて放送するコミュニティエフエムを利用した緊急割込放送システムの保守点検・維持管理業務を委託しました。また、緊急割込放送を行うためのセンター装置機器が耐用年数の7年を経過したため、安定した放送ができるよう本機器の交換業務を委託しました。

・緊急割込み放送システム保守点検業務委託　…　3,960,000円
・緊急割込み放送装置交換業務委託　…　4,075,500円

2　防災行政無線設備新設・更新事業

①デジタル同報系防災行政無線の導入から10年が経過し、サーバーOS等のサービス停止に伴い、今後も市民へ災害情報等を的確かつ迅速に伝達するため、放送操作卓の更新工事を実施しました。

・同報系防災行政無線操作卓更新工事　…　104,500,000円

②デジタル移動系防災行政無線のハンディ端末の老朽化、バッテリーの劣化により有事の際における移動系通信の確保に困難が生じる恐れが発生していたため、スマートフォン型多機能IP無線機の導入を行いました。

・スマートフォン型多機能IP無線機購入　…　28,138,000円

上記の評価と課題等

放送卓を更新したことにより、職員の肉声放送から合成音声を用いた放送へ替わり、常に同じ音質での放送が可能となったため聞こえ方の統一が図られました。また、無線放送、メール等の配信は、各システムを用いて別々の操作をしていましたが、多メディア一斉配信システムにより、一度で複数メディアへの一括配信が可能となり配信の迅速化を実現しました。

公共系専用IP網を使用するデュアルSIMを搭載した無線機に更新したことで、有事の際に通常IP網にて輻湊が生じた場合でも通信を確立できる可能性を高めました。また、無線アプリケーションの導入により、これまでは音声通信のみだったものが、画像・動画での情報共有が可能になりました。

令和８年度	
部	危機管理監
課	危機管理課
係等	危機管理担当

決算書ページ	201

予算				総合計画		
	款	09	消防費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	消防費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	04	災害対策費			
	事業	0109050	災害対策費		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
125,409,000	119,121,471	0	6,287,529	95.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,709,850		地域防災力向上事業委託金	509,850		
		企業版ふるさと納税	2,200,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　防災啓発事業

①市内全域を対象に指定避難所開設訓練を実施し、地域防災における災害対応力の向上を図りました。また、防災関連の出前講座や小学生への防災講座を実施し、市民の防災意識の向上を図りました。

②在宅避難向け用品を中心とした防災用品の購入に対しての補助金、有事の際の情報伝達の確保を目的とした防災ラジオ購入に対しての補助金を交付し、市民の災害時の備えの拡充を図りました。

・防災用品購入補助金　…　4,714,100円　交付件数：320件

・防災ラジオ購入補助金　…　335,500円　交付件数：　54件

2　防災組織支援事業

地域防災の拡充を図るため、自主防災組織に対して活動支援補助金を交付し、各組織が実施する防災訓練や資機材の整備等を支援しました。

・防災活動支援補助金　…　3,913,440円　対象組織：46組織

3　防災広場管理事業

施設内の清掃及び各種機械機器の点検を実施し、施設の適正な維持管理を行いました。

4　災害対策事業

大規模災害に備えて備蓄品(消耗品、備品資機材)を購入しました。消耗品は、令和7年度に賞味期限を迎える食料品を、希望する自主防災組織に配布し防災訓練等で活用していただき、配布と同量を購入しました。また、備品としては簡易トイレ、発電機、プライベートルーム等を購入しました。

・災害対策用備蓄品購入　消耗品　…　8,001,346円

災害救助用品　…　6,018,100円

上記の評価と課題等

出前講座や防災講演会、指定避難所開設訓練等を通じ、市民の防災意識の向上が図れました。課題として、小中学生など若年層からの防災意識の向上が必要だと捉えています。また、補助金を継続することで市民の自主的な備えの拡充、自主防災組織の備蓄購入や訓練など活動支援を行います。

今後も市民の防災意識の向上を目指し、各自主防災組織と連携を図るとともに、全組織において防災訓練等が実施されるよう働きかけを行います。

本市の備蓄品につきましては、大規模災害に対応できるよう長野県等とも協力しながら、必要量の確保を目指してまいります。

総務部

令和８年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書ページ	63

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102010	一般管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,083,551,000	1,080,593,071	0	2,957,929	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
79,056,557		自衛官募集事務委託金	40,000	税証明等郵送料申請者負担金	60,020
		特例処理事務交付金	2,093,000		
		住宅新築資金県補助金	207,000		
		派遣職員給与費負担金	76,656,537		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　平和推進事業関係

（1）戦後80年、市制施行20周年の節目の年となり、様々な平和事業を実施しました。
- 映画「ひろしま」上映会　７月５日
- 第25回安曇野「戦争と平和展」７月31日～８月３日
- 知覧特攻平和会館出張講話　８月２日
- 広島平和記念式典参加生徒体験発表会・平和トークディスカッション　９月13日
- 被爆樹木二世植樹事業（アオギリ）豊科北小学校、穂高西中学校で10月に植樹式開催

（2）広島平和記念式典参加事業

平成24年度から市内中学校の生徒達を８月の広島平和記念式典に派遣しており、令和７年度は21名の生徒が平和記念式典に参加しました。令和５年度からは松本大学との連携事業として、平和学習サークル（平和創造研究会）の学生と式典参加をはじめ、事前学習会から成果発表会までサポート、アドバイスを受けながら実施しております。

また、新たな取り組みとして、令和４年度から令和６年度に式典に参加した当時の生徒（現在高校生）による平和トークディスカッションを開催しました。

事業実施後には、成果発表会の様子や成果を動画にまとめたＤＶＤや感想文集を作成し、各中学校に配布し、市内図書館にも館内閲覧用として配置しています。

2　固定資産評価審査委員会

（1）固定資産課税台帳に登録された価格に関する不服を審査決定するための委員会で、３人の委員を選任しております。

令和７年11月25日に委員会を開催し、固定資産税についての研修を実施しました。

（2）令和３年度の審査申出による審査決定に対し、審査申出人が当該決定を不服として長野地方裁判所へ提訴をしましたが、令和５年11月に棄却する判決がなされました。審査申出人が当該判決を不服として東京高等裁判所に控訴をしましたが、令和６年５月に棄却する判決がなされました。

その後、審査申出人が当該判決を不服として最高裁判所へ上告及び上告受理申立てをしましたが、令和７年６月に棄却する判決がなされ、一連の裁判が終結しました。

3　郵便・宅急便関係

郵便等の発送件数は、1,330,500件でした。（特別会計を除く郵便料等：87,017,493円）
文書送達の経費を抑制するため、区内特別郵便の割引制度の活用及びレターパックの運用方法等の周知・徹底を図りました。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102010	一般管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　メール便関係

本庁舎と各支所及び穂高健康支援センター間の文書等の配達及び回収業務を行うのため、庁舎間メール便業務として１日当たり午後１便運行をしました（平成29年10月から午後２便を１便に減便）。令和２年度から、業務をアウトソーシングしています。

５　顧問弁護士関係

市の行政運営における法律問題や不服申立て等に関する対応を的確に行うため、顧問弁護士として３人を選任しました。令和７年度の相談件数は64件でした。（令和６年度　60件）

○顧問弁護士に係る支出状況

事業名	弁護士名	決算額
顧問弁護士委託	安曇野法律事務所　宮澤　幸平弁護士 山根伸右法律事務所　山根　伸右弁護士 東京平河法律事務所　橋本　勇 弁護士	1,980,000円

上記の評価と課題等

平和推進事業では、戦後80年の節目を迎え、総務課・文化課・福祉課が連携して様々な事業を実施しました。今後も引続き、恒久平和の実現に向け、平和事業を実施してまります。

また、令和５年度から松本大学と連携して「広島平和記念式典参加事業」を実施しています。生徒は大学生と共に学習することでより深い学びとなり、未来を担う若者が戦争の実相を知り、平和の尊さに関心を寄せる機会とすることができました。今後も、平和都市宣言の精神を尊重し市民の平和意識の醸成を図ります。

法務関係では行政運営上、職員自身が憲法や民法のほか地方自治固有の法律を正しく解釈し、適切に運用していくことが必要となりますが、複雑な法解釈を適正に理解するためには、法律の専門家である弁護士の助言が不可欠であり、顧問弁護士に委託することは必要であると考えます。

令和８年度	
部	総務部
課	総務課
係等	総務係

決算書ページ	65

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102015	寄附採納事務		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,099,065,000	1,096,730,637	0	2,334,363	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
752,091,398		ふるさと寄附金利子	8,076,597		
		ふるさと寄附金	744,014,801		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　寄附採納関係（安曇野ふるさと寄附を除く。）

寄附申出を受け一般会計に歳入された寄附の決算額は26,750,398円でした。
指定寄附は、寄附者が指定する条件に沿った活用を行いました。

指定寄附	16 件	26,750,398円	（前年度　21件　6,455,930円）
一般寄附	0 件	0円	（前年度　0件　0円）

２　安曇野ふるさと寄附採納

ふるさと寄附として一般会計に歳入された決算額は744,014,801円でした。
前年度比6,057件の増、86,467,501円の増額となりました。

安曇野ふるさと寄附 15,441件　744,014,801円　（前年度9,384件　657,547,300円）

３　ふるさと寄附基金の活用状況

基金の活用状況については、基金を600,000,000円取り崩し、次の21事業に活用しました。
・DX推進事業・交通安全対策推進事業・入浴料金割引券交付事業・子育て応援手当給付事業
・三郷小児童クラブ整備事業・園庭芝生化事業・予防接種事業・任意予防接種支援事業
・母子・子育て支援事業・不妊・不育症治療費助成事業・地球温暖化対策事業・空家対策事業
・市農業振興作物等推進事業・企業助成事業・観光プロモーション事業・ハーフマラソン事業
・災害対策事業・コミュニティスクール事業・外国語指導助手配置事業・小学校就学援助事業
・中学校就学援助事業

ふるさと寄附基金残高　2,757,956,117円　（前年度　2,605,864,719円）

上記の評価と課題等

平成29年４月１日付け総務大臣通知に基づき、安曇野ふるさと寄附の全ての返礼品について、平成30年４月から返礼割合を３割以下としています。また、令和５年10月に制度の見直しにより返礼品要件等が厳格化されましたが、安曇野市の返礼品に大きな影響はありませんでした。

寄附件数は過去最高件数となりました。返礼品においても414品と多くの返礼品を掲載しました。今後においても、継続して寄附申込みが見込める返礼品の在庫の確保や、新たな返礼品の発掘、魅力ある返礼品の開発に努めます。

令和８年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102190	文書管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,764,000	2,971,974	0	792,026	79.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
758,273		コピー等サービス料	407,629		
		豊科書庫電気料	350,644		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

ファイリング・システムを全部署へ導入して11年目に入り,個人管理の文書から組織管理の文書への移行（文書の共有化）、文書量の削減、文書保管ルールの徹底を図るとともに、文書検索の短縮と公文書の管理サイクル（文書の収受、作成、起案、決裁、施行、整理・保存、廃棄・移管）を維持するための取組として、例年同様に職員研修（３回）を実施しました。

また、ファイリング実施状況の庁内巡回調査では、総務課職員による実地確認を行い、ファイリング・システムによる文書管理のルールの徹底並びに改善が必要な部署への指導及び再巡回を実施しました。

上記の評価と課題等

公文書の適正な管理を図るため、平成27年度からファイリング・システムを全庁に導入し、公文書等の組織共有化を進めております。

ファイリング・システムを適正に運用していくため、例年、外部講師による指導、助言を受けております。公文書の管理サイクルの定着と、長期保存文書の増加に対応するため収納箱のサイズ縮小など、省スペース化に資する工夫をし、執務室書棚内の移替えや４階書庫等への置き換えもスムーズに行われ、巡回調査ではおおむね良好に管理されていました。引き続き保管ルールの徹底を図ります。

令和８年度	
部	総務部
課	総務課
係等	法務係

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102195	法務管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,157,000	4,596,454	0	560,546	89.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
200,000		コピー等サービス料	200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

条例等の制定改廃に伴う事務等を実施しました。

1　条例、規則等の制定改廃に伴う法規審査及び公布を行いました。

区　　分	公布本数
条例	49
規則	74
訓令（規程等）	25
告示（要綱等）	98

2　条例、規則等の制定改廃に伴い、例規集等データベースの更新、維持管理を行いました。なお、本業務については、令和４年度から令和８年度までの長期継続契約に基づき事業を進めました。
（委託料：2,191,200円）

3　条例、規則等の制定改廃を含む法制執務のための判例を確認する支援システムを利用しました。
（賃借料：判例体系システム利用655,776円）

4　関連する法令、判例、通知等のデータベースにリンクできるシームレス連携を活用した法務に必要な法解説情報を検索できるシステムを利用しました。
（賃借料：コンシェルジュデスク利用934,560円）

5　内部統制制度の適正な運用及び職員一人ひとりのコンプライアンス意識の向上のため、弁護士によるコンプライアンス研修を実施しました。
（委託料：コンプライアンス研修講師派遣業務委託396,000円）

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102195	法務管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

情報公開制度と個人情報保護制度を適正に運用するとともに、市が保有する情報の公開を図るため、随時、開示請求のあった担当課との協議を行いました。
また、市が保有する情報は、市民の皆様の大切な情報であるとの共通認識のもと、個人情報の保護に努めました。

１　情報開示請求及び個人情報開示請求の状況は、次のとおりです。　　（単位：件）

実施機関		請求	処理内訳					不服申立て
			全部開示	部分開示	不開示	うち不存在	取下げ	
市長	情報開示	73	22	37	30	29	14	
	個人情報	12	11	4	1	1		
議会	情報開示							
	個人情報							
教育委員会	情報開示	4	2	1	2	2		
	個人情報	8	3	5				
選挙管理委員会	情報開示	4	1	4	1	1		
	個人情報							
監査委員	情報開示							
	個人情報							
公平委員会	情報開示							
	個人情報							
農業委員会	情報開示							
	個人情報							
固定資産評価審査委員会	情報開示							
	個人情報							
公営企業管理者	情報開示	6	4	3			1	
	個人情報	1	1	1				
合　　計	情報開示	87	29	45	33	32	15	0
	個人情報	21	15	10	1	1	0	0

請求と処理内訳の合計の相違は、請求書の内容により処理が複数あったことによるものです。

２　安曇野市情報公開・個人情報保護審査会

委員数：５人　任期：令和６年６月１日から令和８年５月31日まで
会議等：審査会の開催状況は、不服申立てがなかったため１回のみでした。
○第１回審査会（令和７年６月10日）内容：令和６年度の経過報告等

３　新規採用職員を対象とした研修の実施

新規採用職員を対象に情報公開・個人情報保護制度及び開示請求事務に係る研修（令和７年４月15日）を実施しました。
内容：制度の基本的な知識、個人情報の適正な取扱い等について

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102195	法務管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市行政不服審査会
委員数：５人　任期：令和６年６月１日から令和８年５月31日まで
会議等：審査会の開催状況は、不服申立てがなかったため１回のみでした。
○第１回審査会（令和７年６月10日）内容　令和６年度の経過報告等

上記の評価と課題等

例規の見直しを含めて、246本の制定改廃を行いました（新規制定：31本　改正：200本　廃止：15本）。今後も法令等の改正を注視し、リアルタイムに市の例規に反映させ、事務等に支障を来さないように努めます。

令和７年度における開示請求について、前年度と比較して情報開示請求は減少、個人情報開示請求は増加しました。請求状況の増減にかかわらず、情報公開制度、個人情報保護制度ともにおおむね適正な運用が図られたものと思われます。今後も、市が保有する情報は市民の大切な情報との認識の下、情報公開制度、個人情報保護制度の適切な運用に努めます。また、引き続き事前に開示する公文書の絞り込みや情報提供による対応に努めます。

令和８年度	
部	総務部
課	職員課
係等	職員担当

決算書ページ	67

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102030	職員管理		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
985,251,000	975,718,752	0	9,532,248	99.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,958,859		職員健康診断共済組合補助	96,000	その他雑入（職員担当）	175,663
		団体定期保険事務費外	226,196		
		共済組合研修会助成	100,000		
		職員駐車場利用料	5,361,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　職員数
　令和７年４月１日は738人（内26人は再任用職員）で、前年度と比較して５人の増員となりました。条例の職員定数は750人です。
　令和７年６月１日現在の障がい者の雇用率は2.77%でした。(法定雇用率2.8%)

2　職員構成及び配置
　令和７年４月１日の新規採用職員19人、再任用職員26人、経験者採用は８月に３人、10月に６人、１月に１人の任用を行いました。
　また、令和７年４月１日の会計年度任用職員数は723人で、前年度と比較すると７人の減員となっています。

3　職員派遣
（１）自治法派遣
　地方公共団体相互間の協力援助に関する派遣
　［派遣］:松本広域連合(３人)、長野県後期高齢者医療広域連合(１人)、穂高広域施設組合(１人（再任用職員）)、安曇野・松本行政事務組合(１人（再任用職員）)
　長野県地方税滞納整理機構(１人)
　［受入］:長野県(１人)、長野県教育委員会(２人)、松本広域連合(１人)
（２）研修派遣
　派遣先機関のノウハウを習得し、人脈を築くことで、職員自らのスキルアップを図り市政に活かすことなどを目的とした派遣
　［派遣］:長野県(３人)、全国市町村国際文化研修所（１人）
（３）その他の派遣
　［派遣］:国土交通省千曲川河川事務所（１人）、輪島市（２人）
　［受入］:長野県警察(２人)

4　分限・懲戒・表彰
　処分は、分限休職15人、減給10分の１（１ヶ月）１人、訓告５人、厳重注意（文書９人、口頭７人）でした。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102030	職員管理		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5　職員給与

（１）一般行政職の給与の状況　　（各年４月１日現在）

年度	平均給料額	平均給与額	平均年齢	ﾗｽﾊﾟｲﾚｽ指数
令和７年度	318,990円	363,821円	41歳９月	97.4
令和６年度	307,382円	346,068円	41歳８月	97.2

※ラスパイレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準を示す指数

（２）給与改定の実施

人事院勧告に準拠し、給料表、初任給、通勤手当、期末手当・勤勉手当の支給割合を改定しました。

・給料表・・・・平均で3.3％の引上げ
・初任給・・・・大卒者12,000円、高卒者12,300円の引上げ
・通勤手当・・・支給額の引上げ及び「100㎞以上」を上限とする距離区分の新設
・期末手当及び勤勉手当・・・支給月数をともに0.025月分引上げ
（期末・勤勉手当の年間の支給割合を4.65月）

6　職員研修　3,665,324円(旅費：441,550円、委託料：1,590,644円、負担金補助金：1,633,130円)

人材育成基本方針に基づく「職員研修実施計画」により、各種研修を実施しました。

平成28年度より階層別研修の体系化に取組み10年目を迎えました。職層ごとに必須研修、推奨研修を設け、継続して実施しています。

・庁内研修受講者　延べ4,093人　・出張研修受講者　延べ133人
・通信教育講座受講申込者数　104人、うち修了者数　94人

7　健康管理・福利厚生　18,766,784円
（報酬：1,080,000円、消耗品：441,972円、委託料：10,116,688円、負担金：7,128,124円）

（１）健康診断等

ア　職員安全衛生委員会事業計画に基づき、指定健診機関における定期健康診断を実施し、154人(30歳未満の職員118人、30歳未満の会計年度任用職員36人)が受診しました。
また、健診機関と委託契約を締結し、各健診機関において人間ドック、巡回健診を奨励し、受診した職員(30歳以上の職員500人、30歳以上の会計年度任用職員578人、対象外年齢だが、代替健診として受診した職員６人)に対し、事業主負担分を健診機関へ支払いました。
その他、契約医療機関以外の受診者４人を含め、全体の受診率は91.6%でした。

イ　心の健康づくり計画に基づき、ストレスチェック検査を実施し、1,187人が受験しました。受検率は93.0％でした。

（２）職員の福利厚生事業(市職員互助会事業を含む)

ア　メンタルヘルス対策として産業カウンセラーが庁舎内で相談に応じる月１回の定例相談日を設け、延べ19人(実人数13人)が利用しました。また、新規採用職員、新任・異動係長73人に対して、産業カウンセラーとの面談を実施しました。

イ　職員相互の親睦と健康増進を目的とした職員互助会親睦ボウリング大会を開催し、111名（５日間）の参加がありました。

8　職員勤務管理　675,950円　(消耗品：176,000円、委託料：499,950円)

平成30年度から、職員の入退庁の打刻記録を可視化（時間帯グラフ）できる入退庁記録参照システムを取り入れ、入退庁時間を正確に把握できるようにしました。

管理職が職員の入退庁時間を正確に把握することで、時間外勤務命令などを含めた職員の勤務管理に努めています。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102030	職員管理		施策	市民の視点に立った行財政運営

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

9　人事評価制度の運用　（委託料：557,120円）
　能力評価及び業績評価の結果に応じ、勤勉手当の成績率及び昇給（昇格）への反映を行うとともに、人事配置での配慮や人材育成等に活用しました。
（１）勤勉手当の成績率への反映（毎年６月・12月）
　令和６年度人事評価結果に基づく各評価ランクの職員数(再任用職員を除く)
　Ａ：35人(5.3%)、Ｂ：617人(93.9%)、Ｃ：５人(0.8%)
（２）昇給（昇格）への反映（毎年１月）
　Ａ：１人(0.2%)、Ｂ：630人(99.6%)、Ｃ：１人(0.2%)

10　係長昇任試験を実施
　職員の主体的キャリア選択を可能とする複線型昇任制度の運用により、係長昇任試験を実施しました。

11　会計年度任用職員制度
　会計年度任用職員の任用については、地方公務員法に定める平等取扱いの原則及び成績主義を踏まえて、新たな募集及び再度の任用を行いました。

上記の評価と課題等

職員数については、公務員の定年延長が実施される中、退職予定者数の正確な把握に努め、新規採用者数とのバランスを図っていきます。
特定事業主行動計画に掲げた取組を実行し、職員が働きながら子育てを実現できるとともに、女性職員が十分に能力を発揮し活躍できる環境づくりに努めていきます。
人材育成基本方針に基づく職員研修実施計画により、体系的な階層別研修を実施するとともに、受講した職員の満足度や理解度を上げるために研修内容の見直しと充実を図ります。
人事評価制度の運用は、組織目標の達成に向けて職員の能力を引き出すとともに、能力開発、人材育成といった人事管理の基礎として活用します。評価の信頼性、納得性を高めるために、引き続き研修等を行うほか、必要な見直しを行っていきます。
職員勤務管理では、職員の健康保持やワークライフバランスを目指し、引き続き適正な労働時間の管理を徹底していきます。
安曇野市職員心の健康づくり計画に基づくストレスチェック検査は、更なる受検率の向上を図り、高ストレス者に対する対応に努めていきます。また、職場ごとの集団分析を行い、職場環境改善に繋げていきます。
会計年度任用職員の任用については、事業ごとに必要性を精査し、業務委託の可能性などを検討しながら任用をしていきます。
障がい者の雇用を促進するため、多様な雇用のあり方について検討を進めていきます。

令和８年度	
部	総務部
課	職員課
係等	職員担当

決算書ページ	67

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102047	災害派遣事業		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,228,000	2,879,408	0	348,592	89.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年１月１日に発生した令和６年能登半島地震における被災地支援のため、職員の旅費を支出しました。

１．派遣の内訳
≪中長期派遣≫
令和６年４月から２年間　石川県輪島市　技師１名、保健師１名（半年交代）

上記の評価と課題等

石川県輪島市への中長期派遣は、技師１名、保健師１名を半年交代で派遣しました。
なお、輪島市への災害派遣は令和８年３月31日で終了しました。

令和８年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	77

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	03	財政管理費			
	事業	0102230	財政管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,732,000	2,730,698	0	1,302	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

健全かつ効果的な財政運営を目指し、次の事務に取り組みました。

（１） 当初予算・補正予算の編成
（２） 地方交付税の算定
（３） 地方財政状況調査(決算統計）の作成
（４） 健全化判断比率の算定
（５） 地方公会計制度による財務書類（バランスシート、行政コスト計算書、純資産変動計算書、資金収支計算書）の作成
（６） 半期毎の財政状況の公表

上記の評価と課題等

必要な住民サービスを必要な時期に提供するため、10回の補正予算を編成しました。
今後もより効果的な財政運営に努めていきます。

令和８年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	77

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	03	財政管理費			
	事業	0102250	基金積立金		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
628,013,000	628,007,639	0	5,361	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
52,102,639		財政調整基金利子	19,712,023		
		減債基金利子	9,325,128		
		公共施設整備基金利子	16,387,395		
		地域振興基金利子	6,678,093		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

財政調整基金については、将来的な財源調整に備え、令和６年度決算剰余金から繰越財源を控除した額の２分の１を下らない額を、次のとおり積み立てました。

減債基金については、令和８・９年度の臨時財政対策債の償還財源が令和７年度の普通交付税で措置されたため、次のとおり積み立てました。

公共施設整備基金については、今後の普通建設事業費に充てるため、次のとおり積み立てました。

財政調整基金	467,000,000円
減債基金	88,905,000円
公共施設整備基金	20,000,000円

市債の償還、地域の振興及び財源調整のため、次のとおり基金からの繰入れを行いました。

財政調整基金繰入金	471,811,000円
減債基金繰入金	778,000,000円
地域振興基金繰入金	157,710,000円

年度末各基金の現在高は、次のとおりです。

財政調整基金	5,385,482,906円
減債基金	2,328,925,791円
公共施設整備基金	5,182,059,754円
地域振興基金	2,003,613,972円

上記の評価と課題等

財政計画を念頭に、各基金の設置目的に基づき繰入、積立を行いました。引き続き、持続可能な財政運営、健全財政の堅持に努めていきます。

令和８年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	251

予算				総合計画		
	款	12	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	元金			
	事業	0112010	長期借入金償還元金		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,666,259,000	5,666,207,772	0	51,228	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,578,000,000		減債基金繰入金	778,000,000		
		借換債（臨時財政対策債）	800,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市債の通常償還（元金）分です。

年度末地方債現在高は、36,046,259,501 円です。
そのうち、地方債現在高の大きなものは次のとおりです。
・「旧合併特例事業債」　16,920,300,000円
・「臨時財政対策債」　11,064,664,692円

借換債を発行し、臨時財政対策分800,000,000円を借換えました。

上記の評価と課題等

引き続き、償還額と借入額とのバランスに留意ながら地方債残高を調整し、持続可能な財政基盤を堅持していきます。

令和８年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	251

予算				総合計画		
	款	12	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	利子			
	事業	0112020	長期借入金償還利子		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
145,508,000	145,300,935	0	207,065	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市債の償還（利子）を行いました。
また、年度当初及び年度末の歳計現金の不足を補うため、財政調整基金・公共施設整備基金の繰替運用及び金融機関からの一時借入を行い、この分の利子を一時借入金利子から支出しました。

１　通常償還分利子　　141,700,434円

２　一時借入金利子　　3,600,501円

（内訳）

期間	運用額	利子
○繰替運用分		
Ｒ７．４．１～Ｒ７．５．30	45億円	687,945円
Ｒ７.10.14～Ｒ７.11．６	20億円	404,547円
Ｒ７.12.９～Ｒ８．３.31	10億円	2,314,492円
Ｒ８．１.27～Ｒ８．３.31	10億円	
Ｒ８．２.19～Ｒ８．３.31	20億円	
Ｒ８．３.25～Ｒ８．３.31	17億円	94,175円
	計	3,501,159円
○一時借入分		
Ｒ８．３.31～Ｒ８．４.１	37億円	99,342円

上記の評価と課題等

借入に当たっては、見積入札による低利な借入に努めていきます。

令和８年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	251

予算				総合計画		
	款	12	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	03	公債諸費			
	事業	0112030	公債諸費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,566,000	2,565,308	0	692	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

三郷小学校長寿命化工事（R4～）の国庫補助金（学校施設環境改善交付金）の算定対象に変更が生じ、これに伴う起債（学校教育施設等整備事業）の繰り上げ償還により、国への加算金を支払いました。

上記の評価と課題等

引き続き、事業の適正管理等、事業実施所管課に求めていきます。

令和８年度	
部	総務部
課	財政課
係等	財政担当

決算書ページ	251

予算				総合計画		
	款	13	予備費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	予備費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	予備費			
	事業	0114010	予備費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
33,430,000	0	0	33,430,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費50,000,000円について、充用件数25件 充用額16,570,000円を充用しました。

○原因別の内訳は次のとおりです。

１ 災害に起因して必要となった経費	２件	3,608,000円
２ 施設・設備の故障等に起因して必要となった経費	14件	11,664,000円
３ その他（弁護士委託諸経費、火葬等諸経費ほか）	９件	1,298,000円

○充用先科目の内訳は次のとおりです。

１ 需用費	16件（消耗品費３件、修繕費13件）	9,331,000円
２ 役務費	２件（手数料２件）	98,000円
３ 委託料	２件（管理委託料１件、事務事業委託料１件）	204,000円
４ 工事請負費	１件（工事請負費１件）	5,940,000円
５ 負担金・補助金及び交付金	１件（負担金１件）	290,000円
６ 扶助費	２件（その他扶助２件）	457,000円
７ 繰出金	１件（繰出金１件）	250,000円

上記の評価と課題等

予備費については、災害復旧など「突発的」な事由の発生により、緊急かつやむを得ない経費に対し充用するものであり、引き続き適切に運用していきます。

令和８年度	
部	総務部
課	税務課
係等	諸税係

決算書ページ	89

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	税務総務費			
	事業	0102460	税務総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
378,754,000	374,827,598	0	3,926,402	99.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
133,037,180		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（不足額給付分）	2,103,000		
		県民税徴収事務委託金	130,932,080		
		その他税務関係雑入	2,100		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　公平・公正・適正な賦課と捕捉率向上の取り組み

（１）申告受付：令和８年２月４日から３月16日までの間、市内５会場で開催しました。
受付者数：6,748人（前年比 83人減）
LINEを活用した予約システムの導入やe-Tax研修会の開催により、申告者の利便性向上と業務の効率化を図りました。

（２）未申告者の解消：申告勧奨通知の送付や電話連絡を実施しました。

（３）庁内各種内部資料、国、県資料による課税の是認、否認
税務署への閲覧や中信県税事務所の照会、修正申告等適宜に対応し適正な課税に努めました。

（４）課税原票管理システムによる事務の効率化
事業費：5,719,560円（12委託料 1,650,000円、13借上料 4,069,560円）
各種法定調書のイメージ化で、課税、更正事務の効率化に寄与しています。

	給与支払報告書	年金個票	確定申告書	市県民税申告書	その他
イメージ読取	74,197枚	48,293枚	21,207枚	4,449枚	7,793枚

（５）ｅＬＴＡＸ(地方税ポータルシステム)（給与支払報告書、法人市民税の申告、償却資産の申告等について電子データでの送信）による事務の効率化及び税務署への全件データ引継ぎの実施
事業費：13,431,474円(13使用料 5,966,400円、18負担金 7,465,074円)

・地方税電子申告支援サービス

	給与支払報告書	年金個票	法人市民税申告	償却資産申告	給与特徴異動届
全提出件数	65,235件	48,242枚	3,216件	5,202件	4,131件
内電子申告等	48,708件	47,446枚	2,947件	1,864件	990件
前年比増減率	3.48%	0.08%	7.76%	△0.38%	0.25%

	市たばこ税申告	入湯税申告	特徴税額通知のデータ送付	
全提出件数	36件	514件	事業所用のみ	879件
内電子申告等	36件	49件	個人用のみ	4件
前年比増減率	19.44%	6.17%	両方	435件

・市の申告会場で受付けた確定申告データを税務署に送信する「データ引継ぎ」を実施
引継件数：4,258件（前年比 485件減）

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	税務総務費			
	事業	0102460	税務総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（６）軽自動車税（種別割）の課税

長野県市長会との契約に基づき提供される軽自動車申告書(登録・廃車・所有権移転・転出等)のデータ及び軽自動車検査情報市区町村提供サービス業務(J-LIS)に基づき課税事務を行いました。

事業費：1,799,946円（12委託料 1,414,519円　13使用料 385,427円）

〈件数〉（125CC以下のバイク、小型特殊自動車を除く）

申告書取扱委託	申告書データ化業務	J-LIS検査情報	市外転出車両情報
12,396件	11,787件	31,285件	1,037件

なお、環境性能割は市税ですが、長野県が賦課徴収を行っています。

（７）課税の更正

確定申告、住民税申告の他、他市町村及び税務署からの通知、法人からの更正請求、償却資産の修正申告、固定資産税・軽自動車税の減免申請等の事由による更正処理を行いました。

	個人市県民税	法人市民税	固定資産税	軽自動車税
更正件数	6,842件	25件	422件	667件
還付額	16,437,078円	12,918,200円	1,431,200円	26,200円

（８）個人住民税の特別徴収の推進

従業員等の納税の利便性向上のため、原則すべての事業主を特別徴収義務者に指定し、個人住民税の特別徴収を徹底しています。

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
特別徴収義務者数	5,714人	5,856人	5,911人	5,989人	5,992人

２　広報活動の充実等により税に対する理解を深め、納税意識の高揚を図り安定した財政基盤を確保する取り組み

（１）　租税教育推進事業　　事業費　315,723円（07記念品 315,723円）

安曇野市租税教育推進協議会を組織し、税に関する作文・ポスターの募集を市内の高等学校・中学校に呼びかけ、作文490編、ポスター47作品の応募の中から38作品について表彰をしました。租税教室については、市内小学校10校、中学校３校、高等学校２校（合計15校）で開催されました。

市長賞	教育委員会賞	松本税務署長賞外
10 作品	21 作品	７作品

（２）　広報活動

市独自で行う「税に関するポスター」市長賞の２作品を活用し、所得税・市県民税の申告用ポスターを作成し、申告会場、駅、市内金融機関等に掲示し啓発を図りました。

また、税に関する情報を広報紙・ホームページ・デジダルサイネージ・新聞等を活用し、周知に努めました。

上記の評価と課題等

・令和７年度の定額減税については、必要とする扶養調査等を実施し論理チェック・数値等の確認を行い減税の基礎となる課税額を確定しました。今後も税制改正に基づき適正な課税事務を進めます。
・国が推進する税務手続きのデジタル化に伴いｅ-Ｔａｘ（国税電子申告・納税システム）、ｅＬＴＡＸ(地方税ポータルシステム)の周知を図り有効活用に努めます。
・納税意識の高揚を図るため、今後も租税教育や広報活動を関係機関と連携し実施していきます。

令和８年度	
部	総務部
課	税務課
係等	家屋担当・土地係

決算書ページ	91

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	賦課徴収費			
	事業	0102470	資産税費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
67,536,000	66,038,569	0	1,497,431	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
60,650		固定資産土地精通者謝金	60,650		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　固定資産税の公平・公正・適正な賦課を行うための課税資料の把握及び調査の実施

（１）評価替えに係る標準宅地鑑定評価業務　28,188,985円

地方税法及び固定資産評価基準の規定に基づき、宅地の評価に係る標準宅地の適正な時価を求めるため、不動産鑑定士による鑑定評価等を行いました。（評価・評定地点数：397 地点）

（２）評価体系集約化（土地評価システム化）業務　4,807,000円

評価基準等に基づき適正な土地の評価替えを行うことを目的に、市内及び隣接市町村との価格バランス等を確保しつつ、主要な街路及び標準宅地の選定、土地価格比準表などの資料作成を実施しました。

（３）標準宅地時点修正に係る鑑定業務　3,168,154円

地価の下落を固定資産評価額に反映するため市内標準宅地の鑑定評価を行い、令和８年度評価に反映しました。

（４）令和７年建築の新増築家屋532棟の評価を実施し、令和８年度の価格に反映しました。

（５）固定資産税の賦課業務　（免税点未満を含む。）

課税客体	面積・棟・申告者数	評価額（千円）	課税標準額（千円）	納税者数
土　　地	139,007,815㎡	321,780,072	127,775,557	46,006人
家　　屋	72,465棟	211,864,289	211,864,289	
償却資産	3,908人 （内法人2,111人）	96,166,224	94,945,051	

上記の評価と課題等

・償却資産申告のない事業者に対して、所得税申告書の閲覧等により課税客体の調査及び把握し、申告勧奨を行いました。令和９基準の固定資産税の評価替えに向け課税資料を整備し、適正な課税に繋げます。

令和８年度	
部	総務部
課	収納課
係等	管理係・整理担当

決算書ページ	91

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	賦課徴収費			
	事業	0102480	収納費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
59,315,000	56,711,452	0	2,603,548	95.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
40,287,870		督促手数料	228,770		
		県民税徴収事務委託金	40,000,000		
		その他税務関係雑入	59,100		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　滞納整理の取り組み

自主財源の確保と税負担の公平性を図るため、４税（市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税）２料（後期高齢者医療保険料、介護保険料）合わせて、令和６年度末累積滞納額約３億８千２百万円の縮減を目指して滞納整理を実施しました。

具体的な取り組みとしては、現年度徴収の強化として、納税コールセンターによる電話催告や催告書の送付により自主納付を広く推進しました。
市税の現年度収納率は、前年度を0.05ポイント下回る99.30％となりました。

また、差押等の滞納処分、長野県地方税滞納整理機構への移管や連携等を行いました。
過年度の市税滞納額は前年度より約768万円の増額、国民健康保険税についても約174万円の増額となっています。

・催告書の発送　5,205件（対前年比15.87％増）
・差押件数　404件（対前年比45.77％減）
・差押金額　82,370,732円（対前年比28.04％減）
・換価及び自主納付　16,572,180円(対前年比24.38％減)
・執行停止　49件　25,808,732円
・不納欠損処分（市税）　5,997,748円

・納税コールセンター業務委託　5,554,000円
　業務委託により、初期滞納者に対し電話による自主納付の勧奨を行いました。民間の専門事業者へ委託することで、休日や夜間など、納税者が電話に応答し易い時間帯にも納付の呼びかけができることから、年間で34,046,080円（架電件数13,235件）の自主納付がありました。納め忘れによる滞納防止に効果を上げています。

２　徴収体制の強化に向けた取り組み

（１）長野県地方税滞納整理機構への徴収移管
　国民健康保険税を含め100万円以上の高額滞納や不動産公売を要する滞納者などの納付困難案件となっている45件（当初移管件数）について、長野県地方税滞納整理機構へ徴収移管しました。

・徴収移管額　43,008,175円（令和７年６月移管）
・長野県地方税滞納整理機構徴収額　13,458,494円（令和７年４月～令和８年３月滞納整理機構徴収分）
・長野県地方税滞納整理機構への負担金　6,968,000円

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴税費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	賦課徴収費			
	事業	0102480	収納費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）納税相談の実施

期限内納付が困難な納税者や滞納している税金を一括して納付することが困難な方に対して、納税相談を実施し、分割納付等の個々の実情に即した納付計画を提案しました。

・相談による納付計画件数287件

３ 口座振替、コンビニ収納の状況（市税３月末時点　現年度分）

（１） 口座振替納税の推進

納付の利便性と収納業務の簡素化及び納期内納付の促進を図るため、当初納付書(市県民税普通徴収・固定資産税)発送時にハガキタイプの口座振替依頼書と口座振替推進のチラシを同封し、口座振替による納付を勧奨しました。

（ア） 口座振替納税の状況（※３月末時点）

区分 / 税目	令和７年度		口座振替率
	納税義務者 A	口座登録者 B	B/A
市県民税	17,255人	7,712人	44.69%
固定資産税	46,026人	31,516人	68.47%
軽自動車税	34,479人	9,031人	26.19%
合計	97,760人	48,259人	49.36%

（２）コンビニ収納の状況（スマホ決済はバーコード収納によるコンビニ収納連携分）

納付手段の一つとして定着したコンビニ収納（市県民税普通徴収、固定資産税、軽自動車税）の利用実績は以下のとおりです。

（ア）コンビニ納付利用率等

・コンビニ納付件数　　70,887件（スマホ決済含　前年比　1,428件増）
・総納付件数に対する割合　　25.55%（前年比0.01ポイント減）
・口座振替以外の納付件数に対する割合　　61.79%（前年比0.15ポイント減）

（イ）コンビニ取扱手数料　5,602,275円（スマホ決済含　前年比951,981円増）

４ 地方税統一QRコードを活用した電子納付の状況

市県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税の納付書に印刷されたQRコードを読み取ることでスマートフォン決済アプリによるキャッシュレス納付やQRコードに対応する全国の金融機関窓口で地方税の納税ができる電子決済サービスによる納付実績。

・スマホアプリ等を利用した電子決済サービスによる納付　11,316件（前年比2,094件増）
　総納付件数に対する割合　2.78%（前年比0.51ポイント増）
・金融機関窓口でのQRコードを利用した納付　　58,261件（前年比8,006件増）
　総納付件数に対する割合　14.29%（前年比1.93ポイント増）

上記の評価と課題等

長引く物価高により滞納傾向が見受けられますが、滞納が長期化すると生活再建が困難になることから,初期滞納者に対する累積滞納の抑止と早期自主納付を推進するため、引き続き納税コールセンターによる納税勧奨や催告書の送付、滞納者との納税相談を行いながら、滞納額の縮減に取り組みます。

また、今後も自主財源確保の観点と税負担の公平性から、計画的な自主納付を呼びかけるとともに関係課、関係機関との連携協力をしつつ、納税者が市税等を納めやすい環境づくりを進めます。

令和８年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	65

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102020	本庁舎管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
257,520,000	254,432,802	0	3,087,198	98.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
19,182,705		電報電話料（本庁舎）	215,315	その他雑入（本庁舎）	18,654,036
		資源ごみ売却代（本庁舎）	32,318		
		自動販売機設置電気料（本庁舎）	271,466		
		公衆電話料（本庁舎）	9,570		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　歳入

公共施設目的外使用料（本庁舎）　　5,242,266 円

２　歳出

（１）本庁舎総合管理業務　　122,100,000 円

施設の常駐管理、設備管理、警備宿日直、清掃、受付案内、電話交換、郵便物等受発送、植栽管理及び除雪等を一括業務委託しています。

（２）本庁舎の光熱水費等の使用状況

項目	令和５年度		令和６年度		令和７年度	
電気	1,476,068kWh	31,069,639円	1,519,052kWh	41,434,844円	1,458,360kWh	37,705,633円
水道	2,710㎥	768,832円	2,539㎥	697,388円	3,053㎥	962,752円
下水道	5,505㎥	1,193,940円	5,732㎥	1,243,880円	6,222㎥	1,351,680円
灯油	52,000ℓ	6,575,800円	43,800ℓ	5,751,460円	61,200ℓ	8,285,200円

（３）コピー用紙の購入状況

項目	令和５年度		令和６年度		令和７年度	
用紙	8,323,000枚	11,245,712円	6,635,000枚	9,885,480円	7,520,000枚	11,295,504円

３　その他来庁者に関する事項

項目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
休日来庁者	11,275人	11,229人	18,201人
視察	2団体（12人）	3団体（139人）	4団体（74人）

上記の評価と課題等

機器の適切なメンテナンスの実施、職員に対する節電・節水等の呼びかけ等を行い、引き続き経費の抑制に努めます。

本庁舎も開庁から11年経過し、経年による設備故障が発生し始めています。

行政運営に支障を出さないために、必要な修繕を実施するとともに、計画的な設備の更新を図っていく必要があります。

令和８年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	69

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102080	公用車管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
38,156,000	33,404,567	0	4,751,433	87.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,096,540		公有自動車損害共済金	396,540		
		電動車導入事業（脱炭素化債）	2,200,000		
		地域振興基金繰入金	6,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公用車を適切に管理することで安全運行と環境負荷の低減と延命を図りました。
また、任意保険の加入により事故の補償に備えました。

１　主な歳出

（１）燃料費	ガソリン及び軽油	5,563,344 円
（２）役務費	自動車損害共済基金分担金	6,578,250 円
（３）使用料	高速道路等使用料	2,265,296 円

２　公用車の事故

公用車の事故は15件発生しました。そのうち、相手方への損害賠償金（治療費、修理費等）が発生した事故は４件ありました。

３　公用車の更新

市全体では、13台の車両を廃車、６台の車両を購入し、令和８年３月現在の公用車の総数は291台となります。
また、そのうち共用車両１台を環境性能の高い電気自動車に更新しました。

上記の評価と課題等

車両を安全に運行するために点検や整備を行いました。車両を共用管理することで適正な車両台数を維持し、整備不良や点検・車検漏れなどを防ぐよう管理をしています。
また、保険加入や事故対応を一元化していることで効率的な運用をしています。
なお、経過年数が20年以上、または15万㎞以上走行した車両については更新対象に位置づけ、環境に配慮した車両に切り替えていきます。

令和８年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	69

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102083	ＡＥＤ維持管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,686,000	5,807,780	0	878,220	86.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

心臓がけいれんして全身に血液を送れなくなった「心室細動」という状態の際に、電気ショックを与えて心臓のリズムを正常に戻すためにのＡＥＤ（自動体外式除細動器）を市有施設に設置しています。本年度は耐用年数を迎えた本体、パッド及びバッテリーの更新を行いました。
また、必要に応じて「全国ＡＥＤマップ」にＡＥＤの設置場所及び使用可能時間の情報を更新し、利便性の向上を図っています。

１　ＡＥＤの整備状況
（１）保有台数　127 台
（２）設置施設数　107 施設
（３）内貸出用　11 台

２　本体の更新及び新規設置台数

（１）更新（８年毎）	13 台	3,610,200 円
（２）新規	0 台	0 円

３　パッド及びバッテリーの更新

（１）パッド（２年毎）	51 台	1,232,000 円
（２）バッテリー（４年毎）	21 台	965,580 円

４　使用回数　0 回

上記の評価と課題等

ＡＥＤは平成22年度から各施設に整備を開始しました。
市内小中学校に設置しているＡＥＤは、学校開放により夜間・休日等にスポーツクラブ等が活動している現状を踏まえ、全ての体育館へ設置しています。
なお、導入した時期が近く、消耗品も含め多数のＡＥＤが同時に耐用年数を迎えてしまうため、耐用年数を迎える前に確実に更新していく管理が必要となります。

令和８年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	79

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	05	財産管理費			
	事業	0102270	財産管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
49,100,000	46,062,565	0	3,037,435	93.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　財産マネジメント担当

低未利用地の活用及び不要となった財産の処分を行い、自主財源の確保に努めました。

また、市の所管する財産の整理を進めるとともに、建物共済や損害賠償責任に関わる事務を行いました。

（1）主な歳入

使用料	行政財産目的外使用料	24 件	1,561,645 円
財産運用収入	市有土地貸付収入	43 件	5,480,450 円
	市有建物貸付収入	6 件	1,337,868 円
財産売払収入	市有地売払収入	16 件	22,124,795 円
	不用品売払収入（公用車等）	0 件	0 円

（2）主な歳出

保険料	建物総合損害共済	7,307,301 円
	総合賠償補償保険料	8,733,727 円
委託料	普通財産の管理委託料	877,731 円
	固定資産台帳等データ異動更新業務	4,202,000 円
	エネルギーサービスプロバイダー業務	20,072,800 円

上記の評価と課題等

今後も不要となった財産を定期的に処分し、自主財源の確保に努めます。
新電力の導入が可能な施設は、引き続き新電力会社から電力を購入し、電気料金の削減を図ります。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	05	財産管理費			
	事業	0102270	財産管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　施設経営担当

（１）　施設の長寿命化と維持管理コストの低減

公共施設の新築、増改築、改修及び付帯する外構工事のうち、一定金額以上（予定価格が200万円以下の少額随契を除く）の事業を対象として、建設に伴う各種申請書類の作成、設計業務委託、発注者側の工事監督、変更設計・積算の監理等を、施設所管課と共に実施設計の段階から一元的に携わり技術協力しています。

その中で建築コストの適正管理と施設経営の良好な運営支援、長寿命化に憂慮した技術提案や設備機能の最適化を図ることで、維持管理コストの低減に努めています。

（２）　業務実績

実績件数	令和５年度	令和６年度	令和７年度
建設工事の発注、監督員業務	67 件	66 件	51 件
設計・監理業務に係る発注、監督、積算等	156 件	128 件	85 件
新築、改修等の設計業務	101 件	77 件	47 件
工事に伴う監理業務	55 件	51 件	38 件
工事費及び設計監理料（見積書）の算定	313 件	272 件	300 件

上記の評価と課題等

建物の良好な維持保全を支援する施設経営担当として、工事全般に主体的に携わり、施設所管課と共に実施した建築、設備等の工事、設計業務委託等については、公共建築としての適正な品質と機能を確保することに努め、概ね計画どおりに実施しました。

今後も公共施設として必要な設備機能を維持しながら、適時適切な維持保全を施すことにより、建築工事におけるコスト、工法、工程の最適化、効率化を図るとともに、利用者の視点に立ったきめ細かな施設整備の充実と建物を健全に保持することに努めて参ります。

令和８年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	79

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102090	公共施設管理方針調整事業		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
161,000	47,820	0	113,180	29.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　指定管理者制度導入事務

（１） 安曇野市公の施設指定管理者審査委員会の開催　　２回

11施設（公募 7施設、非公募 4施設）の募集要項の確認及び団体審査を実施しました。

（２） 指定管理者制度が導入されている施設数

公募 34施設、非公募46施設　計80施設

２　公共施設再配置計画の進捗管理

公共施設再配置計画10年計画については、市の政策との関連性や市民ニーズなども踏まえた上で、関係課へのヒアリングを実施し、譲渡若しくは廃止とした施設については、地元を含め利害関係者等への早期の説明と合意形成に向けた取り組みを指導しました。

向こう10年に譲渡若しくは廃止、改修を予定する施設及び建築後30年、60年の節目を迎える施設をまとめた「公共施設再配置計画10年計画（令和８年度版）」の更新・公表をしました。

上記の評価と課題等

指定管理者制度導入事務については、指定管理者の選定及びモニタリングを通じ、市民の利便性の向上に寄与できました。

公共施設の譲渡若しくは廃止を行っていくには、地域住民や関係者などの理解を得るために早い段階から丁寧な説明を行い、合意形成を図っていく必要があります。

令和８年度	
部	総務部
課	財産管理課
係等	財産マネジメント担当

決算書ページ	83

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102340	土地開発基金費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
676,000	674,626	0	1,374	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
623,129		土地開発基金利子	623,129		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

土地開発基金は、公用もしくは公共用に供する土地又は公共の利益のために取得する必要のある土地を先行取得することにより、公共事業の円滑な執行を図ることを目的としています。
本年度の新たな土地の取得はありませんでした。

上記の評価と課題等

土地開発基金による公共用地の先行取得の必要性は薄れてきています。
今後も適正な管理運営に努めていきます。

令和８年度	
部	総務部
課	契約検査課
係等	検査係

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102180	検査管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
285,000	76,660	0	208,340	26.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　検査関係

（1）　契約額が200万円以上の工事および100万円以上の業務委託と、150万円以上の物品購入を対象に実施しました。令和７年度の検査総数は492件でした。

年度末	種別	危機管理課	総務部	政策部	市民生活部	福祉部	保健医療部	農林部	商工観光スポーツ部	都市建設部	上下水道部	教育部	選挙管理委員会	農業委員会	総数（件）
令和5年度	部計	13	168	20	9	4	12	37	16	123	85	54	2	1	544
	工事	3	61	0	2	0	0	12	6	68	47	6	0	0	205
	業務	1	59	15	7	1	11	22	9	48	30	10	2	1	216
	物品	9	48	5	0	3	1	3	1	7	8	38	0	0	123
令和6年度	部計	15	161	14	23	15	13	29	14	83	81	58	2	0	508
	工事	4	49	0	1	5	1	6	4	42	50	11	0	0	173
	業務	1	52	11	18	5	10	20	9	38	26	15	2	0	207
	物品	10	60	3	4	5	2	3	1	3	5	32	0	0	128
令和7年度	部計	**13**	**161**	**18**	**17**	**7**	**8**	**27**	**26**	**84**	**79**	**45**	**7**	**0**	**492**
	工事	1	53	0	1	2	0	4	11	42	46	15	0	0	175
	業務	4	51	15	12	3	6	23	14	40	31	13	6	0	218
	物品	8	57	3	4	2	2	0	1	2	2	17	1	0	99

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102180	検査管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）　契約額300万円以上の107件の工事を対象に成績評定を実施しました。
評定点の平均は80.7点となりました。（企業会計分を除く）

（件）

	評定総数	平均点（点）	区分	44点以下（劣る）	45～59点（やや劣る）	60～71点（普通）	72～84点（良好）	85点以上（優良）
令和５年度	116	80.1		0	0	1	105	10
令和６年度	88	80.4		0	0	3	80	5
令和７年度	107	80.7		0	0	0	99	8

２　安曇野市技術審査会関係
市の技術系職員で組織する安曇野市技術審査会において、工事施工の適正化と施工技術の向上を図るため令和７年度優良建設工事表彰式を開催しました。

（１）優良工事表彰の実施（85点以上）

工　事　名	施　工　者
令和６年度　道の駅情報館・公衆トイレ 屋根外壁改修工事	田沢川窪建設 有限会社
令和６年度　鐘の鳴る丘集会所　大規模改修工事	株式会社 相模組 中信支店
令和６年度　明科子どもと大人の交流学習施設 空調設備等改修工事	株式会社 大和ホーム工業 安曇野営業所
令和5年度　（債務負担行為）堀金学校給食センター 設備更新事業　厨房機器等更新工事	吉川・丸山硝子特定建設工事 共同企業体
令和６年度　市営住宅アルプス団地住宅棟・ 雑排水処理施設解体工事（Ⅲ期）	株式会社 振興建設

上記の評価と課題等

品質や出来栄えに劣る工事物件はなく、より質の高い施設整備につながっているものと伺えます。
課題としましては、年度末に完了・しゅん工検査が非常に集中し、検査時間の限られたなかであり、しゅん工検査後の工事成績評定を行うための考査項目の運用に影響を及ぼすおそれもあり、業務完了・しゅん工時期の平準化が求められます。

令和８年度	
部	総務部
課	契約検査課
係等	契約係

決算書ページ	77

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	05	財産管理費			
	事業	0102260	契約管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,831,000	1,430,282	0	400,718	78.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　契約締結状況について

(1) 建設工事等

契約件数は168件で、うち一般競争入札分129件、指名競争入札８件、随意契約31件でした。

年度	区分	土木工事	舗装工事	管工事	電気工事	建築工事	その他	契約数	合計
Ｒ５	一般会計	30件	21件	10件	6件	36件	38件	141件	193件
	企業会計	10件	7件	0件	1件	0件	34件	52件	
Ｒ６	一般会計	29件	14件	14件	7件	27件	47件	138件	193件
	企業会計	12件	7件	0件	0件	0件	36件	55件	
Ｒ７	一般会計	30件	17件	9件	5件	28件	30件	119件	168件
	企業会計	8件	7件	1件	1件	1件	31件	49件	

(2) 物品役務・コンサルタント業務等

契約件数は609件で、一般競争入札16件、指名競争入札213件、随意契約380件でした。

年度	区分	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料	備品等	契約数	合計
Ｒ５	一般会計	0件	24件	17件	452件	40件	58件	591件	628件
	企業会計	0件	1件	0件	35件	0件	1件	37件	
Ｒ６	一般会計	0件	23件	12件	461件	41件	55件	592件	627件
	企業会計	0件	2件	0件	33件	0件	0件	35件	
Ｒ７	一般会計	0件	21件	14件	437件	65件	29件	566件	609件
	企業会計	0件	2件	0件	38件	3件	0件	43件	

2　使用料　　入札情報システム等使用料　　63,461円

上記の評価と課題等

地方自治法施行令の一部改正により、少額随意契約の基準額が引き上げられたことを受け、安曇野市財務規則等関係法令の一部を改正し、令和７年７月１日より少額随意契約の基準額の引き上げを行いました。

入札参加資格の期限切れに伴い、申請のあった事業者に対し、令和７年度から３年間分の資格を付与しました。また、建設工事市内本店事業者87者に対し、資格付与と合わせて新たな等級格付けを行いました。物品等の入札参加資格については、令和７年度から随時申請の受付を開始し、年間通して登録することが可能となりました。

選挙管理委員会事務局

令和８年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	93

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	選挙管理委員会費			
	事業	0102500	選挙管理委員会事務費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,158,000	18,647,517	0	510,483	97.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,139		在外選挙人名簿登録事務委託費	12,139		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公平・公正な選挙執行のためには、正確な有権者把握が重要なため、選挙管理委員会を開催し、適正な選挙人名簿の調製を行いました。

また、各種選挙管理委員会連合会の総会や事務研究会などに出席し、県内各市との情報交換を行い、事務の改善に努めました。

（１）選挙管理委員　４名
（２）選挙管理委員会定例会　12　回開催
　　選挙管理委員会臨時会　９　回開催

上記の評価と課題等

各種選挙の執行に備え、公正・公平で正確な選挙事務を行うことができるよう準備を行い、参議院議員通常選挙、市長・市議会議員一般選挙、及び急な市長選挙、衆議院議員総選挙を適切に執行することができました。

近年、全年代で投票率が低下してきており、誰もが投票しやすい投票環境を検討していく必要性があります。

令和８年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	95

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	明るい選挙推進費			
	事業	0102510	明るい選挙推進事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
706,000	578,432	0	127,568	81.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市明るい選挙推進協議会の主催により、市内小中学校に「明るい選挙推進ポスターコンクール」の作品を募集し、市審査会を経て県審査会へ出展しました。

県審査へ出展した51作品を市役所ロビーに展示し、広く市民へ公開するとともに、応募者に対して記念品を贈答しました。

（１）明るい選挙推進協議会委員　８名

（２）明るい選挙推進ポスターコンクール応募状況　合計　９校 274点

（内訳：小学校　７校 251点、中学校　２校 23点）

（３）記念品　啓発物品（ボールペン等）179,597円

また、中信四市統一の取り組みとして、市内在校の高校生への啓発を目的に啓発物品の配布を行いました。あわせて、選挙管理委員と学校長及び生徒代表との懇談を行い、主権者教育に関する意見交換を行いました。

（１）配 布 先 豊科高校・南安曇農業高校・穂高商業高校・明科高校

（２）啓発物品 選挙啓発チラシ、啓発物品（蛍光ペン）1,500 本

（３）決 算 額 189,750 円

上記の評価と課題等

将来の有権者である児童、生徒にポスター制作に取り組んでもらうことで選挙に関心を持ってもらうだけでなく、明るい選挙実現の一助とすることができました。

また、若年層の投票率向上の取り組みとして高校で生徒代表との懇談を実施し、率直な意見交換を行うことができました。

さらに効果的な啓発について、随時検討を進めます。

令和８年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	95

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	03	参議院議員選挙費			
	事業	1120100	参議院議員選挙費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
55,314,000	55,308,339	0	5,661	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
53,663,539		参議院議員選挙委託金	51,683,539		
		衆議院議員選挙委託金	1,980,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

参議院議員通常選挙の執行管理を行いました。

公示日	令和７ 年７ 月３ 日
期日前投票期間	令和７ 年７ 月４ 日～令和７ 年７ 月19 日まで（16 日間）
投開票日	令和７ 年７ 月20 日
当日有権者数※	男38,957 人 女41,826 人 計80,783 人
投票者数※	男24,665 人 女25,394 人 計50,059 人
投票率※	男63.31％ 女60.71％ 計61.97％

※県選出

特定財源のうち、衆議院議員選挙委託金の1,980,000円は、参議院議員選挙委託金として交付されるべきものでしたが、国の財源不足のため、衆議院議員選挙委託金として交付されたものです。

上記の評価と課題等

選挙人名簿の調製、入場券の発送、公営ポスター掲示場の設置、投開票所の設置などを着実に実施し、適切に選挙を執行することができました。

また、投開票管理者・職務代理者・立会人などを担っていただいた地域の皆様、そして投開票事務に携わっていただいた多くの職員の協力により、適正な選挙を執行することができました。

令和８年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	95

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	04	市長・市議会議員選挙費			
	事業	0110515	市長・市議会議員選挙費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
87,773,000	87,765,402	0	7,598	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市長選挙（無投票）及び安曇野市議会議員一般選挙の執行管理を行いました。

告示日	令和７ 年10 月５ 日
期日前投票期間	令和７ 年10 月６ 日～令和７ 年10 月11 日まで（６ 日間）
投開票日	令和７ 年10 月12 日
当日有権者数※	男38,727 人 女41,547 人 計80,274 人
投票者数※	男18,315 人 女19,772 人 計38,087 人
投票率※	男47.29% 女47.59% 計47.45%

※市議選

上記の評価と課題等

市長選は無投票となりましたが、投票に向けた準備を行いました。市議選では、選挙人名簿の調製、入場券の発送、公営ポスター掲示場の設置、投開票所の設置などを着実に実施し、適切に選挙を執行することができました。

また、投開票管理者・職務代理者・立会人などを担っていただいた地域の皆様、そして投開票事務に携わっていただいた多くの職員の協力により、適正な選挙を執行することができました。

令和８年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	97

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	05	市長選挙費			
	事業	0110011	市長選挙費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
22,256,000	22,249,620	0	6,380	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

前市長急逝に伴う市長選挙（無投票）の執行管理を行いました。

告示日	令和８ 年１ 月11 日
期日前投票期間	無投票
投開票日	令和８ 年１ 月18 日
有権者数※	男39,020 人 女41,823 人 計80,843 人
投票者数	無投票
投票率	無投票

※告示日時点

上記の評価と課題等

結果として無投票でしたが、選挙人名簿の調製、入場券の発送、公営ポスター掲示場の設置等、選挙執行の準備を行いました。

令和８年度	
部	選挙管理委員会事務局
課	選挙管理委員会事務局
係等	選挙管理委員会事務局

決算書ページ	97

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	選挙費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	衆議院議員選挙費			
	事業	0102550	衆議院議員選挙費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
55,187,000	53,207,924	0	1,979,076	96.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
53,207,924		衆議院議員選挙委託金	53,207,924		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の執行管理を行いました。

公示日	令和８ 年１ 月27 日
期日前投票期間	令和８ 年１ 月28 日～令和８ 年２ 月７ 日まで（11 日間）
投開票日	令和８ 年２ 月８ 日
当日有権者数※	男38,909 人 女41,730 人 計80,639 人
投票者数※	男24,228 人 女24,925 人 計49,153 人
投票率※	男62.27％ 女59.73％ 計60.95％

※小選挙区

上記の評価と課題等

選挙人名簿の調製、入場券の発送、公営ポスター掲示場の設置、投開票所の設置などを着実に実施し、適切に選挙を執行することができました。

また、投開票管理者・職務代理者・立会人などを担っていただいた地域の皆様、そして投開票事務に携わっていただいた多くの職員の協力により、適正な選挙を執行することができました。

監査委員事務局

令和８年度	
部	監査委員事務局
課	監査委員事務局
係等	監査委員事務局

決算書ページ	101

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	監査委員費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	監査委員費			
	事業	0102640	監査委員事務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,582,000	26,948,141	0	633,859	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,000		監査委員事務局雑入	30,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

監査等の実施状況は次のとおりです。

１　例月出納検査
　地方自治法第235条の２第１項の規定による例月出納検査を実施（年12回）

２　決算審査及び基金運用状況審査
　地方自治法第233条第２項及び同法第241条第５項並びに地方公営企業法第30条第２項の規定による決算審査及び基金の運用状況審査を実施（令和７年６月16日～８月５日）

３　地方公共団体財政健全化判断比率等審査
　地方公共団体の財政の健全化に関する法律第３条第１項の規定による健全化判断比率審査を実施（令和７年７月31日～８月５日）、同法第22条第１項の規定による資金不足比率審査を実施（令和７年６月16日～８月５日）

４　内部統制評価報告書審査
　地方自治法第150条５項の規定による内部統制評価報告書審査を実施
　（令和７年７月10日～８月13日）

４　定期監査
　地方自治法第199条第１項及び第４項の規定による実地監査及び定期監査を実施
　（令和７年10月14日～令和８年１月14日）
　実地監査：たつみ認定こども園及び三郷西部認定こども園

５　財政援助団体等監査
　地方自治法第199条第７項の規定による財政援助団体等監査の対象となる団体について実施
　（令和８年１月16日～４月23日）
　監査対象団体：信州安曇野ハーフマラソン実行委員会

上記の評価と課題等

監査計画に基づき各種監査等を実施し、その結果の報告・公表を行い、市の事務等の改善に寄与しました。

今後も都市監査委員会等で開催する研修会に参加し、有効的な監査等の実施に努めます。

公平委員会事務局

令和８年度	
部	公平委員会事務局
課	公平委員会事務局
係等	公平委員会事務局

決算書ページ	101

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	07	公平委員会費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	公平委員会費			
	事業	0102650	公平委員会事務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
597,000	325,880	0	271,120	54.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公平委員会委員　　３人

２　公平委員会事務局　２人（議会事務局併任）

３　共同設置する団体　５団体（安曇野市、穂高広域施設組合、安曇野松筑広域環境施設組合、
　　安曇野・松本行政事務組合、安曇野市・松本市山林組合）

４　公平委員会の活動状況
（１）公平委員会　　１回開催　［報酬：28,500円］
（２）勤務条件に関する措置の要求の状況　　なし
（３）不利益処分に関する審査請求の状況　　なし
（４）職員からの苦情の処理の状況　　なし
（５）研修会等への参加　［費用弁償・旅費：153,480円　負担金：58,400円］
　ア　長野県公平委員会連合会総会・研究会
　　（令和７年５月30日　上田市、委員１人・事務局１人）
　イ　全国公平委員会連合本部研究会
　　（令和７年７月24日・25日　東京都、委員２人・事務局１人）
　ウ　全国公平委員会連合会北信越支部総会・研究会
　　（令和７年10月２日・３日　富山県滑川市、委員２人・事務局１人）
５　地方公務員法第53条に基づく職員団体の登録数　２団体
　（安曇野市教職員組合、安曇野市職員労働組合）

上記の評価と課題等

勤務条件に関する措置の要求、不利益処分に関する審査請求及び職員からの苦情の処理は、ありませんでした。

各研究会に参加し、各種制度内容や現在の行政課題、公平審査業務の状況などが確認できました。

今後も公平かつ適切な判断による対応に努めるよう、各種研究会等にも参加しながら取り組んでいきます。

会計課

令和８年度	
部	会計管理者
課	会計課
係等	出納係

決算書ページ	77

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	04	会計管理費			
	事業	0102240	会計管理費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
39,563,000	39,202,854	0	360,146	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,304,180		財務会計処理実費徴収	1,300,000		
		会計雑入	4,180		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

①　資金の保管及び運用
　歳計現金、歳入歳出外現金は、ペイオフ対策として指定金融機関等の決済用預金（無利息普通預金）で保管し、比較的余裕のある際に一部を短期定期預金により運用しました。
　基金は、資金運用方針に基づき、全体を定期預金（85億円）と債券（65.5億円）にて運用し、運用収益（65,955千円）は、各基金へ配分しました。また債券は地方債など、10億円購入しました。
　歳計現金が不足した4月1日から5月30日まで45億円、10月14日から11月6日まで20億円、12月9日から3月31日まで10億円、1月27日から3月31日まで10億円、2月19日から3月31日まで20億円、3月25日から3月31日まで17億円を、財政調整基金及び公共施設整備基金から繰替え運用しました。
　各庁舎や施設では、窓口等の収納用につり銭用現金（44箇所・1,595千円）を保管しました。
　11月から12月に保管場所31か所の抜き打ちつり銭検査を実施しました。いずれの場所においても、「安曇野市公金等現金取扱（窓口収納）マニュアル」に沿った取り扱いを確認しました。
②　審査・出納事務
　法令及び財務会計の手引き内容等に準じて収入支出の審査確認・出納事務を実施、出納閉鎖後には、決算書の調製を行いました。また、4月・10月には新規採用職員研修会、7月に延べ４回の予算事務担当者及び担当係長を対象に会計事務講習会(参加者延べ162名)を開催し、適法かつ適正な支払い事務及び収入事務となるよう周知を行いました。
③　備品台帳、指定物品管理事務
　備品の購入や所管換え、廃棄など、備品台帳の確認を行い備品システムのデータ更新を行いました。
　指定物品の市共通使用封筒等を一括印刷発注し、払い出しを行いました。
④　指定金融機関等の検査
　2月に、地方自治法施行令第168条の4の規定に基づき、指定金融機関及び指定代理金融機関の検査を行い、いずれも適正に処理されていることを監査委員に報告しました。

上記の評価と課題等

　適正かつ効率的な会計事務の処理となるよう、担当への指導や講習会などを行い、適正な公金の管理・運用・執行ができました。
　今後も講習会等を行い、職員の意識、能力の維持向上を図り、適正な会計事務に努めます。
　公共料金明細通知サービスの利用拡充により、全庁的な伝票起票事務の負担軽減を進めます。
　つり銭用現金等の管理については、毎年検査を行い、適正な公金等現金の取扱いになるよう指導していきます。

政策部

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	79

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102320	企画総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
66,560,000	59,244,168	0	7,315,832	89.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,279,181		土地利用規制対策交付金	36,000	安曇野ナンバー導入経費負担金	378,361
		文書館刊行物等頒布代	865,920		
		地域おこし協力隊員用住居借上料（隊員自己負担分）	198,900		
		地域振興基金繰入金	16,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　実施計画（2026(令和８)年度-2028(令和10)年度）の策定

実施計画は、直近の行政評価の結果や各種個別計画の進捗、社会経済情勢等を踏まえた上で、令和５年度からスタートした第２次安曇野市総合計画・後期基本計画の目標達成に向けて、３か年を計画期間として策定しました。

また、実施計画の策定にあたっては、以下の３点を基本的な考え方としました。

・第２次安曇野市総合計画・後期基本計画で示す５つの「価値創出プロジェクト」を実施する事業
・施策の推進に重要であり、各課が重点的に取り組む事業
・施設を新設、改築、用途変更、廃止するハード事業（総額5,000万円以上 又は 財源が地方債）

2　行政評価の実施

行政評価は、事務事業評価、施策評価、政策評価に加え、市民意識調査により総合的に点検するとともに、総合計画審議会において進捗評価を実施しました。

行政評価の結果については、議会へ情報提供したほか市ホームページに公表するとともに、実施計画策定にあたっての基礎資料としました。

※令和５年度に総合戦略を総合計画に統合したため、本評価は総合戦略の効果検証を兼ねる。

3　広域行政

全国的に話題となっている事柄（今回は有害鳥獣対策）について、中信地区の４市長による取組み状況の共有や意見交換を実施したほか、松本広域連合の総務費部分の負担金を支出しました。

・第43回中信四市市長懇談会
（令和８年２月２日(月)/ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん堂）

4　小説『安曇野』による地域振興

安曇野の名を全国に広めるきっかけとなった小説「安曇野」をきっかけに、安曇野市の魅力発信や知名度向上に向けた取り組みを実施しました。

令和７年度は、主に若者向けの紹介動画の制作や過去に作成し好評だった小説「安曇野」の紹介パンフレットの増刷を行いました。

5　過疎対策

令和６年に引き続き、明科地域の活性化を任務とする地域おこし協力隊２名を雇用し、明科地域の活性化や賑わいづくりに向け活動しました。

なお、令和８年２月末に、隊員の１名は地域おこし協力隊としての活動を終了し、今後は民間の立場から地域の活性化に尽力いただくこととなりました。

※東部アウトドア拠点関連の取組みは、「東部アウトドア拠点整備事業」のページを参照。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102320	企画総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

６　安曇野ナンバー推進事業

令和７年５月７日（水）に安曇野ナンバーの交付を開始しました。
交付記念イベントの開催、チラシ・ポスターなどの作成や広報紙への掲載を通じ、住民に制度の周知を図りました。

・安曇野ナンバー交付記念セレモニー
（令和７年５月11日（日）/国営アルプスあづみの公園（堀金・穂高地区）　野の休憩所にて）
関係４市町村の首長によるナンバープレート除幕などを実施
・図柄ナンバープレートの申込状況（R8.3.31現在）
1,956件（カラー：1,527件、モノクロ：429件）

７　市制施行20周年記念事業（企画担当分）

・プロジェクションマッピング（令和７年９月に４日間/ANCアリーナ柔剣道場/1,249人来場）
市制施行20周年記念式典に合わせ、市内中学・高校生や企業、京都芸術大学と連携し、プロジェクションマッピング作品を制作しました。

・出張！なんでも鑑定団　in 安曇野（令和７年12月22日（日）/豊科公民館ホール）
鑑定品の応募は207名から274点、観覧の応募は300組の定員に対し約1,500組の応募がありました。公開収録の模様は、２月24日にテレビ東京で、長野県ではテレビ信州において３月15日に放映されました。

・おかあさんといっしょ宅配便　ファンターネ！小劇場（令和８年３月22日（日）/豊科公民館ホール）
２回の公演で実施しました。イベントには、約300組の募集に対し1,450組の応募があり、当日は、人気キャラクター・ファンターネ！の仲間たちと歌のお姉さんによるステージショーが行われ、訪れた親子連れが一緒に歌ったり踊ったりして楽しみました。

・市民提案事業補助金
安曇野市制施行20周年記念事業の実施に当たり、市民主体で実施する事業に対して補助金を交付し、市民の積極的な参加を促進し、事業の充実を図りました。
全41団体に対し、16,266,000円を交付しました。

８　その他地域振興

- 電源立地地域交付金（歳入）　決算額10,875,000円（充当先：認定こども園管理費）
- 市町村振興協会交付金（歳入）　決算額28,058,268円（充当先：図書館費）
- あづみ野テレビ株式会社出資配当金（歳入）　決算額　512,500円（一般財源）
- 企業版ふるさと納税（歳入）　決算額 7,900,000円（23社からの寄附・充当先は次のとおり）

いきいきと健康に暮らせるまちを推進する事業｜320万円	自然と暮らしやすさが調和するまちを推進する事業｜90万円
魅力ある産業を維持・創造するまちを推進する事業｜160万円	学び合い　人と文化を育むまちを推進する事業｜0円
安全で安心に暮らせるまちを推進する事業｜220万円	みんなでともにつくるまちを推進する事業｜0円

上記の評価と課題等

安曇野ナンバーについては、交付開始以降、図柄入りナンバープレートの申込も順調です。今後は、ナンバー導入の効果をさらに広げるための普及啓発を行っていきます。

市政施行20周年記念事業は、新たな安曇野市の出発点として、市民・団体・企業・教育機関等との連携のもと実施しました。各事業を通じて、市民の安曇野市への愛着と誇りの醸成、安曇野の魅力発信に一定の成果を上げました。
これらの周年事業により培われたノウハウや関係団体等との連携などを今後どのように活用していくかが課題と考えます。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	81

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102330	公共交通事業		施策	持続可能な公共交通の形成

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
173,157,000	172,777,849	0	379,151	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公共交通事業

（１）デマンド交通「あづみん・のるーと安曇野」、コミュニティバス（市定時定路線バス）、山岳路線バス「三股線」の運行

ア　デマンド交通「あづみん・のるーと安曇野」

「あづみん・のるーと安曇野」は平成19年９月から運行を開始しました。輸送人数確保及び運行効率向上のため１乗車の移動範囲に制限はあるものの、自宅から目的地までドアツードアでの送迎が可能で、バス停等まで徒歩で長距離を移動する必要がありません。主に高齢者の通院や買い物、障がい者の通所などを目的として多く利用をいただいています。

年末年始（12/29～1/3）を除く通年運行しており、計16台の車両が市内全域（山間地等を除く）を網羅し、交通空白を作らないよう稼働しています。運行は市内タクシー事業者、予約等運行管理は市社会福祉協議会に委託しています。

※令和７年度　運行実績等
・利用者延べ人数102,417人（１日平均285人）　前年比4.5%増　※過去最多
・デマンド交通運行市負担金　138,610,382円

○デマンド交通の充実に向けた取組み
・キャッシュレス決済の導入
・経路検索アプリ「乗換案内」（株式会社ジョルダン提供）による予約導入
・LINEミニアプリへの機能追加（お知らせ機能、バスロケーション機能）

イ　コミュニティバス（市定時定路線バス）

朝夕の通勤通学時間帯に、デマンド交通車両等を活用して定時定路線型のバスを運行しています。運行区間は、穂高明科路線、豊科田沢路線の２路線、主な利用者は市内の高校に通う学生です。

デマンド交通と同様、運行は市内タクシー事業者に委託しています。

※令和７年度　運行実績等
・利用者延べ人数22,599人（１日平均94人）　前年比6.8%増　※過去最多
・定時定路線運行市負担金　11,991,530円

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102330	公共交通事業		施策	持続可能な公共交通の形成

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

ウ　山岳路線バス「三股線」

三股登山口駐車場や周辺林道の混雑に伴い公共交通（タクシー）の往来に支障をきたしている状況を踏まえ、林道等へのマナー違反駐車の解消及び市街地と登山口を連絡する自家用車以外の移動手段の確保を目的として、路線バスの実証運行を行いました。

令和７年度は７月19日（土）～10月13日（月）の期間、土日祝日等を中心に41日間運行しました。

※令和７年度　運行実績等
・利用者延べ人数　1,147人
・三股線運行市負担金　2,804,400円（運賃収入　2,291,500円）

（２）市地域公共交通協議会等

ア　定例総会

年２回の総会を開催し、前年度決算報告や次年度事業計画、デマンド運行の国庫補助金申請にかかる計画の審議、コミュニティバスや三股線、あずみ野エンジョイバス、中房線など、市内運行路線の時刻表等について協議・決定しました。

イ　市地域公共交通計画の推進
・JR東日本長野支社と連携し利用促進啓発を実施（JR大糸線市内駅開業110年記念事業）
・安曇野市の交通ネットワーク再編に向けた調査、研究

ウ　負担金

安曇野市地域公共交通協議会への負担金額　　160,689,340円
（内、事業費（運行費）　151,408,525円　運営費 9,280,815円）

２　公共交通連携事業

（１）篠ノ井線松本地域活性化協議会

安曇野市は本協議会の事務局を務めています。定期総会を開催し、前年度決算報告や次年度事業計画等について協議、決定しました。

利用促進事業として、10月11日から12月14日までの間、インスタグラムを活用した投稿キャンペーン「ローカル線フォトリレーキャンペーン2025」を開催しました。実施にあたっては、大糸線利用促進輸送強化期成同盟会や大糸線活性化協議会、民間鉄道事業者にも参画、協力いただきました。

（２）大糸線利用促進輸送強化期成同盟会

安曇野市が参画する同期成同盟会において、謎解きイベント（８月１日～12月21日）やカレンダー配布、特設サイトの運営などを行いました。

上記の評価と課題等

デマンド交通については、土日祝日の利用者の増加もあり、運行開始以降最多の利用者数となりました。実利用者数も順調に増加しており、令和４年度以降実施している予約ツールの充実（スマートホンアプリやLINEでの予約）や乗降予定時刻の見える化などの取り組みの成果が出ていると考えています。

さらなるサービス向上のため、令和７年度はキャッシュレス決済や経路検索アプリとの連携を実装させました。持続可能な地域公共交通を継続・確保するため、引き続き事業改善を行います。

一方で、デマンド交通の需要超過の状態は依然として続いており、エリア及び時間帯によっては予約が取りづらい状況です。関係者との協議により日々改善を図り、予約をお断りする件数自体は前年度に比べ減少していますが、今後はデマンド交通にかかる負荷を軽減し、安曇野市全体の交通ネットワークを再編していく必要があると考えています。運行事業者や既存公共交通関係者、庁内関係部署とも継続的に協議・検討を行い、改善に努めます。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	89

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102430	国内友好交流事業		施策	交流活動の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,779,000	5,917,523	0	861,477	87.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
931,000		交流事業参加者負担金	931,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　国内友好交流事業

（１）江戸川区

① 江戸川総合人生大学20期生と安曇野市の市民活動団体との交流(11月11日)
・人生大学の北野大学長含む65名が来訪。
・安曇野市からは、安曇野案内人倶楽部・あづみの国際化ネットワーク・WS安曇野の３団体が参加。

② 安曇野市・江戸川区　交流囲碁対局(３月７～８日)
・江戸川区から31名、安曇野市から34名（うち子供５名）の計65名が参加し、対局を通じて交流。

（２）三郷市・三郷町

①第39回三郷・安曇野友好都市交流推進協議会（５月21～22日、安曇野市）

②三郷・安曇野住民ふれあい事業（12月16～17日）
・対象…健康づくり・食関係団体
・参加…以下56名が参加
三　郷　市：三郷市食生活改善推進員協議会17名、事務局２名
三　郷　町：いきいき100歳体操お世話役18名、事務局２名
安曇野市:三郷音頭保存会／農村生活マイスター15名、事務局２名

（３）武蔵野市

①第34回武蔵野市交流市町村協議会総会（７月17～18日、広島県大崎上島町）

②第46回あづみ野祭りにおける関係者受入（７月26日）
武蔵野市から市長、市議会正副議長、事務局２名が来訪し、安曇野市関係者と意見交換会を開催。

③第34回武蔵野桜まつりに市長、市議会議長が出席（３月29日）

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102430	国内友好交流事業		施策	交流活動の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）東金市
①2026東金・九十九里波乗りハーフマラソン（２月21～22日）
市長、市議会議長が来賓として出席。行事前日には、東金市関係者との意見交換会に参加。

（５）福岡市東区
①福岡市東区との市民交流事業　（第64回博多どんたく港まつり参加）（５月３～５日）
公募市民19名および市長などの市関係者４名の計23名が参加。

（６）真鶴町
①令和７年度は、国内友好交流事業における実施事業はありませんでした。
（物産販売及び青少年交流は、各所管にて実施。）

２　国内友好都市交流負担金　等

（１）友好都市関連協議会へ負担金を支出
① 武蔵野市交流市町村協議会　100,000円
② 三郷・安曇野友好都市交流推進協議会　250,000円

（２）安曇野市開催イベントへの参加
①「信州安曇野ハーフマラソン」への参加（６月１日）
・東金市から鹿間陸郎市長、坂本賀一市議会議長が来賓として出席したほか、東金市職員と共に給水ボランティアに従事。
・江戸川区から文化課長が来賓出席
②安曇野市制施行20周年記念友好都市交流会の開催（９月27日）
・記念式典前日に、７つの友好都市の首長・議長・職員などの関係者23名が交流会に参加。
・参加者には、同日開催の長野県無形民俗文化財「穂高神社御船祭」と、マルシェイベント「あづみ野てらす」を見学いただいた。

（３）市民団体による活動
次の市民団体主催の交流事業に補助金を交付しました。
①武蔵野市とのサッカー交流（８月２日、109名招待）（交付額：67,989円）
②三郷市・三郷町とのスポーツ交流（９月６日、76名招待）（交付額：76,000円）
③江戸川区とのサッカー交流（１月10～11日、25名訪問）（交付額：50,000円）

（４）物販及び青少年交流
上記のほか、各友好都市での物産販売（農政課所管）、青少年交流（子ども家庭支援課所管）は各所管が担当しました。

上記の評価と課題等

友好都市と例年実施しているイベント等において活発な交流活動をすることができました。
特に、市制施行20周年に合わせて実施した交流会では、10年ぶりに国内７つの全友好都市の関係者が一堂に会して交流を深めることができました。
趣味や余暇の過ごし方の多様化により、近年若年層の交流事業参加が少ない傾向にあります。互いの地域への関心を高め双方の地域活性化につながる交流を継続するために、幅広い世代・分野の皆様に関わってもらえるよう工夫しながら、今後も交流事業を展開していきます。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	89

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0102440	国際友好交流事業		施策	交流活動の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
620,000	596,986		23,014	96.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
586,986		青少年交流事業支援基金利子	38,757		
		国際交流基金利子	48,229		
		国際交流基金繰入金	300,000		
		地域振興基金繰入金	200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　国際交流団体への負担金　（決算額：510,000円）

（１）　安曇野・クラムザッハ友好会　（負担額：500,000円）

同友好会では、姉妹都市のオーストリア共和国クラムザッハとの交流や同国の文化等についてＰＲするため、令和７年10月19日（日）に「【安曇野市制20周年記念】第７回安曇野クラムザッハ友好市民コンサート」を市と共催で開催しました。

令和７年度は安曇野市制施行20周年を記念し、特別ゲストにヴァイオリニスト瀬崎明日香さんをお迎えし、豊科公民館ホールを会場に実施しました。

また、令和７年３月～４月にかけて実施した、市及び安曇野・クラムザッハ友好会によるクラムザッハへの青少年派遣事業の派遣者による報告会も併せて実施しました。

（２）　長野県日中友好協会　（負担額：10,000円）

長野県日中友好協会賛助顧問会費として負担しました。

２　国際交流関係基金利子の積立て　（決算額：86,986円）

以下のとおり、各基金の運用益を基金へ積み立てました。

・青少年交流事業支援基金　　38,757円
・国際交流基金　　48,229円

上記の評価と課題等

安曇野クラムザッハ友好市民コンサートにおいて、オーストリア共和国クラムザッハとの交流や同国の文化をＰＲするとともに、令和７年３月に実施した青少年派遣事業の派遣者による体験発表を行い、クラムザッハとの交流に対する機運醸成につなげることができました。

若い世代への交流活動の継承が課題となるため、安曇野クラムザッハ友好市民コンサートがきっかけとなり、幅広い世代の市民がクラムザッハに興味や親近感を抱くことができるように事業を進めていきます。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	89

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	11	諸費			
	事業	0190010	【明許】国際友好交流事業		施策	交流活動の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,762,000	9,018,432		743,568	92.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,000,000		【明許】青少年交流事業支援基金繰入金	4,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和７年３月に実施した姉妹都市であるオーストリア共和国クラムザッハへの青少年派遣事業について、事業の実施時期が年度末に当たることから、令和６年度からの繰越事業として実施しました。

１　姉妹都市・クラムザッハへの青少年派遣事業

実施日：令和７年３月11日（火）～22日（土）の12日間
訪日者：市内在住の16～17歳の青少年８名（男子２名、女子６名）、市職員２名が同行
行　程：３月11日　　羽田前泊
　　３月12～18日　クラムザッハ滞在
　　３月19～21日　ザルツブルグ～ウィーン
　　３月22日　　帰国
概　要：安曇野市発足以降、クラムザッハへの青少年派遣は、平成24年３月以来２回目。
　　クラムザッハでは、派遣者は４軒の家庭に２人ずつ分かれてホームステイ。
　　滞在中は、ガラス専門学校や青少年センターを訪問したほか、近隣の街を見学するなど、オーストリアの文化に触れながら現地の皆様と交流しました。
　　また、派遣者がInstagramのアカウント「azukram」を開設し、派遣事業の取り組みやクラムザッハの魅力を発信しました。
　　※本事業は年度末開催のため、繰越明許費を設定し、令和７年度に入ってから委託料を精算、支払い。
　　※令和６年度は、旅行保険、国内バス運行委託料、職員特別旅費を支出。

上記の評価と課題等

クラムザッハとの交流については、令和５年度の相互訪問の際にクラムザッハと安曇野市の双方で若者世代への交流活動の継承が課題との認識を確認し、事業実施に至った経過があります。
派遣者は今回の派遣を通じてクラムザッハの魅力に触れることで、市民にも交流の取組みを知ってもらいたい、今後も事業に協力したいなど意欲を持ってくれたことで、30年余り続くクラムザッハとの交流を次世代に受け継ぐ一歩を進めることができました。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	99

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	統計調査総務費			
	事業	0102570	統計調査総務費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
88,000	82,379	0	5,621	93.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,700		統計調査員確保対策事業委託金	18,700		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

- 各種施策に利活用することを目的として、また、児童・生徒等の情報教育に役立ち市民に身近な資料とするため、統計図表（グラフやイラスト図を掲載）と統計資料「2025 安曇野市の統計」の冊子印刷及びホームページの掲載を行いました。また、長野県の統計書等に倣い、最新年次の資料を掲載するように努め、年次推移は最近５か年、あるいは特定年次を列記しました。
- 国が行う統計調査の実施にあたり、調査員・指導員の推薦を行うとともに、調査を円滑に実施するための登録調査員(56名)への登録意向確認及び、次年度の予定等を周知しました。
- 2025年度に実施される各種統計調査に向け、一人でも多くの調査員を確保するため広報・ホームページによる周知及び、各支所窓口・ながの電子申請による募集を行いました。

(1) 安曇野市の統計

「2025 安曇野市の統計」を作成し、市ホームページ等で公表するとともに冊子版を印刷し、市内図書館、文書館、小中学校、議会等へ配布しました。

(2) 調査員の確保対策

ア　登録調査員台帳の整備等

イ　統計情報研究開発センター発行冊子「統計調査員のしおり」の送付(56名)

ウ　令和７年度末現在の登録者(56名)

※令和６年度末(56名)から登録取消(15名)、新規登録(15名)

※県の登録基準は46名（経済センサス－基礎調査区数：92調査区の1/2)

上記の評価と課題等

- 登録調査員の確保は、市広報等による公募及び調査経験者への登録意向確認により「県登録基準の46名」を超える状況です。
- 令和７年に実施された国勢調査では、市職員へ調査員の協力依頼を実施し、調査員の確保手段の見直しをすすめました。今後も登録調査員の確保に努めるとともに各種統計調査の特性に応じた従事依頼をすすめます。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	99

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	基幹統計費			
	事業	0102580	学校基本調査費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
18,000	17,323	0	677	96.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
17,323		学校基本調査委託金	17,323		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・ 学校に関する基本的事項を調査し、学校教育行政上の基礎資料を得ることを目的に、令和７年５月１日を調査基準日として実施しました。

(1) 所管省庁　文部科学省
(2) 調査周期　毎年
(3) 調査対象　市内の小学校(10校)、中学校(７校)、幼稚園(１園)、幼保連携認定こども園(１園)、安曇野市教育委員会
(4) 調査方法　教育委員会を通じて調査協力依頼及び関係書類を配布（調査は全てオンライン回答）
(5) 調査基準日　令和７年５月１日現在
※不就学学齢児童生徒調査については前年度１年間
(6) 調査内容　学校数、在学者数、教職員数、学校施設、卒業後の進路状況等

上記の評価と課題等

・ 統計法及び施行令第４条に基づく法定受託事務により調査を実施し、結果について報告しました。
・ 調査結果は学校教育全般にわたる諸施策策定上の基礎資料として活用されます。また、地方交付税の算定の基礎としても利用されます。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	99

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	基幹統計費			
	事業	0102600	農林業センサス		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,000	11,961	0	39	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,961		農林業センサス委託金	11,961		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和７年２月１日基準日にて実施しました農林業センサスにおける調査用品の廃棄作業を、農林水産省および県の指示により行いました。

上記の評価と課題等

農林業センサスの結果は、食料・農業・農村基本法に基づく計画策定の際の基礎資料及び森林・林業基本法に基づく森林・林業基本計画の策定の際の基礎資料や、地方交付税法に基づく普通交付税算定の際の、農業・林野行政費等の算出根拠として活用されます。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	99

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	基幹統計費			
	事業	0102700	国勢調査費		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
45,824,000	45,817,364	0	6,636	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
45,811,230		国勢調査委託金	45,810,460		
		農林業センサス委託金	770		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国勢調査は統計法に基づき、日本に住んでいるすべての人・世帯を調査対象とする国の最も重要な統計調査で、令和７年10月１日午前零時現在を基準に実施しました。また、調査結果は各種行政施策（地方交付税の交付額の配分、衆議院の小選挙区の画定、都市計画の策定等）資料や民間においても幅広く活用されています。調査の実施にあたり、指導員・調査員の推薦、指導員・調査員打合せ会の開催、オンライン調査関係書類・調査票の配布、調査票の審査、提出を行いました。

・調査基準日 令和７年10 月１日現在
・所管省庁 総務省
・調査周期 ５年周期
・調査対象 市内677調査区、すべての人と世帯
・調査方法 オンライン調査推奨、調査票の配布、郵送または調査員による回収
・調査員数等 指導員68 人 調査員461 人

令和７年国勢調査結果について(速報値)
・安曇野市の人口 91,861 人(令和２年調査に比べ、2,361人の減 △2.5%)の減少)
　男 44,240 人(同、1,158 人(△2.6%)の減少)
　女 47,621 人(同、1,203 人(△2.5%)の減少)
・安曇野市の世帯数 38,055 世帯(令和２年調査に比べ、1,564 世帯(4.3%)の増加)
　１世帯当たり人員 2.4 人/世帯

上記の評価と課題等

国勢調査の結果は、衆議院の小選挙区の画定、地方交付税の交付額の配分、都市計画の策定、過疎地域の要件などに利用されます。また、日本の将来人口推計、地域別の人口推計、国民経済計算の統計（GDP などの統計）、労働力統計、家計統計などに利用されています。令和元年度に準備段階として実施した国勢調査単位区設定は、本調査の円滑な実施と結果精度の向上に資するために行われたものです。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	統計係

決算書ページ	101

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	統計調査費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	基幹統計費			
	事業	0102720	経済センサス		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
50,000	49,033	0	967	98.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
49,033		経済センサス委託金	49,033		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・経済センサス-活動調査は、事業所の経済活動及び企業の経済活動の状態を調査し、全ての産業分野における事業所及び企業の活動からなる経済の構造を全国的及び地域別に明らかにすることを目的に令和８年度に実施されます。この調査の実施のために実施計画の策定、指導員・調査員の推薦、調査用品の購入、資料の作成を行いました。
・令和８年経済センサス-活動調査の実施概要
　所管省庁　　総務省・経済産業省・調査周期　５年周期
　調査対象　　市内92調査区内の事業所及び企業
　調査方法　　調査員調査－オンライン回答用のID・PS等調査書類の配布及び調査票の回収。
　調査基準日　令和８年６月１日現在
　調査員数等　調査員41 人　指導員３人

上記の評価と課題等

経済センサス－活動調査の結果は、地方消費税の清算の基礎資料に利用されます。国民経済計算（GDPなど）、産業連関表の推計や中小企業振興など、各種補助金を交付するための基礎資料にも利用されています。また、地方公共団体が行政施策を立案するための基礎資料（防災対策、地域経済の現状把握・将来分析、地域活性化対策、交通政策など）に利用され、各種統計調査の母集団情報としても利用されます。

令和８年度	
部	政策部
課	政策経営課
係等	企画担当

決算書ページ	195

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	公園事業費			
	事業	0110459	東部アウトドア拠点整備事業		施策	アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
67,504,000	65,695,081	0	1,808,919	97.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
54,624,000		過疎対策推進事業（過疎債）	53,200,000		
		企業版ふるさと納税	1,400,000		
		交流事業参加負担金	24,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　東部アウトドア拠点整備事業（ソフト事業）

拠点整備に向け、機運醸成のためのイベント等を開催しました。また、拠点の運営、拠点を中心に地域と連携した取り組みを進めていく体制の整備を行いました。

（１）委託料

ア　イベント等運営支援業務ほか　4,760,200 円

明科龍門渕さくらまつり／親水池学びと安全啓発活動イベント／
明科のアウトドア資源を活用した四季折々のイベントを創出する
「アウトドアミーティング（冬編）」の実施

イ　まちなか推進体制構築支援業務（債務負担行為）　1,260,000 円

東部アウトドア拠点構想に関する理解促進、推進に向けた協議、
連携の取り組みを検討

2　東部アウトドア拠点整備事業（ハード事業）

過疎指定を受けた明科地域を、アウトドアを通じて活性化を図るため、令和６年３月に策定した「安曇野市東部アウトドア拠点整備基本構想」に基づき、整備に係る設計業務を行いました。

（１）委託料

ア　拠点・公園の基本設計業務（債務負担行為、Ｒ８年度完了予定）　9,900,000 円

イ　前川カヌーコース整備実施設計業務（債務負担行為、Ｒ７年度完了）　11,000,000 円

ウ　龍門渕公園内橋梁設計業務（Ｒ７年度完了）　29,898,000 円

3　東部アウトドア拠点整備基本構想・犀川×前川かわまちづくり推進協議会の開催

国・県(千曲川河川事務所、安曇野建設事務所)ほか識見者や地域団体代表者ら23名による協議会を開催。拠点整備の進捗状況について情報共有しました。

【協議会の開催】　７月３日

予算	款	08	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	公園事業費			
	事業	0110459	東部アウトドア拠点整備事業		施策	アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　外部人材の招聘

令和６年度に引き続き、東部アウトドア拠点の内容や運営等の検討にあたり、次の２名を外部人材として招聘、依頼しました。

令和７年度は、拠点整備・運営に係るアドバイザリーのほか、「安曇野明科アドベンチャーレース」や、青少年のカヌー合宿「キッズパドリングキャンプ」等の企画・誘致にも取り組んでいただきました。

① 地域活性化企業人　…　(株)協栄　　吉田　拓　氏

派遣元は、2021年の東京五輪カヌー競技会場であり日本で唯一の人工カヌーコースを有する「葛西スラロームセンター」の指定管理者である(株)協栄。同社の知見を活かし、施設の管理体制や運営手法等の検討に携わっていただく。

② ウォータースポーツ関連アドバイザー　…　安藤　太郎　氏(シドニー五輪カヌー日本代表)

前川カヌーコースの監修や、水辺の魅力を活かした賑わい創出に関するアドバイザーとして携わっていただく。

上記の評価と課題等

令和７年度は、基本構想に基づく前川カヌーコースの実施設計及び拠点施設の基本設計やイベント実施、推進協議会の開催を通じて、拠点整備に向けた具体的な検討を進めることができました。

また、外部人材の知見を活用し、施設整備や運営手法の検討を具体的に進めることができました。

拠点施設の機能や規模、管理運営手法については引き続き検討が必要であり、整備後の持続的な利用促進や収益確保に向けた仕組みづくりが課題となっています。今後は、地域との連携をさらに深めながら、利用者ニーズを踏まえた施設整備と運営体制の構築を進めていく必要があります。

令和８年度	
部	政策部
課	秘書広報課
係等	秘書広報担当

決算書ページ	69

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102060	秘書・渉外		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
22,536,000	20,332,822	0	2,203,178	90.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,000,000		地域振興基金繰入金	12,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市長表彰の実施

市功労表彰を９月28日（日）の20周年記念式典においてに実施し、市表彰規則に基づき表彰状を交付しました。

また、市政に協力し、顕著な功績のあった者に感謝状を交付しました。

区　　分	表　彰　状	感　謝　状
令和７年４月		２人（団体１・個人１）
令和７年５月		１人（団体）
令和７年６月		２人（団体２）
令和７年７月		１人（個人）
令和７年８月		３人（団体２・個人１）
令和７年９月		１人（個人）
令和７年９月28日（式典）	30人（団体9・個人21）	28人（団体23・個人５）
令和７年10月		３人（団体３）
令和７年11月		２人（団体１・個人１）
令和７年12月		１人（団体）
令和８年１月		１人（団体）
令和８年２月		１人（団体）
令和８年３月		２人（団体１・団体１）
計	30人	48人

2　市長交際費の支出

市交際費支出基準に基づき、行政職務執行上において外部との交渉・交際を進める経費として支出しました。

慶　弔　費	185,400円
会　　費	364,900円
激　励　費	48,756円
計	599,056円

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102060	秘書・渉外		施策	協働によるまちづくり

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3　各種会議への対応

各市との連絡協調を図り、市政の円滑な運営と地方自治の振興に努めるとともに、市政に関する課題を県及び国へ要望書として提出しました。

長野県市長会関係　（総会・定例会・部会）	６回
長野県市長会関係　（副市長総務担当部長会議）	２回
北信越市長会関係　（総会）	２回
全国市長会関係　（総会）	１回

4　市長定例記者会見の実施

市の主要事業他、市政全般の情報提供を行い、開かれた市政を目指すことを目的に、記者会見を11回開催しました。

5　共催・後援の承認

市の共催及び後援に関する事務取扱要綱により、基準に基づいて公益性のあるものを承認しました。

共　催	事業の企画又は運営に参画し共同主催者として事業の推進に当たること	41件
後　援	事業の趣旨に賛同しその開催を援助すること	153件

6　市制施行20周年記念式典の開催

市制施行20周年を市民と祝い、市の一体感の醸成をさらに高めるため、令和７年９月28日にANCアリーナで開催しました。式典では、市功労表彰をはじめ、記念映像の上映、小中学生作文コンクール入賞作品発表、高校書道パフォーマンスなどを行いました。

また、会場ではプロジェクションマッピングの上映、市民活動フェスタを同時に開催し多くの市民と祝うことができました。

7　太田寛前安曇野市長お別れの会

令和７年11月28日に急逝された太田寛前市長の生前の功績と故人を偲ぶため、市主催のお別れの会を令和８年３月７日に実施しました。

上記の評価と課題等

市長表彰については、引き続き多くの市民等の功績を称えるため、対象者の掘り起こしに努めていきます。市長交際費については、定められた支出基準を遵守し、今後も適正に支出します。

令和８年度	
部	政策部
課	秘書広報課
係等	秘書広報担当

決算書ページ	75

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102210	広報費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
63,800,000	62,663,275	0	1,136,725	98.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,736,400		地域振興基金繰入金	4,000,000		
		広告料収入	2,736,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　広報紙の発行、配布

市政情報・市からのお知らせなどを掲載した広報紙「広報あづみの」を発行し、市内全戸へ配布しました。取材を通じ多くの市民の方と関わりながら親しみやすく、見やすい紙面作りに努めています。また、市民の暮らしや思いを市の歴史や今の姿と共に未来へ残すため、市制施行20周年記念号を10/1に発行し全戸に配布。記念式典でも配布しました。

（発行、配布内容）

・広報あづみの
　発行時期・・・各月20日の属する週の木曜日
　ページ数・・・平均32ページ
　費　　用・・・19,526,672円　※単価　４月～６月：44,800円/頁(税抜き)
　　７月～３月：46,080円/頁(税抜き)
　　※世帯数増加のため７月から500部増に変更

・市制施行20周年記念号
　発 行 日・・・10月1日
　ページ数・・・36ページ（フルカラー）
　費　　用・・・印刷2,131,250円　ページデザイン委託825,000円

・配　布
　配布件数・・・　794,940件　※平均：37,854件
　配布費用・・・24,496,557円　※基本単価30円/件（税抜き）

２　インターネットを活用した市政情報等の提供

より探しやすく分かりやすくをコンセプトにホームページを２月にリニューアルしました。生成AI検索を導入すると共に、分類ごとのページを新たに作成し探している情報にたどり着きやすくなりました。

ホームページの訪問者数、X（旧Twitter）のフォロワー数、YouTubeのチャンネル登録者は共に増加しています。また、LINEでのプッシュ通知による行政情報やイベント情報などの発信を行いました。（令和７年度配信数217件)。ホームページを中心にSNS・動画をなど事業や施策ごとにターゲットやニーズにあった効果的な発信を行っています。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102210	広報費		施策	協働によるまちづくり

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

●ホームページ・SNS（X（旧Twitter）、YouTube、LINE）登録者数等

種別	R7	R6	差
ホームページ訪問者数	2,260,673	1,907,760	352,913
X（旧Twitter）	9,309	8,362	947
YouTube	2,101	1,443	658
LINE	50,734	45,417	5,317

３　コミュニティーエフエムを活用した市政情報番組の提供

音声による情報伝達手段として、コミュニティーエフエムを活用した市政情報番組の放送を実施しました。「広報あづみの暮らしのガイド」は、市政情報や市が実施するイベントの案内などで積極的な活用を図りました。「まちづくり多士済々」は、職員や市民が出演し、市施策や地域の取り組みをPRしました。放送業務委託料として総額7,920,000円を支出しました。

① 広報あづみの暮らしのガイド（５分番組）（月～日曜、7:55/11:55/18:55）
② まちづくり多士済々（水曜、11:00～12:00「中柴香苗の水色の時間」のコーナー中）

４　デジタルサイネージ

導入費及び運用費を広告収入で賄い、市からの情報を発信できるデジタルサイネージ「わが街NAVI」では、市内の大型商業施設に設置した大型モニターにより、市政情報（協働のまちづくりのための出前講座の紹介やパブリックコメントの募集情報など）を発信しています。

（概要）　１．場所・・・イオン豊科店1階
２．期間・・・令和４年９月から３年間（令和7年度に２年間延長）
３．デジタルサイネージの大きさ　・・・　2,330㎜×1,775㎜
４．情報内容・・・①インフォメーションパネル（静止画：最大15秒×20枚）
②情報パネル（動画：300MB）

５　会見場による情報発信等

市と市民及び市内の事業者等による情報発信や記者の記事作成の場として利用可能な会見場を庁舎４階に設置・運営しています。

（概要）会見場利用状況・・・82回　（内訳）・市長定例記者会見、記者懇談会等　16回
・市広報動画版等撮影　28回
・協定締結式、表敬訪問など　13回
・市民、団体等による会見　6回
・記者による利用　19回

６　広告事業

広報紙の印刷経費やホームページの維持管理の一部の財源確保を図るため、広報紙及びホームページへの広告掲載による広告料として2,736,400円を収入しました。

７　広聴事務

ホームページの「お問い合わせフォーム」、「市長への提案」と題した郵便を秘書広報課でとりまとめ、理事者等への報告と関係各部等との情報共有を図りました。また、市長とグループなどが直接意見を交わす懇談会「ゆたかの飛耳長目」を受付けました。令和７年度は開催なしとなりました。

上記の評価と課題等

広報紙やホームページのほか、SNS（X（旧Twitter）、YouTube、LINE）、コミュニティーエフエムの番組などにより積極的に情報発信しました。また、市制施行20周年記念号を発行し、記念動画と共に広く発信しました。今後も広報紙とSNSなどWeb媒体を組み合わせ、より多くの市民の方にわかりやすく伝わる行政情報の発信に努めていきます。同時に最新の発信方法を用いながらタイムリーな情報発信を行っていきます。

令和８年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	行革デジタル推進担当

決算書ページ	79

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102310	行政改革		施策	市民の視点に立った行財政運営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
100,000	59,990	0	40,010	60.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　有識者会議委員の自治体委託業務等災害補償保険に加入しました。
　令和７年度加入実績　44団体　535人

上記の評価と課題等

災害補償保険に加入することで、安心して有識者会議を開催することができました。

令和８年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	情報システム係

決算書ページ	85

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	07	情報施策費			
	事業	0102370	電算管理費		施策	デジタル技術を活用した行政変革

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
495,598,000	491,359,290	0	4,238,710	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
147,626,000		デジタル基盤改革支援補助金	142,623,000		
		自治体中間サーバプラットフォーム更改事業補助金	4,129,000		
		財務会計処理実費徴収	874,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　情報システムの管理及びセキュリティ対策
　行政情報システムの適正な管理・運営を行い、安定稼働の維持に努めました。
　日々多様化・深刻化するセキュリティリスクに適切に対応し、職員への注意喚起やウイルス対策ソフト等の適切な管理などを実施し、情報セキュリティ事故防止に努めました。

２　基幹系業務システム標準化移行
　基幹系業務システム標準化移行について、関係部署への情報提供や調整を図り準備作業を進め、令和７年12月８日に標準化システムへ移行を完了しました。
　併せて、バックアップ・管理サーバ、ネットワーク機器、生体認証システム、セキュアプリントシステム、基幹系パソコン470台、基幹系プリンタ120台の更新を行いました。

３　各種システムの更新
　国が定めた標準更改期間に合わせ、各種システムの機器更新を行いました。
　・ＬＧＷＡＮ機器更新
　・住民基本台帳ネットワーク機器更新
　・中間サーバプラットフォーム更新

４　内部事務システムの電子決裁導入調整
　内部事務システム（財務会計・文書管理システム）について、令和９年度から電子決裁導入に向けて、プロポーザルの実施及び業者を決定し、システム構築に必要な要件定義を関係部署及び導入事業者と調整を行いました。

５　職員情報セキュリティ研修の実施
　多様化・深刻化する情報セキュリティリスク対策として、インターネットのｅ‐ラーニングを活用した職員研修の実施及び情報セキュリティ内部監査を実施しました。
　・情報セキュリティ研修　　1,035人受講
　・マイナンバー事務取扱者研修　　273人受講
　・情報セキュリティ内部監査　４課の監査を実施

上記の評価と課題等

　情報システムの適切な管理やセキュリティ対策を行い、システム停止やウイルス感染などは発生しませんでした。
　令和５年度から基幹系業務システム標準化移行に向けた準備作業を行い、機器の入れ替え及び標準準拠システムの移行を大きなトラブルなく完了することができました。
　令和９年度本運用開始予定の内部事務システムの電子決裁開始に向けて、稼働時に不具合や問題が発生しないように、引き続き要件定義内容や職員研修実施方法を関係部署及び事業者と調整を図ります。

令和８年度	
部	政策部
課	行革デジタル推進課
係等	行革デジタル推進担当

決算書ページ	85

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	07	情報施策費			
	事業	0102380	地域・行政情報化推進事業		施策	デジタル技術を活用した行政変革

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,609,000	15,715,984	0	893,016	94.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	10,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　業務プロセス改革の推進
　安曇野市スマート自治体推進アドバイザーと連携し、担当課からの相談を受け、改善策の検討、提案などを行い、職員向けRPA研修及び現行使用しているRPAを標準化基幹系業務システムで動作するための修正作業を実施しました。

２　LINEを活用した市民サービスの充実
　「安曇野市スマホ窓口」の機能充実を図り、市民の暮らしの利便性向上を図りました。
　・LINE公式アカウント友達登録者数　50,194人（R8.3.31）
　・安曇野市スマホ窓口業務（R７構築分：パパママ教室の予約申請、要介護認定の進捗確認など８業務作成）

３　定型・スポット的業務の包括的委託
　職員の事務処理負担を軽減するため、定型・スポット的な業務で職員が行う必要のないノンコアな業務について包括的に委託しました。
　・会議録作成39件、各種文書の発送:499時間、文書・資料の整理保存:956時間、申請書等整理・データ管理:589時間ほか

４　ガバメイツピット利活用研修会の開催
　BPR検討シートを活用した演習込みの研修を実施しました。
　・「なぜ使うのか」「何に役立つのか」を実感できるよう意義を再確認しました。
　・実際の業務を題材としたBPR研修を通じて、自課の業務改善の視点を養いました。
　・各課が把握した課題の中で、より具体的に相談したい場合は行革デジタル推進担当へフィードバックし、継続的な伴走支援へとつなげていきます。

上記の評価と課題等

「安曇野市DXの実行」に基づき、行政事務の効率化、くらしの利便性向上、社会課題の解決等に繋がる施策を実施しました。
ノンコア業務を外部委託したことで、2,000時間以上の業務時間を窓口対応や他の資料作成などコア業務に充てることができました。
業務見直しに対する職員の意識は醸成されつつありますので、業務改善に繋がった事例等を共有し、庁内全体の業務改善へ繋げます。

令和８年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書ページ	87

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	10	人権啓発費			
	事業	0102410	人権啓発費		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
17,156,000	12,839,264	0	4,316,736	74.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,002,297		厚生住宅使用料	48,000		
		外国人受入環境整備交付金	2,754,297		
		自治総合センター助成金	1,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」に基づいた事業を実施しました。

１．共生社会づくり広報紙「きらり」の発行

○市内全戸に配布

○より多くの人が理解しやすい「やさしい日本語」を使用（第７・８号、各39,500部発行）

２．男女共同参画・性の多様性推進事業

（１）安曇野市ジェンダー平等推進ネットワークと協働し、講座・パネル展等を開催しました。

○若年層の性暴力被害予防月間パネル展（4/1～4/25）

○共生社会づくり講座（4/10）

○男女共同参画パネル展示（6/16～6/30）

○女性に対する暴力をなくす運動パネル展（11/11～11/28）

○性教育講座（11/22）

○ピンクシャツデーパネル展示（2/9～2/26）

○国際女性デーパネル展示（3/3～3/27）

（２）男性育休推進のため、オンライン父親学級（年４回）、管理職研修（7/9）を実施しました。

３．多文化共生推進事業

（１）市民団体（あづみの国際化ネットワーク・安曇野市国際交流協会）と協働し、講座等を開催しました。

○日本語deスピーチ大会（8/24）

○多文化共生講座（韓国編 8/3）

○あづみの国際DAY!2025（10/5）

（２）生活相談員２名を任用し、外国籍市民相談窓口を庁舎１階東側にて運営しました。映像通訳等と合わせて21言語に対応しています。

（３）多文化共生推進月間や人権週間に合わせ、やさしい日本語や多文化共生に係る啓発展示を実施しました。

４．ユニバーサルデザインの推進

（１）市職員を対象にユニバーサルデザイン研修（7/29）を開催しました。

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	10	人権啓発費			
	事業	0102410	人権啓発費		施策	共生社会の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

５.安曇野市制施行20周年記念事業

（１）共生社会×文化芸術フェスタ（10/4・5）を実施しました。

共生社会についての市民への理解を深めるため、「アート」を切り口に体験型のイベントやシンポジウム等を実施しました。

（２）人権のつどい（12/6）を実施しました。

人権週間（12/4～12/10）に合わせ、講演会を開催しました。

○講師：東京大学名誉教授 姜 尚中 氏

○演題：「社会のバリアフリーを目指して」

６．人権尊重事業

（１）パネル展示、イベントでの人権啓発活動を行いました。

○貞享義民記念館でのパネル展示「安曇野から考える人権展」（12/9～12/26）

○二十歳の集い（1/12）での啓発物品（ポストカード・DV防止啓発カード）等の配布

（２）「ホンデリング」（11/25）を開催し、犯罪被害者支援の啓発をしました。

（３）その他

○松本人権擁護委員協議会安曇野部会による人権特設相談所「人権なんでも相談」（全12回）の設営協力や街頭活動への参加

○安曇野地区保護司会と協働した「社会を明るくする運動」の街頭活動（7/1）と啓発展示

７．団体への活動支援

（１）負担金

	○松本人権擁護委員協議会安曇野部会	180,000 円
	○特定非営利活動法人　長野犯罪被害者支援センター	185,000 円
	○矯正施設所在自治体会議事務局	10,000 円
（２）補助金	○安曇野市ジェンダー平等推進ネットワーク	480,000 円
（３）交付金	○安曇野地区保護司会	444,000 円

上記の評価と課題等

「安曇野市多様性を尊重し合う共生社会づくり計画」に基づき、取組みを着実に進め、審議会において進捗管理を行いました。令和７年度は、安曇野市制施行20周年記念に合わせた事業を実施しました。今後は各事業の内容を検証し、より効果的な事業になるよう取組みを進めます。

多様性を受け入れた共生社会が浸透していくため、引き続き市民や事業所等に対する啓発を続けていきます。

令和８年度	
部	政策部
課	人権共生課
係等	人権共生係

決算書ページ	89

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	12	人権同和推進費			
	事業	0103225	住宅新築資金貸付事業		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
110,000	42,860	0	67,140	39.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
42,000		住宅新築資金県補助金	42,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　住宅新築資金等貸付元利金の償還（債権回収）事務
（１）督促、臨戸集金等により住宅新築資金等貸付元利金の返済を促しました。
（※令和７年度末の未収額は合計120,537,316円）
（２）市債権管理条例に基づき、債権整理に取り組みました。
（３）令和７年度の回収額は1,372,067円となりました。
（４）住宅新築資金等貸付事業償還事務担当者研修会に参加し、知識の習得に努めました。
（※11月21日大阪市にて開催、１名参加）

２　特定財源（住宅新築資金県補助金）について
住宅新築資金県補助金207,000円は、徴収事務費として一般管理費へ充当しました。

上記の評価と課題等

高齢化に伴って年金生活の債務者が増えており、返済が難しい状況が続いています。
債務を知らずに相続して償還請求の説明に苦慮する場合や、債務者の死亡で相続人全員が相続放棄している場合など、徴収を非常に困難としている案件が存在しています。
回収の見込みが立たない案件については、債権放棄の手続きを検討し、進めます。

市民生活部

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書ページ	69

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102095	豊科地域事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,910,000	3,797,476	0	112,524	97.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科地域の区等の地域力向上を目指し、地域課題の解決に向けた支援を行いました。また、市民との協働により地域の活性化を図るなど、心豊かで幸せな市民生活の実現を目指しました。

１　豊科地域区長会支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修視察１回、出席謝礼　311,500円）

２　第46回あづみ野祭りの実施（補助金　3,200,000円）

市民の連帯感の醸成と地域の活性化に寄与することを目的に、７月26日（土）に開催しました。（踊り連参加　33連　約2,300人）実行委員会に補助金を交付するなど、安全なお祭りの実施に向けて運営を支援しました。

上記の評価と課題等

豊科地域区長会の運営支援を通じて、市と豊科地域各区との連携強化や地域課題の共有を図ることができました。一方で、担い手不足や区加入率の減少が課題となっており、今後も地域との連携強化や、区の負担軽減による持続可能な地域運営体制の構築支援を進める必要があります。

第46回あづみ野祭りでは、安全な運営支援を通じて、市民の連帯感の醸成と地域活性化に寄与しました。一方で、運営経費の増加への対応が課題となっています。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	穂高地域担当

決算書ページ	71

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102110	穂高支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,281,000	23,365,122	0	2,915,878	88.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,960,251		穂高支所雑入	137,981		
		コピーサービス料等	10,270		
		個人番号カード交付事務費補助金	1,812,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 穂高支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

（１）穂高支所施設管理に係る経費

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
施設修繕費	91,300円	574,200円	235,400円
光熱水費	2,261,912円	3,079,280円	2,900,526円
管理委託料	2,510,875円	2,445,709円	2,458,638円

（２）穂高支所駐車場の借地料　（３筆／１名）　1,947,375 円

（３）公用車管理事務

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

185,171 円

2 穂高地域区長会支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修視察１回、出席謝礼　322,000円）

3 穂高納涼祭の支援（まちづくりイベント事業補助金）　2,500,000 円

「第42回穂高納涼祭」が８月２日（土）に開催され、ふるさと意識の醸成と地域の活性化に寄与しました。実行委員会に補助金を交付するなど、安全なお祭りの実施に向けて運営を支援しました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、庁舎の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。

地域区長会では意見交換会を行い情報共有を図りました。区役員のなり手不足、未加入世帯の増加、区長の負担軽減等の多様な課題に対して支援する必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	三郷地域担当

決算書ページ	71

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102130	三郷支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,910,000	23,505,862	0	3,404,138	87.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,419,620		三郷支所雑入	129,120		
		個人番号カード交付事務費補助金	1,208,000		
		その他雑入（ゼロカーボン推進課）	82,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 三郷支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

（１）三郷支所施設管理に係る経費

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
施設修繕費	225,500円	12,100円	231,990円
光熱水費	4,586,981円	4,223,385円	6,545,079円
管理委託料	4,986,387円	3,319,012円	4,859,941円

（２）三郷支所敷地、駐車場の借地料　（６筆／２名）　2,878,212円

（３）公用車管理事務

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

396,634円

2 三郷地域区長会支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修視察１回、出席謝礼　196,000円）

3 ふるさと夏祭りの実施（まちづくりイベント事業補助金）　2,000,000円

８月11日（月）に開催した「第40回ふるさと夏祭り」を支援し、ふるさと意識の醸成と地域の活性化に寄与しました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、複合施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。

地域区長会では意見交換会を行い情報共有を図りました。区役員のなり手不足、未加入世帯の増加、区長の負担軽減等の多様な課題に対して支援する必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	堀金地域担当

決算書ページ	73

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102150	堀金支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
33,476,000	30,726,993	0	2,749,007	91.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,869,901		堀金支所雑入	881,401		
		個人番号カード交付事務費補助金	906,000		
		その他雑入（ゼロカーボン推進課）	82,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　堀金支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

（１）堀金支所施設管理に係る経費

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
施設修繕費	570,900円	916,740円	1,081,322円
光熱水費	7,772,360円	12,089,597円	11,267,934円
管理委託料	7,950,263円	8,360,716円	8,924,773円

（２）堀金支所敷地、駐車場の借地料　（２筆／２名）　　1,821,658円

（３）公用車管理事務

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

391,458円

2　堀金地域区長会支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修視察１回、出席謝礼　126,000円）

3　常念フィスティバルの実施（まちづくりイベント事業補助金）　　813,000円

８月30日（土）に開催した「第９回常念フィスティバル」を支援し、市民の交流と地域の活性化に寄与しました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。

地域区長会では意見交換会を行い情報共有を図りました。区役員のなり手不足、未加入世帯の増加、区長の負担軽減等の多様な課題に対して支援する必要があります。

施設の竣工から約20年が経過し、不具合が発生しているため、計画的に改善を図る必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	明科地域担当

決算書ページ	73

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	0102170	明科支所費		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
22,272,000	20,029,829	0	2,242,171	89.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,950,690		明科支所雑入	44,690		
		明科地域づくり事業（過疎債）	2,000,000		
		個人番号カード交付事務費補助金	906,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　明科支所等施設管理運営事業

地域活動の拠点となる支所施設を維持管理するため、施設修繕費や光熱水費、保守点検などの管理委託料の支出を行い、利用者の利便性向上を図りました。

（１）明科支所施設管理に係る経費

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
施設修繕費	808,060円	352,000円	1,331,550円
光熱水費	3,377,321円	4,504,457円	4,204,011円
管理委託料	5,638,771円	5,666,814円	5,782,878円

（２）庁舎案内看板用地借地料　（１筆／１名）　960円

（３）公用車管理事務

公用車を安全に運行するため、車検・整備、燃料費等の管理を行いました。

291,702円

2　明科地域区長会支援

地域区長会を開催し、市との連絡調整及び地域課題解決のための検討を行いました。

（会議４回、研修視察１回、研修会１回、出席謝礼　196,000円）

3　安曇野明科あやめまつりの実施（まちづくりイベント事業補助金）　2,000,000円

６月14日（土）及び15日（日）に開催した「第41回安曇野明科あやめまつり」を支援し、約１万人の来場者で賑わいました。世代を超えた市民相互の交流促進につながりました。

上記の評価と課題等

市民に身近な行政サービスの窓口として、複合施設の維持管理を進め、利便性と安全で快適な施設環境の提供に努めました。施設の長寿命化のため、改修が必要な箇所を把握し計画的に進めていく必要があります。

地域区長会では意見交換会を行い情報共有を図りました。区役員のなり手不足、未加入世帯の増加、区長の負担軽減等の多様な課題に対して支援する必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書ページ	77

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	02	文書広報費			
	事業	0102220	市民相談事業		施策	消費者保護の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
902,000	901,200	0	800	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

多様化、複雑化する相談に対して各種相談会を開催し、専門的な法律相談機会の提供を図りました。

1　弁護士会による無料法律相談（委託料 871,200円）
長野県弁護士会松本在住会との委託契約により24回開催　相談件数:178件

2　司法書士による登記・法律無料相談
長野県司法書士会松本支部安曇野区会の協力により年12回開催　相談件数:69件
長野県下一斉司法書士相談会における会場手配協力（令和７年10月開催）

3　行政書士による無料相談
長野県行政書士会松本支部(現・中信支部)主催の無料相談会における会場手配協力(年12回)

4　総務大臣から委嘱された行政相談委員の活動への協力（負担金30,000円）
安曇野市社会福祉協議会主催の心配ごと相談と併設して行政相談を実施
特設行政相談所の開設への協力（令和７年10月開催）

上記の評価と課題等

各相談会の日程を広報し、専門的な相談の機会を図ることができました。
引き続き、専門的な相談ができる機会を設け、多様化・複雑化する相談への対応に努めます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書ページ	83

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102350	協働のまちづくり推進事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,263,000	11,856,216	0	406,784	96.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,120,000		地域振興基金繰入金	7,120,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「安曇野市つながりひろがる協働推進計画」に基づき市民一人ひとりが主役のまちづくりを推進し、心豊かで幸せな市民生活の実現を目指しました。

１　「安曇野市つながりひろがる協働推進委員会」の開催（会議３回、委員出席謝礼　119,000円）
安曇野市つながりひろがる協働推進計画の推進に向けて、施策の取組状況の検証を行いました。

２　協働のまちづくり出前講座　（72講座　実施回数：106回）
市職員が市民の集会等の場に出向き、市政や制度などについて説明しました。

３　つながりひろがる地域づくり事業補助金　（14団体　補助金　2,564,000円）
市民活動団体が行う自主的・主体的で、つながりをひろげる事業に対して補助金を交付しました。

４　市民活動サポートセンターの各種事業　（登録団体　203団体）
市民活動フェスタの開催、講座の開催、ゆるくつながる出会いの場（ゆるつな茶話会）の開催、ワカモノVoiceの実施など、市民活動の支援及び活性化を図るとともに、市民のまちづくり参画の促進に取り組みました。

５　市民活動サポートセンター窓口の移設準備　（備品購入費ほか　4,719,000円）
市民活動サポートセンターの利便性を高めるため、堀金支所に窓口を移設する準備に取り組みました。（令和８年４月１日オープン）

６　その他協働事業
市民との協働により、光城山1000人SAKURAプロジェクトやアルプス花街道事業を実施しました。

上記の評価と課題等

各種事業の実施により、協働によるまちづくりの推進を図ることができました。今後、更なる推進のため、新たな場所でスタートする市民活動サポートセンターの機能充実を図ります。
人口減少、超少子高齢化が進む社会では、多様な世代がまちづくりに参画する仕組みづくりが必要です。特に若い世代がまちづくりに関わる機会の創出が課題です。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	まちづくり推進担当

決算書ページ	83

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	06	企画費			
	事業	0102355	区等地域力向上事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
110,112,000	110,023,562	0	88,438	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
107,792,700		その他証明手数料	2,700		
		地域振興基金繰入金	97,390,000		
		コミュニティ助成事業助成金	10,400,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

区等の地域力向上を支援し、地域課題の解決に向けた支援を行いました。

1　安曇野市区長会支援

安曇野市区長会と連携し、各区の地域力向上や地域課題解決の支援を行いました。

（１）理事会の開催（会議７回、出席謝礼　360,500円）

（２）専門部会の開催（防災部会、地域支え合い部会、区長業務見える化部会、区の魅力発信部会）

（３）区長会だよりの発行（年９回）

（４）その他（地域を考える研究集会の開催、部制度等導入支援など）

2　区等交付金の交付

令和５年度	令和６年度	令和７年度
97,028,490円	97,579,200円	97,391,020円

3　自治会活動保険補助金　（安曇野市区長会　525,135円）

4　コミュニティ助成事業補助金　（採択５件　10,400,000円）

うるおいのある地域社会、コミュニティの健全な発展を図ることを目的に交付しました。

区分	件数	金額	財源
一般コミュニティ	３件	6,400,000円	一般財団法人自治総合センター助成金
地域防災	２件	4,000,000円	公益財団法人長野県市町村振興協会助成金

5　地区集会施設建設補助金　（２施設　794,566円）

上記の評価と課題等

安曇野市区長会の運営支援を通じて、市と市内83区との連携強化や地域課題の共有を図ることができました。一方で、担い手不足や区加入率の減少が課題となっており、今後も各区との連携強化や、区の負担軽減による持続可能な地域運営体制の構築支援を進める必要があります。

また、安曇野市区長会では、令和９年度から独自に専属の事務局員を雇用する方針で取り組みを進めており、スムーズな事務局の移行ができるよう支援をする必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書ページ	85

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	08	交通安全対策費			
	事業	0102390	交通安全対策費		施策	防犯・交通安全の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,415,000	12,780,270	0	634,730	95.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	12,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

第４次安曇野市交通安全計画に基づき、各種交通安全対策を次のとおり推進しました。

１　関係機関・団体と連携した広報啓発活動

安曇野交通安全協会、安曇野警察署等の関係機関・団体と連携し、季別の交通安全運動期間中における広報啓発活動、年金支給日等のあらゆる機会で街頭啓発活動を実施して、交通安全意識の浸透と高揚を図りました。

２　交通安全教育（決算額　2,996,800円）

⑴　認定こども園、幼稚園における交通安全教室　42回

交通安全教育を専門的に行うＮＰＯ法人に業務委託し、春季と秋季の２回、園児の心身の発達や理解力に応じた交通安全教室を開催しました。

⑵　小中学校、高等学校における交通安全教室　12回

前記ＮＰＯ法人に業務委託し、市内各小中学校及び高等学校において、スケアード・ストレイト方式（交通事故再現を通じて危険を学ぶ教育手法）等による交通安全教室を開催しました。

⑶　参加・体験・実践型高齢者交通安全教室　１回

自動車学校の教習コースを利用した、参加・体験・実践型交通安全教室を開催し、参加した高齢者に車両の運転や歩行時の注意点を見直す機会を設け、高齢者の交通事故防止を図りました。

⑷　地域（区）訪問型高齢者交通安全教室　５回

前記ＮＰＯ法人に業務委託して、各地域（公民館等）を訪問する交通安全教室を開催し、ミュージカル形式による交通事故防止ポイントの説明を交えながら、普段交通安全教育を受ける機会の少ない高齢者を対象とした交通事故防止を図りました。

３　運転免許証自主返納支援事業（決算額　1,800,000円）

デマンド交通「あづみん」の乗車回数券（9,000円相当）を運転免許証自主返納者を対象に、交付することにより、運転に不安を持つ市民の運転免許証自主返納を支援しました。

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
自主返納者数	332	366	297	326	350
支援者数	267	309	257	272	218
支援率	80.4%	84.4%	86.5%	83.4%	62.2%

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	08	交通安全対策費			
	事業	0102390	交通安全対策費		施策	防犯・交通安全の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　自転車ヘルメット購入費補助金事業（決算額1,080,300円）

自転車を利用する市民のヘルメット着用の促進を図るため、ヘルメットの購入に要する経費に対し、補助金を交付しました。申請件数は、464件でした。

５　交通安全協会（負担金　安曇野交通安全協会959,000円　安曇野支部3,359,000円）

安曇野警察署管内を広域的に連携する安曇野交通安全協会の運営に必要な負担金及び同協会安曇野支部の組織的な活動を支援するために必要な負担金を交付しました。

市内の交通事故（人身事故）発生件数を死者数（件／暦年）

	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
件数	302	260	292	263	253
死者	1	3	4	3	1
傷者	372	310	357	318	296

安曇野警察署管内の高齢者（65歳以上）関与の事故発生状況（件／暦年）

	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
件数	150	106	142	127	112
事故割合	47.9%	40.0%	48.6%	48.3%	44.2%

安曇野警察署管内の子供（中学生以下）関与の事故発生状況（件／暦年）

	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
件数	20	12	23	11	16
事故割合	6.6%	4.5%	7.8%	4.2%	6.3%

安曇野市内のヘルメット着用率

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
着用率	29.5%	34%	35.8%

上記の評価と課題等

令和７年中の交通事故発生件数は、昨年に比べて総件数が減少し、死者、傷者のいずれも減少しました。

発生件数は減少したものの、高齢者が関与する交通事故の割合は昨年とほぼ同じ割合であり、子どもが関与した事故も依然として発生していることから、高齢者交通事故抑止対策や、子どもに対する交通安全教育の更なる推進が求められます。

また、自転車乗車時のヘルメットの着用率は、３割程度と低調であることから、着用率を向上させるとともに、自転車利用者の交通事故ゼロを目指して安全教育を推進していく必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書ページ	87

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	09	防犯対策費			
	事業	0102400	防犯対策費		施策	防犯・交通安全の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
31,931,000	29,299,852	0	2,631,148	91.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
208,000		地区防犯灯新設分担金	208,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　防犯灯管理運営費（決算額　26,696,877円）

⑴　防犯灯新設（3,670,150円）
　内訳：地域要望等防犯灯新設　57基（うち指定通学路31基）

⑵　防犯灯修繕　161基（4,759,536円）

⑶　照明柱等共架更新工事　14基（1,734,430円）
　既設の独立柱防犯灯の劣化状況を調査し、倒壊等の危険が認められる独立柱防犯灯を撤去、電柱へ共架等することで安全性の確保を図りました。

⑷　防犯灯電気料（16,447,037円）
　契約灯数：9,068基（３月末の電力契約数）

2　防犯対策推進事業（決算額　2,602,975円）

⑴　防犯協会分担金（2,399,000円）
　安曇野警察署管内の関係機関・団体が広域的に連携協力する安曇野防犯協会連合会の運営に必要な分担金を負担しました。

⑵　特殊詐欺等被害防止対策機器設置補助事業（84,900円　申請件数17件）
　高齢者を対象とした特殊詐欺、悪質商法等の被害防止のため、特殊詐欺等被害防止対策機器の設置費用に係る補助金を交付し、対策機器の普及促進を図りました。

⑶　街頭啓発等活用消耗品　（119,075円）
　市民の防犯意識を醸成するため、啓発物品を活用して啓発活動を実施しました。

市内の刑法犯認知件数（件／暦年）				
令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
187	282	294	245	324

令和７年中の特殊詐欺等発生状況				
	県内		安曇野市内	
	特殊詐欺	SNS型詐欺	特殊詐欺	SNS型詐欺
被害件数	276	178	15	10
被害金額（単位：千円）	1,733,991	2,115,471	69,569	104,839

上記の評価と課題等

各区からの要望に基づいて計画的な防犯灯設置を進めるとともに、劣化した独立防犯灯を更新し、夜間における犯罪の防止を図りました。昨年の市内における犯罪被害状況については、刑法犯認知件数は増加し、特殊詐欺被害の発生についても前年に比べて件数が増加しています。また、匿名・流動型犯罪グループによる犯罪被害が全国的に発生している状況から、今後市内での被害も予想されます。市民の防犯意識を醸成し、被害防止を図るため、安曇野防犯協会連合会、安曇野警察署、自主防犯ボランティア団体等の関係団体と連携した市民参加による防犯活動を引き続き推進する必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	明科地域担当

決算書ページ	145

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	07	飲料水供給費			
	事業	0104190	飲料水供給費		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,335,000	3,205,617	0	129,383	96.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
109,150		飲料水供給施設使用料	109,150		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

山間地域にある安曇野市明科飲料水供給施設を適正に維持管理し、金井沢地区へ安全で安心な飲料水の供給を行いました。給水対象戸数は、金井沢集会所を含めて７戸です。

○飲料水供給施設管理に係る経費

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
施設修繕費	0円	0円	0円
光熱水費	209,192円	323,932円	245,845円
管理委託料	2,184,600円	2,303,400円	2,864,400円

上記の評価と課題等

適正な維持管理と必要な修繕等を行うことで、安全で安心な飲料水を供給することができています。
山間地域のため供給戸数や使用量の増加を見込める状況にありませんが、市民の生活に必要不可欠な事業であることから、今後も施設の適正な維持管理を継続していく必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	地域づくり課
係等	生活安全係

決算書ページ	179

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	04	消費者行政対策費			
	事業	0107180	消費者行政対策費		施策	消費者保護の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,444,000	9,371,228	0	72,772	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
342,000		地方消費者行政活性化事業	342,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

各種消費者相談に対応するとともに、消費者被害防止のための啓発活動に努めました。

1　安曇野市消費生活センター　相談員(会計年度任用職員)2名

⑴　消費生活相談受付状況

令和７年度　相談受付件数：　707件(内訳は次のとおり)

相談別	苦情(635)									問い合わせ要望
	店舗購入	訪問販売	通信販売	マルチ・マルチまがい	電話勧誘販売	ネガティブオプション	訪問購入	その他無店舗	不明・無関係	
件数	132	62	226	0	54	3	7	0	151	72

※　国民生活センター全国消費生活情報ネットワーク・システム（PIO-NET)での集計分類

⑵　助言、あっせんによる救済（被害未然防止・被害回復）

消費生活相談員による助言、あっせんに係る救済金額　合計 13,971,984円

2　消費者教育

出前講座：開催回数 16回（参加者382人）

年代ごとに身近な話題の啓発用物品を購入し、中学２年生、高校２年生、２０歳、高齢者に配布しました。

上記の評価と課題等

消費生活相談員による助言及び斡旋を通じて、消費者被害の未然防止及び減少に寄与しました。

訪問販売による高額な蓄電池や布団販売等のトラブルのほか、SNS広告による定期購入トラブルの相談が多数あり、被害回復のため必要な対応を講ずるとともに、相談者に対し防犯対策や横行している手口の教示をする等、被害拡大防止に努めました。

消費者トラブルに関しては、新しい手口の発生や流行りの手口の変遷等がめまぐるしいことから引き続き、消費生活相談員のスキルアップを図りながら、各種消費者相談に対応し、消費者被害の防止と解決に努めます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	市民課
係等	市民担当

決算書ページ	93

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費		施策	デジタル技術を活用した行政変革

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
233,001,000	223,279,291	5,042,000	4,679,709	95.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
98,576,031		戸籍住民基本台帳手数料	34,975,450	中長期在留者住居地等事務委託金	1,418,000
		デジタル基盤改革支援補助金	18,666,000	人口動態調査委託金	94,313
		個人番号カード交付事務費補助金	33,633,000	その他雑入（市民課）	231,268
		法改正等に伴うシステム整備費補助金	9,558,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　主な事業

①マイナンバーカード関係事業

令和７年度は10年更新を迎えるマイナンバーカードの更新申請が増加しました。また電子証明書の５年更新も増加し窓口が混雑したため、令和８年２月にオンライン窓口を開設し、マイナンバーカード更新申請の処理能力の向上を図りました。

②証明書コンビニ交付関係事業

令和６年度に補助金を活用して各支所に窓口申請ツール及び市民課にキオスク端末を設置しました。交付手数料を一律100円値下げしたところ、令和７年度は令和６年度と比較してコンビニでの交付率が約20%上昇しました。

③戸籍振り仮名対応

令和７年７月に本籍人に対して一斉に仮の振り仮名通知を発出しました。令和８年５月25日までに振り仮名届出がなかった戸籍については、令和８年度中に振り仮名の職権記載を行います。

④標準化・共通化に係るシステム改修

令和７年12月に行革デジタル推進課により基幹業務システム（Reams）の標準化が実施され、戸籍システムは市民課が令和８年２月に補助金を用いて標準化を実施しました。

2　戸籍住民基本台帳事務

（１）戸籍事務

ア　本籍数及び本籍人口

区分	R7.3月末現在①	R8.3月末現在②	増減（②－①）
本籍数（戸籍）	39,650	39,571	△ 79
本籍人口（人）	95,247	94,695	△ 552

イ　戸籍届出事件数（令和７年度）

事件名	件数	事件名	件数	事件名	件数
出　　生	670	離　　婚	226	帰　　化	5
国籍留保	0	法77条の2	80	転　　籍	356
養子縁組	64	死　　亡	1,439	訂正・更生	62
養子離縁	23	入　　籍	157	その他	75
婚　　姻	847	分　　籍	25	合計	4,029

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費		施策	デジタル技術を活用した行政変革

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）住民基本台帳事務

ア　人口・世帯数

区分	R7.3月末現在①	R8.3月末現在②	増減（②－①）
人口（人）	95,555 （内外国人：1,599）	95,269 （内外国人：1,753）	△ 286 （内外国人：154）
世帯数（戸）	42,101 （内外国人：1,308）	42,560 （内外国人：1,448）	459 （内外国人：140）

イ　異動処理件数　（令和７年度）

区分	件数
転入	2,522
転出	2,417
転居	1,116
世帯変更	323
附票関係	10,639
合計	17,017

ウ　主な国籍別外国人住民人口　（令和８年３月31日現在）

国籍	人数（人）	外国人に占める割合
ベトナム	341	19.45%
中国	304	17.34%
ブラジル	228	13.01%
フィリピン	186	10.61%
インドネシア	173	9.87%

（３）証明書・マイナンバーカード関係

ア　証明書交付手数料関係　（令和７年度）

区分		件数	手数料（円）	内コンビニ交付件数	内コンビニ交付手数料（円）
戸籍	戸籍謄抄本	12,682	5,183,900	5,230	1,830,500
	除籍、改製原戸籍	11,357	8,517,750		
	その他戸籍関係証明	985	313,800		
住民票	住民票の写し	34,342	8,464,700	18,379	3,675,800
	その他住民票関係証明	1,141	289,200		
	戸籍の附票の写し	2,474	696,000	462	92,400
	住民票広域交付	27	8,100		
印鑑	印鑑登録証明書	25,161	5,933,000	16,153	3,230,600
	印鑑登録	2,874	862,200		
税務関係諸証明		12,103	4,144,900		
臨時運行許可証		664	498,000		
その他証明		259	63,900		
合計		104,069	34,975,450	40,224	8,829,300

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	戸籍住民基本台帳費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	01	戸籍住民基本台帳費			
	事業	0102490	戸籍住民基本台帳管理費		施策	デジタル技術を活用した行政変革

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

イ　コンビニでの証明書の交付件数と交付割合（R7.1.4以降は1件当たり手数料一律100円減額）

証明書名【戸籍謄抄本・住民票の写し・戸籍の附票の写し・印鑑登録証明書】

年度	件数	内コンビニ交付件数	コンビニ交付割合	手数料（円）	内コンビニ交付手数料（円）
R6年度	76,935	25,581	33.25%	24,090,250	7,061,500
R7年度	74,659	40,224	53.88%	20,277,600	8,829,300
増減数	△ 2,276	14,643	20.63%	△ 3,812,650	1,767,800

ウ　マイナンバーカード申請・交付・保有件数　（申請・交付は更新・再発行を含む）

年度	1月1日住基人口	延べ申請件数	延べ交付件数	年度末保有率
R6年度	96,249	89,333	81,469	77.50%
R7年度	95,868	102,763	95,011	82.30%
増減数	△ 381	13,430	13,542	4.80%

上記の評価と課題等

令和７年度末のマイナンバーカード保有率が82.30%、証明書をコンビニで交付した割合も53.88%となり、前年度より20.63%増加しました。コンビニ交付を周知した結果、交付件数が増加し、窓口混雑の解消につながりました。

また、書かない窓口システムの導入など、デジタル化の検討・導入を進めることで、市民の利便性の向上と窓口業務の効率化につなげてまいります。

令和８年度以降は、マイナンバーカード・電子証明書の更新申請が本格化することや、マイナンバーカードへの振り仮名の職権記載が生じるため、受付体制の増強と再構築を図る必要があります。

令和８年度	
部	市民生活部
課	環境・ゼロカーボン推進課
係等	環境政策担当

決算書ページ	83

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102360	水資源対策事業		施策	自然環境の保全

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
29,656,000	28,658,873	0	997,127	96.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
900,000		企業版ふるさと納税	900,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　水環境基本計画・行動計画の推進

（１）地下水位等観測調査

地下水位13か所（豊科地域６か所、穂高地域５か所、堀金地域２か所）と、湧水量２か所の継続的な観測を実施しました。降水量の増加により多くの地点で８月中旬に最高水位を記録しました。最低水位は２月中旬～３月中旬に確認されました。なお、経年の水位変動は10年ほど前から横ばいです。

（２）麦後湛水事業

人為的な地下水涵養施策として、他課と連携し、麦の刈り取り後の転作田に水を張る事業に継続して取り組みました。（涵養量：174.7万m^3/年）

（３）新たな人為的涵養施策の研究・検討

「犀川三川合流部地下水涵養施策の効率化へ向けた地下水涵養・流動の解析」を信州大学への委託研究により実施しました。

（４）2025大阪・関西万博の出展

内閣官房水循環政策本部事務局のブース内に、動画・模型・パネルなどにより、安曇野市における水資源や保全の取り組みを紹介しました。
期日：9/23～29、展示テーマ：「安曇野水物語～水で結ばれ 暮らしをつむぐ～」
来場者数（７日間）：約6,600人

（５）市民とのネットワーク「あづみの水結（みずゆい）」の充実化

市民と共に水環境の保全と情報発信を行う「あづみの水結」の活動充実化を図りました。登録者は49者（25個人・24団体）です。具体的な活動としては、穂高商業高校との連携した環境学習・いこいの池の清掃・イベントでの保全ＰＲ活動や、事業者や個人の登録者と共に、親子対象「あづみの水めぐりツアー」などを実施しました。

２　安曇野市水環境審議会の開催

安曇野市水環境審議会（委員18人）では、全５回の会議を開催し、水資源の保全と利用の適正化に向け、主に次の内容を審議しました。

（１）水環境基本計画・行動計画に掲げた施策推進に向けた協議・点検評価

（２）第２次水環境基本計画・行動計画策定に向けた検討

予算	款	02	総務費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102360	水資源対策事業		施策	自然環境の保全

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　松本盆地内自治体との連携

アルプス地域地下水保全対策協議会（松本市・大町市・塩尻市・安曇野市・麻績村・生坂村・山形村・朝日村・筑北村・池田町・松川村・長野県）では、松本盆地流域の水環境保全に関わる次の事業に取り組みました。

（１）（仮称）松本盆地流域水循環計画の策定に向けた協議

これまで実施した各種調査を総括・分析するとともに、流域の課題や取り組みの方向を定め、各市町村において具体化するための計画策定の必要性について協議しました。令和８年度中の策定を目指す方向で方針決定しました。

（２）一斉測水調査

流域の地下水の流れや季節性の変動を確認するため、平成27年から10年に１度実施している一斉測水調査を構成自治体で実施しました。調査結果は上記計画において公開する方針です。

上記の評価と課題等

地下水位等を定期的に観測することで、継続的な把握と監視を行うことができました。また当年度は、大阪・関西万博への参加や「あづみの水結」活動の充実化を通じて、多くの皆さんに水環境保全の必要性を理解いただき、関わっていただくことができました。

今後は、これまでの基本理念を継承しながら、新たなステップ（創出）に取り組むため、第２次水環境基本計画の策定に取り組みます。また、広域圏での取り組みを強化するため、（仮称）松本盆地水循環計画の策定に向け、安曇野市が保有するデータを活用していきます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	環境・ゼロカーボン推進課
係等	環境政策担当

決算書ページ	139

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104150	環境基本計画推進事業		施策	自然環境の保全

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,213,000	10,787,749	0	425,251	96.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,358,600		その他刊行物頒布代（レッドデータブック）	74,600		
		ちくに生きものみらい基金繰入金	275,000		
		郷土博物館刊行物等分布代	9,000		
		地域振興基金繰入金	5,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　環境基本計画の推進

（１）環境フェア

➤市制20周年記念事業

市制20周年を記念し、環境フェアのプレイベントとして「ココリコ 田中直樹さんと学ぼう！あづみ野の生きものたち」を開催しました。幅広い世代の市民が参加した講演会となりました。期日：９/14、会場：豊科公民館ホール、来場者数：約650人

➤安曇野環境フェア2025

「水と緑を守り、未来をつくる安曇野」をキャッチフレーズに、市内外の団体・企業によるブース出展、環境活動発表会、環境ポスター作品の展示、リサイクル自転車の抽選販売などを実施し、環境保全意識の向上を図りました。出展ブースは48団体でした。
期日：10/４～５、会場：堀金総合体育館、堀金中央公園、来場者数（２日間）：約2,200人

（２）安曇野環境市民ネットワーク

上記ネットワークには、環境保全活動を行う22団体が登録しています。登録団体が開催するイベント・関連情報は、メーリングリストや安曇野市ホームページ「安曇野エコプラン.net」などにより情報発信し、活動の活発化を図りました。

➤環境学習プログラム

登録団体が提案する17講座を「環境学習プログラム」としてまとめ、市内の小中学校に配布しました。

➤共催事業

また、安曇野市との共催事業として、次の講座を開催しました。

・第１回　環カフェ「緑のカーテン講座（ゴーヤ編）」　　期日：５/24、参加者：40人
・第２回　環カフェ「生物多様性の保全を学ぼう」　　期日：12/15、参加者：14人
・第３回　環カフェ「未来を守る私たちの活動」　　期日：３/13、参加者：８人

（３）自然観察会

環境について学ぶ・体験する機会を増やすため、次の主催講座を開催しました。

・第１回　夜の昆虫観察　　期日：６/28　参加者：41人
・第２回　水辺の生きもの観察　　期日：７/19　参加者：31人
・第３回　冬の森に暮らす生きもの観察　　期日：１/17　参加者：31人

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104150	環境基本計画推進事業		施策	自然環境の保全

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）安曇野市版レッドデータブックの活用

令和６年度に作成した「安曇野市版レッドデータブック2024（改訂版）」と「安曇野市版レッドデータブック2014」を合わせて絶滅のおそれのある種の現状と種の保全に取り組むほか、安曇野環境フェア2025の会場において周知を行いました。

令和７年度販売数（R８．３.31　現在）

・安曇野市版レッドデータブック2014　　41冊
・安曇野市版レッドデータブック2024　　42冊

２　安曇野市環境審議会の開催

安曇野市環境審議会（委員14人）では、全３回の会議を開催し、環境基本計画・環境行動計画に基づく進捗状況の確認、評価・意見を行い、年次報告書を作成しました。

上記の評価と課題等

環境フェア関連ではプレイベントとフェアの２回に分け、市民向けに安曇野の生きもの、環境に対する意識向上を図るとともに、出展者と来場者が交流を深め、現状や課題の共有できる場の提供ができました。今後も交流の場を設けるよう進めていきます。

自然観察会など環境保全に関わる講座は、他団体・他部署でも実施されています。効率的で効果的な実施に向け、相互連携を進めます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	環境・ゼロカーボン推進課
係等	ゼロカーボン推進係

決算書ページ	141

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104155	ゼロカーボン推進事業		施策	脱炭素社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
250,678,000	209,201,019	41,344,000	132,981	83.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
244,859,000		地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	188,681,000		
		補助金返還金	36,178,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	20,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　環境基本計画、職員ゼロカーボン行動計画の推進

（１）住宅用地球温暖化対策設備設置補助

補助メニューに電気自動車の購入補助を加え、太陽光発電とセットで導入を促すことで、災害にも強いエネルギー自立型の暮らしの普及を図りました。

単位：円

	R6		R7	
対象設備	件数	補助金額	件数	補助金額
太陽光発電システム	236	17,700,000	180	13,500,000
定置型蓄電システム	161	12,075,000	122	9,150,000
電気自動車等充給電設備（V2H）	11	825,000	6	450,000
太陽熱利用システム	9	450,000	15	600,000
電気自動車（R7新設）	－	－	12	1,200,000
合　計	417	31,050,000	335	24,900,000

※補助率・・太陽光発電システム、定置型蓄電システム、V2H：一律 75,000円
太陽熱利用システム　：一律 40,000円（R6：50,000円）
電気自動車　：一律100,000円

（２）地域資源活用による脱炭素化推進事業

環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、地域エネルギー会社と連携して、再エネの地産地消の拡大に取り組みました。

・公共施設等への自家消費型太陽光発電設備の設置（PPA方式）：７か所
・地域資源を活用したバイオマス燃料製造設備の整備：１か所
・温浴施設へのバイオマスボイラーの設置：２か所

上記の評価と課題等

住宅においては、継続補助の実施に加え、新たに電気自動車の補助制度を創設し推進したことで、運輸部門の対策強化も図られました。また、公共施設等においては、屋根置き太陽光発電設備、市内の未利用となっていた木質チップの燃料化設備、温浴施設等へのバイオマスボイラーの整備を図りました。

今後は、住宅における再エネ利用の更なる促進、また、バイオマス燃料による熱供給を開始するほか、供給施設の追加も検討し、再エネの地産地消及び地域内経済循環の促進を図っていきます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	環境・ゼロカーボン推進課
係等	ゼロカーボン推進係

決算書ページ	143

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0190100	【明許】地域脱炭素化推進事業		施策	脱炭素社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
33,185,000	33,185,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
33,185,000		【明許】地域脱炭素移行・再エネ推進交付金	33,185,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　地域資源活用による脱炭素化推進事業

環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、地域エネルギー会社と連携して、再エネの地産地消の拡大に取り組みました。

・地域資源を活用したバイオマス燃料製造設備の整備：１か所　33,185,000円

上記の評価と課題等

令和６年度に補助金交付決定した「きのこ培地を活用するバイオマス燃料製造設備」の設置について、中東情勢悪化に伴うスエズ運河の通航不可により、海外から輸入する設備の納入に日数を要し、年度内での事業完了が困難となったため、令和７年度へ明許繰越としました。

令和７年度は工事完了となり補助金交付となりました。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	環境保全担当

決算書ページ	139

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	04	霊園管理費			
	事業	0104140	霊園管理費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
43,966,000	42,979,429	0	986,571	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
44,683,054		霊園管理料	10,260,740	霊園基金利子	478,214
		霊園管理料滞納繰越分	93,300	霊園基金繰入金	13,615,000
		霊園使用料	20,225,000		
		霊園事務手数料	10,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　霊園管理費
　市営霊園10箇所（3,786 区画）の維持管理を行いました。

（１）施設修繕
　ア　荻原公園墓地多目的トイレ緊急修繕　19,800円
　イ　返還聖地修繕(上沢霊園・黒沢霊園)　219,912円
　ウ　穂高墓地公園男子トイレ修繕　24,750円
　エ　返還聖地修繕(穂高墓地公園)　66,000円
　オ　黒沢霊園施設修繕　404,140円
　カ　穂高墓地公園不凍栓修繕　99,000円
　キ　上沢霊園植栽マット修繕　400,400円
　ク　霊園駐車場区画線修繕　471,900円

（２）手数料、委託料
　ア　手数料（浄化槽定期点検、し尿汲み取り、水道設備開閉栓）140,730円
　イ　管理委託料（清掃業務等）8,696,166円
　ウ　事務事業委託料（システム改修、枯損木伐採等）3,881,900円

（３）工事請負費
　・アルプス霊園フェンス設置工事　5,676,000円

２　合葬墓造成事業
　・合葬墓２号基建築工事設計業務委託料　2,333,100円

上記の評価と課題等

　令和７年10月に合葬墓１号基の共同埋蔵室の募集を終了しました。合葬墓に対する市民ニーズは年々高まっており、２基目の早期募集を望まれています。令和７年度に完了した実施設計を基に、合葬墓２号基の早期着工と令和８年度内の完成、令和９年度の募集開始を目指していきます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	環境保全担当

決算書ページ	141

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104160	環境衛生総務費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
283,736,000	279,467,147	0	4,268,853	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,591,350		狂犬病予防注射済票交付手数料	2,460,750		
		犬の登録手数料	1,130,600		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　環境衛生総務費（決算額　265,996,334円）
広域豊科葬祭センターの管理経営費を拠出しました。
・組合負担金 72,390,000円（前年度 61,763,000円）

２　狂犬病予防・動物愛護事業（決算額　3,101,250円）
（１）　動物の愛護及び管理
①犬の登録と狂犬病予防注射を実施し、それぞれ鑑札、注射済票を交付しました。
②狂犬病予防注射は、広報及び飼い主への年１回のはがき郵送による周知を行いました。
・登録頭数 5,166頭（前年度 5,152頭）
・新規登録（鑑札交付件数） 536頭（前年度 584頭）
・再登録（鑑札再交付件数） ９頭（前年度 38頭）
・注射済票の交付数 4,449頭（新規4,446頭+再交付３頭）（前年度 4,594頭）

（２）動物の愛護及び管理
犬の糞の持ち帰り啓発用看板を希望者に貸与しました。
①迷い犬等保護件数 25件（前年度 41件） 看板貸出数 44件（前年度 48件）
②ニャンでも相談 ２回６件（前年度２回13件）

（３）猫不妊・去勢手術費用補助
飼い主のいない猫の増加を防止し、地域における猫による被害を防ぐため、動物愛護団体に対して、地域猫の不妊・去勢手術費用487,129円を補助しました。
・不妊、去勢手術頭数 36頭（ｵｽ7頭、ﾒｽ29頭）（前年度35頭（ｵｽ12頭、ﾒｽ23頭））

（４）迷い犬捕獲業務
市内において迷い犬を捕獲した際、確保された場所から市役所へ迷い犬を搬送し、飼い主から保護確認があるまで一定期間預かりました。　・搬送頭数 ７頭（前年度 41頭）

３　公衆便所管理事業（決算額　2,074,563円）
公衆便所２か所（豊科駅前・豊科新田公民館前）の適正な管理を行いました。

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街 安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104160	環境衛生総務費		施策	良質な住環境の整備

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　火葬料負担金事業（決算額　8,295,000円）

（１）火葬料無料化に伴う負担金　（広域豊科葬祭センター利用分）

遺　体	1,146件	8,022,000円	（前年度	1,255件	8,785,000円）
死産児	14件	49,000円	（前年度	10件	35,000円）
計	1,160件	8,071,000円	（前年度	1,265件	8,820,000円）

（２）広域豊科葬祭センター以外の火葬場を使用した場合の火葬炉使用料（一部）を扶助しました。

・申請件数　　遺体32件（前年度　遺体36体）

・支出合計　224,000円（前年度 252,000円）

上記の評価と課題等

狂犬病予防の集合注射を年３回（４月・６月・10月）実施し、狂犬病の予防に努めるとともに、動物の適正飼養について啓発を行いました。

市民が火葬施設を使用する場合の火葬費用の負担を補助し、市民の経済的負担軽減に努めました。

豊科駅前公衆便所は、給排水管等の老朽化が見受けられることから、機能や快適性の向上を図るため、内装及び水設備等の改修を令和８年度に計画します。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	環境保全担当

決算書ページ	143

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104170	合併浄化槽補助事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,848,000	13,371,000	0	477,000	96.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,679,000		浄化槽設置整備補助金（国庫支出金）	2,256,000		
		浄化槽設置整備補助金（県支出金）	3,423,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　合併浄化槽補助事業

　公共下水道及び農業集落排水の両事業計画区域外に新たに合併浄化槽を設置又は新たに設置された住宅を購入する市民に対して補助金を交付しました。

２　設置基数ほか

人　槽	設置基数	補助額	内　　訳
５人槽	21基	10,300,000円	豊科地域３基、穂高地域16基、三郷地域２基
6～7人槽	５基	3,030,000円	穂高地域５基
8～10人槽	０基	０円	
合計	26基	13,330,000円	

上記の評価と課題等

　下水道事業計画区域外の水洗化を図るため、合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助することで生活環境の向上及び公共用水域の水質改善を図りました。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	環境保全担当

決算書ページ	143

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	公害対策費			
	事業	0104180	公害対策費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,541,000	8,322,029	0	1,218,971	87.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
397,000		特定外来生物防除等対策事業交付金	397,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　公害対策費　（決算額　6,357,908円）

河川水質・地下水質・大気中窒素酸化物・道路騒音・自動車騒音常時監視等の各種検査、測定を実施し、公害の発生を監視しました。

・大気中窒素酸化物測定調査　３地点（通年）	404,800円
・自動車交通騒音測定　８地点（12月）	1,595,000円
・自動車騒音常時監視及び面的評価業務　３路線	990,000円
・河川水質検査 26箇所（８月）	400,400円
・地下水（井戸水）水質検査 28地点（７・２月）	770,000円
・地下水（井戸水）硝酸態窒素検査	257,400円

2　臭気対策費　（決算額　1,964,121円）

三郷地域の畜産臭気を把握するため、臭気モニターによる臭気確認、公害監視員による巡回監視と畜産事業者の臭気指数測定を実施しました。

・畜産臭気指数調査　４か所24回（５～10月）	990,000円
２か所６回（７～９月）	
※夏期に指数超過した畜産農家のみ	99,000円
・臭気対策アドバイザー派遣業務	531,161円
・臭気モニター16名（12か月）への調査謝礼	192,000円
・公害監視員２名（週１回：計98日）への調査謝礼	96,000円

上記の評価と課題等

公害測定（環境調査）の実施や常時監視により、健康で快適な市民生活環境を保持しました。

三郷地域の畜産臭気指数測定（５～10月、延べ30 回）では、畜産業者６者のうち２者で計２回規制値を超過しましたが、令和８年２月に再度測定したところ規制値以下となりました。

引き続き臭気指数測定を実施し、監視体制の継続を行うとともに、必要に応じて指導を行います。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	145

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	清掃総務費			
	事業	0104210	清掃費		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
729,056,000	725,917,440	0	3,138,560	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
105,413,120		一般廃棄物許可申請等手数料	40,000		
		可燃ごみ処理手数料	99,850,000		
		動物死骸処理手数料	962,500		
		資源売却代	4,560,620		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　廃棄物収集運搬事業（決算額　359,672,992円）

市内の指定集積場所に排出される一般廃棄物（可燃・不燃ごみ）の収集運搬を５事業者に委託し、穂高クリーンセンター等へ搬入しました。

・穂高クリーンセンターに搬入した家庭系可燃ごみ　…12,572t（前年度比98.2%）
・穂高クリーンセンター及び一般廃棄物最終処分場等に搬入した不燃ごみ…312t（前年度比95.7%）

令和７年度から、容器包装プラスチックと合わせて、家庭から出る洗面器やバケツ、プランター等のプラスチック製品廃棄物の資源回収を開始しました。再商品化事業者に約567tを引き渡し、パレット等の材料としてリサイクルしました。

２　廃棄物対策総務費（決算額　10,946,189円）

市内一斉清掃の実施（５月25日・11月２日）
上記以外の一斉清掃を含めて、延べ418団体41,962人に参加いただきました。
ごみ収集量は推計で16,854kgになりました。

３　不法投棄対策事業（決算額　5,263,259円）

不法投棄防止と投棄物の早期発見のため、15人の不法投棄監視連絡員を委嘱し、常習箇所を中心にパトロールを延べ695日実施しました。

４　穂高広域施設組合事業（決算額　350,035,000円）

穂高広域施設組合の管理運営及び施設整備等の負担金を拠出しました。

上記の評価と課題等

「安曇野市一斉清掃」は、地域の美化活動と共に意識の醸成につながる大切な取り組みとして毎年行われています。

また、不法投棄の監視を行う「不法投棄監視連絡員」が定期的にパトロールすることで、ごみが捨てられやすい場所を把握することができ、防止看板設置等の対策に繋がりました。

引き続き、環境美化活動を推進し、市民一人ひとりが「ごみをポイ捨てしない」「適切にごみを処理する」という意識を持てるよう、広報紙やホームページ等を通じた周知啓発活動を行い、きれいなまちを守っていきます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	147

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	じんかい処理費			
	事業	0104220	ごみ減量化再利用対策事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,681,000	18,183,749	0	2,497,251	87.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
526,950		再商品化合理化拠出金配分金	526,950		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

ごみ減量化再利用対策事業

１「ごみ・資源物収集カレンダー」作成・・・1,966,800円
ごみ・資源物収集カレンダーやLINE（ライン）により分別方法の周知等に努めました。

２　緑のリサイクル事業せん定枝破砕業務委託料・・・1,405,800 円
緑のリサイクル事業により、家庭から出るせん定枝の資源化に努めました。

３　生ごみ処理機器等購入費補助金・・・191件、3,354,100円
（内訳：生ごみ処理機115件、生ごみ処理容器51件、草木粉砕機25件）
生ごみ処理機器等購入補助金を交付し、生ごみの減量を図りました。

環境学習会

小学４年生が実施する社会見学の一環として、穂高クリーンセンターの施設見学時に職員が出向き、ごみを減らすことの大切さやその工夫であるリデュース（発生抑制）・リユース（再使用）・リサイクル（再生利用）の３Rについて説明しました。
令和７年度は、市内小学校10校、児童793人が参加しました。

上記の評価と課題等

小学４年生を対象とした環境学習会は、ごみを減らすために一人ひとりができる取り組みや家庭から出るごみについて考えるよい機会となっています。
家庭から排出されるごみの多くは正しく分別され、リサイクルされています。今後も、ごみのゆくえや分別方法について、よりわかりやすい内容で広報紙やホームページで周知するほか、環境フェア等さまざまな機会を捉え発信しすることで、ごみの減量を推進します。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	147

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	じんかい処理費			
	事業	0104230	最終処分場施設管理事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,661,000	6,892,182	0	1,768,818	79.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

最終処分場施設管理事業

1　水質検査の実施

三郷一般廃棄物最終処分場及び小岩岳不燃物処理場周辺の環境整備に努めるとともに、地下水への影響を調査するため、水質検査を実施しました。検査の結果、異常は認められませんでした。

・放流水・周辺地下水等水質検査及びダイオキシン類検査業務委託・・・4,020,280円

※検査場所は、旧豊科最終処分場、小岩岳不燃物処理場、三郷一般廃棄物最終処分場

2　小岩岳不燃物処理場管理

家庭から排出されるブロック、コンクリート、瓦、タイル、壁土及び土砂並びに地区河川清掃等から排出される土砂約179tを処分しました。

上記の評価と課題等

三郷一般廃棄物最終処分場は、令和３年度末に埋立終了となり、現在は受入はしていません。廃止手続きに向けて、保有水（浸出水）の水素イオン濃度基準値を一部変更する必要があるためその準備を進めています。引き続き、水質検査及び周知環境整備を実施し、施設の適正な維持管理を行います。

また、小岩岳不燃物処理場については、地元区との協定に基づき、引き続き水質検査及び適正な管理運営に努めます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	147

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	じんかい処理費			
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,087,000	15,137,478	0	949,522	94.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,975,640		木くず受入処理手数料	1,091,640		
		資源売却代	6,614,000		
		リサイクルセンター再生品販売代	270,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　リサイクルセンター施設管理事業

市内３施設で資源物の受け入れを行い、事業者委託により適正な管理を行いました。また、日常的に施設を点検することにより、確実に施設を開場することができました。

施設利用者数は、３施設の合計が61,907人で前年度から4,146人増となりました。

緑のリサイクルでは受け入れることのできないせん定枝（太さが８cmを超えるもの）や木製の家具等を豊科リサイクルセンターで有料で受け入れる「木くずのサーマルリサイクル事業」では、49,620kgを熱源としてリサイクルすることができました。

また、事業系一般廃棄物の減量を目的とし、事業系資源物（紙類）を受け入れています。

なお、３施設で回収した不要自転車は、修繕後、安曇野環境フェア2025において「リサイクル自転車」として50台を販売しました。

【稼働実績】

施設名	年度	利用者数	資源物受入日数	１日平均利用者数
豊科リサイクルセンター	7	29,286	125	234.3
	6	27,242	126	216.2
	5	27,283	128	213.1
	4	26,350	126	209.1
	3	26,535	126	210.6
穂高リサイクルセンター	7	28,642	101	283.6
	6	26,601	102	260.8
	5	25,348	104	243.7
	4	23,110	102	226.6
	3	22,458	102	220.2
明科リサイクルセンター	7	3,979	47	84.7
	6	3,918	48	81.6
	5	4,025	48	83.9
	4	4,141	47	88.1
	3	4,109	46	89.3
合　計	7	61,907	―	―
	6	57,761	―	―
	5	56,656	―	―
	4	53,601	―	―
	3	53,102	―	―

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	じんかい処理費			
	事業	0104240	リサイクルセンター管理運営事業		施策	循環型社会の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

【資源物の受入量】　（単位：ｔ）

施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
豊科リサイクルセンター	7	47.73	48.85	24.12	0.85	10.41	16.02
	6	48.93	43.61	23.48	0.90	11.53	16.03
	5	57.54	45.97	25.35	1.00	10.70	16.59
	4	64.70	60.23	28.24	0.99	10.97	19.08
	3	64.52	62.97	31.75	1.07	10.81	33.03
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ資源	蛍光管・乾電池	合計
	7	6.52	53.54	5.96	35.03	0.45	249.48
	6	6.63	54.06	5.97	19.66	3.02	233.82
	5	6.76	53.70	6.35	19.22	3.00	246.18
	4	6.44	52.69	6.65	18.47	3.11	271.57
	3	6.78	49.52	7.13	18.14	3.27	288.99

施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
穂高リサイクルセンター	7	35.02	32.50	25.71	1.01	12.60	10.59
	6	39.07	36.26	24.01	1.05	11.79	13.07
	5	43.83	37.09	22.92	1.18	12.43	16.60
	4	47.90	44.72	25.92	1.05	11.66	23.05
	3	48.91	43.62	27.03	1.08	10.82	29.08
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ資源	蛍光管・乾電池	合計
	7	9.35	61.42	7.75	27.82	—	223.77
	6	9.73	59.48	8.74	16.79	—	219.99
	5	9.73	60.10	8.68	17.50	—	230.06
	4	9.64	56.13	9.04	17.74	—	246.85
	3	8.96	55.26	8.31	16.60	—	249.67

施設名	年度	新聞	雑誌・雑紙	段ボール	紙パック	紙製容器包装	衣類
明科リサイクルセンター	7	17.10	9.85	7.87	0.18	2.65	4.31
	6	16.94	10.03	7.47	0.15	3.54	3.46
	5	19.62	10.83	7.64	0.11	2.42	4.19
	4	21.95	14.15	8.31	0.27	3.35	5.74
	3	24.10	13.14	9.52	0.22	3.55	6.07
	年度	ペットボトル	ガラスびん	缶	プラ資源	蛍光管・乾電池	合計
	7	1.96	9.21	1.39	6.79	0.25	61.56
	6	2.16	9.73	1.59	6.09	0.81	61.97
	5	1.95	9.40	2.01	6.46	1.00	65.63
	4	1.95	10.82	1.87	5.85	0.86	75.12
	3	1.76	10.63	2.00	6.07	1.05	78.11

上記の評価と課題等

拠点回収できるリサイクル施設は、市民のライフスタイルの多様化の観点からも必要性が高くなっており、利用者は増加傾向にあります。また、令和７年度から製品プラスチックの回収が始まったことにより、プラスチック資源の収集量が増加しました。

分別収集する資源物が多岐にわたるため、受入指導を行う指導員の存在が必要不可欠です。持続可能な施設として存続させるため、関係機関と調整を行い対応方法を検討していきます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	生活環境保全課
係等	資源循環推進担当

決算書ページ	149

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	清掃費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	03	雑排水処理費			
	事業	0104260	雑排水処理事業		施策	循環型社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,324,000	21,498,109	0	1,825,891	92.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,373		穂高生活雑排水浄化処理場水道使用料	30,373		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　生活雑排水処理施設管理事業

（１）生活雑排水浄化処理場の管理を委託し、４事業者が定期的に市内で汲取った生活雑排水汚水・汚泥を処理場に搬入し、希釈後に下水道へ放流しました。

　定期的に槽の清掃等を実施し、適正な施設管理に努め、下水道に放流される水質検査を実施しました。また、臭気対策として、環境調査事業者による臭気測定を年４回実施しています。

（単位：kℓ）

年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
雑排水汚泥処理量	2,540.7	2,409.4	2,344.0	2,270.0	2,186.8

・管理作業委託　　6,329,400円
・槽清掃　第１貯留槽　　981,200円（年２回実施）
　　第２貯留槽　　2,442,000円（年６回実施）
　　沈砂槽　　1,498,200円（年３回実施）
・消防用設備等点検　　44,000円
・機械器具点検　　209,000円
・水質検査　　132,000円（年６回実施）
・臭気指数測定　　426,800円（年４回実施）

（２）柏原団地に設置されている穂高柏原生活雑排水浄化処理場を管理し、放流水質の安定を図りました。老朽化した施設であり、軽微な故障も多くなっていますが、安定的な管理に努めています。

・ポンプ等修繕　　781,000円
・ポンプ用配管修繕　　514,800円
・円盤減速機チェーン交換　　341,000円

上記の評価と課題等

　生活雑排水浄化処理場を利用する住民は、下水道の普及に伴い減少傾向にあります。しかしながら、下水道に接続していない又は接続できない家庭があるため、排出される家庭雑排水を適切に処理する現在の処理体制を維持することは必要不可欠です。

　また、生活雑排水浄化処理場及び穂高柏原生活雑排水浄化処理場については、老朽化が進んでいるため、計画的な施設修繕を行い、安定した水処理が行えるよう維持管理に努めます。

令和８年度	
部	市民生活部
課	移住定住推進課
係等	移住定住推進係

決算書ページ	81

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102322	移住定住推進事業		施策	移住・定住の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
88,282,000	87,871,028	0	410,972	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
49,369,000		地域少子化対策重点推進交付金	11,282,000		
		結婚応援イベント参加者負担金	87,000		
		UIJターン就業移住事業	38,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　結婚応援事業

○ 結婚応援事業

結婚相談業務を委託し、ながの結婚マッチングシステムへの本登録業務や、個別相談に対応しました。また婚活イベントを委託にて開催し、県内外から29名の参加がありました。

・結婚相談　相談件数　年間 822件　・婚活イベント 8月19日（参加者29人）

・結婚応援事業全体での成婚 ２件、交際への発展 30件

○ 結婚新生活支援事業補助金

夫婦ともに39歳以下であり、夫婦の前年合計所得が500万円未満の新婚世帯を対象に、結婚に伴う新生活への支援を目的として住宅改修や家賃、引っ越し費用等に対して補助金を交付しました。結婚を機に36人が市内へ転入し社会動態の増加にもつながりました。

補助金交付件数(世帯)	年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	新規	29世帯	38世帯	34世帯
	継続	－	12世帯	20世帯
	交付金額	9,512,000円	15,476,000円	15,631,000円

※令和７年度より交付金制度にあわせ資格認定世帯を新規世帯に含めて計上

2　移住定住推進事業

市のサポートを通じて県外から移住した人（行政サポート移住者）は、91世帯190人となり、令和６年度と比較し32世帯78人増加しました。なお、長野県が公表する毎月人口異動調査に基づく令和７年の社会増加数は414人、総務省が公表する令和７年住民基本台帳人口移動報告に基づく「0歳から14歳まで」の年少人口の社会増加数は108人、「25歳から49歳まで」の子育て世代の社会増加数は250人となりました。各統計からも継続して社会増となっています。

行政サポート移住者数	年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	移住者数	42人	92人	91人	112人	190人
	世帯数	22世帯	45世帯	42世帯	59世帯	91世帯
	(内子育て世帯)	(5世帯)	(8世帯)	(13世帯)	(9世帯)	(22世帯)

※子育て世帯は18歳未満の者を含む世帯（当該年度4月1日時点）

長野県毎月人口異動調査に基づく社会増加数	令和３年	令和４年	令和５年	令和６年	令和７年
	197人	574人	407人	467人	414人

予算				総合計画		
	款	02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	06	企画費			
	事業	0102322	移住定住推進事業		施策	移住・定住の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○ 信州安曇野ぐらしPR展の開催

東京駅に隣接する「KITTE丸の内」地下1階「東京シティアイ」にて安曇野で暮らす魅力を発信するイベントを開催しました。あづみの移住大使 篠原信一氏のトークショー、移住相談に加えて農産物の試食販売、あづみ野ガラス工房の展示販売、各種ワークショップ等を実施しました。他部署と連携し、安曇野市の多様な魅力を発信し体感できる出展を行いました。

・開催日　11月14日（金）、15日（土）　施設全体への来場者数　7,453人（スタッフ出入含）

○ 安曇野暮らしセミナー・移住交流ツアー等の開催、移住フェアへの出展

東京・名古屋・大阪にて市主催のセミナー・相談会を開催したほか、オンラインセミナーや移住ツアーを開催し、移住希望者へ安曇野の暮らしを紹介しました。また、全国の自治体が集結する「移住フェア」や、長野県主催の「移住セミナー」等へ出展し、安曇野市で生活する魅力の発信や相談を行いました。

・市主催セミナー・相談会の開催　全９回　（参加者 108人）
・オンラインセミナーの開催　全８回　及び過去のセミナー配信(参加者 226人)
・移住ツアーの開催　全３回　（参加者 70人）
・移住フェア等への出展　全13回　（安曇野市ブースへの来訪者数 565人）

○ 個別相談対応

移住希望者と窓口、電話、メール、オンラインにて個別の相談を行いました。

相談受付数	年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	相談件数	135件	167件	244件	288件	364件

○ おためし住宅

三郷小倉にある旧教員住宅を、移住希望者が生活体験をするための施設として貸付を行いました。

利用者数	年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
	申請件数	19件	47件	94件	99件	102件
	利用人数	48人	135人	229人	248人	253人

○ UIJターン就業・創業移住支援事業補助金

東京圏及び愛知県、大阪府からの移住者が県のマッチングサイトで就職した場合など各種要件を満たす方を対象に、移住に伴う費用への支援を目的として補助金を交付しました。

		令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
補助金交付件数(世帯)	移住者数	1人	14人	43人	58人	94人
	世帯数	1世帯	7世帯	18世帯	28世帯	36世帯
	(内子育て世帯)	－	－	(9世帯)	(11世帯)	(19世帯)
	交付金額	600,000円	5,400,000円	25,000,000円	40,800,000円	63,000,000円

※子育て世帯は18歳未満の者を含む世帯（当該年度４月１日時点）
※交付確定後の交付取消により決算額は令和６年度27世帯35,800千円、令和７年度34世帯59,400千円

上記の評価と課題等

【結婚応援事業】

交際発展件数や補助金活用件数が増え一定の取組成果がありましたが、成婚件数が課題です。今後は、出会いから成婚までの切れ目のない相談体制の充実など各実施事業の連携強化が必要です。

【移住定住推進事業】

移住フェアへの参加や情報発信、先輩移住者やオンライン等も活用した相談支援により、行政サポートによる移住者数は過去最高となりました。引き続きターゲット層である子育て世代や若者に向けて、移住ポータルサイトなどを通じた発信強化のほか、移住後の満足度向上やギャップ解消に向け、ふるさとワーキングホリデーなど安曇野で暮らす魅力を体験できる取組や、移住前からつながりが構築できる官民連携での支援体制の構築、相談対応の強化が必要です。

令和８年度	
部	市民生活部
課	移住定住推進課
係等	空家活用係

決算書ページ	143

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104185	空家等対策事業		施策	空き家対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
55,856,000	53,983,506	0	1,872,494	96.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
28,196,000		空き家対策総合支援事業補助金	13,191,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	15,000,000		
		住宅家賃負担金	5,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

空家等の対策を総合的に推進するため、第２次安曇野市空家等対策計画（令和５年度～令和９年度）の目標達成につながるよう、予防・管理・利活用・適正管理への対応を官民連携により実施しました。

1　空家等対策事業

○ 空家等対策協議会

事業計画の推進、特定空家の認定報告、改正空家特措法に係る管理不全空家への対応、空家等管理活用支援法人の指定に関する要件等について協議を行いました。

○ 空家現地実態調査

市が把握している空き家戸数と国の「住宅土地統計調査」空き家推計値に大きな乖離が見られることから、空き家戸数を把握するための実態調査を行いました。

調査結果を基に台帳の整備と今後、所有者意向調査を実施し、空き家の発生予防や適正管理、早期利活用等の促進につなげます。また、第３次安曇野市空家等対策計画策定の基礎資料とします。

市が把握する空き家戸数	令和４年末	令和５年末	令和６年末	令和７年度末
	931戸	979戸	1,024戸	1,156戸

※令和７年度は実態調査に基づく把握数

○ 苦情案件や特定空家等に係る対応

管理不全による環境や景観、保安上問題のある空家等について、令和７年度は185件の苦情や相談がありました。市で空き家の現地確認と所有者の把握を行ない、所有者に対し具体的な助言、指導を行いました。

特定空家等については、所有者に解体等を促した結果、３棟が解体され環境の改善がされました。これにより令和７年度末の特定空家数は20戸となりました。

また、所有者による改善が進まない特定空家１棟について、市が裁判所へ「管理不全土地建物管理人」選任の申し立てを行いました。今後は選任された管理人により、管理不全解消を図ります。

○ 地域おこし協力隊員の活動

明科地域を中心に空き家の掘り起こしや利活用を進めるため、「人と地域をつなぐ空家活用へのチャレンジ」をミッションに令和６年度から地域おこし協力隊員１名が活動しています。活動２年目は地域に入って約30件の所有者意向調査等を行い空き家のマッチング支援や、明科地域活性化の地域おこし協力隊員と共同で空き家を活用したイベントの企画などに取り組んでいます。

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	環境衛生費			
	事業	0104185	空家等対策事業		施策	空き家対策の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○ 空家等対策補助金

補助メニューや補助率、補助金額の拡充を行い、空き家所有者及び活用希望者のニーズに対応しました。空き家に係る補助事業の周知等に努めたことで補助申請件数が増加しました。特に移住者が購入した空き家を改修する事業「ようこそ。安曇野へ」については前年に引き続き多くの方が活用し、空き家の活用が図られました。

令和６年度			令和７年度		
メニュー	件数	補助金額	メニュー	件数	補助金額
片付け・清掃	10	914,000	片付け・清掃	16	1,652,000
解体	29	16,803,000	解体	18	9,686,000
解体（重点支援空家）	0	0	解体（重点支援空家）	3	2,660,000
ようこそ。安曇野へ	15	11,657,000	ようこそ。安曇野へ	15	9,000,000
活かそう。地域資源	3	900,000	活かそう。地域資源	4	1,600,000
おかえり。安曇野へ	0	0	おかえり。安曇野へ	0	0
長期体験。安曇野くらし	0	0	長期体験。安曇野くらし	0	0
空き家バンク登録支援	10	1,122,000	空き家バンク登録支援	10	1,025,000
空き家バンク移住者支援	12	1,181,000	空き家バンク移住者支援	15	1,382,000
地域活性化空家活用事業	1	2,400,000	地域活性化空家活用事業	2	4,800,000
地域活性化土地活用事業	0	0	地域活性化土地活用事業	0	0
	80	34,977,000		83	31,805,000

２　官民連携による事業

○ 空家等管理活用支援法人の指定

令和５年度の法改正により市の空き家対策を補完する法人として指定可能となった「空家等管理活用支援法人」として一般社団法人全国空き家アドバイザー協議会（長野県安曇野支部）と一般社団法人信州中古住宅流通ネットワーク（NEX-T安曇野）の２法人を令和８年１月に初めて指定しました。

指定法人と共同で、首都圏在住の市内空き家所有者等を対象にしたセミナーと相談会を東京都内で開催しました。（令和８年１月30日・31日開催　相談者９名）

○ 空き家見学会の開催

空き家の利活用促進や、地域の魅力の再発見につなげるため、空き家見学会を地域の関係団体との共同により開催しました。

（１）明科駅周辺まちあるき空き家空き店舗見学会

年４回（令和７年５月17日、８月23日、11月8日、２月14日）開催、延べ40名参加。紹介物件延べ19物件（連携先：明科駅周辺まちづくり委員会）

（２）三郷小倉まちあるき空き家見学会

就農等による移住希望者が多い三郷小倉地区で試験的に実施しました。令和７年11月16日開催、参加者16名、５物件紹介（協力先：北小倉区・ファインビュー室山）

○ 空き家啓発講演会

空き家が発生する理由の半数以上を占める相続をテーマとして、司法書士を講師に招き講演会とワークショップを開催しました。（令和８年２月７日開催　参加者17名）

上記の評価と課題等

空家等対策各種補助金の件数は伸びており、空き家の解体、利活用等を促すことで、市内の生活環境の改善や市への移住定住が促進されました。また、新たに空家等管理活用支援法人の指定など法改正による制度を活用し、官民連携の推進や管理不全空家対策にも取り組みました。

単身高齢者世帯が増えるなど、今後さらに空き家予備群の増加も見込まれ、啓発等による管理不全空家の発生防止や特定空家等所有者に対しては対応を強化していく必要があります。

利活用については、指定法人によるワンストップ相談体制を充実させ、民間の知見や専門性を活かすことで、空き家状態の解消や流通を促進につなげていく必要があります。

福祉部

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	101

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103010	社会福祉総務費		施策	地域福祉の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
457,470,000	451,068,441	0	6,401,559	98.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
35,257,751		民生委員活動委託金	13,062,800	指定寄附金	20,000,000
		民生委員協議会委託金	1,207,440	社会福祉雑入	109,390
		民生委員推薦会委託金	47,600		
		福祉基金利子	830,521		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　民生児童委員（福祉委員）活動

福祉委員報償費　　18,576,000円
協議会運営補助金　　2,643,840円
民生委員活動交付金　14,270,240円

民生児童委員は、市民の福祉の最も身近な相談者として、地域住民の福祉向上のための相談、支援、調査等の自主的な活動や研修、市民と行政の相談調整役として日々活動をしています。令和７年12月の一斉改選を経て、新しい顔ぶれの委員も加わり、各地区協議会とも新体制での活動がスタートしています。コロナウイルス感染症の猛威も沈静化してきた情勢下において、令和７年度は従来の活動が再開されており、地域福祉を担う存在として、これまでより更に重要視されています。

委員定数(人)：　豊科(62)、穂高(64)、三郷(38)、堀金(22)、明科(30)　合計216人

活動内容			
項　目	令和６年度	令和７年度	対前年比（%）
高齢者に関する相談・支援（件）	2,152	1,999	92.9%
障がい者に関する相談・支援（件）	205	199	97.1%
子どもに関する相談・支援（件）	583	564	96.7%
その他の相談・支援（件）	1,101	1,108	100.6%
活動延べ日数（日）	24,664	24,483	99.3%

２　地域福祉計画推進策定事業　　地域福祉計画推進・策定委員報償 108,500円

行政や市社会福祉協議会、福祉団体、民間事業者などと地域住民が連携し、地域福祉を推進するため、行政と市社会福祉協議会が個々に策定していた計画を一体的にした「安曇野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の第４期計画を、令和６年３月に策定しました。

第４期計画の推進及び進捗管理のため、推進・策定委員会を３回開催しました。（6/25、9/25、3/10）

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103010	社会福祉総務費		施策	地域福祉の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3　心配ごと相談事業委託業務　　委託料　462,900円

地域住民の日常生活上のあらゆる悩みや相談に広く応じ、安心した生活に資することを目的として、市社会福祉協議会に委託し、相談者が気軽に出掛けられる相談窓口を地域ごとに設置し、年間43回開設しました。（うち、要予約の回：19回　予約不要の回：24回）

年間相談数　45件（令和６年度49件）

4　戦没者追悼式　　委託料　1,760,260円

令和４年度の開催以降、３年ぶりとなる戦没者追悼式を開催しました。戦後80年の節目となる今回は、被爆ピアノ・被爆樹コカリナ平和記念コンサートを同日開催し、戦争と平和についての意識を高め、戦争の犠牲となられた戦没者を追悼しました。

5　災害時避難行動要支援者名簿作成事業　　勧奨通知封入業務委託料　31,650円

災害時避難行動要支援者情報を一元管理し、要支援者の把握と個別の支援計画を策定するための電算化システムを導入し運用しており、総合福祉事務システムの高齢者、障がい者、要介護認定者等の情報を一元処理しています。

本人同意を得て作成する「避難行動要支援者名簿」を更新し、区、民生委員他関係機関に提供しました。

年度比較	令和５年度	令和６年度	令和７年度
該当者数（人）	13,730	14,242	14,711
同意者数（人）	9,496	9,614	9,737
同意率	69.2%	67.5%	66.2%

※集計数は、各年度3月現在

6　豊科ささえあいセンター管理委託事業　　指定管理料　5,565,000円

市社会福祉協議会を豊科ささえあいセンターの指定管理者に指定して、市のボランティアの活動拠点として利用を推進しました。

指定管理期間　令和６年４月１日～令和11年３月31日

年度比較	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
利用者数（人）	2,464	3,102	4,269	4,697	5,192

7　市戦没者遺族会補助金　　補助金　75,000円

安曇野市遺族会の活動を支援しました。

主な活動としては、役員会及び総会の開催、国・県の戦没者追悼式等への参加など慰霊事業を助成しました。

予算	款	03	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103010	社会福祉総務費		施策	地域福祉の推進

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

８　市社会福祉協議会への助成

すべての住民が住み慣れた家庭や地域の中で、その人らしい安心した生活が送れるよう、法や制度で担いきれないニーズへの対応や行政の手の届かない部分の地域福祉の展開とその充実のため、社会福祉協議会の運営に助成しました。

・社会福祉協議会地域福祉推進事業補助金　98,166,119円
・日常生活自立支援事業補助金　7,405,000円

上記の評価と課題等

民生児童委員活動は、地域福祉の推進に重要な役割を果たしています。地域住民の身近な相談役として困りごとのある人に寄り添い、必要な支援サービスへのつなぎ役としての活動を行っています。

心配ごと相談事業は、令和６年度から相談時間等の一部予約制を採用しており、確実に相談枠が確保され、満足の行く相談が出来た等の好意的なご意見をいただいています。相談内容の大小に関わらず無料で気軽に応じてもらえる相談窓口として、市民の安心へと繋がっています。

名簿提供の同意を得た要支援者等を掲載した「避難行動要支援者名簿」を更新し、各区、民生児童委員等関係機関に提供しました。世帯状況の変化に対応しながら、引き続き同意率の引き上げを図っていきます。

戦没者追悼式とコンサートには、延べ約350人が参加し、市遺族会の感想やアンケート結果では「戦後80年の節目の開催として良い式だった。」と概ね好評でした。今後も市遺族会と意見交換を行いながら開催をしていく予定です。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	103

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103020	福祉医療費給付事業		施策	地域福祉の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
785,308,000	784,138,265	0	1,169,735	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
415,453,335		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）	68,931,672	福祉医療給付事業補助金	290,796,000
				福祉医療費貸付金元金収入	8,415,070
		物価高騰対応重点支援地方創生交付金（令和７年度予備推奨事業メニュー分）	45,917,000	福祉医療費県補助返還金	1,385,897
				福祉医療費市単独返還金	7,696
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(106,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　福祉医療費給付事業

児童、障がい者、母子・父子家庭の医療費自己負担分の給付を行い福祉の増進を図りました。

医療給付費実績及び補助金内訳　　（令和７年度実績値の右側は対前年比％　７年度／６年度）

区　分	年　度	受給者数(人)		給付額(円)		給付金県補助金（円）	
		実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比
児童（0～18歳）	7	12,615	98.1	384,625,757	137.4	127,180,000	113.3
	6	12,858		279,861,537		112,289,000	
障がい者・児	7	3,944	101.7	295,862,391	101.0	129,148,000	99.1
	6	3,878		293,033,880		130,375,000	
母子（母・児童）	7	1,792	97.8	55,647,817	118.3	19,527,000	103.3
	6	1,832		47,044,157		18,897,000	
父子（父・児童）	7	202	93.1	5,549,257	100.3	1,031,000	98.3
	6	217		5,532,931		1,049,000	
計	7	18,553	98.8	741,685,222	118.6	276,886,000	105.4
	6	18,785		625,472,505		262,610,000	

事務手数料実績及び補助金内訳

医療機関事務手数料　（円）			事務費県補助金(円)		
令和７年度	国保連合会　（25円）	2,467,950円	令和７年度	国保連合会	1,691,000円
	〃　（62円）	1,470,838円		社保支払基金	3,540,000円
	社保支払基金（41円※）	7,712,904円		医療機関	8,679,000円
	医療機関　（195円）	20,063,160円		補助金合計	13,910,000円
	手数料合計	31,714,852円			
令和６年度	国保連合会　（25円）	2,484,675円	令和６年度	国保連合会	1,616,000円
	〃　（62円）	1,303,984円		社保支払基金	3,700,000円
	社保支払基金（49円※）	8,435,584円		医療機関	8,756,000円
	医療機関　（195円）	20,157,735円		補助金合計	14,072,000円
	手数料合計	32,381,978円			

（　　）内は単価。　※社保支払基金は手数料各種の各年度の平均単価

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103020	福祉医療費給付事業		施策	地域福祉の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　福祉医療費貸付事業

福祉医療費受給対象者の内、医療機関窓口での医療費の支払いが困難な受給者に対して医療費の支払いに充てる事で受診控えによる重症化を防ぐため、資金を貸し付けました。

貸付事業の受給対象者については、医療機関窓口で自己負担すべき額を、後日、市が医療機関へ立て替えて支払う仕組みです。受給対象者本人へ直接医療費を貸し付けるものではないため、滞納は発生しません。

（令和７年度／令和６年度）

年度	利用者数（人）	貸付延件数	貸付金額（円）
令和７年度	57	1,580	8,415,070
令和６年度	80	1,476	7,634,528
対前年比	71.3%	107.0%	110.2%

上記の評価と課題等

福祉医療費給付事業では、経済的不安を減らし、安心して医療機関等へ受診ができるよう、給付を行いました。令和７年４月より０歳から18歳までの児童の医療機関窓口負担（１レセプト500円）を無料化し、子育て世帯の医療費負担の軽減が図られています。窓口無料化を行うことで、医療機関を受診する機会の多い児童等の給付等が増加していますが、制度を理解された適正受診であると考えています。

福祉医療費貸付事業は、医療機関等での支払いが困難な方を支援する制度として、早期受診に寄与しています。財政的な課題はありますが、対象者の医療費負担の軽減、早期受診を促進することで、引き続き福祉の増進を図ります。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	103

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103034	定額減税に係る不足額給付金給付事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
361,042,000	361,037,677	0	4,323	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
361,037,677		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（不足額給付分）	361,037,677		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づき、令和６年度に給付した定額減税に伴う調整給付金の給付額に不足が生じた受給者に、不足額を給付しました。

○令和７年度定額減税に係る不足額給付金給付事業　　事業費（給付金）　345,770,000円
事務費（委託料等）　15,267,677円

令和６年度に実施した調整給付事業では、令和５年の所得等を基にした令和６年分推計所得税額を用いて算定した額を給付しましたが、令和６年の所得税額確定後にあらためて算定した結果、当初給付額に不足が生じた方などに対し、当該不足する額を令和７年度に給付しました。
・給付者数　11,442人

（参考）
○令和６年度定額減税に係る調整給付金給付事業　　事業費（給付金）　743,330,000円
事務費（委託料等）　21,188,217円

定額減税を補足する給付金として、最大で１人４万円（所得税分３万円、住民税分１万円）を給付しました。
・給付者数　18,067人

上記の評価と課題等

令和６年度に実施した調整給付金給付事業の給付額に不足が生じた受給者に不足額を給付する事業でしたが、税務課と協働で対応したこともあり、円滑に給付することができました。また、マイナンバーと連携した振込口座情報の取得等により、迅速な給付を行うことができました。令和６年度実施事業に引き続き、LINEでの手続により申請及び事務処理の簡略化を図りました。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	105

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103041	住民税非課税世帯エアコン設置促進事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
35,863,000	132,684	35,439,000	291,316	0.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

近年の熱中症による健康被害増加を踏まえ、物価高騰の影響を受けている住民税非課税世帯を支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び長野県住民税非課税世帯エアコン設置促進事業補助金を活用し、エアコン設置促進事業を実施します。

○住民税非課税世帯エアコン設置促進事業　　事業費（補助金）　24,000,000円
　　事務費（手当等）　11,863,000円

近年の熱中症による健康被害増加を踏まえ、居住している住宅に稼働可能なエアコンが無い住民税非課税世帯を支援するため、エアコン未設置世帯へ購入・設置費用を助成します。
本事業については、年度内に完了しない事業であるため、令和８年度に予算を繰越して事業を実施します。

・支給対象世帯　世帯員全員が、令和７年度課税又は令和８年度課税の住民税が非課税
・補助額　購入・設置費用の３分の２（千円未満切り捨て）
・補助限度額　48,000円
・申請受付期間　令和８年４月27日（月）から10月30日（金）
・繰越予算額　35,439,000円
　事業費（補助金）　24,000,000円　事務費（手当等）　11,439,000円

上記の評価と課題等

近年の夏季の気温は上昇傾向にあり、熱中症による健康リスクは年を追うごとに大幅に高くなっている。物価高騰により、エアコン等の購入・設置を控える世帯に対し助成を行うことで、健康被害の増加を抑制することにつながります。
なお、この事業は、生活保護世帯エアコン設置促進事業と併せて実施しており、令和７年度の事務費の一部を統合して予算執行しています。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	111

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
42,360,000	41,286,884	0	1,073,116	97.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
27,786,950		生活困窮者自立相談支援事業負担金	10,842,000	家計改善支援事業補助金	2,847,000
		生活困窮者住居確保給付金負担金	2,134,950	一時生活支援事業補助金	673,000
		子ども学習支援事業補助金	5,160,000	福祉基金繰入金	5,420,000
		就労準備支援事業補助金	710,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○生活困窮者自立支援制度

平成27年４月より施行の生活困窮者自立支援法に基づき、現に経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者に対し、生活困窮状態からの自立を支援しました。

１　必須事業

（１）生活困窮者自立相談支援事業　（国庫負担金：補助率3/4）

生活困窮者が困窮状態から早期に脱却するため、対象者の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援を実施しました。市社会福祉協議会が設置する安曇野市生活就労支援センター「愛称：まいさぽ安曇野」に業務を委託しました。（委託料：14,456,000円）

相談・プラン作成数（件）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規相談数	20	17	14	26	17	19	13	20	13	19	22	18	218
プラン作成	1	1	2	4	1	1	1	5	1	0	0	5	22

働きたくても働けない、住む場所がないなど、生活に困っている方の相談について、一人ひとりの状況に合わせた生活支援プランを作成し、相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を継続しています。

（２）住居確保給付金の給付　（国庫負担金：補助率3/4）

離職や休業等により収入が減少し、住宅を失った又は失うおそれのある生活困窮者に対して、求職活動等を実施することを条件に、家賃相当（上限あり）の給付金を３か月（最長９か月）支給しました。

給付実績

年度比較	令和５年度	令和６年度	令和７年度
支給金額	2,390,700円	2,527,200円	1,062,300円
支給者数	20人	15人	10人
支給延件数	70件	79件	39件

令和７年度受給者のうち、就労等の収入増つながった者は４名でした。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103125	生活困窮者自立支援事業		施策	生活の安定と自立への支援

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　任意事業

（１）家計改善支援事業　（国庫補助金：補助率2/3）

自立相談支援機関に相談に訪れた困窮者で、家計に関わる問題を抱えている人に対し家計支援計画を提案し、継続して助言することで自らの家計の課題に気づき管理意欲を引き出し、早期に生活再生できるように支援しました。

委託先：（福）安曇野市社会福祉協議会　委託料：4,271,000円　支援計画作成：８世帯

（２）一時生活支援事業　（国庫補助金：補助率2/3）

一定の住居を持たない生活困窮者への一時的な宿泊場所や食費の提供を行うことにより、安定した生活を営めるように支援しました。全ての支援対象者の住居確保につながりました。

支援対象者：10名　　延べ宿泊日数：119泊　　支給額：1,251,140円

（３）就労準備支援事業　　（国庫補助金：補助率2/3）

仕事を探せない、就労の経験がない等、就労に関しての悩みがある生活保護受給者、生活困窮者に対し、一般就労に従事するための準備段階（生活自立段階、社会自立段階、就労自立段階）としての基礎能力の形成を計画的かつ一貫して支援しました。

県との共同実施（県が代表で委託契約し、市は負担金を拠出）
委託先：ワーカーズコープながの　負担金：1,212,000円　利用人数：１名（支援継続中）

（４）子どもの学習支援・生活支援事業　　（国庫補助金：補助率1/2）

貧困の連鎖の防止をねらいとし、将来生活困窮者になるおそれのある子どもに対し、学習支援や交流を通じて、社会性や協調性を育むことを目的に実施しました。また、子ども及びその保護者等に対する生活習慣、育成環境の改善、教育、就労に関する支援を行いました。

今年度の子どもの参加人数は68人で前年度より７人増加し、支援を必要とする子どもへの受け皿の確保ができています。

対象者：生活保護世帯、生活困窮世帯、ひとり親家庭、不登校、ひきこもり状態である児童・生徒。また、対象者の保護者等。

委託先	委託料	子どもの人数	実施頻度
（福）安曇野市社会福祉協議会	470,000円	６人	月１回
NPO法人Gland・Riche	9,643,169円	62人	週4回以上（実施4か所）

３　独自事業

子どもの居場所づくり支援事業補助金　　補助金交付額：5,420,000円

困難を抱える子どもや家庭を地域で見守るため、子どもが安心して過ごせる居場所（子ども食堂等）づくりを推進する団体等に対して補助金を交付しました。

補助金交付団体数：12団体　（前年度交付団体数：７団体）

延べ開催回数：176回　（前年比：65回増）　延べ参加人数：5,029人（前年比：3,460人増）

上記の評価と課題等

令和７年度の自立相談支援事業の新規相談件数は218件で、前年度より27件増加しました。解決までに時間を要する相談が増えており、繰り返し食料支援を求めてくるケースや障がい者・高齢者からの就労相談が目立つ状況です。

子ども学習・生活支援事業での支援内容は、家庭問題、学校連携、学習支援、進路相談、就労相談など多岐にわたっており、１人の子どもに対する支援回数も増えています。今後も学校等と連携し支援を必要としている子どもの早期発見に努めます。

一時生活支援事業の対象者は２名増加しました。一定期間の宿泊場所や食事を提供することで、新たな住居確保につなげるまでに時間を要するケースがあり、宿泊日数、支給額が増加しています。

子どもの居場所づくり支援事業補助金は前年度より５団体増の12団体に交付しました。さらに制度の周知を図り、取り組みを広げていきたいと考えます。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	111

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103128	生活保護世帯エアコン設置促進事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,911,000	0	16,832,000	79,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

近年の熱中症による健康被害増加を踏まえ、物価高騰の影響を受けている生活保護世帯を支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金及び長野県住民税非課税世帯エアコン設置促進事業補助金を活用し、エアコン設置促進事業を実施します。

○生活保護世帯エアコン設置促進事業　　事業費（補助金）　13,140,000円
　　事務費（手当等）　3,771,000円

近年の熱中症による健康被害増加を踏まえ、居住している住宅に稼働可能なエアコンが無い生活保護世帯を支援するため、エアコン未設置世帯へ購入・設置費用を助成します。
本事業については、年度内に完了しない事業であるため、令和８年度に予算を繰越して事業を実施します。

・支給対象世帯　申請時点で生活保護を受けている世帯
・補助額　購入・設置費用の10分の10（千円未満切り捨て）
・補助限度額　73,000円
・申請受付期間　令和８年４月27日（月）から10月30日（金）
・繰越予算　16,832,000円
　事業費（補助金）　13,140,000円　事務費（手当等）　3,692,000円

上記の評価と課題等

近年の夏季の気温は上昇傾向にあり、熱中症による健康リスクは年を追うごとに大幅に高くなっている。物価高騰により、エアコン等の購入・設置を控える世帯に対し助成を行うことで、健康被害の増加を抑制することにつながります。
なお、この事業は、住民税非課税世帯エアコン設置促進事業と併せて実施しており、令和７年度の事務費の一部を統合して予算執行しています。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	111

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0190020	【明許】住民税非課税世帯給付金給付事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
324,776,000	236,422,369	0	88,353,631	72.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
236,422,369		【明許】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（低所得世帯支援枠分）	236,422,369		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年度事業および令和７年度への繰越事業として、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、住民税非課税世帯に対して３万円を給付しました（国事業）。

○住民税非課税世帯給付金給付事業（国事業）　事業費（給付金）　233,460,000円
事務費（役務費等）　2,962,369円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対し、「安曇野市物価高騰対応重点支援給付金」として１世帯あたり３万円を給付しました。
令和６年度は支給に向けた事務費のみ支出し、給付金については全額令和７年度に給付しました。
・給付世帯数　7,782世帯

（参考）
○令和６年度　住民税非課税世帯給付金給付事業（国事業）　事業費（給付金）　0円
事務費（委託料等）　2,708,374円

上記の評価と課題等

過去の非課税世帯等を対象とした給付金のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法を取ったことにより、迅速な給付が可能となりました。特に、前回の給付金の給付実績があり、世帯状況が変わらない世帯に対しては、申請書類等の提出が不要な方法により、短期間での給付を行うことができました。なお、一部の給付金では、LINEでの手続も継続し、申請及び事務処理の簡略化を図りました。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	113

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0190030	【明許】住民税均等割のみ課税世帯給付金給付事業（県補助分）		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
56,845,000	46,076,679	0	10,768,321	81.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
46,076,114		【明許】長野県生活困窮者価格高騰特別対策事業補助金	46,076,114		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年度事業および令和７年度への繰越事業として、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、住民税非課税世帯への３万円の給付対象とならない住民税均等割のみ課税世帯に対して、長野県の事業として２万円を給付しました。
また、この事業に関しては、市独自で１万円を上乗せ給付して国の給付額と同額の３万円を対象者へ給付しています。

○住民税均等割のみ課税世帯給付金給付事業（県補助分）　　事業費（給付金）　42,740,000円
事務費（役務費等）　3,336,679円

国事業による給付金（３万円）の対象とならない住民税均等割のみ課税世帯に対し、「安曇野市価格高騰対策支援金」として１世帯あたり２万円を給付しました（県事業）。
令和６年度内に完了しない事業であったため、予算を令和７年度に全額繰越して事業を実施しました。
・給付世帯数　2,137世帯

上記の評価と課題等

過去の非課税世帯等を対象とした給付金のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法を取ったことにより、迅速な給付が可能となりました。特に、前回の給付金の給付実績があり、世帯状況が変わらない世帯に対しては、申請書類等の提出が不要な方法により、短期間での給付を行うことができました。なお、一部の給付金では、LINEでの手続も継続し、申請及び事務処理の簡略化を図りました。
また、県の事業により住民税均等割のみ課税世帯に給付、併せて市独自で上乗せ給付を行うことで、より幅広い世帯に非課税世帯と同等の支援を行うことができました。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	113

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0190040	【明許】住民税均等割のみ課税世帯給付金給付事業（市独自分）		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,100,000	21,370,000	0	4,730,000	81.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,370,000		【明許】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）	21,370,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年度事業および令和７年度への繰越事業として、「国民の安心・安全と持続的な成長に向けた総合経済対策」に基づき、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者を支援するため、住民税非課税世帯への３万円の給付対象とならない住民税均等割のみ課税世帯に対して、市独自の事業として１万円を給付しました。

また、この事業に関しては、長野県の事業での２万円の給付に上乗せ給付して国の給付額と同額の３万円を対象者へ給付しています。

○住民税均等割のみ課税世帯給付金給付事業（市独自分）　事業費（給付金）　21,370,000円
事務費　0円

県による給付金の支給対象世帯に対して、市独自分として１万円を上乗せして給付しました。（市独自分）。

令和６年度内に完了しない事業であったため、予算を令和７年度に全額繰越して事業を実施しました。

・給付世帯数　2,137世帯

上記の評価と課題等

過去の非課税世帯等を対象とした給付金のデータを活用し、申請者に負担の少ない方法を取ったことにより、迅速な給付が可能となりました。特に、前回の給付金の給付実績があり、世帯状況が変わらない世帯に対しては、申請書類等の提出が不要な方法により、短期間での給付を行うことができました。なお、一部の給付金では、LINEでの手続も継続し、申請及び事務処理の簡略化を図りました。

また、県の事業により住民税均等割のみ課税世帯に給付、併せて市独自で上乗せ給付を行うことで、より幅広い世帯に非課税世帯と同等の支援を行うことができました。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	129

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	生活保護総務費			
	事業	0103510	生活保護総務費		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
723,499,000	720,623,314	0	2,875,686	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
474,453,703		生活保護費国庫負担金	456,541,500	指定寄附金	100,000
		被保護者就労支援事業負担金	2,155,720	生活保護支援貸付金元金収入	220,000
		生活保護適正実施推進事業補助金	372,000	返還金・徴収金	3,003,676
		生活困窮者就労準備支援事業費等補助金	1,144,000	返還金・徴収金（過年度）	1,381,117
		生活保護費県負担金	9,535,690	（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(42,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　生活保護の動向

令和６年３月31日現在、298世帯・341人で保護率は3.6‰でした。
令和７年３月31日現在、305世帯・348人で保護率は3.7‰でした。
令和８年３月31日現在、320世帯・354人で保護率は3.9‰でした。

《令和7年度月別生活保護状況（各月末現在）》

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
世帯	307	309	309	308	315	320	323	329	328	329	323	320
人数	352	353	354	347	354	359	360	366	365	365	359	354

2　生活保護開始・廃止の状況

前年度と比較し、開始件数が16件、廃止件数が５件増加となりました。

年度比較	令和５年度	令和６年度	令和７年度
申請件数	51件（取り下げ３件）	66件（取り下げ３件）	80件（取り下げ３件）
開始件数	43件	60件	76件
廃止件数	48件	51件	56件

3　扶助費の支給

生活保護扶助費の総額は601,131,412円と、前年比29,124,437円増となりました。増額の主な要因は、高齢者の死亡に伴う葬祭扶助と居宅生活が難しい保護受給者の救護施設入所の増加にともなう救護施設事務費の増加です。

4　就労自立給付金の支給

就労収入により生活保護が廃止となった世帯に対し、申請に基づき就労自立給付金を支給しました。７世帯に261,391円支給し、前年比２件、121,651円の増額となりました。

5　就労支援事業費　　2,281,789円

生活保護受給者及び生活困窮者の就労を促進し、経済的自立を図ることを目的に、就労支援員が就労に関する情報等を収集し、助言及び指導を行いました。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	生活保護総務費			
	事業	0103510	生活保護総務費		施策	生活の安定と自立への支援

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

《生活保護費内訳》

扶助別区分	令和６年度　（円）	令和７年度　（円）	前年比（%）	構成比（%）
生活扶助	146,068,152	150,859,346	103.3	25.1
住宅扶助	71,094,177	74,872,799	105.3	12.5
教育扶助	1,057,793	770,669	72.9	0.1
介護扶助	13,782,502	11,959,460	86.8	2.0
医療扶助	288,002,050	300,445,662	104.3	50.0
出産扶助	0	0	0.0	0.0
生業扶助	553,794	260,717	47.1	0.0
葬祭扶助	1,113,100	1,855,930	166.7	0.3
保護施設事務費	50,095,667	59,845,438	119.5	10.0
就労自立給付金	139,740	261,391	187.1	0.0
進学準備給付金	100,000	0	0.0	0.0
合計	572,006,975	601,131,412	105.1	100.0

6　生活保護適正実施推進事業（レセプト点検委託）　352,179円

医療扶助におけるレセプト点検作業を委託により実施しました。（点検件数：6,732件）

7　行旅者対策事業費　支給額：960円

支援件数：１件

帰来先を有する行旅者等に、帰来先までの旅費を支給しました。

8　生活保護支援資金貸付　貸付額：220,000円

利用件数：６件

生活保護申請者の中には、保護の開始が決定されるまでの生活資金がない人もおり、対象者には支援資金貸付を行いました。保護開始後最初の保護費支給時に一括返還を求め、滞納にならないよう務めています。

9　償還金（令和６年度精算分）

・生活保護扶助費等（国庫負担金）　41,035,316円

上記の評価と課題等

生活保護受給者の人数及び申請件数は増加し、廃止件数は死亡や他市への転出による廃止の事由が多い傾向にありました。前年度と比較して申請や開始件数が増加した要因は、傷病により収入がないことが挙げられます。引き続き、生活保護受給者の生活実態の把握に努め、他法他施策の活用や、就労支援により多くの生活保護受給者が自立した生活ができるよう努めます。

生活保護の対象とならない生活困窮者については、生活困窮者自立支援制度へ繋げるよう「まいさぽ安曇野」による自立相談支援事業や子どもの学習・生活支援事業等を活用し、生活保護制度と生活困窮者自立支援制度の両輪による支援が機能するよう、さらに連携を強化してまいります。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	131

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
75,195,000	74,864,500	0	330,500	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
41,707,507		公共施設目的外使用料	4,150	社会就労センター自販機電気料	52,170
		生活保護費国庫負担金	40,500,000		
		福祉基金繰入金	456,000		
		障害者就労支援センター電気料	695,187		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

社会就労センター全施設の指定管理事業者である一般社団法人安曇野エルチとの基本協定に基づき、指定管理料の支出と修繕工事等を行いました。
（指定期間：令和３年４月1日～令和８年３月31日）

１　令和７年度指定管理委託料（年度協定額）
（１）豊科社会就労センター（定員数：30人）　16,649,000円
（２）穂高社会就労センター（定員数：30人）　17,376,000円
（３）三郷社会就労センター（定員数：30人）　16,985,000円
（４）明科社会就労センター（定員数：40人）　23,398,000円

２　主な施設維持管理費（修繕、工事、物品購入等）
（１）キュービクル電圧計・電流計スイッチ交換　25,300円（豊科）
（２）作業台鉄板補強修理　48,400円（豊科）
（３）火災通報装置取替修繕　456,500円（三郷）
（４）事務室出入口ドアノブ修繕　28,470円（三郷）
（５）荷受け室吊り戸修繕　130,900円（明科）
（６）作業室ダンボール結束機修繕　59,400円（明科）

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		施策	生活の安定と自立への支援

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　豊科社会就労センター

（１）職員配置　　所長１人　　事務員１人　　作業指導員５人

（２）施設利用状況（R8.3.31現在）

ア 利用定員　　30人

イ 利用状況　　27人（障がい者13人、65歳以上高齢者８人、その他６人）

ウ 認定状況　　生活保護法　　11人（内　保護費受給者５名）

障害者総合支援法　12人（内　保護費受給者５名）

エ 認定者以外の利用　４人（内２人は70歳以上）　施設利用料：73,225円（工賃の3%分）

（３）授産の状況

年度	取引企業	受注収入額（円）	消費税（円）	工賃支給額（円）	工賃月額平均(円)	前年比(%)※
7	15社	12,207,614	939,500	11,268,114	34,778	112.2
6	14社	10,905,408	827,800	10,077,608	31,008	81.0
5	12社	13,366,271	962,200	12,404,071	38,284	105.1

※工賃月額平均の前年比

４　穂高社会就労センター

（１）職員配置　　所長１人　　事務員１人　　作業指導員５人

（２）施設利用状況（R8.3.31現在）

ア 利用定員　　30人

イ 利用状況　　33人（障がい者17人、65歳以上高齢者12人、その他４人）

ウ 認定状況　　生活保護法　　11人（内　保護費受給者２名）

障害者総合支援法　16人（内　保護費受給者１名）

エ 認定者以外の利用　６人（内５人は70歳以上）　施設利用料：221,427円（工賃の３%分）

（３）授産の状況

年度	取引企業	受注収入額（円）	消費税（円）	工賃支給額（円）	工賃月額平均(円)	前年比(%)※
7	12社	28,471,562	2,191,200	26,280,362	68,977	101.4
6	13社	26,565,848	2,016,500	24,549,348	68,004	119.8
5	17社	22,323,461	1,607,000	20,716,461	56,757	97.0

※工賃月額平均の前年比

上記の評価と課題等

（豊科）取引企業の受注量は、工業系元請け企業及び食品関係での変化等があり、少額取引先２社を整理し新たに２社と取引を開始した結果、受注収入額は前年度比111.9%、工賃支給額は約119万円の増額となりました。利用者は入所者５名、退所者８名で定員割れとなりました。今後も障がい者や高齢者、生活困窮者が働きやすい環境整備に取り組み、取引企業とのコミュニケーションを図りながら作業量を確保し、社会情勢の動向を見ながら新規企業の開拓に努め、就労継続支援、社会事業授産の貢献に努めていきます。

（穂高）取引企業の数に変化はほぼありませんでしたが、電子部品関連の受注が増え、売り上げが減った食品関連をカバーする形で、最終的に受注収入額は前年度比107.2%、工賃支給額は約173万円の増額となりました。利用者は入所者８名、退所者２名で定員を上回る人数となりました。引き続き利用者の工賃支給額の上昇を目指し、各自の特性に応じた作業内容となるよう心がけ、利用者の満足度を更に向上させるよう努めていきます。施設の大規模改修が終了し、働く場の環境が向上したことで生産効率の向上が見込まれます。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103520	社会就労センター管理費		施策	生活の安定と自立への支援

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

５　三郷社会就労センター

（１）職員配置　　所長１人　　事務員１人　　作業指導員５人

（２）施設利用状況（R8.3.31現在）

ア 利用定員　　30人

イ 利用状況　　28人（障がい者13人、65歳以上高齢者11人、その他４人）

ウ 認定状況　　生活保護法　　11人（内　保護費受給者４名）

障害者総合支援法　12人

エ 認定者以外の利用　５人（内３人は70歳以上）　施設利用料：80,557円（工賃の３％分）

（３）授産の状況

年度	取引企業	受注収入額（円）	消費税（円）	工賃支給額（円）	工賃月額平均(円)	前年比(%)※
7	10社	22,165,234	1,705,900	20,459,334	59,823	156.5
6	７社	13,270,261	1,007,200	12,263,061	38,203	73.6
5	６社	19,117,276	1,376,100	17,741,176	51,875	68.0

※工賃月額平均の前年比

６　明科社会就労センター

（１）職員配置　　所長１人　　事務員１人　　作業指導員５人

（２）施設利用状況（R8.3.31現在）

ア 利用定員　　40人

イ 利用状況　　27人（障がい者10人、65歳以上高齢者17人）

ウ 認定状況　　生活保護法　　12人（内　保護費受給者２名）

障害者総合支援法　９人

エ 認定者以外の利用　６人（内６人は70歳以上）　施設利用料：137,790円（工賃の３％分）

（３）授産の状況

年度	取引企業	受注収入額（円）	消費税（円）	工賃支給額（円）	工賃月額平均(円)	前年比(%)※
7	15社	16,834,318	1,295,600	15,538,718	49,964	96.9
6	15社	17,564,314	1,333,200	16,231,114	51,527	107.3
5	18社	17,536,522	1,262,300	16,274,222	48,007	91.2

※工賃月額平均の前年比

上記の評価と課題等

（三郷）主力の電子部品企業から安定した受注量を確保し、また他の企業からの仕事量確保にも努めた結果、受注受入額は前年比167%、工賃支給額は約820万円の増額となりました。

利用者は入所者６名、退所者７名で前年度より１名減となりました。今後も新たな企業開拓に取り組みながら、取引企業との情報交換を積極的に行い仕事量の確保に努め、利用者と共に丁寧で正確・迅速を合言葉に更なる信頼関係の構築を図り作業工賃の安定化を目指します。

（明科）受注収入額は市場の変化や需要の増減に伴い前年度比95.8%の減額となり、工賃支給額は約69万円の減額となりました。利用者は入所者１名、退所者１名で増減なしとなりました。過疎化が進む地域特性がありますが、今後も社会福祉施設の目的を踏まえて利用者の確保と、働く喜びと生きがいの場としての授産施設の機能強化に努めていきます。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	生活支援担当

決算書ページ	131

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	生活保護費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	社会就労センター費			
	事業	0103530	社会就労センター施設改修事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
164,893,000	164,312,542	0	580,458	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
143,210,000		福祉基金繰入金	10,110,000		
		公共施設等適正管理事業債	133,100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

公共施設再配置計画に沿って、大規模改修工事及び大規模改修に向けた実施設計等を委託し、安定的な利用者サービスを提供するための施設整備を推進しました。

1　穂高社会就労センター改修事業
- 大規模改修工事監理業務委託　2,200,000円
- 仮作業場賃料（一時移転先）　5,445,000円
- 大規模改修工事一式　148,170,000円

2　三郷社会就労センター改修事業
- アスベスト調査業務委託　316,800円
- 大規模改修工事実施設計業務委託　4,180,000円

上記の評価と課題等

大規模改修工事を実施することで、利用者の安全性の確保、利便性やサービスの向上につながります。また、施設の長寿命化、性能及び機能を向上させ、維持管理等にかかるコストの縮減を図ります。

令和８年度	
部	福祉部
課	福祉課
係等	福祉政策担当

決算書ページ	131

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	災害救助費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	災害救助費			
	事業	0103570	災害救助費		施策	地域福祉の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
850,000	580,000	0	270,000	68.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○災害救助費　　災害見舞金　580,000円

火災罹災者に対し見舞金・弔慰金を支給しました。

区　分	見舞金の額	令和６年度	令和７年度
		件数	件数
(1) 火災により死亡	10万円	1	3
(2) 被害面積：住居の延床面積70%以上	５万円	10	5
(3) 被害面積：住居の延床面積20%以上	３万円	9	1

上記の評価と課題等

火災で罹災された方及びご遺族へ迅速に見舞金及び弔慰金を支給することで、生活の安定に資する事ができ罹災者にとって有効な制度となっています。令和６年度と比べて令和７年度は支給件数が減りましたが、火災により亡くなられた方のご遺族への弔慰金の支給件数は増加しました。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	113

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103130	老人福祉総務費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
219,222,000	214,213,073	0	5,008,927	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,873,000		ｼﾆｱｸﾗﾌﾞ活動助成事業補助金	873,000		
		ふるさと寄付基金繰入金	8,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　高齢者の生きがいづくりに寄与する事業

(1) 老人大学（あづみの活躍カレッジ）の開催

高齢者の仲間づくりや生きがいづくり活動を推進するため、教養講座や実践講義を通じ地域での社会活動のリーダーを育成することを目的にあづみの活躍カレッジを開催しました。

受講者数　77人（修了生数　71人）　　事業委託料　2,596,828円

(2) 入浴料金割引券交付事業

高齢者の健康増進及び外出支援のため、70歳以上の高齢者で希望する人に、市内約16入浴施設で利用できる入浴割引券を、対象者１人に対し12枚（200円/枚）交付しました。

年度	対象者数	申請率	使用枚数	施設への支払額	利用率
令和５年度	24,113人	41.6%	41,201枚	8,240,200円	33.8%
令和６年度	24,190人	41.9%	42,586枚	8,517,200円	35.1%
令和７年度	24,548人	42.6%	43,093枚	8,618,600円	34.4%

2　要介護者及びその家族を支援する事業

家庭介護者介護慰労金支給事業

要介護３以上の高齢者を、一定の要件を満たして在宅介護する家族等に対し、50,000円の慰労金を支給しました。

支給者数　382人　　支給金額　19,100,000円

3　高齢者敬老祝賀事業

「敬老の日」に併せ、最高年齢者及び100歳を迎えられた高齢者を敬愛し、長寿を祝うため、市長等が訪問して記念品を贈呈しました。88歳（米寿）を迎えられた高齢者へは、民生児童委員が訪問のうえ、祝品（ガラス製の花器）を贈呈し長寿をお祝いしました。

対象者　最高齢者　男女各１人

100歳　50人

88歳　704人

記念品支出総額　3,191,980円

予算	款	03	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103130	老人福祉総務費		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4　各種団体補助及び施設運営補助等

(1) シニアクラブ連合会運営補助

シニアクラブ連合会及び単位シニアクラブが行う社会参加型事業に対し助成を行い、高齢者による地域づくり・明るい長寿社会づくりを促進しました。令和４年度に明科地区のシニアクラブが連合会から脱退するなど、会員数、加入団体数は減少傾向にあります。

会　員　数		加入団体数	補助金額等
（令和５年度末現在）	1,940人	31　団体	3,080,000円
（令和６年度末現在）	1,681人	28　団体	2,854,500円
（令和７年度末現在）	1,579人	28　団体	2,749,500円

(2) シルバー人材センター運営補助

会員数は年々、減少傾向となっていますが、長年培った経験・知識・技能を発揮できる就労の場の確保により社会参加の機会、生きがい活動の充実、地域社会へ貢献が図られました。

会　員　数		就業延日人員	補助金額
（令和５年度末現在）	840人	100,160人日	11,129,000円
（令和６年度末現在）	820人	91,960人日	11,175,000円
（令和７年度末現在）	803人	92,772人日	11,260,000円

(3) 老人福祉センター運営補助

地域の高齢者の仲間づくりや生きがい活動の拠点として利用されている施設の運営に対し運営事業者である社会福祉協議会へ補助金を交付しました。

施　設　名	年度	補助金額	施設利用者
豊科老人福祉センター	令和５年度	13,265,435円	20,109人
	令和６年度	13,175,000円	18,571人
	令和７年度	13,020,224円	20,090人
堀金老人福祉センター	令和５年度	8,063,164円	7,351人
	令和６年度	※1,529,233円	10,569人
	令和７年度	(委託費を計上) 0円	12,891人

※【令和6年度】堀金老人福祉センターの補助金額は4月1日から9月末まで。
10月1日から3月末までは、委託料1,375,000円へ振替え施設運営管理を委託。
⇒ 区分所有の解消により施設全体が市所有となったため。
【令和7年度】年間を通じ、施設運営管理を委託にて実施。（2,812,737円）

5　補聴器購入助成事業

令和７年７月から補聴器購入にかかる補助金交付申請の受付けを開始しました。

中等度難聴の症状で生活に不便を感じている高齢者に対して、補聴器購入費の一部を補助し、外出や地域交流等の社会参画を促すことでフレイル予防や認知症予防につなげます。

※対象者は65歳以上で非課税世帯に属する身体障害者手帳交付を受けていない方です。

申請件数　33件　　補助金交付額　896,000円　　※補助上限額　30,000円（購入費の3分の2）
（うち3件は不交付）

予算	款	03	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103130	老人福祉総務費		施策	高齢者福祉の充実

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

6　福祉有償運送運営協議会の開催

法人等が計画する白ナンバーの車両を用いた福祉目的の有償運送について、事業の適格性を協議するための組織として安曇野市福祉有償運送運営協議会を設置しています。（委員11人）

上記の評価と課題等

安曇野市の高齢化率は、32.4%（令和８年４月１日現在）で、増加傾向です。超高齢社会の中で、高齢者が健康で生きがいを持ちながら日々の生活を送ることが求められており、高齢者の生きがいづくりや仲間づくりの活動と社会参加の推進が重要な課題です。

あづみの活躍カレッジやシニアクラブの活動への参加、シルバー人材センターへの就労は生きがいや役割を得られることから、フレイル予防や高齢者福祉の増進に効果的な施策であるため、持続可能な体制を整えることで支援を継続していく必要があります。

補聴器購入助成事業は、中等度の難聴を抱える方が早期の装用により生活の質を高めることで、認知症予防対策にもつながることから、医療機関や関係団体と連携し補助金の活用を広く周知します。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	115

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103140	在宅福祉事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
15,379,000	13,849,881	0	1,529,119	90.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,772,140		高齢者にやさしい住宅改良促進事業補助金	1,343,000	軽度生活援助利用料	136,300
		指定寄付金	100,000		
		緊急通報システム利用料	966,520		
		生活管理短期宿泊利用料	226,320		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　在宅の高齢者の生活を支援するサービス

事　業　名	年度	利用人数	延べ利用数	決算額
緊急通報サービス事業	令和５年度	186人		6,040,796円
	令和６年度	166人		5,315,619円
	令和７年度	163人		5,087,118円
生活管理短期宿泊事業	令和５年度	４人	44日	199,320円
	令和６年度	２人	27日	122,310円
	令和７年度	３人	164日	742,920円
軽度生活援助事業	令和５年度	53人	1,504回	632,516円
	令和６年度	41人	1,278回	596,506円
	令和７年度	34人	1,290回	617,464円
訪問理美容サービス事業	令和５年度	81人	233回	466,000円
	令和６年度	73人	208回	416,000円
	令和７年度	69人	200回	400,000円

2　高齢者通院等支援サービス

　要介護３以上の在宅高齢者が医療機関や福祉施設へ通院・通所(入退院及び入退所時も利用可)する際のタクシー等利用料金について助成を行いました。

事　業　名　称	年度	利用人数	助成金額
高齢者通院等支援サービス	令和５年度	483人	2,521,650円
	令和６年度	475人	2,223,560円
	令和７年度	420人	1,928,660円
寝たきり高齢者等通院等支援サービス	令和５年度	29人	378,365円
	令和６年度	45人	619,705円
	令和７年度	47人	594,840円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103140	在宅福祉事業		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　高齢者の健康づくり等の活動に対する支援事業

(1)　高齢者の生きがいと健康づくり推進事業補助金

地区公民館主催による高齢者のための敬老会事業、スポーツ大会等の開催又は地域での学習活動の講師謝礼及び会場使用料に対して補助金を交付しました。

年度	支給件数	対象者人数	補助金額
令和５年度	47件	1,152人	1,471,841円
令和６年度	57件	1,324人	1,748,839円
令和７年度	54件	1,367人	1,739,079円

上記の評価と課題等

高齢化の進展とともに、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加するなか、高齢者が住み慣れた地域で継続して暮らすことができるよう生活支援のサービスを実施しています。

高齢者の生活及び身体的状況等によって必要なサービスを利用していただくために、地域包括支援センターへの相談や民生児童委員の訪問、ケアマネジャー等の介護予防等相談の機会を通じて、サービスの活用を促し、在宅での暮らしを安心して継続できるよう支援していきます。

高齢者の生きがいと健康づくり推進事業は、昨年度と比較し対象団体は減少しましたが、参加者の増加が見られ54団体が活動しました。今後も高齢者の交流、生きがいにつながる活動を促すことで、健康増進及び介護予防により健康寿命延伸が図られ、地域活力の維持増進にもつながることが期待できます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	115

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103150	老人福祉施設入所措置事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
88,007,000	87,424,477	0	582,523	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,096,063		老人入所措置費個人負担金	18,096,063		
				(地方消費税交付金（社会保障財源化分）)	(22,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○　養護老人ホーム入所措置事業

環境的な理由や経済的な理由により在宅において生活が困難な人の入所措置を行いました。

措置人員 (R8.3.31現在)	年度の入退所者数	措置費	施設名
38人	入所者 ７人 退所者 ９人	87,420,977円	安曇寮　19人 温心寮　15人 松風園　１人 鹿島荘　１人 和楽荘　１人 瀬古第2マザー園　１人

上記の評価と課題等

令和７年度は養護老人ホームに７人の新規入所措置を行い、安定した生活の場を確保しました。

高齢者のひとり暮らしの増加や家族間の疎遠、虐待など、高齢者を取り巻く社会環境を踏まえ、今後も個々のケースに応じた支援を実施していく必要があります。

養護老人ホームへ入所措置できる人数には限りがあるため、入所希望者や既申込者の状況把握に努め、適時、入所判定委員会に諮ることで引き続き適切な対応していきます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	115

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
346,263,000	342,464,417	0	3,798,583	98.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
193,522,524		豊科ふれあいホール使用料	56,390	総合福祉センター管理費等徴収金	18,145,389
		総合福祉センター使用料	330	福祉センター事業（特例債）	165,700,000
		高齢者福祉施設自販機電気料	75,015	福祉センター事業（公適債）	5,600,000
		デイサービス指定管理者納付金	3,945,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　指定管理委託

	施設名	期間	指定管理者名	年度	指定管理委託料	年間利用者数	備考
1	穂高地域福祉センター	R5.4.1～R10.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	5	14,743,000円	22,646人	大規模改修に伴う利用者制限あり・漏水による負担経費の補填あり
				6	15,771,000円	19,103人	
				7	18,639,000円	13,129人	
2	三郷福祉センター	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	5	17,134,000円	9,554人	※借地料あり
				6	16,852,000円	12,909人	
				7	16,989,000円	12,807人	
3	三郷屋内ゲートボール場	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	5	95,000円	1,794人	
				6	95,000円	1,213人	
				7	95,000円	580人	

※　三郷福祉センター施設用地借地料
　令和５年度　3,247,245円　令和６年度　3,247,245円　令和７年度　3,263,750円

	施設名	期間	指定管理者名	年度	指定管理納付金	年間利用者数
4	穂高デイサービスセンター	R5.4.1～R10.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	5	1,530,000円	9,794人
				6	1,530,000円	8,492人
				7	765,000円	8,204人
5	三郷デイサービスセンター	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	5	1,430,000円	9,399人
				6	1,430,000円	9,697人
				7	150,400円	9,758人
6	堀金デイサービスセンター	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	5	1,470,000円	8,493人
				6	1,470,000円	8,781人
				7	1,470,000円	8,812人
7	明科デイサービスセンター	R6.4.1～R11.3.31	（福）安曇野市社会福祉協議会	5	1,560,000円	9,070人
				6	1,560,000円	9,070人
				7	1,560,000円	7,947人

※穂高デイサービスセンターは、大規模改修のため施設稼働日数の制限による減免あり
※三郷デイサービスセンターは、給湯配管漏水に伴う灯油代の過剰負担に係る減免あり

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103160	老人福祉施設管理事業		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　主な修繕費

（１）明科総合福祉センター修繕

ア　自動ドア修繕　1,051,600円

イ　男女脱衣所床張替修繕　352,000円

（２）三郷福祉センター、デイサービスセンター修繕

ア　ボイラー室給湯配管修繕　3,080,000円

イ　配水管布設替修繕　1,886,500円
（場内、水道メータ～受水槽の間）

ウ　給湯ポンプ取替修繕　440,000円

エ　虚弱浴室浴槽給湯管配管修繕　367,290円

（３）堀金デイサービスセンター修繕

ア　ボイラー破損による交換工事　5,940,000円

３　大規模改修費

（１）穂高地域福祉センター大規模改修工事　218,460,000円
債務負担行為（R6～R7）R7精算

（２）堀金総合福祉センター大規模改修工事設計業務
6,270,000円

上記の評価と課題等

長寿命化計画に基づき、穂高地域福祉センター（債務負担行為：令和6年度～令和7年度）が完了しました。また、令和8年度から着手予定の堀金総合福祉センターの大規模修繕に係るアスベスト調査や設計業務を実施しました。今後も指定管理者と協議を行いながら、計画的に施設改修を行うことで施設の長寿命化を図り、安全・安心に配慮した福祉施設の運営、サービス提供が可能となるよう施設を管理していきます。

三郷ゲートボール場は、利用者数が5割以上減少しました。主な要因は、利用団体である野球やソフトボールチームによる活動縮小によるものです。

また、所管施設全体の経年劣化に伴い、突発的に不具合が生じるケースが頻発しているため、大規模改修時に更新していない設備等は適時対応が必要となっています。指定管理料については、施設内の漏水に伴う上下水道使用料や灯油代が通常時と比較し増加したことで、指定管理者に過度な負担が生じることから、穂高地域福祉センターの指定管理料の上乗せ、穂高・三郷デイサービスセンターは納付金の減免により指定管理にかかる費用を調整しました。

令和8年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103180	介護保険対策費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,465,141,000	1,449,202,731	15,239,000	699,269	98.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
79,659,857		低所得者保険料軽減国庫負担金	35,556,663	長野県地域医療介護総合確保基金事業（介護施設等整備分）補助金	9,360,000
		低所得者保険料軽減国庫負担金過年度分	847,242	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和７年度補正推奨事業メニュー分）	15,239,000
		低所得者保険料県負担金	17,778,331		
		低所得者保険料県負担金過年度	423,621		
		介護保険事業補助金	455,000	（地方消費税交付金（社会保障財源化分）	(433,251,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

介護保険制度における低所得者対策等として、社会福祉法人等が行う利用者負担軽減措置に対し、補助を実施しました。利用者の実人数（認定者数）が前年度と同数50人で、事業額は1.1%減少しております。

介護保険特別会計への繰出金は、前年度に比べ2,554,775円減少しました。

認知症高齢者グループホームの大規模修繕に合わせて行うICT機器導入について、長野県地域医療介護総合確保基金事業（介護施設等整備分）補助金を活用し実施しました。

事業名	内　容	人数・件数等 () 内は前年度	決算額 () 内は前年度
社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担額軽減措置事業	社会福祉法人が利用者負担の1/4を軽減し、法人の軽減額の一部に対して、国・県・市が補助しました。	50人 (50人) ※認定者数	649,471円 (656,795円)
繰　出　金	介護保険特別会計へ繰り出しました。		1,422,610,000円 (1,399,065,889円)
介護保険施設整備等補助事務	認知症高齢者グループホームの大規模修繕に合わせて行うICT機器導入	1件	9,360,000円

上記の評価と課題等

介護保険特別会計の介護給付（市負担12.5%）、事務費（市負担100%）、地域支援事業（総合事業：市負担12.5%、総合事業以外19.25%）、低所得者保険料軽減負担金（市負担分25%）に繰り出して、介護保険特別会計運営の安定化に努めました。前年度に比べ2.14%の増加となりました。

介護事業所へのICT機器導入補助を行うことで、介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など、介護従事者が継続して就労するための環境整備につながりました。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	長寿福祉係

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103190	成年後見制度活用促進事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,710,000	7,410,970	0	2,299,030	76.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　成年後見支援センター委託事業

「成年後見制度の利用に関する法律」及び「成年後見制度の利用促進基本計画」に基づき、安曇野市、松本市を含む２市５村の共同設置による中核機関「成年後見支援センターかけはし」（事務局：社会福祉法人 松本市社会福祉協議会）に業務委託しました。

委託内容は、地域連携ネットワークによる中核機関業務のほか、法人後見の受任に関すること及び成年後見制度に関わる関係機関等との連携、成年後見制度の活用促進、制度普及のための講習、市民後見人の育成、専門委員(弁護士・司法書士)相談会の開催などの業務を行っています。

年度	委託金額
5	8,463,210円
6	7,559,540円
7	7,410,970円

上記の評価と課題等

成年後見支援センターかけはしは、中核機関として地域の権利擁護支援・成年後見制度利用促進機能の強化に向けて司令塔的役割と地域連携ネットワークの調整役を担い、成年後見制度地域連携ネットワーク協議会を開催しています。事務局は、２年間の持ち回り制となっており、令和７年度は松本市と山形村が担っています。引き続き、構成市村と議論を重ね、委託者との連携を密に図りながら、市においても成年後見制度に関する周知啓発を行い、権利擁護の体制整備を推進しています。

令和8年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	113

予算				総合計画		
	款	3	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	1	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	2	老人福祉費			
	事業	0190060	【明許】介護保険総務費（特別会計によらないもの）		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,603,000	26,150,000	0	453,000	98.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
26,150,000		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和７年度補正推奨事業メニュー分）	26,150,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国の物価高騰対策重点支援地方創生臨時交付金を活用し、市内で介護保険サービス事業所を運営する、高齢者福祉事業者80法人へ物価高騰対策支援として補助金を支給しました。

事業名	内　容	人数・件数等 () 内は前年度	決算額 () 内は前年度
社会施設等物価高騰対策支援金 （令和６年度予算繰越明許分）	市内高齢者福祉事業者へ物価高騰対策支援として補助金を支給しました。	80法人	26,150,000円

上記の評価と課題等

物価高騰対策として市内高齢者福祉事業者への補助金は施設等の安定的な運営の一助となったとの声を多数いただきました。

令和８年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書ページ	105

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103040	障がい者支援センター費		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
236,529,000	235,440,587	0	1,088,413	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
119,624,000		地域生活支援事業補助金【国】	3,932,000	障害者活動支援センター指定管理者納付金	140,000
		地域福祉総合助成金【県】	1,586,000	障害者就労支援センター指定管理者納付金	1,000,000
		地域生活支援事業補助金【県】	1,966,000	障がい者支援センター改修事業（公適債）	111,000,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「障がい者支援センター費」では、指定管理施設７か所の予算を管理しています。これらの施設は障がいのある方が主に利用しています。特に障害者活動支援センターは、市内で数少ない特殊浴槽を完備する生活介護施設として、重度障がい者の方が多く利用しています。令和７年８月から改修工事に着手し、令和８年８月にしゅん工する予定です。

1　指定管理料

施設名	指定管理事業者	建築年	指定管理委託料	指定管理者納付金
障害者活動支援センター	（福）安曇野市社会福祉協議会	1994年	0円	140,000円
豊科たんぽぽ		1994年	0円	360,000円
穂高わたぼうし		2004年	27,182,000円	100,000円
三郷すみれの郷		2000年	13,152,000円	0円
堀金かえでの家		1991年	0円	540,000円
明科ふきぼこの家		2000年	19,756,000円	0円
ひめこぶしの家	NPO法人ほのぼの会	2007年	10,940,000円	0円

障害者活動支援センター、豊科たんぽぽ、堀金かえでの家は、自立支援給付費（介護給付費、訓練等給付費）等により運営費が賄われているため、市から指定管理委託料は支出されていません。穂高わたぼうしは、地域活動支援センターであるため市から指定管理委託料を支出していますが、放課後等デイサービスも行っており、給付（障害児通所支援給付費）を受けているため、市へ指定管理者納付金を納付しています。

2　修繕・工事請負費等（10万円以上の案件）

○ 三郷すみれの郷消防設備不良個所修繕　126,500円
○ 堀金保健センタートイレ等改修工事　39,622,000円
○ 障害者活動支援センター・高齢者集会施設改修工事　119,000,000円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103040	障がい者支援センター費		施策	障がい者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　施設の状況

ひめこぶしの家、穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家では、地域活動支援センターを開設しており、利用者の障がいの程度や状態等に応じ、一般就労に向けた基礎訓練や余暇活動等を行っています。特に、穂高わたぼうしと明科ふきぼこの家では、県の地域福祉総合助成金を活用して看護師を配置するなど医療的ケアを必要とする障がい者の受け入れができる体制を維持しています。

４　施設の利用者数（延べ人数）　（単位：人）※（ ）は前年度比

施設名	事業	定員	令和６年度	令和７年度
障害者活動支援センター	生活介護	20	2,334	2,650 (+316)
	放課後等デイサービス・児童発達支援	10	823	759 (-64)
	日中一時支援	5	40	42 (+2)
豊科たんぽぽ	就労継続支援B型	20	3,975	3,963 (-12)
堀金かえでの家		20	4,485	4,421 (-64)
三郷すみれの郷	地域活動支援センター	10	1,359	1,253 (-106)
明科ふきぼこの家		20	1,930	1,857 (-73)
ひめこぶしの家		10	1,626	1,667 (+41)
穂高わたぼうし		20	1,092	1,067 (-25)
	放課後等デイサービス	10	2,958	2,904 (-54)

上記の評価と課題等

就労継続支援B型事業所では、収益を増加させるため施設ごとに特性を生かし新製品の開発に取り組んでいますので、併せて販路拡大にも力を入れるなど増益を図る必要があります。

利用者数については、障害者活動支援センターで増加となっています。これは令和６年度に職員不足により利用者数が減少しましたが、令和７年度は職員体制を整えたため増加しました。

障害者活動支援センターは大規模改修に着手し、令和８年８月にしゅん工予定です。工事期間中は、堀金保健センターを改修してサービス提供を継続しております。

令和８年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書ページ	105

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103050	障がい者支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,739,203,000	2,738,029,827	0	1,173,173	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,078,907,721		自立支援給付費負担金【国】	1,061,823,225	自立支援給付費負担金【県】	519,938,662
		自立支援医療負担金【国】	19,500,000	障害児入所給付費等負担金【県】	149,983,525
		障害児入所給付費等負担金【国】	317,364,215	自立支援医療負担金【県】	9,885,528
		自立支援給付支払システム改修補助金【国】	285,000	高額障害福祉サービス等給付費等返還金	127,566
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(203,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　自立支援給付事業 決算額：　2,129,704,064　円

主な事業決算額		R6		R7		前年比（金額）
		件数	金額（円）	件数	金額（円）	
医療費扶助	更生医療費	371	17,389,595	402	25,256,375	145.2%
	育成医療費	17	159,424	13	35,272	22.1%
	療養介護医療費	192	12,949,540	206	14,250,531	110.0%
	計	580	30,498,559	621	39,542,178	129.7%
自立支援給付サービス費等扶助	介護給付費等	6,864	969,350,783	6,795	1,030,424,413	106.3%
	訓練等給付費	7,024	886,670,631	7,473	957,699,876	108.0%
	補装具給付費	149	19,902,641	152	17,827,511	89.6%
	相談支援給付費	3,087	47,110,437	3,161	49,469,969	105.0%
	特定障害者特別給付費	2,129	21,039,955	2,170	19,543,942	92.9%
	高額障害福祉サービス費	564	4,880,734	559	4,972,886	101.9%
	計	19,817	1,948,955,181	20,310	2,079,938,597	106.7%

2　障害児通所支援給付事業 決算額：　599,877,729　円

主な事業決算額	R6		R7		前年比（金額）
	件数	金額（円）	件数	金額（円）	
障害児通所支援給付費等	6,689	547,878,128	7,293	568,753,249	103.8%
障害児相談支援給付費	1,797	31,785,467	1,811	31,124,480	97.9%
計	8,486	579,663,595	9,104	599,877,729	103.5%

上記の評価と課題等

自立支援給付について、更生医療と育成医療は、入院に係る医療費の影響でそれぞれ増減しています。自立支援給付サービス費等扶助は、自立訓練や短期入所の件数増加により増額となりました。

障害児通所支援給付事業の利用者増加は、障害児等の増加と共に親の知的障害や発達障害に対する認知度があがり関心が深まっていることが要因と考えられます。

障がい者（児）本人の最善の利益を図り、自立の促進と共生社会の実現に向けた支援のために公正にその支給量を判断し決定しました。

令和８年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書ページ	107

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103070	地域生活支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
66,621,000	63,383,993	0	3,237,007	95.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
22,773,000		地域生活支援事業補助金【国】	13,807,000		
		地域生活支援事業補助金【県】	7,854,000		
		医療的ケア児等総合支援事業補助金【国】	1,112,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　理解促進研修・啓発事業　　決算額：100,000円

障がい者等への理解を深めるため、研修や啓発事業を実施しています。令和７年度はパラアスリートの青木辰子さんによる講演会を開催しました。また、12月の障害者週間に合わせて、庁舎西側ロビーにおいて、パネル展示による市内就労継続支援Ｂ型の事業所紹介を行うと共に、市内の同事業所による出店と長野県障がい者文化芸術祭の作品展示を行いました。

日　程：令和７年12月６日（土）
会　場：安曇野市役所本庁舎　４階大会議室
講　義：「スポーツを通じ強くなる」
講　師：青木　辰子さん（パラアスリート）
参加者：25名

2　手話奉仕員養成講座事業　　決算額：444,250円

聴覚障がい者等との交流活動の促進等のため、日常会話程度の手話表現技術習得を目的とした手話奉仕員の養成研修を実施しました。令和７年度は、『基礎編』を実施しました。

日　程：令和７年５月31日～令和７年11月29日　全24回
会　場：豊科交流学習センターきぼう　学習室１
講　師：聴覚障害者協会会員
修了者：８名（受講対象者は12名）

3　意思疎通支援事業（手話通訳者等派遣事業）　　決算額：2,086,122円

（１）　役務費：2,065,196円

事業名		区分	令和６年度	令和７年度	前年比
手話通訳者等派遣事業	手話通訳	利用者	23人	21人	91.3%
		派遣回数	246回	287回	116.7%
		実績額	1,594,360円	1,826,627円	114.6%
	要約筆記	利用者	4人	2人	50.0%
		派遣回数	45回	50回	111.1%
		実績額	252,725円	238,569円	94.4%
	合計	利用者	27人	23人	85.2%
		派遣回数	291回	337回	115.8%
		実績額	1,847,085円	2,065,196円	111.8%

（２）　負担金補助及び交付金：20,926円

感染症や災害等においても聴覚障がい者の情報補償を確保するため、長野県の遠隔手話通訳システムを令和３年度より導入しており、体制を整備しています。費用は県と利用市町村で共同負担しました。

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103070	地域生活支援事業		施策	障がい者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　委託事業（100万円以上）　決算額：　29,329,865円

事業名	区分	令和６年度	令和７年度	前年比
移動支援事業	実利用者数	80人	80人	100.0%
	利用時間	5,132時間	4,524時間	88.2%
	実績額	9,910,812円	7,505,622円	75.7%
日中一時支援事業	実利用者数	52人	62人	119.2%
	利用日数	1,802日	2,020日	112.1%
	実績額	6,874,350円	7,308,510円	106.3%
訪問入浴サービス事業	実利用者数	12人	16人	133.3%
	利用回数	784回	1,005回	128.2%
	実績額	9,878,400円	12,663,000円	128.2%
成年後見支援センター事業	相談件数	103件	28件	27.2%
	法人後見等受任件数	16回	16回	100.0%
	実績額	1,889,882円	1,852,733円	98.0%

５　補助金　　決算額：2,450,986円

（１）社会参加支援

・レクリエーション活動等支援、芸術文化活動振興事業　２団体　1,314,570円

（２）自発的活動支援事業　４団体　1,136,416円

６　扶助費　　決算額：　23,967,357円

事業名	区分	令和６年度	令和７年度	前年比
日常生活用具給付等事業	件数	2,491件	2,479件	99.5%
	実績額	26,481,594円	23,967,357円	90.5%
地域活動支援センター事業（Ⅱ型）	実利用者数	1人	0人	0.0%
	実績額	140,000円	0円	0.0%
成年後見制度利用支援事業（成年後見人費用扶助）	件数	0件	0件	－
	実績額	0円	0円	－

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103070	地域生活支援事業		施策	障がい者福祉の充実

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

7　障がい者基幹・総合相談支援センター事業　　決算額：3,941,283円

安曇野市障がい者基幹・総合相談支援センターは地域における相談支援の中核的な役割を担う機関として令和６年度に設置され２年が経過しました。障がい者ご本人の直接的間接的支援に加え、地域の相談支援事業者等の後方支援、障がい者等の地域生活を支援するため官民が協働し相談体制や施策の構築検討を行うための協議会を開催しました。
令和６年度に配置した医療的ケア児等コーディネーターは、令和７年度専任化し、医療的ケア児等支援に関わる庁内連携担当者会議を設置し、２回開催しました。

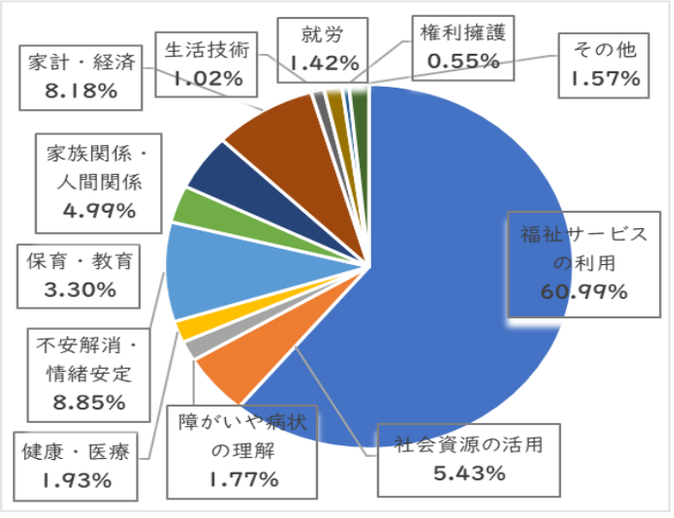
個別相談支援件数

	令和６年度	令和７年度
実人員	348人	349人
延べ件数	1,900件	2,169件

自立支援協議会開催回数

	令和６年度	令和７年度
協議会	２回	８回
専門部会	３回	13回

相談内容内訳



上記の評価と課題等

理解促進研修・啓発事業では、市民を対象にパラアスリートの青木辰子さんによる講演会を開催しました。また、12月の障害者週間に合わせて、庁舎西側ロビーにおいて、パネル展示による市内就労継続支援Ｂ型の事業所紹介を行うと共に、市内の同事業所による出店を行い、障がい者への理解についての啓発につなげました。
手話奉仕員養成研修事業は、手話養成講座「基礎編」を開催し受講者８名が修了することができました。将来の手話通訳者養成に向けて必要な支援等を行いました。
障がい者基幹・総合相談支援センターでは、障がい者等への相談支援を行うとともに地域の相談支援体制強化や専門的な相談を主として行う基幹相談業務を実施しています。自立支援協議会では、事業者に加え、障がい者家族及び関係機関に参加いただき情報共有と障がい者施策への意見交換を行いました。医療的ケア児等コーディネーターを専任化し、医療的ケア児への支援体制の構築を進めています。
日中を自宅以外で過ごす日中一時支援事業は、事業者の受け入れ態勢の充実により、利用者が増加しました。障がい児者が安心して過ごせる居場所を提供することで、家族介護者の負担軽減や障がい児者の社会参加の促進につながったと考えます。

令和８年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	支援給付担当

決算書ページ	109

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103080	精神障がい者居宅生活支援事業		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,236,000	6,633,826	0	602,174	91.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 精神障がい者居宅生活支援事業　　決算額：6,633,826円

（１）精神障がい者家族教室の開催　１コース３回

目　　的：当事者や家族等が障がいと上手に付き合いながら、その人らしい生活を送るために、家族等が交流を図りながら、精神障がいについての正しい理解、適切な対処の方法などを学ぶこと

参加人数：延べ人員　８人

内　　容：①生活のしづらさと関わり方の工夫　②社会資源について　③経済的支援について

講　　師：精神保健福祉士　二宮　美和　氏 ・ まいさぽ　森下　真義　係長

（２）精神障がい者（児）相談支援　　実人員761人　延べ件数1,491件

（３）安曇野市精神障害者社会復帰施設等連絡会　２回

目　　的：「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築」に向けて体制整備を行うために、市内の精神障害者社会復帰施設等の関係者が情報の共有や学習会等を行い、地域の課題を認識すること

内　　容：①　意見交換・情報共有　　参加28人

テーマ：精神障がい者にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けて

（１）圏域の取り組みについて（松本保健福祉事務所　中林恵子主任保健師）

（２）グループワーク

②　意見交換・情報共有　　参加25人

テーマ：精神障がい者への金銭管理支援について

（１）各事業所等の取り組み（まいさぽ安曇野・アルプスホームより）

（２）グループワーク

上記の評価と課題等

精神障がい者及び精神保健に課題を抱える者の相談内容や課題は多様化しています。初期相談では保健師等が担当し、当事者の心身の状態に応じた適切な支援が受けられるよう、相談内容に応じて障がい福祉サービス利用に向けた調整や必要な部署へのつなぎ等をしています。また、当事者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるように支援する体制づくりに向けて、市内の精神障がい者の支援者と共に、意見交換、学習会をしています。

当事者の支援者でもある家族が学べる機会、悩みを抱える家族を支援する機会も作っています。

今後も関係機関と連携し、当事者それぞれの状況に応じたきめ細やかな対応を実施していきます。

令和８年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書ページ	109

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103090	障がい者福祉総務費		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
158,750,000	139,407,503	14,143,000	5,199,497	87.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
42,839,106		特別障害者手当負担金【国】	39,883,845		
		地域福祉総合助成金【県】	1,761,000		
		特別児童扶養手当事務委託金【県】	1,194,261		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　指定管理委託料　　決算額：478,000円

豊科身体障害者会館を安曇野市身体障害者福祉協会に指定管理委託しています。

（令和６年度から５年間）

○ 利用状況　　※（ ）は前年度比

開館日数	延べ利用者数	平均利用者数
50日(+18)	458人 (+154)	9.2人(-0.3)

2　負担金・補助金及び交付金

障がい者や関係する福祉団体に対して補助金の交付を行い、障がい者への援助や各種団体の活動を支援しました。また、児童発達支援事業所、さらに医療的ケア児の受け入れが可能な事業所の参入を促すために補助金制度の周知等を行っていきます。

【補助金】　12,017,593円

① 安曇野市身体障害者福祉協会運営費補助金　510,000円

② 軽度・中等度難聴児補聴器購入補助事業（購入5件、修理3件）　429,000円

③ 通所・通園補助事業（障がい児（者）施設へ通う有料道路通行料・通園費等の補助）

ア：県補助分（０件　※有料道路通行料金の1/2）　0円

県内の身障者施設等の入所者の帰省時に利用する有料道路代の補助

イ：安曇野市単独分（309人分）　1,711,574円

障がい児の放課後等デイサービス及び児童発達支援施設への通所・通園に係る燃料代の補助（R7年度県単価180円/ℓ×往復距離/10×通所･通園回数×1/2で算出）

④ 障害者にやさしい住宅整備事業　３人　1,563,000円

⑤ 障害児通園施設利用児療育支援補助事業　１施設　30,019円

⑥ ふれあいバスの旅事業補助金　((福)安曇野市社会福祉協議会実施)　950,000円

⑦ あったカフェ運営協議会補助金　240,000円

⑧ 児童発達支援事業運営支援補助金　２施設　700,000円

⑨ 重症心身障害児児童発達支援事業所医療的ケア事業補助金　２施設　4,784,000円

⑩ 自動車運転免許取得・改造助成事業　11件　1,100,000円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103090	障がい者福祉総務費		施策	障がい者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　扶助費　決算額：　116,589,197円

特別障害者手当、見舞金、福祉金等の給付を行いました。

扶助費種類		令和６年度		令和７年度		支給額
		件数・人数	支給額（円）	件数・人数	支給額（円）	前年比％
障害児・者タイムケア		35	2,458,190	35	2,155,140	87.7%
障害者手当	特別障害者手当	1,556	44,646,280	1,481	43,638,290	97.7%
	障害児福祉手当	584	9,116,900	584	9,362,630	102.7%
	福祉手当（経過的）	0	0	0	0	－
特定疾患患者見舞金		506	6,072,000	518	6,216,000	102.4%
障害者外出支援事業		570	4,221,750	571	4,055,310	96.1%
重度心身障害児者福祉金		1,730	39,330,000	1,838	41,676,000	106.0%
家庭用介護用品購入助成		89	991,168	101	1,071,712	108.1%
重度心身障害者介護慰労金		110	5,500,000	114	5,700,000	103.6%
腎臓透析利用者通院支援		100	2,387,048	95	2,282,115	95.6%
身障者補助犬飼育費助成		1	36,000	1	36,000	100.0%
しゃくなげの湯家族風呂（暖らんの湯）利用補助		67	415,500	59	396,000	95.3%

上記の評価と課題等

障がい者団体に対し、公益性や事業の継続性に配慮しながら補助金交付をしています。

なお、団体の活動内容は、外出支援や地域との共生を支える意味で重要な活動であるため補助金の効果は高いと考えます。

また、ニーズが高まっている医療的ケア児の受入が可能な事業所を増やすために事業所へ補助の周知を行います。

様々な補助金及び手当等の交付事業は、在宅での生活支援の一助になるものと考えております。手帳交付時やホームページなどで周知し、必要な方に必要なサービスを引き続き提供していきます。

令和８年度	
部	福祉部
課	障がい者支援課
係等	障がい福祉担当

決算書ページ	113

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0190050	【明許】障がい者福祉総務費		施策	障がい者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,259,000	12,348,000	0	911,000	93.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,348,000		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和７年度補正推奨事業メニュー分）	12,348,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　社会福祉施設等価格高騰対策支援金支給事業

市内の障がい福祉施設等が、物価高騰の影響を受けながらも安定的なサービス提供を継続できるよう、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、安曇野市社会福祉施設等価格高騰対策支援金を支給しました。本事業は、令和６年度から予算を繰越して事業を実施しました。

事業名	内　容	法人数（事業所数）	支給額
社会福祉施設等価格高騰対策支援金支給事業（令和６年度予算繰越明許分）	市内障がい福祉施設等へ価格高騰対策支援として支援金を支給しました。	49法人 （115事業所）	12,348,000円

上記の評価と課題等

物価高騰対策として実施した市内の障がい福祉施設に対する支援金を支給したことにより、光熱水費や食材費等の急騰に直面する事業者の負担を軽減し、福祉サービスの質を落とすことなく,事業者の安定的なサービス提供の一助になったと考えます。

保健医療部

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	131

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104010	保健衛生総務費		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
370,234,000	347,375,833	20,885,000	1,973,167	93.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,000,000		一体的実施事業委託金	6,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　献血推進事業（松本地域献血推進協議会　負担金：75,000円）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
市内献血者数	1,224人 （目標値　1,340人） （達成率　91.3%）	1,128人 （目標値　1,335人） （達成率　84.5%）	1,134人 （目標値　1,218人） （達成率　93.1%）
市内献血箇所（延べ）	51箇所	50箇所	54箇所

2　救急医療等事務

（１）在宅（休日）当番医制事業

（主要事業　委託料　医師会：5,912,775円、歯科医師会：1,118,251円）

休日等における初期医療を必要とする急病患者の医療確保を図る事業で、市医師会及び市歯科医師会と委託契約を行い実施しています。（　）内は前年度

医院　　３医院/日で年間75日間（75日間）　8,730人（9,442人）

歯科医院　１医院/日で年間76日間（76日間）　371人（　347人）

（２）病院群輪番制病院運営事業（主要事業　負担金：20,230,000円）

休日または夜間における入院治療等を必要とする重症救急患者の医療確保を図る事業です。
人口と利用者数により３市５村で負担金を払っています。

（３）災害時医療救護活動

・松本広域医療コーディネートチーム設置訓練

松本広域圏災害時医療連携指針に基づく訓練ですが、令和７年度は体制見直しのため中止になりました。

・安曇野市医療救護活動訓練（令和７年11月16日（日）実施）

本部医務班・医療救護所の開設及び情報伝達訓練を行い、活動の流れを確認しました。

・災害時医療救護活動マニュアル検証委員会　（令和８年２月５日（木）実施）

マニュアル検証委員会を開催し、上記の医療救護活動訓練の結果を踏まえ医療救護所の設置等の見直しについて協議しました。

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104010	保健衛生総務費		施策	保健衛生の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3　公的病院等運営費助成金交付事業（安曇野赤十字病院：49,870,000円）

地域医療の充実と救急医療体制の確保を図るため、市民病院的な役割を持つ安曇野赤十字病院の経営改善に向けて財政支援を行いました。（特別交付税による措置あり）

4　安曇野市生殖補助医療に係る専用医療機器購入補助金（繰越し：20,885,000円）

不妊治療のうち体外受精等の生殖補助医療を新たに取り組む市内の医療機関に対して、その立ち上げにかかる費用（専用医療機器の購入費）について支援をするものですが、専用機器が受注生産品で使用する部品も特注かつ希少で入手が不安定な状況があり、年度内の納品が困難となったため、令和８年度への事故繰越しとさせていただきました。

※繰越し後の経過

令和８年４月７日　機器納品完了
４月13日　機器購入費の支払完了
５月20日　医療機関指定口座への補助金振込み

上記の評価と課題等

市内献血者数は横ばいの状況です。引き続き周知を行い、献血事業の推進を図ります。
松本広域災害医療コーディネートチームと連携を図りながら、大規模災害に備えます。
医療救護活動訓練を行い、災害時の活動内容等を把握し災害に備えます。
災害時医療救護活動マニュアルは、訓練を実施する中で調整、見直しを行います。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	135

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104078	がん患者アピアランスケア支援事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,200,000	1,004,000	0	196,000	83.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
502,000		がん患者へのアピアランス助成事業補助金	502,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　がん患者アピアランスケア支援事業（補助金：1,004,000円）

がんの治療で生じた外見の変容による心理的負担を軽減し、就労や社会参加の促進、療養生活の質の維持向上を図るため、頭髪補整具、乳房補整具及びその他補整具の購入費用を助成しました。

（１）対象となる補整具と助成回数

区　　分	補整具の種類	助成回数
頭髪補整具	ウィッグ、ウィッグ装着用ネット、毛付き帽子	１人１回限り
乳房補整具	補整パッド、補整下着、専用入浴着、人工乳房	左房・右房につき、 それぞれ１人１回限り
その他補整具	エピテーゼ（補整用人工物）	１人１回限り

（２）申請件数及び助成内容　　（単位：件数）

		令和５年度	令和６年度	令和７年度
頭髪補整具		40	38	51
乳房補整具	右	1	0	5
	左	4	2	2
その他補整具		0	0	0
計		45	40	58

上記の評価と課題等

今後も医療機関や県と連携を図りながら、事業の周知を行います。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	135

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104080	骨髄バンクドナー助成事業		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
600,000	0	0	600,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　骨髄バンクドナー助成事業

　骨髄または末梢血幹細胞の提供に係るドナー及びドナー勤務事業所の経済的負担を軽減し、骨髄等の移植の推進を図るため、ドナー及びドナー勤務事業所に対し,助成金を交付します。

（１）助成対象者

ドナー	公益財団法人日本骨髄バンクが実施する骨髄バンク事業において、骨髄等の提供を完了した方。
勤務事業所	ドナーが勤務している国内の事業所。

（２）助成額

ドナー	骨髄等の提供のために通院、入院又は面談に要した日数１日につき、20,000円助成。１回の提供につき10日を上限。
勤務事業所	ドナーが骨髄等の提供のために通院、入院又は面談に要した日数１日につき10,000円助成。１回の提供につき10日を上限。週休日を除く。

（３）助成件数　　（単位：件数）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
ドナー	1	2	0

上記の評価と課題等

　骨髄等の移植および骨髄バンクドナー登録の促進のため、関係機関と連携を図り事業の周知を行います。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	137

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	予防費			
	事業	0104060	予防接種事業		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
412,708,000	390,212,871	0	22,495,129	94.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
178,537,985		予防接種健康被害給付費負担金	2,164,160	新型コロナウイルス定期接種ワクチン助成金	45,869,950
		子ども・子育て応援市町村交付金	1,496,000		
		予防接種事故対策事業補助金	7,875		
		ふるさと寄附基金繰入金	129,000,000	（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(63,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　定期予防接種

接種状況（医務委託料：360,702,020円）　（単位：人）

個別予防接種		接種等延べ人数		
		令和５年度	令和６年度	令和７年度
Ｂ型肝炎		1,540	1,364	1,386
三種混合		0	0	0
二種混合		702	641	689
麻疹・風疹（MR）		1,208	1,134	1,100
日本脳炎		2,740	2,503	2,441
ＢＣＧ		522	473	447
子宮頸がん（HPV）		1,320	2,862	952
ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ菌b（Hib）		2,129	619	27
小児用肺炎球菌		2,133	1,833	1,845
不活化（生）ポリオ		1	0	0
四種混合		2,232	714	222
五種混合			1,180	1,756
水痘		1,016	1,078	897
ロタウイルス		1,157	941	1,040
高齢者肺炎球菌		1,026	271	428
高齢者ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ		20,574	19,523	19,207
新型コロナウイルス			10,137	6,725
帯状疱疹生ワクチン※				652
帯状疱疹不活化ワクチン※				2,966
風しん※（成人）	抗体検査	397	359	
	予防接種	101	72	21

※ 帯状疱疹にはワクチンが２種類あり、自己負担額も異なります。接種を希望する人は、いずれかのワクチンを選択して接種します。

※ 風しん追加対策事業は、昭和37年４月２日～昭和54年４月１日生まれの男性を対象に令和元年度から実施しており、令和６年度が最終年度でしたが、MRワクチンの偏在により抗体検査を受けた者で結果が陰性（抗体価が不十分）でかつ予防接種を受けていない場合は令和９年度まで接種期間が延長となりました。

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	予防費			
	事業	0104060	予防接種事業		施策	保健衛生の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2　任意予防接種事業（小児インフルエンザ・妊婦インフルエンザ）

（１）目的：任意予防接種（インフルエンザワクチン）に対して、費用の一部を助成することで、疾病予防及び重症化の予防を図りました。

（２）対象：小児（生後６か月から小学校６年相当まで）
妊婦（９月末時点で妊娠中の妊婦および10月１日から翌年１月31日までに妊娠届を提出または転入した妊婦）

（３）内容：ワクチン接種の助成　　小児（HAワクチン）　1,000円を２回まで助成
小児（経鼻弱毒性ワクチン）　2,000円を1回助成
妊婦　2,000円を1回助成

（４）接種状況

	対象者	接種人数		接種率	
		1回目	2回目	1回目	2回目
小児(HAワクチン)	8,466人	2,831人	2,600人	33%	31%
小児（フルミスト）		1,030人		12%	
妊婦	383人	125人		33%	

※ HAワクチンは2回接種で完了　　フルミスト（経鼻弱毒生インフルエンザ）は1回接種で完了

3　任意予防接種事業（おたふくかぜ・帯状疱疹）　※令和６年度新規事業

（１）目的：任意予防接種（おたふくかぜ・帯状疱疹）に対して、費用の一部を助成することで、疾病予防及び重症化の予防を図りました。

（２）対象：おたふくかぜ（１歳の誕生日から３歳の誕生日の前日まで）
帯状疱疹（満50歳以上の方）

（３）内容：おたふくかぜ予防接種に対して、3,000円を1回に限り助成。
帯状疱疹予防接種に対して、生ワクチンは3,000円を1回に限り、または不活化ワクチンは6,000円を2回まで助成します。（助成は生涯１度のみ）

（４）接種状況

	対象者	接種人数	接種率
おたふくかぜ	451人	342人	76%

	50歳以上人口	申請者数		接種人数	
	(R7.4.1時点)	1回目	2回目	1回目	2回目
帯状疱疹（生ワクチン）	51,659人	138人		126人	
帯状疱疹（不活化ワクチン）		300人	315人	269人	286人

上記の評価と課題等

定期予防接種の対象者には、対象月齢（年齢）となる前に接種勧奨を行っています。また、未接種者に対しては、再度勧奨を行い接種率の向上に努めました。今後も、対象者が適正に接種できるように個人通知などにより周知を行い、混乱しないように接種勧奨を行います。

令和7年度から帯状疱疹ワクチンが新たに定期予防接種に加わりました。今後も接種希望者が混乱しないようワクチンの特徴をわかりやすく記載した通知書を送付するなど周知に努めます。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	137

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104130	未熟児養育医療事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,981,000	8,477,053	0	503,947	94.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,681,839		養育医療国庫補助金	2,700,000		
		養育医療県補助金	1,616,425		
		未熟児養育医療費徴収金	1,365,414		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　未熟児養育医療事業（扶助費：7,831,116円）

出生時の体重が2,000ｇ以下またはその他の理由により、指定養育医療機関の医師が病院または診療所での入院養育を必要と認めた未熟児に対し、医療費の一部を公費で負担します。

年度別申請者数等の状況

区　　分	令和５年度	令和６年度	令和７年度
給付実人員	55人	30人	29人
延べ給付件数	104件	82件	69件
給付金額	10,796,563円	9,297,957円	7,831,116円

上記の評価と課題等

対象となる児の健やかな成長と、保護者の医療費負担の軽減を図るため、引き続き事業を推進します。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	137

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
152,997,000	148,329,768	0	4,667,232	96.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
132,892,000		母子保健衛生費国庫補助金	5,675,000	子ども子育て支援交付金（国）	9,856,000
		出産・子育て応援交付金事業国庫補助金	2,166,000	子ども子育て支援交付金（県）	3,749,000
		妊婦のための支援給付国庫交付金	48,550,000	子ども・子育て応援市町村交付金	17,000
		妊婦のための支援給付費国庫補助金	184,000	企業版ふるさと納税	100,000
		出産・子育て応援交付金事業県補助金	541,000	ふるさと寄附基金繰入金	62,000,000
		妊婦のための支援給付費県補助金	54,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　母子・子育て相談事業　（報酬・職員手当：3,941,708円）

本庁健康推進課11番窓口に「母子・子育て相談窓口」を開設して、妊娠期から子育て期にある家庭を対象に、専任の保健師が各種の相談に応じています。令和６年度に子ども家庭支援課に設置された「安曇野市こども家庭センター」の母子保健部門の窓口として対応しています。

（単位：件）

相談種別	妊娠届	新生児連絡票	転出入者	予防接種	相談	その他	合計
令和５年度	461	523	416	194	31	607	2,232
令和６年度	452	400	318	176	37	441	1,824
令和７年度	448	438	391	56	72	582	1,987

※その他：妊婦支援給付金等の妊娠期から出産期にかけての各種申請対応が含まれています。

2　妊婦一般健康診査（委託料：52,428,020円）

妊娠届出時に妊婦一般健康診査（基本健診）受診票14枚、追加検査受診票４種類５枚と超音波検査受診票４枚を交付しています。

健康診査は県医師会・県助産師会に委託し健診料金を助成します。（23枚　127,740円/人）

○受診状況　（単位：件）

	基本健診①～⑭	追加検査①～④	超音波検査①～④	合計
令和５年度	5,801	2,366	1,907	10,074
令和６年度	5,005	1,988	1,637	8,630
令和７年度	5,435	2,220	1,801	9,456

○実人数　（単位：人）

令和５年度	783
令和６年度	682
令和７年度	717

○県外受診　実人数（単位：人）

令和５年度	15
令和６年度	24
令和７年度	23

※里帰り出産等により県外で妊娠健診を受けた場合、受診費用の一部を助成します。

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3　産婦健康診査（委託料：4,455,000円）

産後うつの早期発見と産後の継続支援を目的に健康診査を県医師会・県助産師会に委託し、実施しています。産婦健康診査受診券を交付し、健診料金を助成しています。

（１回上限5,000円　２回分：概ね産後２週間および１か月時）

（単位：件）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
566	445	495

※県外受診を含む

4　乳児一般健康診査　（委託料：1,884,480円）

出生後に乳児一般健康診査受診票を送付しました。健康診査は県医師会に委託し、健診料金を助成しています。　（１枚　6,040円/人）

（単位：件）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
361	358	312

※受診は生後３～11か月が対象、受診者には集団健診は含みません。

5　新生児聴覚検査（委託料：2,321,235円）

出産後に産科医療機関等で実施する新生児聴覚検査の検査費用を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見、早期療育のため検査の推進を図ります。

（助成券１枚交付　上限5,500円）

（単位：件）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
473	412	452

※県外受診を含む

6　１か月児健康診査（委託料：2,271,040円）

受診者負担だった１か月児健康診査料を助成し、経済的負担を軽減しました。安心して健診を受診でき、継続的な支援につなげています。　（１枚　6,040円/人）

（単位：件）

令和７年度
394

※県外受診を含む

7　オプショナル新生児スクリーニング検査費用助成（補助金：2,832,460円）

オプショナル新生児スクリーニング検査（原発性免疫不全症、脊髄性筋萎縮症等）の検査費用を助成し、保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、疾病の早期発見、早期治療のために検査の推進を図ります。令和７年１月から10疾患、令和８年１月から11疾患の検査が拡大されました。

（助成額　オプショナル6,000円、拡大8,500円）

※ 県内での検査はR6.10生まれからオプショナルは自己負担なし（県の事業へ移行）

（単位：件）

	拡大	オプショナル
令和５年度	－	444
令和６年度	43	217
令和７年度	334	5

※県外受診を含む

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

8　初回産科受診費用助成　（補助金：25,500円）

低所得の妊婦を対象に産科医療機関を受診して妊娠判定検査に要した費用に対し上限10,000円を助成します。

（単位：件）

令和６年度	令和７年度
2	4

9　産後ケア事業　（委託料：11,651,650円）

・医療機関や助産院で宿泊、通所、また、自宅への訪問によって母体の管理や育児支援を行い、育児不安等の軽減と母のセルフケア能力の向上を図ります。費用の８割を助成します。

○利用状況　（単位：人）

	宿泊型	通所型	訪問型
令和５年度	40（33）	49（24）	253　（66）
令和６年度	38（32）	103（37）	360（103）
令和７年度	55（43）	227（82）	432（124）

※利用延人数　（　）内：利用実人数

○利用実人数　（単位：人）

令和５年度	84
令和６年度	130
令和７年度	186

・1回につき2,500円を限度に５回までの減額券を交付します。令和６年度から開始しています。

○利用状況　（単位：枚）

	宿泊型	通所型	訪問型
令和６年度	105	58	241
令和７年度	156	164	270

○利用実人数　（単位：人）

令和６年度	129
令和７年度	158

10 母乳相談等助成事業　（委託料：378,000円）

委託医療機関・助産院で実施する母乳相談などの費用の一部を助成しています。申請により2,000円の助成券を２枚交付し、有効期限は令和７年度より産後１年未満から１年７か月未満に延長しました。

○利用状況

令和５年度	235（188）
令和６年度	175（147）
令和７年度	189（147）

※利用延人数　（　）内：利用実人数

11　両親学級（パパママ教室）　（報償費・備品購入費：253,435円）

妊娠期から産後の生活をイメージする場と産後に利用できる社会資源の情報を提供することにより、産後うつなどの予防、産後の不安や悩みの解決を目的に実施しました。コロナ過などの影響により中止となっていましたが、令和７年度より再開しました。

	令和７年度
実施回数	3
参加組数	45
参加人数	88

※定員16組/回

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104131	母子・子育て支援事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その４

主要な施策（事務事業）の成果の概要

12　妊産婦・新生児等訪問指導事業　（委託料：2,381,060円）

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるよう相談に応じ、必要な支援を行うため、妊産婦及び新生児等を対象に家庭訪問等を実施しました。

※委託分のみ　（単位：件）

事業名	パパママ相談（訪問）	産婦・新生児等訪問指導
令和５年度	76	380
令和６年度	100	306
令和７年度	83	336

13　妊婦支援給付事業　（扶助費：51,800,000円）

妊娠届時の面談と新生児訪問等の面談を実施後に申請により給付します。令和７年度から法改正により「出産・子育て応援給付金」から「妊婦支援給付金」に変更となりました。

※出産応援給付金は妊婦に対し妊娠１回につき50,000円
子育て応援給付金は養育者に対し児童１人につき50,000円
妊婦支援給付金は妊娠１回につき50,000円、胎児の数に対し50,000円を乗じた額

（単位：件）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
1,292	900	1,036

14　母乳・育児相談　（報償費：1,570,246円）

市内３か所（豊科・穂高・三郷）の保健センターで月３～４回開催し、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師等の専門職が育児等に関する相談を実施しました。（豊科保健センターは隣接する豊科ふれあいホールの工事のため８月から実施せず）

（単位：人）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
延1,714	延1,596	延1,411

上記の評価と課題等

妊娠期から乳児期までの健康の保持増進・疾病等の早期発見と経済的負担の軽減を目的に、医療機関等で行う健康診査及び検査の助成を実施しました。

妊娠から出産・子育てまで多様な課題を抱える対象者がいるため、個々の状況に応じた支援や対応が必要です。多様な相談内容に対応できるように関係機関や関係部署とスムーズな連携体制を確保し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を目指します。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	139

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104133	不妊・不育症治療費助成事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,864,000	7,963,343	0	900,657	89.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	7,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　不妊・不育症治療費助成事業（補助金：7,963,343円）

不妊・不育症治療を行っている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、治療に要した費用の一部を助成します。医療機関等が証明した治療期間を１回とし、同一夫婦に対して通算５回、自己負担額の2/3、１回30万円を上限として助成しています。

助成状況

項　　目	令和５年度	令和６年度	令和７年度
申請件数	92件	85件	68件
助成額	13,866,859円	13,118,360円	7,963,343円

上記の評価と課題等

令和７年度申請者のうち、47.1%の方の妊娠届出がありました。今後も不妊・不育症に悩む方たちへの支援として周知に努めます。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康推進課
係等	健康推進担当

決算書ページ	145

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	08	診療所費			
	事業	0104200	夜間急病センター運営費		施策	保健衛生の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
18,755,000	17,258,401	0	1,496,599	92.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,318,533		夜間急病センター診療手数料	4,004,908		
		夜間急病センターその他手数料	1,625		
		小児初期救急医療体制整備補助金	1,312,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　夜間急病センター運営費　（報酬：13,139,006円）

夜間の急病患者（主に内科・小児科）に対する１次救急を行うため、安曇野市医師会に加入している医師が当番制で診察を行っています。

（１）診療科目　小児科・内科
（２）診療日　　月～土曜日
（３）休診日　　日曜日、祝日、年末年始（12/30～1/3）、お盆（8/14～8/16）
（４）診察時間　午後７時～10時（令和７年６月30日まで）
　　午後７時～９時（令和７年７月１日から）
（５）職員体制　・医師　１人　・看護師　１人　・事務者　１人
　　（インフルエンザ等流行時期の繁忙期は複数人で対応）
（６）診療日数　291日

年齢別利用者の内訳　（単位：人）

年　齢	令和５年度	令和６年度	令和７年度
０～５歳	135	99	79
６～10歳	87	64	56
11～19歳	142	108	130
20～39歳	121	123	61
40～59歳	117	109	75
60歳以上	56	44	46
総数	658	547	447

上記の評価と課題等

夜間に医療が受けられることは、市民の安心につながります。急病患者の医療を確保するため、運営に関して夜間急病センター運営協議会で検討し、関係機関と連携を図りながら地域医療体制を整備していきます。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	131

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104015	予防総務費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
63,245,000	61,509,402	0	1,735,598	97.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,227,200		デジタル基盤改革支援補助金	12,595,000	マイナンバー情報連携体制整備事業補助金	236,000
		一体的実施事業委託金	1,886,000		
		がん検診推進事業補助金	354,000		
		その他衛生費雑入	156,200		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　附属機関・有識者会議の開催

健康づくり施策の推進を目的として健康づくり推進協議会を開催しました。有識者の意見を得て令和６年度の保健事業を検証した上で、令和７年度の保健事業の実施に反映させました。

会議の名称等	開催回数	委員数	出席者（延べ）
健康づくり推進協議会	２回	13人	24人
健康づくり推進協議会（歯科口腔保健部会専門部会）	２回	７人	14人

２ 市民の健康管理のため各健診（検診）データを一元的に管理し、効果的・効率的に保健事業を実施するために運用しました。

（１）　健康管理システム保守業務　4,394,577 円
（２）　システム改修業務（特定個人情報改版対応）　2,541,000 円
（３）　システム標準化移行作業業務　12,595,000 円
（４）　各種検診申し込み票代行印刷業務　695,200 円
（５）　健康管理システムリース料　1,217,414 円

３　パートタイム会計年度任用職員報酬・諸手当等（R7.4.1現在）

保健師３人、管理栄養士２人、歯科衛生士２人、事務補助３人

上記の評価と課題等

健康づくり推進協議会を開催し、令和６年度保健事業計画の実施状況の検証をしました。また、令和７年度の保健事業実施及び令和８年度の保健事業計画に有識者の意見を反映させました。「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」に基づき、国が策定する標準仕様に準拠したシステムへ適切に移行しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	133

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104025	穂高健康支援センター管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
25,286,000	22,774,747	0	2,511,253	90.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,076,250		穂高健康支援センター外部団体光熱水費	1,901,146	保健センター自販機電気料	38,954
				その他雑入（本庁舎）	132,000
		公共施設目的外使用料（保健センター分）	4,150		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　施設の維持管理

法定・定期点検等の他、故障や不具合個所（集団指導室ガラス窓交換及びカーテンレール修繕、トイレ換気扇交換等）の修繕を行い、施設管理に努めました。

- 施設修繕費　333,950 円
- 光熱水費　8,730,993 円
- 管理委託料　4,157,802 円

２　公用車の管理

- 年度末現有数：軽自動車15台、小型自動車２台
- 燃料費　774,552 円
- 手数料（廃車・タイヤ交換・車検等）　469,693 円
- 自賠責保険料　129,540 円
- 自動車重量税　73,900 円
- 更新：小型自動車１台　2,603,450 円
- 廃車：軽自動車１台、小型自動車Ｉ台

上記の評価と課題等

市の基幹センターとして稼働率が非常に高いため、通年をとおした施設の維持管理に努めています。市民が安心して利用できる環境整備を図ります。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	133

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104030	地域保健センター管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,026,000	3,054,226	0	971,774	75.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
38,190		保健センター使用料	38,190		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　施設の維持管理

（1）日常管理の委託等

・豊　科　：高齢者集会施設と併せてシルバー人材センターに委託（高齢者介護課）
・三　郷　：三郷複合施設として三郷支所で管理（三郷支所）
・堀金・明科：複合施設として社会福祉協議会に委託（高齢者介護課）

（2）維持管理費用　（単位：円）

保健センター名	豊科	三郷	堀金	明科	計
燃料費（灯油）	0	18,942	―	―	18,942
光熱水費（ガス）	16,533	―	―	―	16,533
施設修繕費	407,946	0	66,000	0	473,946
管理委託費	1,484,080	213,979	26,000	（高齢者介護課）	1,724,059
日常清掃（床・窓等）	219,740	213,979	26,000		459,719
エアコンクリーニング	150,700	（三郷支所）	0		150,700
警備保障	570,240		（高齢者介護課）		570,240
昇降機	402,600				402,600
自動扉開閉装置	85,800				85,800
建物定期調査	55,000	0	0	0	55,000
計	1,908,559	232,921	92,000	0	2,233,480

※電気料と上下水道料について豊科・堀金・明科保健センターは高齢者介護課、三郷保健センターは三郷支所より支出

上記の評価と課題等

各地域保健センター（豊科・三郷・堀金・明科）を適正に維持・管理し、市民にとってより身近な地域で健診（検診）等の保健事業を実施しました。※堀金保健センターは、安曇野市社会福祉協議会障害者活動支援センターほっぷライフの仮移転及び堀金総合福祉センター大規模改修工事に伴い、令和７年８月から休館しています。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	133

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104027	穂高健康支援センター改修事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
277,695,000	277,690,600	0	4,400	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
262,500,000		穂高健康支援センター改修事業（特例債）	262,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　穂高健康支援センター大規模改修工事【決算額：276,375,000円】

穂高健康支援センターは、穂高保健センターと障害者就労支援施設穂高わたぼうしを併設する複合施設です。

平成16年の建設で20年が経過し、公共施設再配置計画及び公共施設長寿命化計画に基づき大規模改修工事を行いました。

施設改修により市民の保健事業を実施する基幹センターとして、また、災害時の医療救護所としての機能維持を図りました。

（１）経費

・大規模改修工事　　271,700,000円

・監理業務委託　　4,675,000円

（２）概要

・老朽改修：屋根全面塗装及び部分改修、軒樋取替、インターロッキングの不陸整正、天井雨漏れの部分張替え、エアコン及び給湯設備の更新、床タイルカーペット張替え他

・機能改修：敷地排水改良（一部会所桝の追加）、照明LED化、トイレ洋式化他

上記の評価と課題等

旧合併特例事業債を活用し、大規模改修工事を行いました。

毎週定例会を行い、工事の進捗状況などを綿密に打ち合わせながら進めたことで、予定どおり工事を完了することができました。

今後も定期的なメンテナンスを行いながら施設が安全に利用できるよう、適正な維持管理に努めます。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	135

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104070	成人検診事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
74,559,000	73,467,933	0	1,091,067	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,267,000		成人検診徴収金	3,785,000	がん検診推進事業補助金	175,000
		国民健康保険特別会計繰入金	307,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　成人検診　　（単位：人）

受診者数の推移	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和６年度との比較
胃がん検診	1,860	1,766	1,614	△ 152
大腸がん検診	4,685	4,744	4,572	△ 172
子宮頸がん検診	3,673	3,718	3,569	△ 149
マンモグラフィ検診	2,773	2,803	2,694	△ 109
乳房超音波検診	493	505	509	4
肺がんＣＴ検診	574	531	490	△ 41
結核検診	2,123	1,935	1,877	△ 58

（１）がん検診の推進

検診対象者には検診申込ハガキを送付しました。また、検診受診の動機付けを目的に特定年齢の方（子宮頸がん検診21歳・乳がん検診41歳）に無料で検診が受けられるクーポン券を送付しました。なお、クーポン券未利用者や大腸がん検診申込者の未受診者への再受診勧奨、乳幼児健診でのチラシ配布や市ホームページによる受診勧奨を行いました。

（２）精密検査未受診者への受診勧奨

精密検査の未受診者を減らすため、未受診者への受診勧奨を行いました。

上記の評価と課題等

がんは早期発見で死亡率が減少するため、自覚症状のない段階で検診を受けることが大切です。このため検診に関心を持ち受診に繋がるような啓発、年齢層を絞った受診勧奨を行いました。精密検査未受診者も一定数いるため、受診勧奨を継続します。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	135

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健衛生総務費			
	事業	0104075	健康増進事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,014,000	16,950,285	0	2,063,715	89.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
12,503,500		一体的実施事業委託金	4,620,000	指定寄附金	1,038,000
		保健事業補助金	4,296,000	健康診査徴収金	463,500
		医療施設運営費等補助金	697,000	地域自殺対策強化事業補助金	60,000
		国民健康保険特別会計繰入金	1,329,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　健康増進事業

・ 生活習慣病の発症予防・重症化予防を目的に、特定健診で抽出した者に対し個々の状態に合わせた個別保健指導を行いました。
・ 肝炎・骨・歯科の各健(検)診は、節目年齢の対象者に、疾患の早期発見等を目的に実施しました。
・ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業を関係課と連携し実施しました。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度	比較(Ｒ６)
保健指導（実人数）	638	677	679	2
特定保健指導(再掲)				
対象者数（人）	624	542	実施中	
終了者数（人）	274	337		
実施率（%）	43.9	62.2		
健康診査（受診者数）				
健康診査（健康増進法）	43	37	44	7
若年者健診	191	227	279	52
肝炎ウイルス検診	1,060	967	849	-118
骨粗しょう症健診	200	305	397	92
成人歯科健診	263	399	363	-36
健康教育（回数/延人数）	33回/351人	8回/121人	13回/197人	5回/76人
健康相談（延人数）	974	978	939	-39
一体的実施事業				
個別的支援（実人数）	175	227	235	8
通いの場等への支援	45箇所/592人	42箇所/640人	75箇所/1,155人	33箇所/515人

上記の評価と課題等

医療費や介護給付費等の社会保障費の安定のため、生活習慣病の発症予防や重症化予防等の個別保健指導、各種健(検)診、健康教育・相談を実施しました。

社会保障費の安定化に資する一体的実施事業（後期高齢者における保健事業や介護予防の取り組み）は今後も課題分析を行い、関係機関等と連携し、個別及び集団支援に取り組みます。

令和８年度	
部	保健医療部
課	健康支援課
係等	健康支援担当

決算書ページ	137

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104090	母子保健事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,951,000	15,461,542	0	1,489,458	91.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,046,000		医療施設運営費等補助金	2,916,000		
		母子保健衛生費国庫補助金	130,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　母子保健事業

（1）乳幼児健診・相談・教室

乳幼児が健やかに成長発達し、将来にわたる健康的な生活習慣の基礎ができるよう、各専門職が連携し健診や相談等を実施しました。また、保護者が見通しをもって育児に取り組めるよう、教室において情報提供を行うとともに、必要に応じて個別に相談を行いました。

歯科保健においても、健診や教室等で口腔の健康に関する知識の普及に取り組みました。

	令和５年度		令和６年度		令和７年度	
	実施回数（回）	受診者数（人）	実施回数（回）	受診者数（人）	実施回数（回）	受診者数・（受診率）
４か月児健康診査	25	533	24	459	24	464人（97.7%）
１歳６か月児健康診査	24	559	25	567	24	504人（98.8%）
３歳児健康診査	29	647	24	604	24	597人（98.0%）
10か月児健康相談	24	515	25	527	24	442人（96.9%）
２歳児健康相談	24	589	24	560	25	589人（97.2%）
育　児　教　室	24	371	24	308	24	315人
離 乳 食 教 室	24	334	24	314	24	298人
親 子 歯 科 教 室	24	414	24	443	24	399人
育 児 支 援 相 談	17	延28	16	延28	11	延15人
乳幼児クリニック	13	延39	12	延44	12	延26人
４～５歳児視力検査		630		712		626人
フ ッ 化 物 洗 口	39施設	7,337	39施設	7,159	39施設	7,009人
訪問指導(乳幼児・学童)		延163		延173		延177人
随 時 相 談（電話）		延781		延640		延640人
随時相談（来所相談）		延523		延447		延350人

＊集団健診の受診が難しい健診未受診者等に対しては、地区担当保健師が保護者へ連絡し状況把握を行うとともに、個別に相談や訪問で対応しました。また、保護者が育児に困難を感じるなど、専門的な支援が必要な場合は関係機関と連携を図っています。

予算	款	04	衛生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健衛生費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	母子保健衛生費			
	事業	0104090	母子保健事業		施策	結婚、妊娠・出産、育児支援の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）妊婦歯科健診

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
受診者（人）	205	181	196
妊婦数（人）	500	488	500
受診率（%）	41.0	37.1	39.2

＊妊婦数については、各年度末までに妊娠届を提出した妊婦数としました。
（妊婦の転入者を含みます。）

上記の評価と課題等

将来にわたる健康的な生活習慣の基礎ができるよう、また保護者が児の発育発達について見通しをもち安心して子育てが行えるよう、健診や相談等を実施しました。健診会場への来所が難しい場合は、地区担当保健師が個別に対応し、訪問による相談等を実施しました。

社会情勢の変化等により支援を必要とする対象者が増えています。母子保健事業においても虐待予防の視点を持ちながら対応ができるよう、今後も、必要に応じて関係機関と連携を図り、継続的な支援を行います。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	111

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103120	国保会計繰出金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
559,677,000	559,675,965	0	1,035	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
338,780,733		保険基盤安定負担金	90,302,723		
		保険基盤安定負担金	248,478,010		
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(70,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険特別会計繰出金の各繰出科目と金額は次の表のとおりです。

区分		令和７年度決算額(円)
保険基盤安定分	保険税軽減分	271,102,200
	保険者支援分	175,270,275
	未就学児軽減分	3,535,375
	産前産後保険税繰入金	1,799,799
出産育児一時金分		13,710,360
財政安定化支援事業		33,099,956
事務費分		61,158,000
支出合計		559,675,965
保険基盤に対する負担金収入	国	90,302,723
	県	248,478,010
収入合計		338,780,733

上記の評価と課題等

国民健康保険事業の実施により法令等で定められた額を繰出し、国保加入者の負担を軽減することができました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	老人福祉費			
	事業	0103200	後期高齢者医療事業		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,662,026,000	1,661,050,643	0	975,357	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
260,737,739		後期高齢者医療保険基盤安定負担金	230,189,242		
		後期高齢者健康診査事業補助金	29,451,500		
		市町村特別対策広報等事業補助金	1,096,997		
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(432,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

事業の成果

後期高齢者医療の運営に必要な療養給付費が安定的に確保できることで、保険者である長野県後期高齢者医療広域連合の健全な事業運営を保つことができています。

団塊世代の後期高齢者医療への加入による被保険者数の増加に伴い、令和７年度の個別健診および人間ドック、いずれの受診者数も前年より増加しました。

後期高齢者健康診査　受診率（令和８年６月１日現在）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
受診率(%)	19.9%	22.1%	22.9%
対象者数(人)	16,320	16,922	17,351
受診者数(人)	3,254	3,746	3,976

※令和５年度以降の受診率等は、国の基準をもとに算出しています。

後期高齢者健康診査　受診状況内訳　（人）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
集団健診	－	－	－
個別健診	1,874	2,179	2,324
人間ドック	1,355	1,574	1,652
内訳)一日ドック	1,301	1,519	1,592
内訳)一泊ドック	54	55	60
脳ドック	455	519	541
計	3,684	4,272	4,517

上記の評価と課題等

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、決められた負担金を延滞なく後期高齢者医療広域連合へ納入することができ、健全な運営が保たれています。

健診受診者には、個々の受診結果データをもとにして一体的実施事業等における個別保健指導へつなぎ、介護予防・重症化予防を目指します。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	国民年金事務費			
	事業	0103210	国民年金事務費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
86,462,000	85,409,679	0	1,052,321	98.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
24,991,510		国民年金事務委託金	24,991,510		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　国民年金適用事務

・被保険者　総数　13,441人　（令和８年３月31日現在）

第１号被保険者　9,018人

任意加入被保険者　158人

第３号被保険者　4,265人

・国民年金保険料免除被保険者数　（単位：人）

区　分	法定免除	申請免除（全額）	申請免除（3/4）	申請免除（1/2）	申請免除（1/4）	学　生納付特例	納付猶予	免除者総数
令和5年度	1,096	1,141	73	65	32	855	369	3,631
令和6年度	1,127	1,157	103	71	50	829	380	3,717
令和7年度	1,142	1,108	87	61	31	802	382	3,613

２　国民年金給付業務に係る取扱件数　（単位：人）

年金種別	令和５年度	令和６年度	令和７年度
老齢基礎年金裁定請求	5	5	9
障害基礎年金裁定請求	29	36	30
遺族基礎年金裁定請求	2	3	2
未支給年金請求	738	720	697
参考）死亡届	32	46	47
死亡一時金裁定請求	9	11	10
年金生活者支援給付金請求	34	49	38
（死亡届除）合計	817	824	786

上記の評価と課題等

法定受託事務として、国民年金被保険者の各種資格届出や保険料の免除申請等を受け付け、日本年金機構へ提出することで、被保険者の利便性の確保を図りました。

農林部

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	151

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農業総務費			
	事業	0106030	農業総務費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
159,147,000	155,679,875	0	3,467,125	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,000,000		地域振興基金繰入金	4,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　農業振興事業一般管理事務　143,196,964円
　職員給料・手当・共済費・賃金・需用費・公用車管理・補助金等

２　安曇野市農業農村振興計画推進委員会運営　12,482,911円
　出席謝礼・費用弁償・事務事業委託料
・22名の推進委員による委員会を３回開催しました。
・委員会では、第３次安曇野市農業農村振興基本計画（令和４～８年度）の事業の進捗状況を点検・評価を行うとともに、令和９年度から５年間の計画となる「第４次安曇野市農業農村振興基本計画」の骨子について検討を始めました。
・計画の重点プロジェクトの１つである「農業関係人口拡大プロジェクト」に基づき、地産地消及び食農教育を推進するため、認定こども園での「園庭たんぼ」や「えんていマルシェ」、小中学校での「お弁当の日」の支援、地産地消コーディネーターの新設等を行いました。

上記の評価と課題等

　次期計画策定にあたっては、現計画を総括し、安曇野市の農業・農村を取り巻く様々な課題（高齢化と後継者不足、気候変動による影響、変化の激しい国際情勢等）に的確に対応し、地域特性を十分に踏まえた上で、実現性・実効性が担保されたものとなるよう取り組みます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農業総務費			
	事業	0106040	農業振興地域整備促進費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,952,000	4,766,786	0	185,214	96.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,500		農振関係証明手数料	4,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市農業振興地域整備計画に基づく農業の総合的振興を図ることを目的として、計画変更に係る申し出の受付を、年２回（前期・後期）行いました。そのほか２アール未満の用途変更を随時受付を行っています。また、農業振興地域整備計画の総合見直しを行うため、現況及び将来の見通しについての調査を実施しました。

１　前期農業振興地域整備計画変更の概要（受付期間：令和７年５月20日～６月20日）
　(1) 受付状況　　(ｱ) 除　　外　　23件 41,342.25㎡
　　(ｲ) 用途変更　　５件　3,033.75㎡（2アールを超える案件）
２　後期農業振興地域整備計画変更の概要（受付期間：令和７年11月20日～12月20日）
　(1) 受付状況　　(ｱ) 除　　外　　22件 39,727.86㎡
　　(ｲ) 用途変更　　４件　2,431㎡（2アールを超える案件）
３　随時受付（２アール未満の用途変更）による農業振興地域整備計画変更の概要
　(1) 受付状況　　25件　2,567.17㎡
４　市農業委員会意見聴取
　(1)開催状況　令和７年７月28日（前期）　令和８年１月28日（後期）
５　市農業振興地域整備促進協議会の開催
　(1)開催状況　令和７年７月28日（前期）　令和８年１月28日（後期）

上記の評価と課題等

農業経営基盤強化促進法による「地域計画」との調整を図りながら、農振法に基づき適正な計画変更に取り組んでいきます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	農業振興費			
	事業	0106060	農業生産振興費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,838,000	8,508,196	0	329,804	96.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,209,475		環境保全型農業直接払交付金	3,209,475		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 ＜市農業再生協議会実施事業＞　　市交付金　3,691,084　円

農家・JA・農業農村支援センター・農業共済組合・市・市農業委員会が連携し、農業技術等の向上を図るため、検証事業を実施しました。

【米穀類生産振興事業】麦転作田地力増進等推進事業 外５事業
【そ菜生産振興事業】　夏秋いちご高温対策事業　外１事業
【果樹生産振興事業】　地下水保全対策土壌診断補助事業
【花卉生産振興事業】　カーネーションにおける遮熱資材の効果検証事業 外１事業
【畜産振興事業】　安曇野牛ブランド化推進事業　外１事業

2 ＜環境保全型農業直接支払交付金＞　　4,279,300 円

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動（有機栽培・カバークロップ等）に取組む農業者へ対して14,000円/10ａを上限に国(1/2)・県(1/4)・市(1/4)を補助しました。

【令和７年度実績】
対象面積：42.14ha
交付金：4,279,300円（内訳：国2,139,650円・県1,069,825円・市1,069,825円）

上記の評価と課題等

＜市農業再生協議会実施事業＞

農家の所得向上と農作業の省力化等を目的とした検証事業を実施し、実績報告書としてまとめ関係機関へ配布しました。また、安曇野市農業再生協議会のホームページへも掲載し、市民の皆さんへの周知を図りました。農業農村支援センターやＪＡ等関係機関と情報共有を図り、農業者の生産活動に寄与する事業に焦点を絞った検証を行い、農業者の所得向上に繋げていきます。

＜環境保全型農業直接支払交付金＞

安全・安心な生産物を求める消費者が増えています。また、生産者についても環境へ配慮した営農が求められています。引き続き国や県、ＪＡ等と連携を図り、適切な情報提供に努めます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	155

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	農業振興費			
	事業	0106070	水田農業振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
15,597,000	15,597,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,597,000		経営所得安定対策等推進事業費補助金	15,597,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

＜経営所得安定対策＞　交付金15,597,000円

経営所得安定対策推進のため、特定財源「経営所得安定対策等推進事業費補助金」全額を市農業再生協議会へ交付しました。

米の生産数量目標（面積換算）　2,981.4ha

主食用米生産面積（実績）　　2,980.8ha

令和７年度安曇野市農業再生協議会経営所得安定対策推進事業

項　目	決算額	主な内容
謝金	24,500円	米の生産調整部会への出席謝礼
事務等経費	14,956,500円	再生協事務職員報酬等
委託費	616,000円	ﾀﾌﾞﾚｯﾄ型現地調査支援ｼｽﾃﾑ保守 外
合　計	15,597,000円	

上記の評価と課題等

＜経営所得安定対策＞

昨今の米価上昇による主食用米の作付面積が増える傾向にあるものの、安定的な需給バランス保持のため、引き続き米の適正生産に向けた取組みを推進していきます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	155

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	農業振興費			
	事業	0106080	畑作園芸振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
68,995,000	67,724,485	0	1,270,515	98.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
60,058,718		農作物等災害緊急対策事業補助金	58,718		
		ふるさと寄附基金繰入金	60,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 ＜市農業振興作物等推進事業＞　　59,717,226円

生産振興作物支援事業　　12,630,528円

経営所得安定対策の実績を基に、予算の範囲内で補助金を交付しました。（申請額が予算額を上回ったため、基本単価を調整して交付）

対象作物	交付対象	基本単価	交付金額
重点作物 玉ねぎ、ジュース用トマト、黒豆	72.1ha	10ａ当たり 12,300円	8,750,220円
産地化加算 玉ねぎ、ジュース用トマト、黒豆	59.2ha	10ａ当たり 7,380円以内	3,796,518円
ブランド推進（黒豆）	1,710kg	1㎏当たり 42円	83,790円
合　　計			12,630,528円

担い手支援対策事業　　35,796,239円

対象作物	交付対象	基本単価	交付金額
担い手助成　麦・大豆・そば・飼料用米	957.7ha	10ａ当たり 3,280円以内	30,099,084円
団地化加算　麦・大豆・そば・飼料用米	281.3ha	10ａ当たり 2,050円以内	5,697,155円
合　　計			35,796,239円

玉ねぎ振興事業　　5,366,959円

玉ねぎ生産推進のため、苗及び苗植機械の購入費に対し支援を行いました。

	件数	補助率	交付金額
機械植え用苗代補助	45	3分の1	5,251,459円
機械購入補助	0	3分の1	0円
玉ねぎ祭り苗代補助金	2	1,500円/a	115,500円
合　　計			5,366,959円

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	農業振興費			
	事業	0106080	畑作園芸振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

収入保険加入促進事業　　5,923,500円　　令和７年度対象農家：219件

自然災害による収量減収や価格低下をはじめ、農業者の経営努力では避けられない様々なリスクに備えるため、「収入保険」への加入促進を図るため、掛金の助成を行いました。

2 ＜果樹生産農家支援事業＞　　4,781,675円

果樹共済掛金助成事業　　1,480,600円　　令和７年度実績：92件

近年、異常気象による自然災害の発生リスクが高まる中、果樹農家の経営安定及び「果樹共済」への加入促進を図るため、掛金の助成を行いました。

果樹新植支援事業　　3,301,075円

果樹栽培面積拡大のため、苗木購入費、果樹棚の設置費及び未収益期間（４年間）について支援を行いました。

補助内容	申請件数	対象	補助金額	摘要
苗木代補助	4	174本	592,595円	補助率1/3
未収益期間補助	20	54,169.6㎡	2,708,480円	50千円/10a(4年間)

上記の評価と課題等

＜市農業振興作物等推進事業＞

玉ねぎの交付対象面積は34.9haと前年と比較すると4.5ha減少しました。経営リスク回避のため、作付け作物の分散化や高齢化による離農等の理由により面積減少の傾向ではあるが、引き続き、その他の作物も含めた生産振興に向けた取組みます。

＜果樹生産農家支援事業＞

共済掛金の1/3に対して助成をしており、果樹農家の加入率は結果樹面積対比で15.4%となっています。果樹共済と同様の救済制度となる収入保険制度と併せ、加入率の増加に向けて長野県農業共済組合と連携しながら取り組んでいきます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	155

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	04	消費拡大対策費			
	事業	0106100	消費拡大対策事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,433,000	24,430,057	0	2,002,943	92.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,722,190		第２世代交付金（地方創生　ソフト事業）	5,722,190		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

農産物等販路拡大事業（24,430,057円）

安曇野の清らかな水と、そこから育まれる「食と農」の魅力を海外に発信し、海外での安曇野市産農産物用の販路拡大およびインバウンド誘客による国内消費拡大を目指すため、シンガポールで開催された「The Japan Rail Fair 2025」への出展をしました。また、シンガポールのインフルエンサーや事業者を安曇野市に招聘し、わさびの掘り取り体験や水アクティビティ、農泊など「農業と観光」を組み合わせたモニターツアーを実施しSNS等で発信しました。この他、航空会社と連携して農産物PRを中心とした動画を製作し、航空機の機内放送や動画配信サイトで放映するなど、安曇野市の魅力を視覚的に発信する事業に取り組みました。

特急あずさ号を活用して運搬し販売する「安曇野市×あずさマルシェ」開催に合わせて、㈱ルミネが取り組む農業プロジェクト「ルミネアグリプロジェクト」と連携したマルシェを開催しました。さらに、「米どころ安曇野」をPRするため、JR新宿駅直結の商業施設「NEWoMan新宿」内の５つの飲食店とコラボし安曇野産の新米コシヒカリとわさびを使用したメニューを提供するほか、安曇野産品の販売及び安曇野産新米コシヒカリの試食会も開催しました。

関西圏でのPRイベント「安曇野SUNSUNマルシェ」では、スイートコーンや果樹のほか、安曇野市産コシヒカリの量り売りを実施しました。また、「水の郷安曇野」をPRするため、安曇野の天然水を使用した水出し珈琲を期間限定でメニュー販売しました。

その他、友好都市イベント出展のほか、インターネットを活用した通販サイトでの販売補助、自ら販路拡大を目指す農業者等への支援を行いました。

産直センター運営事業は、一般社団法人豊科開発公社へ委託し、銀座NAGANOやアンテナショップ等を通じて、安曇野産農産物のPRを行い、ふるさと納税返礼品や野菜BOXの発送業務を行いました。

(1)　農産物等販路拡大事業15,819,599円
(2)　安曇野市農産物販路拡大推進補助金（マルシェ等出店補助金）1,881,936円
(3)　安曇野市農業再生協議会交付金714,422円
(4)　産直センター運営支援事業5,974,100円
(5)　長野県農産物等輸出事業者協会負担金40,000円

上記の評価と課題等

生産者が自らマルシェに参加し直接商品説明することで消費者の購買意欲向上につなげることができるため、今後も積極的に参加を募っていきます。シンガポールでの安曇野市農産物等プロモーションでは、関心が高く評価も高い「わさび」を中心にプロモーションを行うとともに、わさびの掘り取りやりんごの収穫など体験型観光の発信を行います。また、安曇野の水環境をPRすることで他の農作物へも関心を誘い、安曇野ブランド全体の発信につなげます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	155

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	04	消費拡大対策費			
	事業	0106110	直売加工施設運営事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
24,677,000	24,569,481	0	107,519	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,986,000		豊科南部地区産地形成施設使用料	180,000	堀金産地形成施設利用料	2,340,000
		穂高農業活性化施設利用料	1,400,000	堀金産地形成促進施設基金繰入金	2,609,000
		三郷産地形成促進施設利用料	890,000	堀金産地形成促進施設基金利子	27,000
		三郷畜産活性化施設利用料	210,000	明科農産物加工交流施設利用料	330,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　豊科南部地区産地形成促進施設
　豊科南部地区新鮮市組合（旬彩市）に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
2　豊科農産物加工交流センター（1,605,600円）
　豊科農産物加工交流センター管理運営委員会に指定管理し、効率的な管理運営に務めました。
　(1)指定管理委託料1,390,000円、(2)施設修繕費（換気扇、漏水修繕）215,600円
3　穂高農業活性化施設（9,986,048円）
　穂高農業活性化施設（Vif穂高、こねこねハウス、穂高農産物加工所）は、企業組合Vif穂高に指定管理し、一体的な管理運営に努めました。
　(1)指定管理委託料6,202,000円、(2)施設修繕費（不凍栓、床、雨樋）1,952,500円、
　(3)借地料(こねこねﾊｳｽ 1,454㎡)940,548円、(4)備品修繕費(もち加工機)253,000円
　(5)業務委託（ケヤキ伐採、雨樋清掃）638,000円
4　三郷産地形成促進施設（474,282円）
　㈱三郷サラダ市に指定管理し、効率的な管理運営に務めました。
　(1)借地料（1,209㎡）474,282円
5　三郷畜産活性化施設
　㈱綿半三原商店に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
6　堀金物産センター及び堀金農産物処理加工施設（9,656,373円）
　堀金物産センター、堀金農産物処理加工施設は、㈱旬の味ほりがね物産センターに指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
　(1)指定管理委託料1,234,000円、(2)借地料（5,675㎡）3,445,000円、
　(3)施設修繕費（床、高圧ケーブル）1,857,812円、(4)備品購入費（エアコン）752,070円、
　(5)積立金（基金積立金、基金積立金利子）2,367,491円
7　明科農産物加工交流施設（2,836,178円）
　あかしな農産物加工交流ひろば組合Ebeya（えべや）に指定管理し、効率的な管理運営に努めました。
　(1)指定管理委託料2,596,000円、(2)借地料（943㎡）240,178円
8　旧三田工業団地食堂（11,000円）
　旧三田工業団地食堂の消防設備等の維持をしている。
　(1)委託料（消防設備点検）11,000円

上記の評価と課題等

　直売加工施設の指定管理を行い、施設修繕や備品購入を計画的に進め、引き続き効率的な管理運営に努めます。指定管理の期間満了に伴う更新手続きを行い、施設運営の継続を図っていきます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	155

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費			
	事業	0106115	市民農園事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
959,000	749,183	0	209,817	78.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
378,800		市民農園利用料	378,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市民農園事業
市民の農ある暮らしの充実を図るために、市民農園の運営・管理を行いました。

（1）市民農園の開設状況

地　域	箇所数	区画数	面積(㎡)	借地料(円)
豊　科	5	107	6,597	197,910
三　郷	3	99	6,661	121,670
堀　金	1	36	1,974	59,220
計	9	242	15,232	378,800

（2）市民農園の利用状況

地　域	区画数	利用区画数	利用率(%)	利用料（円）
豊　科	107	104	97.2	178,400
三　郷	99	97	98.0	142,800
堀　金	36	34	94.4	57,600
計	242	235	97.1	378,800

（3）ハイジの里市民農園（あづみ農業協同組合所有）

平成29年4月1日に市の補助金を活用して開設し、市民農園事業における相互の発展のため、連携・協力する覚書を締結しています。

上記の評価と課題等

市管理の市民農園の利用率は、令和８年３月31日現在97.1%でありました。
引き続きホームページや広報誌を活用し空き区画の案内・募集を行い、利用率の維持・向上を図っていきます。
また、畦畔や通路の草刈等の整備を進め、利用者へ利用方法の周知を徹底して、利用しやすい市民農園の運営を目指します。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農業政策担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費			
	事業	0106120	農村都市交流促進事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,523,000	8,622,380	0	900,620	90.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
200,000		小倉多目的研修集会施設使用料	100,000		
		企業版ふるさと納税	100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　三郷やすらぎ空間施設運営事業（4,496,300円）
　株式会社かまくらやに指定管理し、効率的な管理に努めました。
　(1)施設修繕費（高圧ケーブル等）1,273,800円、(2)指定管理委託料893,000円、
　(3)借地料（4,659㎡）2,329,500円

2　小倉多目的研修集会施設運営事業（1,499,680円）
　令和３年度から施設を市が直接管理し、地区住民の健康増進及び活力ある農村づくりの用に供しています。
　(1)消耗品費（トイレットペーパー等）1,644円、(2)施設修繕費（誘導灯、トイレ）471,900円、
　(3)光熱水費478,987円、(4)通信運搬費（電話料等）39,508円、
　(5)委託料（清掃業務、消防点検業務等）507,641円

3　農家民宿（2,626,400円）
　国内の中学校３校の教育体験旅行と台湾からの訪日教育旅行８校の受け入れをすることができました。また、受け手側（農家側）と送り手側（学校側）の受入期間を越えた交流の継続と、農家民泊・農作業体験の内容や成果等を保護者をはじめとした地域住民とも共有することで活動内容のＰＲすることを目的に、受入校に農家が出向いて農家民泊中に作付けした農産物等を販売するフェアを開催しました。受入農家の開拓のため勧誘会を実施した結果、新たに５軒の農家が協議会に加入しました。
　(1)講師謝礼（アナフィラキシー対応講習会）70,000円、(2)委託料（バス運行業務）62,920円、
　(3)安曇野市農家民宿連絡協議会負担金2,420,000円、(4)補助金（農家民宿開業補助）73,480円

上記の評価と課題等

・三郷やすらぎ空間施設は、指定管理による農村都市交流施設の設置目的に沿った効率的な管理運営に努めます。
・小倉多目的研修集会施設は指定避難所でもあるため、必要最小限の費用で施設維持を図ります。
・農家民泊は、現在の協議会会員の受入状況から生徒数120人以内としていますが、これを越える学校からの問い合わせも多いため新規受入農家の確保に努めます。また、台湾や中国からの訪日教育旅行についても増加傾向にあるため、訪日受入の農家の拡充にも努めます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106160	担い手支援事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
22,181,000	15,884,948	4,967,000	1,329,052	71.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
168,147		農業経営基盤強化資金利子助成事業補助金	17,897		
		農地利用集積事業協力金返還金	150,250		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　地域計画（令和７年３月31日策定）
「地域計画」は、毎年PDCAサイクルを通じてブラッシュアップしていくことが重要であるため、目指すべき地域農業に向け各地域で「地域計画」検討会を実施しました。

2　経営体育成支援事業（国庫）　【繰越】　4,967,000円
国の令和７年度補正予算による地域農業構造転換支援事業について、市内の１経営体の支援が国に採択されました。（令和８年度への明許繰越）
補助率３/10、トラクター、ロータリーやウィングハロー等のアタッチメントの取得費用の補助。

3　集落営農組織等機械施設整備支援事業　5,920,000円
集落営農組織が取得する農業用機械・施設に対し補助金を交付しました。
補助率３/10以内、上限300万円、交付実績６件（ドローン、トラクター、田植え機等）

4　集落営農組織支援事業　4,062,351円
集落営農組織の地域の農業振興の取り組みに対し補助金を交付しました。
交付実績24組織
交付額：経営面積に応じ５、８、10万円、法人化等の取組内容に対し２万円を加算
ブロックローテーション取組加算3,000円/10a

5　地域計画推進担い手支援事業　4,220,000円
地域計画において規模拡大意向のある担い手が取得する機械等の経費の一部を助成しました。
補助率３/10以内、上限100万円、交付実績６件（籾摺り機、乾燥機、ハンマーナイフモア等）

上記の評価と課題等

地域農業を担う認定農業者や集落営農組織などを支援することで所得確保や経営力アップにつなげていくとともに、農業・農村の活性化や農業の持つ多面的な機能の維持・向上を図ります。今後も地域農業の維持のために担い手の確保・育成が重要となっています。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106170	後継者育成事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
32,325,000	32,177,390	0	147,610	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,126,000		新規就農者住宅使用料	540,000		
		農業次世代投資資金（経営開始型）	16,836,000		
		農業次世代投資資金返還金	750,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　新規就農者育成総合対策（経営開始資金）（国庫）　13,650,000円
　経営が軌道に乗るまでの間、新規就農者に対して最長５年間（R４からは３年間）給付金を支給しています。（H24～）
　給付額：150万円/年以内、交付実績９件

2　親元就農支援金　5,800,000円
　認定農業者である親元等に就農した者（後継者）に対して最長５年間支援金を支給しています。（H25～）　給付額：20万円/年、交付実績29人

3　親元就農機械施設等補助金　1,966,000円
　２の親元就農支援金受給者に農業用機械・施設の整備費用を補助しました。（H25～）
　補助率：３/10以内、上限100万円、交付実績４件（コンバイン、高所作業者等）

4　新規就農者支援事業　480,000円
　新規就農者の賃貸住宅に係る賃借料を補助しました。　（H28～）
　給付額：10,000円/月、期間：最長3年間、交付実績４人

5　新規就農者育成総合対策・経営発展事業（国庫）3,186,000円
　新規就農者１名が導入したビニールハウス、フレールモア、スプレイヤーの購入費に対する補助金。
（補助率３/４以内）

上記の評価と課題等

農業経営者の高齢化と後継者不足が進行している中ですが、上記の施策を活用して新規参入者・農業後継者を確保しています。（令和７年度は５人が新規就農）
令和７年度の新規就農相談数は56件でした。国の新規就農者育成総合対策経営開始資金の情報は周知され、交付金の活用を希望する新規就農者の相談も増加しています。
また、担い手農家の後継者を確保するとともに、新規就農者の受け入れを促進し、農業関係人口の増加を図る必要があります。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当・農業政策担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106175	職農教育推進事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
621,000	451,165	0	169,835	72.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　農業塾等農業者育成活動支援事業　315,000円

新たな農業者の育成及び農に触れる機会の創出を目的として、農業技術の指導を行っている農業塾や体験農場の活動に対し補助金を交付し支援しました。

(1)　あかしな農業塾　　169,000円

(2)　烏川体験農場　　146,000円

２　南農高校連携事業　136,165円

平成27年に市と南安曇農業高等学校が、農業の振興や人材育成を目的とした「農業振興に関する連携協定」を締結したことに伴い連携事業を推進しています。

「安曇野オリジナル商品開発プロジェクト」として令和７年度は市内の加工・販売事業者３社と連携し、事業者見学会、商品企画をとおして試作品を製作しました。その後、試食会を経て、最終的には９品目の商品案が事業者採用されました。また、わさび研究支援として、苗栽培用の種芋を提供し、種や育苗の研究への支援を行いました。研究により開発されたミスト装置を利用した養成方法（ミスト育苗）で生育されたわさび苗を植え付け、無事収穫することができました。収穫したわさびを種芋とし、そこからさらに苗を生育する研究にも進めることができました。

(1)消耗品費（商品開発用材料、わさび苗研究用材料）136,165円

上記の評価と課題等

農業塾等支援事業については、農業の担い手となる人材の育成と共に、農ある暮らしの充実のため農に触れる機会を提供することを目的として支援を行っていきます。活動の継続を図るために、新しい実践的リーダーや指導者の確保が今後の課題となっています。

南農高校連携では、わさび栽培に関する研究やオリジナル商品開発プロジェクトを引き続き支援をしていくとともに、市内事業者と連携し、販売に繋がるような新商品の開発を目指します。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106180	荒廃農地対策事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,200,000	643,000	0	557,000	53.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　荒廃農地解消事業補助金　643,000円

荒廃農地を解消しその後３年間耕作を行う農業者等に、補助金を交付しました。（R１～）
補助額：５万円/10a、令和７年度の対象者は３人、解消面積1.3ha

（直近３カ年の活用状況）

年　度	申請件数（件）	補助金額（千円）	解消面積（ha）
令和５年度	1	50	0.1
令和６年度	1	93	0.2
令和７年度	3	643	1.3

2　荒廃農地解消施策への取組み【市農業再生協議会事業】

市内の軽微な荒廃農地を解消・再生するため、その農地を耕作または耕作を予定している者に対し、歩行型草刈機を無料（燃料は満タン返し）で貸出しています。

設置台数：３台　Ｒ７活用実績：76件

（直近３カ年の活用状況）

年　度	件数
令和５年度	67
令和６年度	79
令和７年度	76

上記の評価と課題等

荒廃農地面積は、農業委員会の利用状況調査の結果19.6haとなっており、今後も引き続き、農業委員会等と連携して調査を行うとともに、荒廃農地の解消と発生防止に努めます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0106190	中山間地域等支援事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
17,056,000	17,020,681	0	35,319	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,579,793		中山間地域等直接支払交付金	10,548,565		
		中山間地域等直接支払推進交付金	10,000		
		中山間地域等直接支払交付金返還金	21,228		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　中山間地域等直接支払制度（国事業）　14,424,937円

耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能の確保を図る観点から、農業生産条件の不利を補正する国の中山間地域農業直接支払事業を実施しています。５年間（令和７～11年度）の農業生産活動を継続する協定を締結した７集落に対し、協定面積に応じて交付金を交付しました。

（交付実績）

地　域	協定集落数	協定面積（㎡）	交付額（円）
穂　高	2	180,110	3,241,562
堀　金	1	10,589	177,895
明　科	4	564,360	11,005,480
計	7	755,059	14,424,937

（交付金財源内訳：円）

国　費	6,672,205	県　費	3,876,360	市　費	3,876,372

2　安曇野市中山間地域農業直接支払事業　2,565,727円

国の制度では交付対象とならない農振農用地外等の中山間地域について、国の対策に準じて集落協定（令和６～８年度）を締結した上で、協定面積に応じて市単事業の交付要綱に基づく交付金を交付しました。

地　域	協定集落数	協定面積（㎡）	交付額（円）
豊　科	2	122,971	1,291,195
穂　高	2	121,384	1,274,532
計	4	244,355	2,565,727

上記の評価と課題等

農業の担い手不足や高齢化が進む昨今、特に中山間地域の農地は荒廃化が危惧されています。国の中山間地域等直接支払制度を活用した取組みは、集落の活性化とともに農業生産条件の不利を補正する制度として有効な対策のひとつです。また、国の直接支払制度の対象は農業振興地域内農用地（青地）に限られるため、市独自の支援策として安曇野市中山間地域農業直接事業交付金を市内４集落に交付しています。

両制度を活用し、引き続き農地の多面的機能を維持していく必要があります。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	07	畜産業費			
	事業	0106210	畜産振興事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
25,268,000	25,099,658	0	168,342	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,208,328		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）	2,153,328		
		家畜防疫事業収入	55,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１＜農業共済組合家畜診療所負担金＞　1,083,000 円

長野県農業共済組合が運営する中信地域家畜診療所の獣医師を雇用し、診療体制を構築するとともに、人工授精や疾病等の防疫活動などを行うなど、地域の畜産振興を図るため、市の畜産経営規模等により算出された負担金を交付しています。

２＜畜産公害防止事業＞　21,268,582 円

畜産経営に係る環境面への対策を推進するため、畜産農家が購入する悪臭対策資材、防虫対策資材等に対して２分の１（上限額：悪臭対策資材８万円、防虫対策資材２万円）の補助金を交付しました。また、堆肥センター廃止に伴う原料搬入農家に対し堆肥舎整備の補助金を交付しました。

３＜環境整備リース事業補助金等＞　55,164 円

「畜産環境整備リース事業」等を利用した農家に対し「附加貸付料」及び「保証料」を補助し、施設周辺の環境保全を図りました。（対象設備：２件）

４＜畜産悪臭対策事業＞　413,540 円

畜産が起因となっている悪臭問題について、以下の事業を実施し対策を図りました。
ア　対策会議開催（畜産悪臭対策協議会３回及び畜産現場確認２回）
イ　専門部会開催（課題解決のため有識者を招いた会議３回）

５＜家畜伝染病法定検査防疫事業＞　126,044 円

家畜伝染性疾病の発生を予防し、伝染病の蔓延を防止するため、家畜伝染病予防法に基づく定期検査及び予防注射を実施した農家に対し助成しました。

６＜配合飼料価格高騰支援事業＞　2,153,328 円

社会情勢等の影響により配合飼料価格が高騰していることから、畜産農家が経営安定化を図るために加入している配合飼料価格安定制度への加入掛金の一部を補助しました。

上記の評価と課題等

＜畜産経営安定化事業＞＜畜産悪臭対策事業＞

三郷地域の畜産臭気問題については、平成24年度に167件あった悪臭苦情件数が令和７年度は20件になるなど改善は図られています。今後も、悪臭防止法の規制数値以下となるよう、畜産農家に対する指導を関係機関と連携して実施していきます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	07	畜産業費			
	事業	0106220	三郷堆肥センター運営事業		施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
311,852,000	311,257,437	0	594,563	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
293,500,000		三郷堆肥センター解体事業（特例債）	293,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１＜三郷堆肥センター運営事業＞　　1,671,230円

ア　堆肥センター借地料（4/1～3/3分・施設用地9,850㎡）　1,661,917円

イ　三郷堆肥センター付属 水分調整施設 土地改良区賦課金
（三郷温1308番地・面積：1,973㎡）　9,313円

２＜三郷堆肥センター解体事業＞　　309,586,207円

ア　三郷堆肥センター本体　解体　監理業務委託　　3,960,000円
堆肥センター解体にあたり、監理業務を委託しました。

イ　三郷堆肥センター解体工事（債務負担行為）　269,680,000円
三郷堆肥センターの解体工事を実施しました。

ウ　水分調整施設（２施設）解体設計監理委託　　1,045,000円
三郷堆肥センターの付属施設である水分調整施設（２施設）の解体にあたり、
監理業務を委託しました。

エ　水分調整施設（２施設）解体工事（債務負担行為）　　34,331,000円
三郷堆肥センターの付属施設である水分調整施設（２施設）の解体工事を実施しました。

オ　堆肥センター敷地境界復元業務委託　　570,207円
三郷堆肥センター跡地の敷地を地権者に返還するにあたり、
敷地境界復元及び復元に係る調査・測量等の業務を委託しました。

上記の評価と課題等

令和６年度から実施していた解体工事を完了し、借地返還を行いました。解体工事にあたっては、基礎杭の深度・本数増加及び粘土質度の入れ替えが発生し、解体・購入土・処分費が増加したため増額変更を行いました。また、現地調査の結果、南側樹木の下に石綿管が発見され、撤去方法の協議に不測の日数を要したため工期を延長しました。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	生産振興担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	水産業費	目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	水産業振興費		
	事業	0106360	水産業振興事業	施策	生産振興と販売力の強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
185,000	185,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

＜水産業振興事業＞　185,000円

水産資源拡大補助事業

漁業法により長野県内水面漁場管理委員会が定めた、犀川漁業協同組合管内でのニジマス増殖指示量を基に、組合が実施したニジマス稚魚の放流量（430kg）に係る経費に対し補助金を交付し、水産資源の確保を支援しました。

上記の評価と課題等

犀川漁業協同組合が漁業法の増殖義務により実施する、放流事業に支援を行いました。

河川での資源確保に向けて、カワウ等による被害の軽減を目的とした鳥獣駆除や、稚魚の放流を組み合わせながら、自然増殖による資源の拡大方法についても県水産試験場や犀川漁業協同組合と連携し検討をしていきます。

令和８年度	
部	農林部
課	農政課
係等	農村振興担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	06	農村集落支援費			
	事業	0190110	【明許】担い手・集落支援事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
21,945,000	16,384,000	0	5,561,000	74.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
16,384,000		【繰越】経営体育成支援事業補助金	16,384,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　経営体育成事業（国庫）　【繰越】16,384,000円

国の令和６年度補正予算で示された「担い手確保・経営強化支援事業」に取り組む農家１経営体が導入する農業用機械購入費に対する補助金。

補助率１/２、トラクター、ロータリー、乗用管理機等の農業用機械の取得費用の補助。

上記の評価と課題等

担い手確保・経営強化支援事業は「人・農地プラン」に基づき、農地中間管理機構を活用して農地の集積・集約化に取り組んでいる地域等において、農産物の輸出等に向けた取組など意欲的な取組により、経営の発展を図ろうとする担い手が、融資を活用するなどして農業用機械・施設を導入する際、補助金を交付することにより、主体的な経営発展を支援する事業です。

今後も地域農業の維持のために担い手の確保・育成が重要であることから、国事業の積極的な活用に取り組んでいきます。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	153

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農業総務費			
	事業	0106050	有害鳥獣駆除対策		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
64,006,000	61,300,325	0	2,705,675	95.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,530,500		野生鳥獣総合管理対策事業補助金	3,530,500		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　有害鳥獣捕獲等委託
　ア　農作物や林産物に被害をもたらす野生鳥獣の捕獲業務　　委託料　8,239,000円
　　市内全域を対象に、安曇野市猟友会へ委託しました。
　イ　野生小動物死体回収業務　　委託料　1,203,950円
　　市道等での死獣回収業務を業者へ委託しました。

2　ツキノワグマ緊急捕獲等業務　　委託料　976,000円
　人家周辺に出没したツキノワグマ捕獲に伴う檻の設置等を安曇野市猟友会へ委託しました。

3　ニホンザル農作物等被害対策業務委託　　委託料　11,869,000円
　各群れのニホンザルを捕獲しGPS首輪発信機を装着し、ニホンザルの追払い等に活用しました。

4　狩猟者確保事業補助
　新規狩猟者確保のため、免許取得に係わる経費に対して補助を行いました。
　　新規狩猟者６名　　内訳　新規銃狩猟者　６名
　　新規わな猟者　３名　　補助金　291,800円

上記の評価と課題等

　計画的な有害鳥獣捕獲により農林業被害の軽減を図ることが出来ました。
　有害鳥獣駆除を実施し、ﾆﾎﾝｼﾞｶ306頭、ｲﾉｼｼ51頭、ﾆﾎﾝｻﾞﾙ356頭（内107頭は一斉捕獲）、ｶﾗｽ209羽等を捕獲し、農作物の被害防止に努めました。
　狩猟免許取得経費を補助することにより、新規狩猟者６名を確保することが出来ました。
　GPS首輪発信機の位置情報を基に、追払い隊、猟友会の協力を得て、ニホンザルの一斉捕獲を行い農作物被害の軽減を図ることができました。
　広域電気柵の維持管理につきましても、実施隊により管理を行い被害の軽減を図ることができました。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	161

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106230	林業振興事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
161,487,000	158,217,776	0	3,269,224	98.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
47,020,401		信州ペレット消費拡大事業補助金	750,000	林業費雑入	594,629
		緑の募金緑化交付金	7,800	分収造林事業基金利子	22,922
		旧穂高町外１ヶ町一ノ沢山林組合に関する基金繰入金他	2,836,000	森林環境譲与税基金繰入金	3,276,020
		基金利子(旧山林組合関係)	305,290	安曇野市・松本市山林組合返還金	39,227,740

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市里山再生計画推進事業

　安曇野市里山再生計画に基づく取り組み「さとぷろ。」の各種活動を推進し、市民・事業者と協働で里山再生に向けた取組を継続しました。

　また、安曇野市産木材の活用拠点として各種ワークショップの開催や木工体験を行うことができる「さとぷろ。工房～夢スペース～」を整備するなど、市産材の利活用に取り組みました。

(1)計画推進支援業務(広報支援、活動推進の助言等)　委託料　495,000円
(2)(一社)さとぷろ。機構負担金(さとぷろ。工房運営経費含む)　負担金　13,206,000円
(3)堀金中学校アカマツ天板製作・取り換えワークショップ　委託料　1,047,200円

２　その他林業振興総務事業

(1)緑化木配布事業に伴う苗木購入等（公共施設へ）　原材料費　73,150円
(2)ペレットストーブ導入補助（11台）　補助金　1,100,000円
(3)長峰山絆の森遊歩道、森の小径歩道、蝶の森整備　労務謝礼　250,000円
(4)久保田区公民館LED化工事補助（一ノ沢）　補助金　1,535,903円
　柏矢町区公民館改修工事外　補助金　799,260円
　一ノ沢山林組合運営補助　補助金　500,000円

上記の評価と課題等

　令和７年度においては、里山再生活動「さとぷろ。」のプラットフォームとなる「(一社)さとぷろ。機構」を中心とした活動を推進しました。また安曇野市産木材の活用拠点となる「さとぷろ。工房」をオープンさせ、「さとぷろ。」を核とした市産材のさらなる利活用を図っていきます。

　旧穂高町外１ケ町一ノ沢山林組合に関する基金の使途における補助金で、組合の活動費のほか久保田区及び柏矢町区の公民館整備に対する補助を行いました。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106240	松くい虫被害対策事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
151,726,000	150,464,804	0	1,261,196	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
43,002,200		森林健全化推進事業補助金	43,002,200		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

松くい虫防除対策事業

1　松枯損木の伐倒処理業務委託　　補助事業：90,167,000円、市単事業：16,416,784円

地　区	処理作業	処理本数	材　積	内補助対象外
豊　科	伐倒処理等	0 本	0 ㎥	0 本
穂　高	伐倒処理等	786 本	1,143 ㎥	250 本
三　郷	伐倒処理等	457 本	809 ㎥	56 本
堀　金	伐倒処理等	298 本	691 ㎥	11 本
明　科	伐倒処理等	0 本	0 ㎥	0 本
計		1,541 本	2,643 ㎥	317 本

2　特別防除業務（薬剤空中散布）　211,200 円

3　安全確認調査業務　２地区　（気中・水質検査）　924,000 円

4　環境影響調査及び効果検証調査　1,716,000 円

5　樹幹注入業務等　5,907,000 円

6　貯木場整備業務　498,300 円

7　市単補助業務　33,074,459 円

内訳　伐倒駆除の補助（枯損木のみ）　146件　12,594,412 円
　　伐倒駆除の補助（健全木含む）　56件　19,387,875 円
　　樹幹注入の補助　47件　1,092,172 円

上記の評価と課題等

・　松くい虫防除対策としての薬剤空中散布を実施するにあたり、地元住民とのリスクコミュニケーションを図り進めました。また、実施後においては周囲の環境調査や効果検証を実施しています。
・　穂高権現宮などの健全なアカマツに対し薬剤の樹幹注入を実施しました。
・　松くい虫被害防除対策として市単補助金制度の利用を促進し、被害の蔓延防止を図りました。
・　伐採駆除に関しては、電話や窓口での問い合わせが数多く、被害が増えていることが伺えます。
・　松くい虫被害木の全量駆除が困難なことから、倒木による被害等が懸念されています。
・　森林巡視員や区長からの報告等を十分精査し、危険個所の特殊伐採処理や燻蒸処理を進めます。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106250	市有林の造成及び管理		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,223,000	12,411,471	0	811,529	93.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,878,941		森林造成事業費補助金	2,100,000		
		市有林木材売払収入	1,528,941		
		森林の里親促進事業支援金	1,100,000		
		指定寄付金	150,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市有林整備事業

(1)森林経営計画「小野沢右岸団地」(堀金)に基づき、計画的に市有林整備を実施しました。

①間伐

4018林班　約1.75ha　　事業費　4,565,000円

②下刈り

4045林班　約4.82ha　　事業費　2,277,000円

(2)その他市有林整備事業他

①三郷室山森林整備

植樹祭地拵え、下刈り他　　事業費　726,000円

②堀金岩原城址周辺森林整備

主伐、枝打ち他　　事業費　995,500円

③ドローンによる資源量調査・解析

三郷3019・3020林班　約42ha　　事業費　495,000円

上記の評価と課題等

市有林の多くの樹木は伐期を迎えており、二酸化炭素の吸収源としての機能の増進を図るためにも、森林の若返りを進める必要があります。このため、堀金地域の森林経営計画地「小野沢右岸団地」を中心に、公共施設等での木材活用も考慮しながら、計画的な主伐再造林を進めてます。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106260	間伐対策事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,508,000	11,507,400	0	600	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,010,000		森林整備支援事業補助金	6,010,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　森林造成事業補助　　申請件数：６件　　補助金額計：5,497,400円

森林造成事業補助金交付要綱に基づき、国・県の補助を受けて林業事業体が実施する森林整備に対し、安曇野市として県補助金査定経費の20%の嵩上げ補助金を交付しました。

2　森林病害虫被害枯損木利活用事業補助　　6,010,000円

各地域の課題に対応するため、森林整備等に要する経費に対して補助を行いました。

令和５年度から県の補助事業の内容が変わり、森林整備を行う林業事業体ではなく市が事業主体となり事業を進めてきました。

上記の評価と課題等

本事業における民有林（私有林等）の森林整備については、県の補助事業「信州の森林づくり事業」を活用しています。林業事業体が実施者となり、県の査定経費に対して市は嵩上げ補助を行っていますが、令和７年度においては長野県の当該事業予算が不足する事態となり、事業体による民有林の整備が停滞する懸念があります。

今後は安曇野市としても、県や林業事業体とも連携し、安心安全な山林の環境を維持するための施策を検討していく必要があります。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	165

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106265	森林環境譲与税事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
37,030,000	35,720,244	0	1,309,756	96.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,413,178		森林環境譲与税基金利子	308,861		
		森林環境譲与税基金繰入金	3,083,169		
		森林経営管理事業売払収入	1,021,148		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　森林経営管理制度の推進

(1)森林経営管理制度運用業務委託　委託料　519,200円
・意向調査対象森林の現況調査、森林整備方針及び集積計画策定可否の検討

(2)林地台帳更新等業務委託　委託料　2,244,000円
・林地台帳システム、森林簿、所有者情報等の更新

(3)地域林政アドバイザーの活用　報酬他　2,136,363円
・令和７年度から雇用

(4)森林環境譲与税基金積立金　積立金　29,999,000円

(5)森林環境譲与税基金利子積立金　積立金　308,861円

上記の評価と課題等

森林経営管理制度運用業務により、穂高地域の意向調査対象森林における森林の現況調査を行い、今後の施業方針の検討を行いました。これに基づき、次年度以降当該地域の意向調査を実施します。

また、令和７年度より地域林政アドバイザー１名を雇用し、森林経営管理制度を始めとした市の森林・林業に関する課題解決を図ります。

今後は、森林環境譲与税基金を活用し、林業事業体の経営基盤強化や私有林整備の促進を図るための市単補助金の創設し、安曇野市内の林業及び森林整備の活性化を図っていきます。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	165

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106270	林道重点整備・維持管理事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
106,784,000	79,423,897	26,590,000	770,103	74.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
25,464,000		公共補助林道事業補助金	8,565,000		
		地すべり防止施設等管理サポート事業	99,000		
		過疎対策事業債	16,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

林道の路面清掃及び側溝清掃と刈払い等を行い、利用者が安全に通行できるよう維持管理に努めました。また、交通量の多い幹線林道において大規模な落石や倒木から被害を防ぐため、危険箇所の重点的な維持・改良工事を行いました。

１　委託料
- 林道草刈り枝払い等業務　7,975,682円
  業務委託場所：　烏川線、長峰線、城山線、一の沢線、北沢線他
- 地すべり防止施設管理業務　99,000円
  業務委託場所：　明科長久保地すべり防止施設

２　工事請負費（補助事業）
- 林道烏川線改良工事　16,401,000円
  落石防護柵工　L＝12.0m
  落石防護網工　A＝258.0㎡

３　林道改良工事（単独事業）
- 林道維持補修等工事　31,530,400円
  工事場所：　烏川線、一の沢線、北沢線、小水沢線他

４　林道長峰線改良工事（過疎債）
- 林道長峰線改良工事　１工区　23,320,000円　垂直擁壁工　L＝42.0m
  ２工区　11,770,000円　垂直擁壁工　L＝19.0m

上記の評価と課題等

林道利用者が安心安全に通行できるよう維持管理に努めました。

林道烏川線は森林整備関係者だけでなく観光客や登山者等の利用も多く、安全性を備えた林道整備を進めていくことが求められており、改良工事を実施することにより危険個所の整備が図れます。

林道長峰線改良工事は、バスと普通車のすれ違いができるよう、５年間で約40箇所の部分拡幅工事を行う予定です。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	165

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	耕地総務費			
	事業	0106280	耕地総務費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
81,556,000	80,612,612	0	943,388	98.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,347,622		農村環境改善センター維持管理分担金	1,089,402	耕地費雑入	220
		国営造成施設管理体制整備促進事業補助金	4,866,000		
		地滑り防止施設管理委託金	272,000		
		高瀬川左岸水利運営調整費	120,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　三郷農村環境改善センター
・指定管理者ＪＡあづみ・指定管理期間　令和６年から５年間・指定管理料（年間）8,000,000円
・土地借地料 契約者２件 2,744,085円（内ＪＡあづみ負担分…1,089,402円）

２　年間通水負担金、水利維持管理負担金
・新田堰土地改良区　1,195,200円（年間通水及び水利系維持管理負担金）
・安曇野市矢原堰土地改良区　1,000,000円（年間通水負担金）
・安曇野市烏川土地改良区　1,068,000円（水利系維持管理負担金）
・長野県梓川土地改良区　330,000円（特別排水路維持管理負担金）
・安曇野市土地改良区連絡協議会　2,772,669円（堰で発生したゴミ処理支援負担金）

３　建設負担金（県単農業農村整備事業負担金）
・長野県梓川土地改良区　600,900円

上記の評価と課題等

指定管理者制度により、三郷農村環境改善センターの適切な維持管理を行うことができました。
施設が平成６年度に完成し30年経過していることから、令和５年度に策定した長寿命化計画に基づき計画的に施設の改修等を行う必要があります。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	耕地総務費			
	事業	0106290	土地改良施設維持管理適正化事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
302,000	302,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　事業概要

土地改良施設の計画的な維持補修や更新を行うため、施設を管理する土地改良区や水利組合等が、あらかじめ地元負担分を全国土地改良事業団体連合会に積み立ててから行う補助事業です。

５年間で事業費の３割を均等割りした額を拠出金として積み立て、実施年度に積立金（30%）と国（30%）、県（30%）の補助金を合算した金額（90%）が交付されます。

【負担割合】国30%、県30%、市20%、地元20%

２　建設負担金

負担先	金額
長野県梓川土地改良区	302,000円

上記の評価と課題等

市内では昭和40から60年代にかけて積極的に農業基盤整備が進められましたが、近年では水利施設の老朽化が著しく漏水等により営農に支障が生じています。

今後も土地改良施設維持管理適正化事業を導入し、土地改良区・水利組合と連携を図りながら計画的に水路改修工事を進めていく必要があります。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	耕地総務費			
	事業	0106300	国営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,860,000	11,798,604	0	61,396	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　一部事務組合負担金

・広域排水路の管理を行っている安曇野松本行政事務組合への負担金を支出しました。

安曇野・松本行政事務組合負担金　10,819,604円

２　工事請負費

・国営土地改良事業豊里沈砂池フェンス更新工事　979,000円

工事概要　フェンス更新　１カ所

上記の評価と課題等

安曇野地区広域排水事業は、安曇野市と松本市に跨る約6,200haを受益地として平成7年度から平成17年度にかけて基幹的な排水路整備を行っています。この排水路を適切に管理することで、近年の集中豪雨等による洪水に対して被害防止に寄与しています。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106310	市単土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
52,141,000	50,875,365	0	1,265,635	97.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
772,411		土地改良事業地元分担金	643,500		
		ふるさと・水と土保全基金利子	128,911		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　工事関係

工事内容	件数	金額
水路補修、漏水補修等工事	21件	21,722,800円
水路土砂撤去工事	８件	7,161,000円
その他工事（水路詰り等）	３件	3,108,600円
合　　計	32件	31,992,400円

2　土地改良事業補助金関係

申請団体	件数	金額
土地改良区	29件	10,144,010円
水利組合	４件	516,050円
合　　計	33件	10,660,060円

3　管理委託関係

（１）契約件数　　16件

（２）委託料　3,060,503円

（３）管理委託内容　排水路草刈、支障木伐採、排水水門ゴミ片付け等

4　原材料支給関係

（１）支給件数　　６件

（２）工事用原材料費　1,095,881円

（３）内容　水路目地補修資材、土のう用洗砂、トランジションフリューム等

上記の評価と課題等

農業水利施設改修要望の内容を確認し、多面的機能支払交付金に係る組織や関係土地改良区と調整を図り、市単土地改良事業として計画的かつ効率的に実施されるよう進めています。

しかし、改修費に対する地元負担金が担保できない箇所の改修が困難となっています。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106320	県営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,108,000	18,458,000	0	650,000	96.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,775,000		県営かんがい排水事業（公共事業等債）	12,100,000		
		県営事業負担金返還金	3,675,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内で実施される県営土地改良事業の市負担金を支出しました。

1　建設負担金

（1）県営畑地帯総合土地改良事業　中信平左岸地区
- 事業概要　　畑地かんがい施設更新工事　一式
- 事業費　　12,100,000円
- 建設負担金額　1,168,000円
- 建設負担割合　国：50%、県：27．5%、松本市と安曇野市：11.25%、土地改良区：11.25%

（2）県営かんがい排水事業　須砂渡地区
- 事業概要　　農業用水利施設更新工事　一式
- 事業費　　114,040,000円
- 建設負担金額　11,974,000円
- 建設負担割合　国：50%、県：29%、安曇野市：10.5%、土地改良区：10.5%

（3）県営かんがい排水事業　安曇野有明地区
- 事業概要　　水門の遠隔化　一式
- 事業費　　50,000,000円　　変更事業費　　15,000,000円
- 建設負担金額　5,250,000円　　変更後負担金額　1,575,000円　　差額　3,675,000円返還
- 建設負担割合　国：50%、県：29%、安曇野市：10.5%、土地改良区：10.5%

上記の評価と課題等

県営畑地帯総合土地改良事業中信平左岸地区は、かんがい施設を制御する無線周波数の切替に伴う施設整備費用を負担することにより、農家の利便性向上につながりました。また、県営かんがい排水事業須砂渡地区は頭首工施設更新等の施設整備費用を負担し、安曇野有明地区は水門遠隔化整備費用を負担しました。

今後も、県営事業に関する地元協議に関わりながら事業を推進し、農業用施設の更新を図っていきます。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	167

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106330	団体営土地改良事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
83,804,000	37,172,260	46,502,000	129,740	44.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
17,508,000		団体営土地改良事業補助金	17,508,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国・県補助金を活用し、老朽化の進んだ農業水利施設の更新を進めました。

1　設計監理委託料
- 農業水路等長寿命化・防災減災事業　三郷及木地区実施単価組換え及び変更設計業務　990,000円
- 農業水路等長寿命化・防災減災事業　三郷及木地区水路工事工事監督支援業務　990,000円

2　工事請負費
（1）農業水路等長寿命化・防災減災事業　三郷及木地区排水路改修工事　10,857,000円
- 工事概要　水路改修　U360Ｂ　L=295.9m
- 事業年度　令和６年度～令和７年度
- 負担割合　国：50%、県：14%、市：36%

（2）農業水路等長寿命化・防災減災事業　安曇野地区広域排水監視システム監視局追加工事　13,739,000円
- 工事概要　監視カメラ・水位計設置　４箇所
- 事業年度　令和６年度～令和７年度
- 負担割合　国：50%、県：18%、市：32%

3　繰越事業
（1）農業水路等長寿命化・防災減災事業　下押野地区　46,000,000円　・・・　令和８年度へ繰越
（2）農業水路等長寿命化・防災減災事業　狐島地区　9,600,000円　・・・　令和８年度へ繰越
（3）農業水路等長寿命化・防災減災事業　中村地区　8,700,000円　・・・令和８年度へ繰越

上記の評価と課題等

国・県補助金を活用できる団体営土地改良事業により農業水利施設の整備が推進され、施設の長寿命化及び防災・減災につながりました。令和３年度に策定された農業水利施設個別施設計画に基づき、計画的に団体営土地改良事業を導入し、土地改良区及び水利組合と連携を図りながら整備を進めていきます。

下押野地区、狐島地区、中村地区について、国県の予算配分上、令和７年度補正予算が見込めることとなり、令和８年度に明許繰越しました。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106340	多面的機能支払交付金事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
268,635,000	268,366,021	0	268,979	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
200,799,674		多面的機能支払推進交付金	200,792,022		
		多面的機能支払交付金返還金	7,652		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

多面的機能支払交付金事業は、農地や農業用水などの農業基盤と農村環境の保全と質的向上を図るため、地域住民等が主体となる地域ぐるみの活動を支援しています。

令和７年度は、市内16組織と広域協定運営委員会１組織が農地や農業用水路の保全と維持管理体制の向上を図るための活動が行なわれました。

１　取り組み状況について
- 組織数　　17組織（豊科　１組織、穂高　８組織、三郷　３組織、堀金　２組織、明科　２組織、広域協定運営委員会　１組織）
- 取組面積　　3,735ha（豊科 710ha、穂高 1,193ha、三郷 1,084ha、堀金 566ha、明科 182ha）
- 補助金額　　267,722,696円（うち市負担分66,930,674円）
- 負担割合　　国50%、県25%、市25%

２　広域化による事務軽減の内容
- 資源向上支払交付金（長寿命化）の工事の契約、工事監理、検査、支払を広域事務局で行いました。
- 農地維持支払交付金、資源向上支払交付金（共同）の事務について、希望する活動組織の作業日当支払い事務等を広域事務局で行いました。

上記の評価と課題等

各活動組織の活動により、農地と水路・農道が保全され、農業用施設の維持補修と更新工事を行い、施設の長寿命化が図られました。

広域化により、各組織が行っていた交付申請、会計、工事事務などの事務が軽減されました。

今後も市内農地と水路・農道の保全のため、交付対象農地の拡大を図ります。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	耕地担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	耕地費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	農村整備事業			
	事業	0106350	経営体育成基盤整備事業		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,493,000	12,443,747	0	49,253	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,625,000		土地改良事業地元分担金	6,125,000		
		県営ほ場整備事業（公共事業等債）	5,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

久保田・塚原地区では、昭和30年代に開田事業が行われ、ほ場の区画が平均10アールと狭く、用水路も老朽化により維持管理に苦慮しているため、農地の区画面積を広げ、農作業の効率化や農地集積を行いやすくするために、令和７年度から県営ほ場整備事業を進めています。

１．久保田・塚原地区

（１）事業費負担金　12,250,000円（市：6,125,000円、地元：6,125,000円）

（２）事業費に対する地元負担　17.5%

【負担割合】国：55%、県：27.5%、市：8.75%、地元：8.75%

上記の評価と課題等

久保田・塚原地区では、県が事業主体となり、令和７年度から令和13年度までほ場整備を実施することになりました。

県と地元と連携を図り、早期完成を目指して進めます。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	249

予算				総合計画		
	款	11	災害復旧費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	農林水産施設災害復旧費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業施設災害復旧			
	事業	0111020	林道災害復旧事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
93,833,000	16,913,000	76,722,000	198,000	18.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

林道一の沢線災害復旧工事は、地山の形状が変化したことにより工法変更が必要となり、設計及び国との協議に期間を要したため、工事費を令和８年度に繰越しました。

追加測量設計業務委託　　2,783,000円
工事請負費　　14,130,000円

繰越
監督補助業務委託　　1,001,000円
工事請負費　　75,721,000円

上記の評価と課題等

工事中の登山者等歩行者の通行を確保し、安全に工事を実施する必要があります。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	249

予算				総合計画		
	款	11	災害復旧費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	農林水産施設災害復旧費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業施設災害復旧費			
	事業	0190250	【明許】林道災害復旧事業		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
34,643,000	33,070,000	1,573,000	0	95.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
10,959,000		林業施設災害復旧事業補助金	10,959,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

林道一の沢線災害復旧工事は、地山の形状が変化したことにより工法変更が必要となり、設計及び国との協議に期間を要したため、工事を令和８年度に繰越しました。
令和６年度から繰り越した工事請負費は、前払金として令和７年度に支払い済みです。

工事請負費　　33,070,000円

繰越
監督補助業務委託　　1,573,000円

上記の評価と課題等

工事中の登山者等歩行者の通行を確保し、安全に工事を実施する必要があります。

農業委員会事務局

令和８年度	
部	農業委員会事務局
課	農業委員会事務局
係等	農業委員会事務局

決算書ページ	151

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	農業委員会費			
	事業	0106010	農業委員会費		施策	担い手の確保と農地の有効利用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
92,864,000	91,192,629	0	1,671,371	98.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
16,442,539		国有農地管理事務委託金	510,000	農地売買支援事業交付金	98,000
		農業費負担金	9,059,000	農業者年金目標達成交付金	40,000
		機構集積支援事業費補助金	56,000	農業投資価格評定謝金	8,600
		農地利用最適化交付金	6,346,516	その他雑入（農業委員会事務局）	4,423
		農業者年金事務費	320,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　農業委員会の運営　農業委員24名、農地利用最適化推進委員27名
・毎月、定例総会、地域委員会（５地域）、三役・地域長会を開催し、農地の所有権移転、農地中間管理権の設定、農地転用等の審議を行いました。
２　全国農業新聞の普及推進　令和８年３月31日現在　購読者数：81件
３　農地パトロールの実施及び遊休農地解消に向けた取り組み
（１）遊休農地の実態調査として、農地パトロールと解消に向けた取り組み（指導や農地のあっせん等）を行いました。
年度末の遊休農地面積50.9ha（緑区分：31.3ha、黄区分：19.6ha）解消面積10.4ha
（２）山林原野化した農地について、75筆（4.0ha）を非農地決定しました。
４　家族経営協定の推進
・令和８年３月31日現在　協定締結数113件（うち新規５件）
５　情報提供
（１）農業委員会だよりを発行しました。（７月・12月）
（２）賃借料情報一覧及び農作業標準労賃・機械作業料金協定表を作成し、配布しました。
６　農業者年金の諸届等の事務と加入推進
・令和８年３月31日現在　受給者全体：252名　被保険者：55名（うち新規加入：５名）
７　タブレット端末の委員への貸与
・タブレット端末を農業委員及び農地利用最適化推進委員へ貸与し、農地パトロールに活用しました。
８　農地相談会
・あづみ農業共同組合と合同で令和８年１月に豊科・穂高・三郷・堀金の各地域で実施しました。

上記の評価と課題等

遊休農地対策は、大きな課題として、各地域で農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり対策に取り組んでいますが、農業者の高齢化と後継者不足、耕作意欲の低下等による、遊休農地の発生に苦慮している状況です。
今後も行政、農協、地域が連携し、遊休農地対策と土地所有者への啓発に努めるとともに、土地所有者と担い手との農地のマッチングに取り組みます。また、関係部署と連携して農業委員が首都圏における就農相談会に出席し、相談に応じることで新たな農業者の確保を図ります。
引き続き、農業委員会が中心となって農地の利用関係の調整、農政課と連携して策定した地域計画の実現に向けて地域での話し合いを継続し、目指すべき地域農業を具体化していきます。

商工観光スポーツ部

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	05	労働費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	労働費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	労働諸費			
	事業	0105010	勤労者福祉事業		施策	多様な働き方への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
57,550,000	56,750,000	0	800,000	98.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
50,000,000		勤労者資金元金	50,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　勤労者資金融資あっせん（預託金額50,000,000円）

勤労者の生活の安定と福祉の向上に資するため、長野県労働金庫あづみ野支店の協調を得て生活資金のあっせんを行いました。（預託融資倍率1.0倍で長野県労働金庫と協定）

【利用状況】

年　度	新規利用件数	新規融資金額計	年度末融資残高
令和５年度	１件	2,400,000円	18,962,000円
令和６年度	０件	0円	12,249,000円
令和７年度	９件	21,710,000円	27,120,000円

２　安曇野市勤労者住宅建設資金融資利子補給金（補給金2,200,000円）

勤労者が市内に延床面積150㎡以内の住宅を建設、または敷地面積330㎡以内の宅地を購入するために長野県労働金庫から融資を受けた際に利子の一部を補給しました。

【利用状況】

年　度	新規利用件数	３年分の利子総額	補給金総額
令和５年度	33件	26,782,649円	1,650,000円
令和６年度	56件	55,591,767円	2,800,000円
令和７年度	44件	58,393,630円	2,200,000円

３　安曇野市勤労者互助会運営事業（負担金4,250,000円）

市内に事業所を有する中小の事業者及び従業員の環境整備や福利厚生の向上を目的に、安曇野市勤労者互助会の運営を支援しました。なお、令和７年度末会員数は1,496人（対前年4人減）でした。

上記の評価と課題等

勤労者資金融資あっせん事業、勤労者住宅建設資金融資利子補給事業及び勤労者互助会運営事業は、中小企業、小規模事業者の従業員の福利厚生や生活の安定に寄与していることから、引き続き制度の周知を図り、市内事業者の加入促進、利用率向上を図ります。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	05	労働費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	労働費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	労働諸費			
	事業	0105020	労働雇用対策事業		施策	多様な働き方への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,924,000	4,598,238	0	325,762	93.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　ふるさとハローワーク（安曇野市地域職業相談室）管理事業（事業費4,578,988円）

県安曇野庁舎１階に相談室を開設し、就職希望者に対してハローワークの職員が４名体制で主に就職相談、あっせんを行いました。市費職員１名を総合受付に配置しました。

【地域職業相談室利用状況】

年 度	相談日数	相談者数	１日平均	紹介件数	就職者数	就職者数/紹介件数
令和５年度	243日	9,428人	39人	2,823件	985人	34.9%
令和６年度	243日	9,220人	37.9人	2,716件	893人	32.8%
令和７年度	242日	8,278人	34.2人	2,463件	851人	34.6%

２　雇用対策事業（事業費19,250円）

個人の労働一般に関する相談に対し、専門の相談員を配置し対応しました。

また、松本職業安定所、市商工会と協力し、中信地域の高校の就職担当教諭とともに市内の各種事業所を訪問し採用状況や働く環境等を聞く産業事情視察を実施しました。（バス委託料19,250円）

年　度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
生活労働相談 （毎月第２木曜日、日中・夜間）	10件	10件	4件
わかもの就職サポート相談 （毎月第３金曜日、日中３枠）	36件	34件	21件
若年者ひきこもりやブランクのある人向け　個別就労相談（毎月最終火曜日、日中）	31件 （12回/年実施）	39件 （12回/年実施）	41件 （12回/年実施）
チャレンジ面接会in安曇野 （年３回）	求人24社 参加者249人	求人21社 参加者192人	求人15社 参加者126人
産業事情視察（参加人数）	13人	15人	14人

上記の評価と課題等

引き続き長野労働局や松本公共職業安定所と連携し、求職者のニーズに応じて丁寧な相談業務を行うと共に、雇用情勢の分析等を行い、地域の就労環境向上を図っていきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	商工総務費			
	事業	0107010	商工総務費		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
320,222,000	317,779,775	0	2,442,225	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　商工会補助金（補助額50,663,000円）
①経営改善普及事業（事業費18,263,000円）
　市内小規模事業者の振興と経営安定を図るため、市商工会が実施する経営改善、技術改善のための経営支援員による巡回や、創業・経営指導、金融斡旋等事業及び税務・金融個別指導などに対して支援しました。
②地域総合振興事業（事業費32,400,000円）
　市内商工業者の発展を図るため、市商工会が実施する各事業を支援しました。
　商工会では、セミナー開催や小規模企業持続化補助金取得支援、国、県等の各種協力金・支援金の給付支援事業を実施しました。

２　信州安曇野食の感謝祭（負担金11,827,000円）
　安曇野のおいしい産物を再発見し、新たな安曇野ファンを獲得するとともに安曇野ブランド力のさらなる向上を目指し地域活性化を図るため「食の感謝祭」を実施しました。
11月１日（土）、２日（日）の２日間、穂高神社で開催し、キッチンカーなどを含む84ブースの出展があり、地域資源を活用した新製品の試験販売などを行うことで事業者の新たな顧客獲得につながる契機となりました。両日とも天候にも恵まれ、２日間で延べ30,000人の来場がありました。

上記の評価と課題等

　安曇野市商工会への補助事業を通じ、事業者の経営革新や経営に関する相談・支援等を行うことで市内小規模事業者等の経営安定化のほか、地域の賑わいの創出と、商業振興、工業振興等に資することができました。
　商工業の振興、地域活性化に繋がる事業の実施について、商工会とこれまで以上に協調し、検討・実施していく必要があります。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	商工総務費			
	事業	0107020	ＪＲ・高速乗合バス利用対策事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
32,441,000	29,130,986	0	3,310,014	89.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,285,246		市営駐車場使用料	2,392,500		
		JR乗車券類等発売業務	1,892,746		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　駅関連施設管理事業（事業費14,552,727円）

ＪＲ駅無人化対策として、大糸線の５駅（安曇追分駅、有明駅、柏矢町駅、中萱駅、梓橋駅）及び篠ノ井線の田沢駅の計６駅の乗車券類の発売を、安曇野市簡易委託駅連合会に委託しました。また、市内11駅中、公設駐輪場のある10駅の駐輪場の管理を行い、利用者の利便性向上を図りました。

【簡易委託駅の状況】

委託駅８（６）駅合計	令和５年度	令和６年度	令和7年度
乗車券取扱総額	56,956,740円	55,093,550円	48,137,800円
受託金収入額 ※	2,059,307円	2,080,022円	1,892,746円

※ 乗車券類の販売手数料として取扱総額の５％(定期券は1.8%)を受託金として収入

※ 令和7年度から南豊科駅・一日市場駅が追加になり簡易委託駅が８駅になった

２　市営駐車場管理業務（事業費3,138,981円）

長野道安曇野バス停を乗降所として運行しているバスを利用する人等の利便性向上のため、安曇野インターチェンジ東駐車場の管理を行いました。

年　度	総件数	左の内バス利用件数	バス利用者割合	使用料収入額
令和５年度	18,393件	9,261件	50.35%	2,560,200円
令和６年度	9,684件	715件	7.38%	2,485,400円
令和７年度	9,811件	921件	9.38%	2,392,500円

上記の評価と課題等

簡易委託駅については、当面は現在の営業時間（午前7時～正午）で営業を継続し、ＪＲによるSuica導入に伴う乗車券・定期券の販売数への影響を注視していきます。また、各駅の放置自転車の整理についても、利用者に不都合が生じないように計画的に実施していきます。

市営駐車場については、引き続き除草や除雪等を行い、施設の適切な維持管理をしていくと共に、利用者に不便が生じないよう設備点検を行っていきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	171

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107030	商業振興事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
22,680,000	21,716,451	0	963,549	95.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,836,994		産業会館光熱水費	86,994		
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）	1,750,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　明科産業会館管理運営（事業費632,401円）
明科地域の商業振興のための施設として貸館業務を行いました。
管理業務を委託し施設管理を実施しました。
令和7年度の延利用者数は240人、延利用団体数は15組でした。

２　商業事業者支援事業
中小事業所等の事業支援のため、各種補助金により支援をしました。

○商業振興事業補助金の実績　（単位：円）

事業名		R５	R6	R7
販路拡大展示会等出展事業	補助額	1,319,000	1,570,000	1,862,000
	件数	7	6	6
創業支援事業（R7～）	補助額			550,000
	件数	0	0	3
商業系省エネ・ゼロカーボン推進事業（R7～）	補助額			5,325,000
	件数	0	0	21
街路灯維持管理事業	電気料	1,777,000	2,276,534	2,120,000
	撤去費	0	0	232,000
	補助額	1,777,000	2,276,534	2,352,000
空き店舗等活用促進事業（R7～）	補助額			8,519,000
	件数	0	0	22
空き店舗等改修事業（R4～）	補助額	8,625,000	6,307,000	1,578,000
	件数	11	9	2
ワーケーション受入環境整備事業（R5～）	補助額	500,000	0	500,000
	件数	2	0	1
合計（実績額）		12,221,000	10,153,534	20,686,000
件数		20	15	55

※　街路灯補助は件数から除く

上記の評価と課題等

明科産業会館は、利用者の減少から令和7年度末で貸館業務を廃止しました。
街路灯維持管理事業では、街路灯を維持管理している商店街の負担軽減を図りました。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	171

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107050	工業振興事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
164,374,000	162,592,771	0	1,781,229	98.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
57,750,000		ふるさと寄附基金繰入金	56,000,000		
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）	1,750,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　中小企業等サポート事業（事務事業委託料6,609,539円）

「中小企業事業者支援業務」を安曇野市商工会へ委託し、製造業等企業への情報提供、ビジネスマッチング支援、個別企業の課題解決等の支援を実施することで、企業の成長と雇用の安定を図ることを目的に実施しました。

【主な業務件数】

	件　数		
	令和５年度	令和６年度	令和７年度
市内事業者訪問による情報収集及び経営支援等	63	29	13
ビジネスマッチング支援等	2	10	13
経営強化に関する支援	0	32	24
関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援	0	6	13
合　計	65	77	63

２　企業誘致

市内への立地を希望する企業の受け皿となる産業用地の確保を目的として、令和５年度から穂高北穂高地区産業用地整備事業を進めています。青木花見産業団地及び島新田工業団地の周辺地を開発候補地として設定し、官民連携による開発を進めるべく（株）ヤマウラ及び（株）ｄ－ネクストと官民連携協定を締結しました。

市内の雇用促進及び地域経済の活性化に寄与する企業の誘致について、官民連携により取り組んだ結果、第１期開発地への進出を予定する企業２社が決定し、開発に係る各種法令上の許認可手続きを開始しました。

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		基本方針	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107050	工業振興事業		基本施策	商工業の振興

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　企業への助成制度の充実

新たな企業誘致と既存企業の設備投資・事業拡大などの支援のため、工業系は14の助成制度を設け、助成制度の利用促進に向けチラシ作成、市ホームページへの掲載や、制度説明会の開催、市商工会に広報を依頼するなど普及活動に努めました。

【交付実績】（　　）は前年度数値

事　　業　　名	件数	補助金額	備　考
工場等設置事業他	３件 （５件）	3,173,300円 (6,843,800円)	新規０件 ２年目２件、３年目１件
特定工場立地事業	０件 （０件）	０円 （０円）	
生産設備取得事業	21件 (19件)	115,934,000円 (94,840,000円)	新規５件 ２年目12件、３年目４件
工場用地取得事業	１件 （１件）	46,600円 (442,200円)	新規１件 ２年目０件、３年目０件
空き工場等活用促進事業	10件 （９件）	6,072,000円 (6,906,000円)	新規１件 継続９件
デジタル化推進支援事業	３件 （１件）	687,000円 (289,000円)	
工業系省エネ・ゼロカーボン推進事業	12件 （８件）	3,727,000円 (2,292,000円)	
技術・製品等展示会出展事業	21件 (13件)	5,401,000円 (3,454,000円)	
新製品開発支援事業	０件 （０件）	０円 （０円）	
工場等緑化事業	０件 （１件）	０円 (235,000円)	
国際（国内）規格取得支援事業	０件 （２件）	０円 (301,000円)	
製造業等人材育成事業	５件 （３件）	255,000円 (76,000円)	
地域経済牽引企業工場用地取得事業	３件 （５件）	13,612,000円 (34,078,000円)	新規１件 継続２件
本社機能移転企業雇用創出事業	０件 （０件）	０円 （０円）	
合　　計	72件 (67件)	148,907,900円 (149,757,000円)	

上記の評価と課題等

工場用地取得等の様々な助成制度により、市内への企業誘致、企業留置、雇用機会創出に繋がっています。また、生産設備の更新、導入等を促すことで、中小企業の労働生産性の向上や、受注等対応力向上により、主要産業である製造業等の基盤強化を図りました。

経済状況の変化に柔軟に対応するため、助成制度の内、利用実績の乏しい助成制度を見直し、その他制度についても条件変更等により事業者の事業維持・拡大に対する支援を実施していきます。また、国、県等の支援制度の活用促進も含めた市内企業の総合的な支援の実施を目指します。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	171

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107060	市制度資金貸付事業		施策	市内事業者の経営強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,590,662,000	1,590,626,180	0	35,820	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,504,394,325		市制度資金元金	1,500,000,000		
		制度資金保証料補給金返還金	4,394,325		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　制度資金貸付状況（預託金1,500,000,000円）・・・預託金額の５倍まで融資可能

市内の中小企業・小規模事業者に必要な資金を円滑に供給するため、金融機関及び長野県信用保証協会の協調を得て融資を実行しました。

【融資件数の状況】（借換除く）

		令和５年度		令和６年度		令和７年度	
		融資件数	融資額	融資件数	融資額	融資件数	融資額
市	運転資金	53	190,860,000	81	366,100,000	110	504,570,000
	設備資金	30	139,060,000	41	208,340,000	44	222,910,000
	計	83	329,920,000	122	574,440,000	154	727,480,000
県	運転資金	76	1,188,310,000	72	1,190,588,000	95	1,598,360,000
	設備資金	35	304,280,000	27	236,292,000	45	829,910,000
	計	111	1,492,950,000	99	1,426,880,000	140	2,428,270,000
計	運転資金	129	1,379,170,000	153	1,556,688,000	205	2,102,930,000
	設備資金	65	443,340,000	68	444,632,000	89	1,052,820,000
	計	194	1,822,870,000	221	2,001,320,000	294	3,155,750,000

２　制度資金保証料補給金及び利子補給（補給金85,492,300円）

保証貸付を受ける者が負担すべき保証料は、保証協会が定める率で賦課されますが、市はその1/2から全額に相当する保証料（選択する制度による）を補給しました。また、融資実行した翌年度において、１年に限りその利子の１％を上限に補助金として交付しました。

保証料補給金：308件　66,506,320円　利子補給金：211件　18,985,980円

上記の評価と課題等

多くの市内事業者の資金需要に対応することができ、これにより事業継続が図られ従業員の雇用確保にも繋がりました。

引き続き、物価高騰対策、事業継続、事業転換等を支援する新たな資金メニューの創出や、情勢に応じた金利等条件の見直しについて、信用保証協会等の関係各所の意見収集、県制度資金の動向を見ながら検討していきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	169

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107070	産業連携推進事業		施策	市内事業者の経営強化

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
28,253,000	15,995,666	12,098,000	159,334	56.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
4,028,950		第２世代交付金（地方創生　ソフト事業）	4,028,950		
		地域未来交付金（繰越事業分）	0		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　産業支援コーディネーターによる支援（事業費6,633,000円）

販路・流通・マーケット戦略などを食品流通系に詳しい法人に業務委託して、市内中小事業者の経営支援・事業者間連携による新商品開発を実施しました。

受託業務項目	Ｒ５年度活動件数	Ｒ６年度活動件数	Ｒ７年度活動時間数
市内事業者訪問による経営支援	59	87	83.725h
地域ブランドの構築・発信	190	131	103.65h
地域内事業者連携支援	63	77	105.1h
合計	312	295	292.475

２　Webマーケティング支援（事業費2,541,000円）

IT・Webの専門家に業務委託し、市内事業者に対し、個別相談形式でSNS投稿やWeb運用等の改善支援を実施しました。

支援事業者数：19社　支援回数：61回

３　移住希望者向け起業支援（事業費3,199,900円）

安曇野市へ移住とともに起業を検討している方に対して、起業の専門家に委託しセミナーおよび個別相談会を実施することで、起業と移住両方に関する知識習得の機会を提供しました。

東京開催：２回（参加者数合計30名）　オンライン開催：４回（参加者数合計18名）

４　オープンファクトリー（事業費2,893,000円）

学生対象にバスによる企業訪問を実施し、生産現場見学や社員交流を通じて市内ものづくり企業の魅力を知ってもらう機会を提供しました。

全６日程開催：見学受入企業12社（うち２回参加３社）、参加学生51名

上記の評価と課題等

産業支援コーディネーターにより、事業者の伴走型支援と共に広域的な人材マッチング等、販路・流通・マーケット戦略といった企業支援を行いました。

今後の課題として、「安曇野」ブランドとしての更なる知名度向上のため、Web広告やSNS等を通じた情報発信の強化が必要です。また、地域内事業者の交流・連携機会の創出による事業者間連携の向上を図り、新商品開発に繋げます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	173

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107078	ささえあい商品券事業		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
552,500,000	1,000,000	551,500,000	0	0.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,000,000		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和７年度補正推奨事業メニュー分）	1,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市ささえあい商品券事業（総事業費552,500,000円）

物価高騰の影響を受けている市民生活を応援するため、市内に住所を有するすべての市民を対象に商品券を交付し、消費の下支え等を通じた生活者支援を行うとともに、併せて地域経済の活性化を図ることを目的とし、商品券の作成・送付・換金業務、取扱事業所対策等を委託しました。

交付対象者は約95,500人、43,000世帯。1人あたり5,000円（1,000円券×５枚）を交付します。

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が繰り越されたこと、年度内での事業完了が困難であることから、令和７年度から令和８年度にかけて繰越して実施予定です。

令和７年度は、委託料のうち事務費1,000,000円の執行となりました。

委託料内訳（予算）

			うち令和7年度実績	
取扱事業所募集・広報等業務	8,000,000	円	500,000	円
商品券作成・事業運営業務	67,000,000	円	500,000	円
運営業務のうち換金分	477,500,000	円		円
計	552,500,000	円	1,000,000	円

上記の評価と課題等

令和7年度中は、事業期間が短かったため、業務の多くは令和８年度に実施予定です。

交付する商品券５枚のうち２枚（2,000円分）を普通券として大型店以外で利用できるものとすることで、中小事業所・個人事業者の支援を図ります。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	173

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	02	商工振興費			
	事業	0107130	しごと創出事業		施策	多様な働き方への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
32,257,000	17,520,847	13,712,000	1,024,153	54.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,905,750		第２世代交付金（地方創生　ソフト事業）	6,905,750		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　創業実現セミナー事業（負担金1,800,000円）
　商工会と共同で，経営・財務・人材育成・販路といった創業に必要な基礎知識の習得、経営への心構えなどレベルに応じ３講座を開催しました。
・創業基礎セミナー（３名参加）
・創業実現セミナー（19名参加）
・あづみの経営塾　キックオフセミナー（８名参加）
　　本編（９名）

２　地域資源活用ビジネス創生支援業務委託（事業費3,740,000円）
　専門事業者に業務委託しオンライン商談会に参加したことで、26社とマッチングし、このうち３社とサテライトオフィス誘致に向けて協議を継続中です。

３　リモートワーカー育成支援業務委託（事業費9,971,500円）
　育児や介護など、時間的に制約のある方をリモートワーカーとして育成するとともに、企業が求めるスキルを習得させ、リモートワーカーの受注拡大につながることを目的として、専門事業者に業務委託して、各種セミナーを開催しました。

上記の評価と課題等

　創業実現セミナーなどを通して市内で新規創業を目指す者を支援します。また、創業に至った後も自走に繋がっていくようにアフターフォローを継続して行っていく必要があります。
　これまで育児や介護などによりフルタイムで働くことができなかった者をリモートワーカーとして育成し、地域の労働者不足の課題解決に寄与することを目指します。
　また、安曇野市の独自の地域資源を活用して、地域の課題を解決するために、令和6年度に策定したサテライトオフィス誘致に関する戦略に基づき、新たな産業の誘致につなげます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費			
	事業	0106130	安曇野の里運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
33,282,000	32,523,413	0	758,587	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,343,503		安曇野の里基金利子	3		
		安曇野の里基金繰入金	3,943,500		
		安曇野の里施設利用料	5,400,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科安曇野の里自然活用村施設（ビレッジ安曇野ほか関連施設）の管理を指定管理し、効率的な管理と各種農業体験や武蔵野市等との交流、各種イベントの企画による都市農村交流など、農業振興事業に努めました。

また、プラザ安曇野の食堂・直売所部分を株式会社薬師平リゾートへ指定管理しました。

○ビレッジ安曇野ほか

指定管理者	一般社団法人豊科開発公社		
指定管理施設	ビレッジ安曇野、プラザ安曇野（１階東、２階）、わさび田広場、あづみ野ガラス工房、あづみ野第２ガラス工房		
指定期間	令和５年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	14,600,000円	市への納付金	4,790,000円
利用者数	ビレッジ安曇野宿泊者数 10,051人（前年度比 +843人）		

○プラザ安曇野1階西

指定管理者	株式会社薬師平リゾート		
指定管理施設	プラザ安曇野１階西（食堂・直売所）		
指定期間	令和３年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	768,000円	市への納付金	610,000円
利用者数	施設利用者数 19,770人（前年度比　+2,491人）		

○共通経費

借地料	3,624,210円（12,630.33㎡）	
改修修繕等	ビレッジ安曇野　緩降機等　消防設備修繕	885,500円
	ビレッジ安曇野井水ポンプ修繕	2,640,000円
	プラザ安曇野　落雷被害による自動火災報知設備等取替修繕	1,430,000円
	ビレッジ安曇野　落雷被害による自動火災報知設備等取替修繕	1,705,000円

上記の評価と課題等

安曇野の里については、人件費や光熱費等の高騰などの厳しい社会情勢の中でも、施設利用者がコロナ前の約９割まで回復するなど、宿泊施設として適正なサービス提供を行っています。

経年経過による施設の損耗や、設備の不具合などによる修繕の増加が課題となっています。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	157

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費			
	事業	0106140	ファインビュー室山運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,955,000	6,852,600	0	102,400	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

三郷農林漁業体験実習館（ファインビュー室山）の管理を、株式会社ファインビュー室山に指定管理し、効率的な管理と農業体験をはじめイベント等の企画を通じた都市農村交流に努めました。

○ファインビュー室山

指定管理者	株式会社ファインビュー室山		
指定期間	令和５年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	なし	市への納付金	R2～R7全額免除（19,060,000円）
利用者数	宿泊者数 7,248人（前年度比 -173人）		
主な工事・修繕	レストランロスナイ換気扇修繕	935,000円	
	天空の湯　ろ過ポンプ修繕	622,600円	
	西館浴場及び本館浴場換気設備等工事	715,000円	

上記の評価と課題等

ファインビュー室山については、人件費や光熱費等の高騰などの厳しい社会情勢の中でも、施設利用者がコロナ前の約７割まで回復するなど、宿泊施設として適正なサービス提供を行っています。

経年経過による施設の損耗や、設備の不具合などによる修繕の増加が課題となっています。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	159

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	農業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	05	農業交流促進費			
	事業	0106150	ほりでーゆ～運営事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
56,744,000	55,883,699	0	860,301	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
27,603,289		堀金観光開発基金利子	85,289		
		堀金観光開発基金繰入金	27,518,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

ほりでーゆ～四季の郷及び周辺施設を、株式会社ほりでーゆーに指定管理し、効率的な管理運営と農業体験をはじめとしたイベント等の企画を通じた都市農村交流に努めました。

○ほりでーゆ～四季の郷

指定管理者	株式会社ほりでーゆー		
指定管理施設	ほりでーゆ～四季の郷（本館・南館）、パター・マレットゴルフ場、コテージ四季の郷、須砂渡キャンプ場、憩いの森オートキャンプ場		
指定期間	令和５年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	2,300,000円	市への納付金	R2～R7全額免除（53,970,000円）
利用者数	ほりでーゆ～四季の郷宿泊者数 16,295人（前年度比 +1,193人）		
借地料	3,578,966円（165,654.81㎡）		
主な工事	コージェネ発電装置電装部品更新工事		16,280,000円
	ボイラー更新工事		27,500,000円
	露天風呂目隠し擁壁復旧工事		3,740,000円
主な修繕	露天風呂男女湯手すり交換修繕		1,173,744円
	非常用直流電源装置修繕		1,144,000円

上記の評価と課題等

ほりでーゆ～四季の郷については、人件費や光熱費等の高騰などの厳しい社会情勢の中でも、施設利用者がコロナ前の約７割まで回復するなど、宿泊施設として適正なサービス提供を行っています。

経年経過による施設の損耗や、設備の不具合などによる修繕の増加が課題となっています。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	163

予算				総合計画		
	款	06	農林水産業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	林業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	林業振興費			
	事業	0106232	長峰山森林体験交流センター事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,020,000	22,426,350	0	593,650	97.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,500,000		長峰山施設改修事業（過疎債）	2,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長峰山森林体験交流センター（天平の森）の管理を指定管理し、効率的な管理と森林体験や天体観測等の体験機会の増進及び地域や都市との交流の促進に努めました。

また、登山客をはじめ訪れる観光客、ハンググライダーの競技者など安心して絶景スポットを楽しめるよう環境整備に努めています。

○長峰山森林体験交流センター

指定管理者	穂高カントリー株式会社		
指定期間	令和元年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	16,755,000円	市への納付金	なし
利用者数	コテージ利用者数1,667人（前年度比+147人）キャンプ場利用者数629人（前年度比-101人）		
主な修繕	給湯用ラインポンプ及びろ過器用循環ポンプ修繕		722,700円
	薪ボイラー修繕		470,800円
	危険物地下貯蔵タンク液面交換修繕		448,250円
	バンガローカーテン修繕		256,520円
	長峰山清水ポンプ室内　ポンプ修繕		242,000円
主な工事	男子トイレ改修工事		2,508,000円
	長峰山頂上ポンプ室避雷ユニット設置工事		360,800円

上記の評価と課題等

長峰山森林体験交流センターは、施設及び設備の老朽化に伴う修繕が多くありますが、利用者への影響を最小限に抑え適正な管理運営が図られています。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書ページ	173

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,685,000	14,674,711	0	2,010,289	88.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,942		天蚕振興基金利子	11,942		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　安曇野ブランド創出事業の支援（800,800円）
　観光地ブランドの要素となる地域資源を守り育てる活動を続けている、市民団体（屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトほか全４プロジェクト）の活動支援を行いました（補助金交付により各団体が継続して自主的運営ができるような支援を行いました）。

2　安曇野の魅力を高める取り組み
○安曇野やさいスイーツフェアの開催（200,000円）
　令和７年10月１日から10月31日まで開催。共同販売イベントは市役所庁舎でフェア期間中の10月９日、10日に開催しました。
　「それぞれの店舗が考える安曇野」をテーマに、各店舗が安曇野の豊かな自然が育んだやさいを使用してスイーツを商品化し、期間限定で市内の菓子店等で販売しました。【参加店舗】12店舗

○「安曇野林檎ナポリタン」のPR　(325,270円)
　平成24年度に安曇野市のＢ級グルメとして商品開発された「安曇野林檎ナポリタン」への参加店舗は、14店舗（13業者）となりました。また、安曇野のご当地料理としてイベントや市内小中学校の給食でも提供されたほか、全国ネット「秘密のケンミンSHOW」でも紹介されました。
　PR用のチラシやポスター、のぼり旗を作成し、観光案内所、観光施設などに設置したほか「安曇野林檎ナポリタン」の提供店舗を周遊してもらうため、割引チケットキャンペーンを実施しました。

○安曇野オリジナルフォトブック制作事業（1,650,000円）
　2018年から７年間にわたり開催してきた「安曇野インスタグラムフォトコンテスト」で寄せられた作品を１冊にまとめました。制作には「未来に残していきたい今の安曇野」をテーマに写真家の佐藤大史氏にご協力いただきました。
　安曇野市制施行20周年記念式典での配布、教育機関や市内の図書館への配架及び宿泊施設への送付などを実施し、市の魅力を市内外の方に再発見してもらうことができました。

3　メディア・ロケ誘致推進事業
　メディア関係者の取材や映画・テレビ番組等の撮影を誘致するため、ロケ支援専用ホームページなどによりロケ地情報の提供や、ロケハン・取材・撮影に同行し撮影の支援を行いました。
ロケ支援作品やテレビ番組も複数放映され市のPRにつながりました。

【ロケハン等ロケ支援対応数】　映画７件　テレビ８件　ＣＭなど７件
【ロケ実績数】　映画２件、テレビ６件、ＣＭなど４件

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107080	地域ブランド化構築事業		施策	地域独自の観光資源の活用

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

5　天蚕振興事業

○安曇野市天蚕センターの指定管理（指定管理料　4,292,000円）

安曇野市天蚕振興会に指定管理し、天蚕に関する資料・機器具・工房等が広く一般に公開され、施設活性化のための創造事業として機織り体験等のワークショップも実施されました。

来場者数	令和７年度	2,592人	前年度比　14％ 減
	令和６年度	3,024人	前年度比　５％ 増
	令和５年度	2,881人	前年度比　12％ 増

○天蚕飼育

長野県が所有する旧蚕業センター有明試験地を賃借し、天蚕の飼育を行いました。

面　積　　22,234.65㎡　　借地料　　9,990円

○天蚕振興会運営支援（補助金　1,720,000円）

市内の天蚕飼育者等で組織されている安曇野市天蚕振興会へ運営支援のため、補助金を交付しました。天蚕振興会では、天蚕の飼育、繰糸、機織、製品づくり、後継者育成として研究事業等の一連の事業を行いました。

① 生産実績　収繭数：13,214粒、生糸繰糸量：2.93kg、紬糸：0.02kg
反物制作数：着尺１反、小物用生地４枚、ショール11枚、帯地２枚
安曇野ハーフマラソン2025全天蚕布製メダルストラップ12セット

② 後継者育成　繰糸部による技術講習会等の開催
豊科北小学校、穂高東中学校、豊科南中学校、堀金中学校で出前授業等の実施
東京都町田市立鶴川第二小学校「天蚕の育ち方」リモート授業

③ 研究事業　国立民族学博物館・京都大学・ファッション専門職大学の野蚕に関する調査研究への協力

○広域連携

市が加盟する各種協議会事業へ参加し、天蚕振興会と共に天蚕をPRしました。

・シルクのまちづくり市区町村協議会への参加（副会長市・令和８年度は会長市）
・信州シルクロード連携協議会事業等への参加
・大日本蚕糸会事業との連携

○天蚕業の振興とリブランディング（3,520,000円）

・天蚕を国内外で広く認知してもらうことを目的に、将来の担い手となりうる服飾系専門学校の学生と安曇野市天蚕振興会との交流事業や、天蚕糸や天蚕未利用材を使用した天蚕製品の企画及び製作販売を東京都立産業貿易センター浜松館で実施しました。

上記の評価と課題等

地域ブランド構築に向けメディアへの安曇野の食や美しい景観・自然などの情報提供や、SNSを活用したVI事業などを通じ、市のイメージアップに取り組みました。貴重な地域資源の一つである天蚕については、中心となる安曇野市天蚕振興会への支援を実施し、後継者の育成と生産量の確保に取り組みました。

今後は「安曇野の存在価値を大きくし、市民に知ってもらうため」映画やドラマなどの撮影支援・誘致を積極的に行なうフィルムコミッションの設立に向けた検討を実施し、映像作品の舞台に安曇野を選んでもらい、地域のブランド力向上や経済活性化へと繋げていきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書ページ	173

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107090	観光イベント事業		施策	戦略的な観光プロモーション

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,534,000	11,337,309	0	196,691	98.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,700,000		地域振興基金繰入金	1,700,000		
		観光イベント事業（過疎債）	7,000,000		
				（入湯税）	(2,166,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

交流人口拡大、地域経済の活性化を図るため各実行委員会を支援しイベントを実施しました。（各種イベントへの補助金 11,296,059円）

１ 第42回早春賦まつり
４月29日（火・祝）市内のコーラス部の方々の合奏や安曇野市ふるさと観光大使でアルパ奏者の上松美香さんらの演奏が行われ、約300人の来場者のもと開催することができました。

２ 第18回安曇野花火
８月14日（木）安曇野市制施行20周年記念事業の一環として開催され、訪れた約20,000人の観覧者からは大きな拍手が起きるなど盛況となりました。

３ 安曇野APPLE HALLOWEEN
明科地域の活性化と、鉄道を利用した観光誘客の推進を目的として実施しました。
昨年度まではＪＲ東日本が主体となって実施していましたが、令和７年度からは明科駅前周辺まちづくり委員会などによる実行委員会形式での開催となりました。明科駅前エリアと廃線敷エリアの２エリアでのイベント展開などを行ない、約2,100人の来場者に楽しんでいただくことができました。

４ 安曇野ロゲイニング
11月24日（月・祝）明科地域を主とし、安曇野市のキャッチコピーである「朝が好きになる街」を体感していただけるコース設定を行い開催しました。
当日は県内外から221名が参加しました。

５ 安曇野神竹灯
12月５日（金）～７日（日）、12月12日（金）～14日（日）の６日間、約10,000本の竹灯籠を穂高神社境内に配置し開催しました。神楽殿でのライブやキッチンカー、クラフトが出店する「ナイトマーケット」も同時開催し、期間中会場には約36,000人の来場がありました。

上記の評価と課題等

イベントの開催により、県内外から多くの方に訪れていただき安曇野の魅力に触れ、楽しんでもらえる機会を創出できました。
花火大会については「松本糸魚川連絡道路」の工事の進捗による開催場所等の問題、安曇野APPLE HALLOWEENでは実行委員会の委員構成、令和９年度の開催休止が決まった早春賦まつりの再開についてなど課題もありますが、各イベント実行委員会関係者と協議を続けながら交流人口拡大に繋がるイベントの推進に努めます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書ページ	175

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107100	受入体制整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
287,404,000	218,998,263	66,200,000	2,205,737	76.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
45,526,000		第２世代交付金（地方創生　ソフト事業）	3,626,000		
		第２世代交付金（地方創生　拠点整備事業）	8,800,000		
		地域未来交付金（繰越事業分）	33,100,000		
				（入湯税）	(13,140,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　安曇野市への来訪者の状況等

長野県観光地利用者統計調査結果によると、令和７年の観光地延利用者数は前年比約107％の約426万人となり前年を上回りました。観光消費額も前年比約107％の約107億円となりました(調査結果から延利用者数及び観光消費額の増加理由として、インバウンドの入込みと団体客の増加が要因だと考えられます）。

	年	観光地延利用者数（千人）				観光消費額（百万円）
		合計	前年比（%）	日帰り・宿泊別		
				日帰り	宿泊	
安曇野市	令和3年	3,121	107.3	2,492	629	7,215
	令和4年	3,731	119.5	2,784	947	9,387
	令和5年	4,059	108.8	2,967	1,092	10,506
	令和6年	3,995	98.4	2,988	1,007	10,018
	令和7年	4,262	106.7	3,171	1,091	10,699
県全体	令和3年	52,589	102.2	36,676	15,913	183,286
	令和4年	75,447	143.3	52,707	22,740	282,524
	令和5年	80,141	106.2	54,158	25,993	308,687
	令和6年	85,149	106.1	57,811	27,338	332,736
	令和7年	未発表（8月公表予定）				

2　受入体制の充実

○安曇野市観光協会との連携

安曇野市観光協会への補助事業・委託事業により、着地側での観光情報の発信や着地型旅行商品の造成、周遊バスの運行やシェアサイクルの活用による二次交通の充実など、受入体制の充実を図りました。

① 運営補助金（16,000,000円）
　事務所経費、らくらくタクシー運行等経費、シェアサイクルの運営等に対する補助

② 観光案内・情報発信等業務委託（78,000,000円）
- 観光案内業務（穂高駅前観光情報センター及び観光情報スペース）
- 着地体験型旅行商品の造成業務
- あづみ野エンジョイバス（周遊バス）
- 独自パンフレット作成（あづみ野ガイドマップ、あづみ野エンジョイバスルートMAPなど）

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107100	受入体制整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○第２次安曇野市観光振興ビジョンの推進
　令和５年度に策定した、第２次安曇野市観光振興ビジョンの各施策を進めています。実施している各施策については、安曇野市観光ビジョン推進委員会を設置し評価・点検を行っています。

○観光地情報アプリの活用（7,252,000円）
　「第２世代交付金」を活用し、令和６年度に整備したスマートフォン等で利用可能な地域情報、ルート検索、市デマンド交通やシェアサイクルの予約サイトとのリンク機能などを持たせたアプリを個人旅行者やインバウンドを含めた旅行者に提供し利便性の向上を図りました。

○山岳観光の推進（4,300,000円）
　安曇野市山岳観光推進実行委員会への補助事業を行い、ライトユーザーや若者層をターゲットに山岳・平地観光の魅力を発信しました。YouTube上で北アルプス登山や安曇野観光の魅力をPRするためのオンラインイベントを開催し北アルプスの魅力を発信しました。

① 北アルプスパノラマ銀座山小屋リピート企画（山小屋スタンプラリー）
② パノラマ銀座英語版Webサイトの運用
③ 安曇野ひがし山の魅力を伝えるガイド付きツアーの実施
④ YouTubeを活用した山岳情報の発信

○文化財を活かした観光の推進（25,080,000円）
　安曇野の景観を形成している、歴史的・文化的に重要な古民家である「本陣・等々力家」を時代に応じた新たな価値や役割を付加し、リ・デザインして宿泊施設を主とした複合観光施設として整備し、地域文化財の保存活用を推進することで、地域の宝を後世に引き継いでいきます。

上記の評価と課題等

　観光推進組織である安曇野市観光協会と連携し、観光情報センターや観光案内所での情報発信、地域資源を活用した着地型旅行商品の造成・販売を行い、市内での宿泊に繋げることができました。
　また、ルート検索などの機能を持たせた観光地情報アプリを活用し、来訪者の受入体制を整えることができました。山岳観光では、北アルプスパノラマ銀座及び「ひがし山」の魅力発信を行い、誘客や受入体制の充実を図りました。
　本陣等々力家の再生活用事業が魅力的な観光交流拠点として整備できるよう事業を推進するとともに、来訪者が市内を周遊できるよう、自然や歴史的文化財などを活かした受入体制の整備を実施していきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光促進担当

決算書ページ	175

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業		施策	戦略的な観光プロモーション

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
45,422,000	42,745,550	0	2,676,450	94.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,900,000		第２世代交付金（地方創生　ソフト事業）	5,900,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	15,000,000		
				（入湯税）	(10,517,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　誘客宣伝の充実
交流人口の拡大を図るため、様々な媒体で広告掲載をおこなったほか、安曇野市観光協会とも連携し誘客活動を実施しました。
○雑誌等への広告料（5,009,272円）
・雑誌等への広告掲載（るるぶ・ハイウェイマップ等）、高速バスラッピング（新宿－松本線）都営浅草線車内ポスター、JR品川駅デジタルサイネージ広告掲載
○パンフレット・ポスター作成、WEBによるPR等の委託料（1,364,000円）
・安曇野市観光パンフレット修正・増刷　　・Webを活用した観光PR情報発信
○首都圏コミュニティエフエム等での情報発信（エフエム江戸川）

2　戦略的な観光プロモーション
①安曇野の資源を活かした訪日教育旅行の誘致（3,498,683円）
・インバウンド対策としてリピーター率の高い台湾をターゲットに、長野県の訪日教育旅行誘致活動と連携し台湾現地にて関係者とのネットワークの構築を図りました。

②インバウンド戦略・プロモーション（3,617,923円）
・訪日外国人向けに安曇野市の認知度向上を図りインバウンド観光客の増加と継続的なPR・受け入れ体制の強化に繋げるため、シンガポールでの外国人向けのツアー案内や地域通訳案内士の活用とブラッシュアップなどに取り組みました。

③首都圏のファミリー層に向けた観光プロモーション（3,345,972円）
・市の観光資源である豊かな自然、特に動植物に焦点を当て、「ざんねんないきもの事典」の作者今泉忠明先生監修のもと、県外のファミリー層をターゲットに情報発信とモニターツアーを実施し、新たな安曇野の魅力についてプロモーションを展開しました。

3　観光デジタル化推進事業（11,827,610円）
・観光でのＤＸ推進を図るため国の「第２世代交付金」を活用し、課題調査および市内へのデジタル技術普及を進めるための事業を実施しました。

①メタバースを活用した観光情報発信
・北アルプスからの眺望をはじめとしたインパクトのある風景をメタバース上に出現させ、イベント等を開催しながら本市の認知機会とデジタル関係人口の創出を図りました。

予算	款	07	商工費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107110	安曇野ブランド情報発信事業		施策	戦略的な観光プロモーション

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

②メタバース活用観光プロモーション
・メタバースの周知及び利用促進と若年層を中心とした更なる交流人口拡大等を図るめ、YouTuberを活用したイベントを実施しました。

③観光事業者を対象としたデジタル活用人材育成
・OTAやGoogleビジネスプロフィールなど観光DXを活用し、地域一体での集客体制を整えていくため観光協会・商工会と市内事業者向けの研修会等を実施しました。

4　関連団体との広域連携による観光振興の推進（負担金9,039,286円）
広域で組織された観光関連団体に参画するとともに、広域的な観光プロモーション事業の実施や、首都圏等での誘客活動等に参加し、安曇野の情報発信を行いました。

≪主な団体≫
・信州まつもと空港地元利用促進協議会　4,610,000円
・日本アルプス観光連盟　1,100,000円
・大糸線ゆう浪漫委員会　930,000円
・モンベルフレンドエリア　924,000円
・安曇野アートライン推進協議会　300,000円　等

上記の評価と課題等

旅行雑誌やラッピングバスなど多方面で効果的な広告掲出を行い、市の情報接触者の獲得につなげることができました。また、首都圏のファミリー層に向けた観光プロモーションでは、市内での動植物とのふれあいを通じて、安曇野の自然と新たな魅力を伝えることができました。

松本市や白馬村に訪れているインバウンド等の取り込みが図れるよう、引き続き観光メタバースなどのデジタルコンテンツの活用や、広域的なプロモーション展開を図っていきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	175

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107140	温泉活用施設事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
30,394,000	29,081,228	0	1,312,772	95.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
16,497,540		林産物買受負担金	1,907,540		
		しゃくなげの湯外施設使用料	14,590,000		
				（入湯税）	(13,514,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

湯多里山の神、安曇野しゃくなげの湯について、指定管理者による管理運営を行いました。

○湯多里山の神

指定管理者	株式会社芙蓉		
指定期間	平成31年４月１日　から　令和11年３月31日　まで		
指定管理料	なし	市への納付金	1,090,000 円
利用者数	入浴者数 54,342人（前年度比 +1,517人）		
主な修繕	浴室・事務所 照明器具更新修繕		693,000円
	施設内設備修繕		682,000円
	温泉用塩素滅菌器修繕		319,000円
主な工事	可燃性ガス分離施設増築工事		15,400,000円

○安曇野しゃくなげの湯

指定管理者	ユアーズ静岡株式会社		
指定期間	令和４年４月１日　から　令和９年３月31日　まで		
指定管理料	なし	市への納付金	13,500,000円
利用者数	入浴者数 245,431人（前年度比 +14,707人）		
主な修繕	燃料ポンプ制御盤修繕		1,188,000円
	駐車場区画線修繕		902,000円
	温水ヒーター循環ポンプ及びインバーター交換修繕		660,000円
	水風呂浴槽水位センサー交換修繕		561,000円
主な工事	浴室内改修工事		968,000円

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107140	温泉活用施設事業		施策	地域独自の観光資源の活用

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市民や来訪者が気軽に利用できる天然温泉を活用した無料の施設として、八面大王足湯・待合所の維持管理を行いました。

○八面大王足湯・待合所

受託者	シルバー人材センター	
主な業務	足湯・待合所清掃等管理業務	598,644円

上記の評価と課題等

湯多里山の神及びしゃくなげの湯について、それぞれの指定管理者により適正に管理運営がされました。しゃくなげの湯、湯多里山の神の両施設とも、コロナ禍で減少した利用者数が徐々に回復傾向にある状況です。また両施設とも設備修繕等が増加しており、計画的・予防的修繕が課題です。

八面大王足湯については適正に維持管理を行い、多くの観光客等に利用いただいています。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	175

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107150	潮沢廃線敷整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,792,000	6,988,443	0	1,803,557	79.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

来訪者が、旧国鉄篠ノ井線廃線敷を安全にトレッキング等を楽しむことができるよう、三五山トンネル及び漆久保トンネルの安全確保のため、継続監視業務、補修設計業務、公衆便所の清掃等管理業務を委託しました。

○事業内容

支　出　内　容	支　出　額
トイレ清掃、門扉開閉等管理委託	975,299円
トンネル継続監視等業務（点検等）	999,900円

廃線敷施設の維持、修繕を行いました。

○事業内容

支　出　内　容	支　出　額
施設設備修繕	211,132円
雨水排水処理工事、案内看板設置	3,943,940円

地元有志の団体「ケヤキの道」に除草・倒木処理等の管理業務を行っていただきました。
10月にはＪＲの「駅からハイキング」イベントに併せて三五山トンネル等を利用して「安曇野APPLE HALLOWEEN」が行われるなど、誘客イベントが実施されました。

○事業内容

支　出　内　容	支　出　額
廃線敷遊歩道等整備謝礼	350,000円

上記の評価と課題等

来訪者に廃線敷を楽しんでいただけるよう、地元ボランティア団体である「ケヤキの道」との連携により施設管理を行うことができました。

今後は廃線敷の魅力をより広く発信していくことを課題として、三五山・漆久保の両トンネルを安全に通行できるよう継続監視を引き続き実施することに加え、趣を残した補修工事を行うとともに、地元ボランティア団体にも声を聞きながら、協力して魅力発信に努めます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	177

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107160	施設管理整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
205,422,000	198,362,751	0	7,059,249	96.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
115,932,747		かじかの里公園改修事業（特例債）	97,400,000	観光公園使用料	99,260
		ｵｰﾊﾞｰﾂｰﾘｽﾞﾑ等の未然防止・抑制による持続可能な観光推進事業	16,108,235	指定寄附金	198,000
		山岳環境整備基金繰入金	1,493,030		
		観光施設駐車場負担金	547,000		
		山岳環境整備基金利子	87,222	（入湯税）	(2,410,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市への来訪者のみならず、市民も快適に観光施設（公園・公衆トイレ・駐車場等）が利用できるよう、既存施設の修繕、清掃等の維持管理を行いました。
また、観光客が利用する市所有トイレを改修し、利用者の満足度向上を図りました。

１ 登山道等整備事業として、登山者用駐車場等の施設維持管理、中房線登山車両誘導業務、北アルプス南部地区登山道整備のために登山道等維持連絡協議会への負担金支出等、観光客用駐車場確保のため、補助金交付等を行いました。また、登山口駐車場における混雑を解消するため運用している駐車場管理システムの機能追加を行い、情報提供の向上を図りました。

２ 観光施設公園管理事業として、公園・観光施設・公衆トイレ30箇所等の管理を行いました。また、かじかの里公園の改修事業では、研修棟等の改修や遊具の設置、駐車場整備工事等を行いました。

○主な事業内容

支出内容	支出額
報償費 ・登山道等整備謝礼	1,645,680円
施設修繕費 ・登山口施設修繕 ・トイレ施設修繕	1,439,570円
委託料（管理業務等） ・公園・トイレ管理業務 ・中房登山車両誘導業務 ・光城山登山口駐車場警備業務	8,478,502円
委託料（事務事業等） ・登山者カウンター保守管理 ・登山口駐車場管理システム構築業務 ・駐車場用地測量、土質調査、不動産鑑定業務　ほか	41,348,030円

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107160	施設管理整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

○主な事業内容

支　出　内　容	支　出　額
委託料（設計監理等） ・かじかの里公園施設改修工事監理業務　ほか	2,612,500円
借上料 ・仮設トイレ、目隠しフェンス等	1,216,380円
借地料 ・市内観光施設借地 ・トイレ等借地	1,609,197円
工事請負費 ・林道一の沢線崩落個所仮設道路設置工事　1,254,000円　ほか ・御宝田遊水地浚渫工事　1,706,100円　ほか ・令和６年度(債務負担行為)かじかの里公園施設改修工事(Ⅰ期) 38,005,000円 ・令和６年度(債務負担行為)かじかの里公園駐車場整備工事 20,020,000円 ・かじかの里公園 施設改修Ⅱ期工事　27,566,000円　ほか	109,439,775円
公有財産購入費 ・光城山駐車場拡張に伴う土地代金	588,580円
負担金 ・北アルプス登山道等維持連絡協議会　5,000,000円 ・北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会　419,000円 ・国有林観光施設協議会　55,000円 ・北アルプス登山案内人組合連合会　50,000円	5,524,000円
補助金 ・穂高駐車場運営協議会補助金　2,786,100円 ・中房線崩落に伴う令和７年度観光事業補助金　7,000,000円	9,786,100円

○かじかの里公園指定管理

指定管理者	静岡ビル保善株式会社		
指定期間	令和３年４月１日　から　令和８年３月31日　まで		
指定管理料	4,102,000円	市への納付金	なし
利用者数	かじかの里公園キャンプ場利用者数 4,495人（前年度比 -818人）		

上記の評価と課題等

公園・トイレ施設の維持管理を定期的に行い、来訪者に快適に使用いただくことができました。施設の維持管理については、必要に応じ修繕を行なっていますが、老朽した施設も多く、計画的な改修等を行なっていく課題があります。

かじかの里公園の改修については、管理棟の改修や遊具の更新、駐車場の整備により、アウトドアの振興や地域の公園として、利用者の満足度と利便性の向上が図られるようになりました。

山岳観光分野では、4月に発生した県道中房線の崩落事故により通行止めとなった際、崩落個所の前後で無料送迎を実施し観光事業支援補助を行うことで観光消費の落込みを最小限に食い止めることができたと考えます。また北アルプス登山道等維持に負担金を交付することで、山小屋等による登山道の維持整備を進めることができました。さらに、登山口における混雑を解消するため登山口駐車場管理システムの運用により、駐車場情報をお知らせすることで混雑の解消に取り組みました。山岳における環境保全や安全の確保等課題は多く、引き続き関係省庁や山岳関係団体と協議していく必要があります。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	177

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107170	自然交流センター		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,532,000	5,404,560	0	127,440	97.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市自然体験交流センターの管理運営を「せせらぎ」を愛する会に指定管理し、各種教室等への貸館と各種自主事業を実施しました。

令和７年度はコロナ以降減少傾向であった来館者数が、数年ぶりに増加となりました。

○事業実績（利用者推移）

	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
開館日数	309日	309日	314日	310日	312日
来館者数	5,810人	5,476人	5,435人	5,218人	5,312人
来館者数前年度比	-544人	-334人	-41人	-217人	94人
増減比率	-8.6%	-5.7%	-0.7%	-4.0%	1.8%

○主な利用目的

・健康麻雀教室	50回	来館者数	576人
・童謡教室	24回	来館者数	336人
・写真教室	13回	来館者数	284人
・ミュージックベル教室	25回	来館者数	167人
・キルト教室	21回	来館者数	63人 など

○主な修繕

防犯カメラ設置修繕	330,000円
ガラス修繕	99,000円
日除けレースカーテン	275,000円

上記の評価と課題等

「せせらぎ」を愛する会が指定管理者となり、運営・管理が適切に行われています。本施設は地元住民による利用が多く、実施される自主事業も固定化している状況です。

自然体験を提供する施設としての事業展開並びに活用促進が課題となっています。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	179

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・想像するまち
	目	03	観光費			
	事業	0190120	【明許】登山道等整備事業		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,000,000	5,000,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,000,000		【明許】山岳環境整備基金繰入金	5,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年度 観光事業補助金「(有)日本アルプス常念小屋への補助金」令和７年度への繰越分の支払いを行いました。

1　補助金

（１）常念キャンプ場トイレの建設に対する補助金　　5,000,000円

上記の評価と課題等

令和６年度に補助金交付決定した常念キャンプ場トイレ建設について、早期の降雪により工期が確保できず、年度内での事業完了が困難となったため、令和７年度へ明許繰越としました。
令和７年度は工事完了となり補助金交付となりました。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	245

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	保健体育総務費			
	事業	0102324	自転車活用推進事業		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,799,000	1,453,650	0	345,350	80.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　自転車活用推進事業

（１）安曇野市自転車活用推進計画における各施策の検証

・安曇野市自転車活用推進協議会を年２回開催し、利用環境の整備や、健康増進・環境負荷低減に向けた施策の普及、交通マナーの啓発活動など、各事業の進捗状況等について報告し、今後の方針や課題解決等に向け協議しました。
・サイクリングコースにおいて、前年度実施したアンケート結果を参考に、委員の専門的見解から今後の活用方法やコース整備等について意見が出され、今後の取組みの参考となりました。

（２）安曇野市サイクイリングコース

・コース上の観光スポットや店舗等の詳細な案内をグーグルマップに掲載し、走行時の便利な情報ツールとして提供することできました。
・コースのプロモーションビデオを自作し、ホームページ等に掲載して広く市民に周知することができました。
・市広報誌に特集記事を掲載し、自転車活用に関する情報を提供できました。

上記の評価と課題等

・サイクリングコースは、委員の意見やアンケート等を参考に、今後の活用方法や環境整備等について引き続き検討していきます。
・自転車の日常での利用や周遊観光における自転車通行空間の確保に向け、関係団体と情報共有しながら協議を進めていきます。
・自転車の魅力の発信や安全意識の啓発など、広報活動をさらに充実させていきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	173

予算				総合計画		
	款	07	商工費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	商工費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	03	観光費			
	事業	0107095	ハーフマラソン事業		施策	アウトドア・スポーツを核としたまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
39,897,000	39,841,745	0	55,255	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
39,400,000		スポーツ振興くじ助成金	6,400,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	30,000,000		
		地域振興基金繰入金	3,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　ハーフマラソン事業

・安曇野の自然や歴史、文化等の多様な魅力を全国に向けて発信し、市民との触れ合いを体験することで、安曇野ファンを獲得することを目的に開催しました。
・ボランティアや沿道応援などの市民参加により、おもてなし意識の向上とスポーツを通じた地域の活性化を図りました。

大会名：安曇野市制施行20周年記念　第11回信州安曇野ハーフマラソン
開催日：令和７年６月１日(日)　ハーフの部(21.0975㎞)　ファミリーランの部(２㎞)
場　所：豊科南部総合公園(スタート・フィニッシュ)

（ハーフの部）　（人）

種目	申込者数	出走者数	出走率	完走者数	完走率
ハーフの部 男子	4,574	3,978	87.0%	3,880	97.5%
ハーフの部 女子	1,521	1,347	88.6%	1,257	93.3%
計	6,095	5,325	87.4%	5,137	96.5%

（ファミリーランの部）　（人）

種目	申込組数	出走組数	出走率	完走組数	完走率
ファミリーラン(２人)	294	266	90.5%	266	100.0%
ファミリーラン(３人)	63	56	88.9%	56	100.0%
計	357	322	90.2%	322	100.0%
				計	700

・エントリー開始後、ハーフの部は10日、ファミリーランの部は約２時間で定員に達し、コロナ禍以降最短での締切となりました。

上記の評価と課題等

・市制施行20周年記念大会としてランナーへ記念品を贈呈することで、例年以上に大会を盛り上げることができました。
・医務救護所や自転車救護隊の増設などにより、医療救護体制を例年以上に強化しました。
・大会運営も順調に進行することができ、アンケート結果やポータルサイトでは高評価となりました。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	193

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	公園事業費			
	事業	0108253	豊科南部総合公園管理運営事業		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
77,379,000	77,358,930	0	20,070	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,000,000		ネーミングライツ料	1,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　豊科南部総合公園管理運営事業

（１）管理運営業務（市総合体育館、テニスコート、マレットゴルフ場）

指定管理者：ミズノ・安曇野市スポーツ協会・Ａ＆Ｓグループ

指定期間：令和４年１月１日から令和９年３月31日まで（５年３ヶ月）

指定管理料：76,953,030円

（２）利用実績　　（人・円）　（%）

施設名	令和６年度		令和７年度		利用者数前年比
	利用者数	利用料（※）	利用者数	利用料（※）	
1 メインアリーナ	50,405	4,149,800	54,372	5,106,800	107.9
2 サブアリーナ	21,861	1,880,700	21,919	2,083,250	100.3
3 柔剣道場	10,072	683,500	11,335	704,550	112.6
4 ランニングコース	5,503	－	7,454	－	135.5
計	87,841	6,714,000	95,080	7,894,600	108.3
5 会議室	9,291	745,600	9,837	749,700	105.9
6 応接室	374	124,200	787	111,000	210.5
計	9,665	869,800	10,624	860,700	110.0
7 テニスコート	21,110	2,408,250	20,934	3,143,250	99.2
総計	118,616	9,992,050	126,638	11,898,550	106.8

※利用料は、減免適用後の金額

上記の評価と課題等

・定期的な利用団体の増加や各種競技大会やイベントの開催等により、利用者数は前年度より概ね７％上回りました。

・指定管理者との定例会を年４回開催し、相互に情報共有しながら安全管理の徹底や施設環境の改善に取組むことができました。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	245

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	保健体育総務費			
	事業	0110440	社会体育総務費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
21,083,000	17,136,753	0	3,946,247	81.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
550,000		競技施設整備費補助金	550,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市スポーツ推進委員会

・代表者会議を年２回、全体会議を年２回、研修会を1回実施したほか、体力測定やスポーツ教室の競技指導、運動会や公民館事業の運営協力など、スポーツコーディネーターとしてスポーツの普及及び推進に取組みました。

２　安曇野市スポーツ協会

・スポーツの振興や指導者の育成、スポーツする機会の提供など、市民が健康的で明るい生活を営むための重要な役割を担うスポーツ協会に対し、財政面で支援しました。
・加盟団体：79団体　登録者数：4,512人　補助金額：4,637,000円

３　安曇野市スポーツ少年団

・スポーツ活動支援補助事業や指導者養成事業など、青少年の健全育成のための重要な役割を担うスポーツ少年団に対し、財政面で支援しました。
・加盟団体：61団体　団員数：1,354人　登録指導者：154人　補助金額：2,988,000円

４　安曇野市各種競技会及び発表会出場者激励金

・交付要綱により全国大会以上の出場者に激励金を交付しました。
・交付者：158名
・交付額：1,628,000円（全国大会：153人　世界大会：5人(国内１人・国外４人)）

５　松本山雅ホームタウン事業

・令和７年10月に松本山雅ＦＣホームゲーム安曇野市ホームタウンＰＲデーに出展し、特産品の無料配布やニュースポーツ体験会などを行いながら安曇野市のＰＲを行いました。

６　国民スポーツ大会実施運営事業

・令和７年８月の実行委員会設立総会及び通常総会において、基本方針や事業計画等が審議承認され、令和８年２月には専門委員会を開催し、事業計画や実施要項等を策定しました。
・ウエイトリフティング競技会場となる穂高総合体育館の床補強改修工事のため、設計業務を委託し次年度の工事着工に向けて準備しました。
・イベントやＳＮＳ等による啓発活動により、市民への大会周知に取組みました。

上記の評価と課題等

・激励金の交付により、全国大会を目指す競技者のモチベーションの向上や継続的な活動の推進に寄与することができました。
・信州やまなみ国スポ・全障スポの開催に向け、引き続きハード・ソフトの両面において適正な事務処理等を進めていきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	247

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	保健体育総務費			
	事業	0110445	スポーツ推進事業費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,740,000	13,397,972	0	3,342,028	80.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
670,300		スポーツ教室参加料	670,300		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　スポーツ推進事業

（１）子どもや親子向けの教室事業(20教室、延べ6,218人参加)

教室名	対象者	延参加者数	参加率
①親子ウキウキ体操教室(３教室)	２歳～３歳程度 ３歳程度～未就園児	886人	85%
②わんぱくＧＹＭ教室(２教室)	年長児・年中児	590人	79%
③動きづくり運動教室	小学低学年	209人	82%
④ウォータースポーツ体験会	小中学生	３人	43%
⑤松本山雅親子ふれあい教室	小学生とその保護者	24人	60%
⑥ファミリースポーツカフェ（８回)	親子等	348人	自由参加
⑦ＣＯＴキッズ教室（２教室)	小学１・２年、年長児	113人	81%
⑧ＣＯＴ指導者派遣事業	市内幼保の園児	3,792人	100%
⑨ジュニアスポーツ選手育成事業	中学生	253人	70%

（２）大人（18歳以上）向けの教室事業（８教室、延べ517人参加)

教室名	対象者	延参加者数	参加率
①エクササイズ教室	18歳以上	169人	77%
②姿勢改善エクササイズ教室		121人	67%
③座って簡単トレーニング教室		55人	92%
④ピラティス教室		131人	66%
⑤トレイルランニング教室		10人	100%
⑥バランスボール体験会		10人	84%
⑦サイクリング教室		７人	100%
⑧スポーツ指導者講習会		14人	100%

上記の評価と課題等

・アウトドアスポーツの推進に向け、イベントや大会の開催とともに、ウォータースポーツ体験会やトレイルランニング、サイクリング教室を開催したことで、市民の健康増進や交流人口の拡大に寄与することができました。
・参加率が低迷する教室は、原因を分析したうえで継続の可否を判断し、市民ニーズに応じた新たな教室やプログラムの開設に向け取組んでいきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	247

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	保健体育施設費			
	事業	0110450	社会体育施設管理費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
217,455,000	214,182,940	0	3,272,060	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
61,793,567		文化公園施設使用料	1,453,750	体育施設照明取替工事（脱炭素債）	46,900,000
		学校施設使用料	3,019,100		
		社会体育施設使用料	10,077,260		
		社会体育施設自動販売機電気料	341,337		
		社会体育施設公衆電話料	2,120		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　社会体育施設管理費

（１）管理施設（42施設）

施設分類	施設数	施設分類	施設数	施設分類	施設数
1 体育館	7 施設	5 マレットゴルフ場	7 施設	9 アーチェリー場	1 施設
2 屋内運動場	1 施設	6 ゲートボール場	2 施設	10 学校開放施設	各学校施設
3 屋外運動場	13 施設	7 柔剣道場	5 施設		
4 テニス場	5 施設	8 弓道場	1 施設		

（２）主な維持管理費、工事費等

- 施設修繕費　　8,762,830 円　（三郷文化公園テニスコート修繕他）
- 光熱水費　　30,332,252 円
- 管理委託料　　37,528,561 円　（社会体育施設等管理業務委託他）
- 工事請負費　　74,991,400 円
- 借地料　　7,974,802 円　（権現宮マレットゴルフ場他）

（３）指定管理者制度による施設管理

	施設名	指定管理者	委託料
1	豊科水辺公園マレットゴルフ場、豊科水辺マレットノース18	豊科マレットゴルフ協会	1,370,000 円
2	権現宮マレットゴルフ場	穂高マレットゴルフ協会	2,650,000 円
3	穂高立足マレットゴルフ場	立足マレットゴルフ同好会	1,000,000 円
4	三郷黒沢マレットゴルフ場	三郷マレットゴルフ協会	1,390,000 円

２　体育施設ＬＥＤ化事業

安曇野市職員ゼロカーボン行動計画に基づくＬＥＤ照明への計画的な転換により、穂高総合体育館テニスコート照明６基のＬＥＤ化工事を行いました。

（１）照明取替工事　　53,900,000円

（２）照明取替工事監理業務　　1,991,000円

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	保健体育施設費			
	事業	0110450	社会体育施設管理費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　マウンテンバイクコース管理費

・指定管理により施設を運営しており、利用者の安全管理を最優先にコース整備やレンタルバイクのメンテナンス等を行いました。
・コース知名度の向上とともにリピーターも増えたため、前年度より利用者が増加しました。
・令和８年７月の全日本自転車競技選手権大会の開催に向け、スタートゴール地点の林道拡幅工事や競技コースの整備等に取組みました。

（１）利用実績

営業期間 4/20～11/30	令和６年度	令和７年度
営業日数	141 日	142 日
延利用者	2,494 人	3,240 人
レンタルバイク 延利用者	929 人	837 人

（２）指定管理料　21,417,394円（一般社団法人ＭＳＪ）
（３）工事請負費　12,089,000円（林道拡幅工事）
（４）備品購入費　754,600円（ジュニア用レンタルバイク14台）
（５）借地料　300,000円（コース延長敷地）

上記の評価と課題等

・利用者が安全安全に施設を利用できるよう、体育施設の定期的なメンテナンスや迅速な修繕対応により、適切に維持管理することができました。
・屋外施設照明のＬＥＤ化工事において、利用者等への事前周知や施設の利用調整により、順調に取替工事を行うことができました。
・全日本自転車競技選手権大会開催に向けたコース整備等の準備を適切に行うことができました。全国規模の大会となるため、運営面やおもてなしの分野において関係団体と情報共有しながら着実に取組んでいきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	249

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	保健体育施設費			
	事業	0110457	社会体育施設整備費		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
852,000	851,192	0	808	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
851,192		公式スポーツ施設整備基金利子	851,192		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公式スポーツ施設整備基金積立金

（円）

年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
積立金	273,192,714	273,604,891	274,064,461	274,631,962
積立金利子	412,177	459,570	567,501	851,192
計	273,604,891	274,064,461	274,631,962	275,483,154

上記の評価と課題等

・公式スポーツ施設整備に向けた基金積立金で、前年度同様に本年度も積立金利子を積み立てています。
・今後、施設整備計画に基づく対象施設の規模等に応じて、関係部局と協議しながら効果的な活用を図っていきます。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	スポーツ推進課
係等	スポーツ推進担当

決算書ページ	249

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	保健体育費		目標	学び合い　人と文化を育むまち
	目	02	保健体育総務費			
	事業	0190180	【明許】豊科武道館柔道場非構造部材耐震化工事		施策	スポーツを楽しむ環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
171,839,000	135,245,000	0	36,594,000	78.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
112,682,000		【明許】社会体育施設整備事業	20,082,000		
		【明許】体育施設耐震補強事業（特例債）	59,300,000		
		【明許】体育施設大規模改修事業（補正予算債）	33,300,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　豊科武道館柔道場非構造部材耐震化工事

・公共施設長寿命化計画の年次計画に基づき、大規模改修工事（屋根及び外壁の塗装、天井貼替、畳貼替、エアコン設置、照明ＬＥＤ化、トイレ洋式化）を行いました。

（１）大規模改修工事　132,440,000円

（２）監理業務委託　　2,805,000円

上記の評価と課題等

・利用者が安全安心な施設として利用できるよう、公共施設長寿命化計画により豊科武道館柔道場の大規模改修工事を行いました。

都市建設部

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	179

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	土木管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	土木管理費			
	事業	0108010	土木総務費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
221,458,000	218,631,491	0	2,826,509	98.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
35,211,131		道路占用料	29,061,223		
		公共物占用料	4,187,793		
		国道19号明科駅前歩道整備事業用地事務委託	298,100		
		その他雑入	1,664,015		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　建設技術者等資格取得費補助金交付事業

災害時における応急対応や復旧・復興の担い手である市内建設事業者の技術者を育成し、災害時の担い手確保や事業者の経営と雇用の安定を図るため、資格取得費用補助を行いました。

（１）補助金交付額　　154,597円（合格者：８社９名）

上記の評価と課題等

令和７年度についても、近年と同程度の合格率（約40%）でした。市内建設業に従事する技術者の育成を支援することで、市内建設業者の技術力向上や体制強化、経営の安定化につながりました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108040	道路橋梁総務費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
892,000	756,784	0	135,216	84.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　道路関係同盟会事業
　　事業促進のため、各種同盟会に参画し、関係機関に対し事業促進の要望を行いました。
（１）旅費（普通旅費）　197,784円
　ア　地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会ほか中央要望
　イ　中部縦貫自動車道建設促進長野・岐阜連絡協議会整備促進大会　ほか

（２）負担金　559,000円
　ア　地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会
　イ　地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会
　ウ　穂高・松川・大町間道路建設連絡協議会
　エ　中部縦貫自動車道（松本～中ノ湯間道路）建設・国道158号整備促進期成同盟会
　オ　長野県道路整備期成同盟会　ほか

上記の評価と課題等

　対面による要望活動により事業の一層の促進が図られました。引き続き、関係団体と連携し要望活動に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	183

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108090	県営新設改良事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
187,594,000	20,811,020	166,434,000	348,980	11.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　県営新設改良事業
　　県発注の事業に対し、負担割合による負担金を納めました。
（１）負担金
　　市道三郷1級12号線赤沢橋架替工事に係る負担金　　9,700,000円
　　兼用側溝整備事業（小倉）負担金　　4,399,980円
　　急傾斜地対策事業（大口沢南）負担金　　4,150,000円

上記の評価と課題等

黒沢川調節池設置に伴う赤沢橋架替工事及び、地域住民の要望に基づく各種県事業の促進が図られました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	183

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108100	市道新設改良事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
578,070,000	532,649,554	43,076,000	2,344,446	92.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
257,700,000		市道新設改良事業（特例債）	257,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市道新設改良事業（市単独）

各区からの改良要望に基づき事業を実施しました。
18路線で道路改良工事（拡幅・舗装・側溝整備）を実施し、堀金1354号線等の事業が完了しました。

（１）委託料

ア　測量設計委託	12 件		35,593,800 円
イ　用地測量委託	８ 件		3,932,660 円
ウ　補償調査委託	５ 件		7,403,000 円
エ　土質調査委託	２ 件		1,100,000 円

（２）工事請負費

ア　拡幅・舗装	９ 件	L=432.9m	88,082,500 円
イ　側溝整備	９ 件	L=355.2m	32,021,000 円
ウ　グリーンベルト	17 件	新設　L=3,506m	16,552,800 円
エ　サイクリングコース整備	１ 件		935,000 円
オ　小規模、その他工事	17 件	安全施設ほか	11,630,520 円

（３）用地補償費

ア　公有財産購入費	32 件		11,425,918 円
イ　物件補償費	22 件	電気通信施設等含む	40,656,502 円

予算	款	08	土木費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108100	市道新設改良事業		施策	道路整備の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　市道新設改良事業（合併特例債）

合併特例債を財源とした２路線の改良事業を実施しました。

（１）市道豊科１級26号線（豊科吉野地籍、道路改良）

ア　測量設計委託費	２　件		990,000 円
イ　工事請負費	４　件	L=407.7m	188,880,000 円
	（内、１件は翌年度へ繰越）		
ウ　物件補償費	７　件		10,389,236 円

（２）市道豊科２級３号線ほか（市総合体育館周辺、道路改良）

ア　工事請負費	２　件	L=424.6m	67,914,000 円
イ　物件補償費	３　件		3,190,507 円

上記の評価と課題等

地区要望を受けて実施した市単独の道路改良事業について、拡幅改良３路線と交差点安全対策工事１箇所が完了し、道路交通の安全・安心が図られました。

提出された要望に対し優先度の高い路線から順次整備を実施し、早期事業完成を目指していますが、限られた予算の中で目的を達成するため、選択と集中による事業箇所の見極めが重要となります。

合併特例債事業については、道路整備推進計画に基づき２路線の幹線道路の整備を行いました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	185

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
832,630,000	545,846,368	284,405,000	2,378,632	65.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
470,775,000		道路改良費補助金	230,475,000		
		市道新設改良事業（特例債）	221,600,000		
		松糸アクセス道路事業(過疎債)	16,900,000		
		県営新設改良事業（公共事業等債）	1,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市道新設改良事業（交付金）

道路整備推進計画に基づく路線について、社会資本整備総合交付金及び交通安全対策補助を活用し、幹線道路整備を実施しました。

（１）市道豊科１級25号線（道路改良、県民豊科運動広場南）　全体計画Ｌ＝550m

ア　不動産鑑定	１　件	287,100 円
イ　測量設計委託費	２　件	1,980,000 円
ウ　工事請負費	１　件	58,806,000 円
エ　公有財産購入費	５　件	15,720,935 円
オ　物件補償費	４　件	1,554,693 円

（２）市道豊科１級23号線（歩道設置、上沢霊園東）　全体計画Ｌ＝80m

ア　公有財産購入費	１　件	1,782,535 円

（３）市道豊科１級29号線（歩道設置、梓橋駅入口交差点北）　全体計画Ｌ＝500m

ア　測量設計委託費	２　件	3,927,000 円
イ　工事請負費	２　件	77,693,000 円
ウ　公有財産購入費	３　件	6,444,100 円
エ　物件補償費	14　件	127,966,600 円

（４）市道堀金１級１号線（歩道設置、堀金中学校西）　全体計画Ｌ＝310m

ア　工事請負費	２　件	36,432,000 円
イ　公有財産購入費	６　件	2,494,500 円
ウ　物件補償費	８　件	76,151,369 円

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108110	社会資本整備総合交付金事業		施策	道路整備の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（５）市道豊科１級７号線（歩道設置、豊科南部認定こども園北西）　全体計画Ｌ＝620ｍ

ア	測量設計委託費	１ 件	66,077 円
イ	工事請負費	１ 件	73,480,000 円
ウ	公有財産購入費	８ 件	11,605,324 円
エ	物件補償費	１ 件	2,714,000 円

２　市道新設改良事業（松糸道路関連）

松本糸魚川連絡道路「安曇野道路」へのアクセス道路、その他周辺道路等の整備を推進しました。

ア	不動産鑑定	２ 件	1,171,500 円
イ	測量設計委託費	８ 件	29,667,000 円
ウ	工事請負費	１ 件	1,320,000 円
エ	公有財産購入費	５ 件	7,148,853 円

上記の評価と課題等

道路整備推進計画に基づき幹線道路の整備を進め、令和７年度事業においては、継続して６路線で事業を進捗し、道路交通における歩行者の安全・安心が図られました。

政策的に進める幹線道路整備については、地域住民の意向や要望を受けて事業化するものではなく、用地の確保が難航するケースもあるため、より丁寧な説明や粘り強い交渉を行っていく必要があります。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	185

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108230	国県事業推進費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,942,000	3,394,287	0	547,713	86.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　国県事業推進事業
　松本糸魚川連絡道路ＩＣアクセス道路「市道明科4036号線」の事業促進を求める要望活動を実施しました。
　地域特性に配慮した自主避難計画（１地区）の作成支援を行いました。
（１）　旅費（普通旅費）　135,800円
　ア　松本糸魚川連絡道路ＩＣアクセス道路の要望

（２）　需用費　56,320円
　ア　地域特性に配慮した自主避難計画の印刷（古厩区）

上記の評価と課題等

　松本糸魚川連絡道路ＩＣアクセス道路「市道明科4036号線」の事業促進を求める要望活動を行ったことにより、令和８年度当初予算が確保され、事業進捗が図られました。
　土砂災害に対するソフト対策として、地域特性に配慮した自主避難計画の作成支援を行い、地域住民の防災意識向上が図られました。
　引き続き、国・県と連携し事業促進を図っていきます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	185

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190130	【明許】県営新設改良事業負担金		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
97,078,000	97,078,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
96,993,000		【明許】道路改良費補助金	53,393,000		
		【明許】県営新設改良事業(国土強靭化債)	43,600,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　県営新設改良事業
　　県発注の事業に対し、負担割合による負担金を納めました。
　　県工事が一部先送りとなったため、繰越明許により事業を執行しました。
（１）負担金
　　市道三郷1級12号線赤沢橋架替工事に係る負担金　　97,078,000円

上記の評価と課題等

黒沢川調節池設置に伴う赤沢橋架替工事の促進が図られました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	185

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190140	【明許】市道新設改良事業(交付金)		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
34,000,000	33,958,100	0	41,900	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
30,792,000		【明許】道路改良補助金	15,192,000		
		【明許】市道新設改良事業（特例債）	15,600,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　社会資本整備総合交付金事業（市道穂高１級６号線外）
　　令和６年度 道路局所管補助金が追加交付されたため、繰越明許により事業を執行しました。

（１）市道穂高１級６号線
　　ア　測量設計委託費　　１　件　　9,878,000 円

（２）市道豊科１級７号線
　　ア　測量設計委託費　　３　件　　12,849,100 円

（３）市道堀金２級55号線
　　ア　測量設計委託費　　１　件　　11,231,000 円

上記の評価と課題等

国からの交付金の追加交付により、事業の進捗が図られました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190160	【明許】市道新設改良事業（松糸道路関連）		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,000,000	19,998,000	0	2,000	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,950,000		【明許】道路改良費補助金	10,450,000		
		【明許】松糸アクセス道路事業(過疎債)	8,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市道明科4036号線（道路改良、松本糸魚川連絡道路ICアクセス道路）　全体計画Ｌ＝800ｍ
　地元調整に時間を要したため、繰越明許により事業を執行しました。

（１）委託料　19,998,000円
　ア　測量設計委託費　１件
　イ　地質調査委託費　１件

上記の評価と課題等

説明会など地元調整の実施により事業進捗が図られました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190410	【事故】市道新設改良事業(市単独)		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
76,171,000	76,169,944	0	1,056	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市道新設改良事業（市単独）
　　補償対象物件の移転が遅れたため、繰越により事業を執行しました。

（１）市道穂高１級15号線

ア　工事請負費	１ 件	13,915,000 円
イ　公有財産購入費	３ 件	17,747,878 円
ウ　物件補償費	３ 件	42,783,903 円

（２）市道豊科２級10号線

ア　公有財産購入費	１ 件	898,456 円
イ　物件補償費	１ 件	824,707 円

上記の評価と課題等

地区要望を受けて実施した市単独の道路改良工事により道路交通の安全・安心が図られました。
物件移転の完了により事業用地が確保されました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190420	【事故】市道新設改良事業（合併特例債）		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,771,000	19,770,202	0	798	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,700,000		【事故】市道新設改良事業（特例債）	18,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市道新設改良事業（合併特例債）
　　補償対象物件の移転が遅れたため、繰越により事業を執行しました。

（１）市道豊科２級３号線
　ア　公有財産購入費　　１件　　672,210 円
　イ　物件補償費　　２件　　18,087,326 円

（２）市道豊科１級26号線
　ア　公有財産購入費　　１件　　672,465 円
　イ　物件補償費　　１件　　338,201 円

上記の評価と課題等

物件移転の完了により、事業用地が確保されました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190430	【事故】市道新設改良事業(黒沢川調節池関連)		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
757,000	756,540	0	460	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市道新設改良事業(黒沢川調節池関連)
　県で事業中の黒沢川調節池設置に伴う赤沢橋架替工事に係る市負担事業について、用地買収を行いました。
　登記手続きに期間を要したため、繰越により事業を執行しました。

（１）　市道三郷１級12号線
　ア　公有財産購入費　　１件　　756,540円

上記の評価と課題等

用地取得により事業用地の確保が図られました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設政策担当

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	河川費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	河川費			
	事業	0108130	河川総務費		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
108,739,000	16,316,619	91,425,000	997,381	15.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
14,700,000		内水対策事業（緊自債）	14,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　河川関係同盟会事業
　　事業促進のため、各種同盟会に参画し、関係機関に対し事業促進の要望を行いました。
（１）　旅費（普通旅費）　162,380円
　ア　犀川直轄期成同盟会、中央要望
　イ　長野県治水砂防協会通常総会　ほか
　ウ　災害復旧促進全国大会、治水事業促進全国大会
　エ　北陸直轄河川治水期成同盟会連合会要望会

（２）　負担金　1,400,500円
　ア　長野県治水砂防協会
　イ　大町ダム等再編事業促進期成同盟会
　ウ　高瀬川高水敷整備促進期成同盟会
　エ　長野県河川協会　ほか

２　内水対策事業
　　万水川下流域の内水対策により内水被害の最小化を図り安全安心な地域づくりを目指しています。令和７年度は、引き続き工事を推進するとともに用地補償を実施しました。
（１）　委託料　792,000円
　ア　設計委託費
（２）工事請負費　11,000,000円
　ア　排水路設置工事
（３）公有財産購入費　1,269,324円
　ア　用地取得費
（４）補償補填及び賠償金　1,692,415円
　ア　物件移転補償費

上記の評価と課題等

　対面による要望活動により事業の一層の促進が図られました。引き続き、関係団体と連携し要望活動に努めます。
　内水対策事業については、工事を進め事業の進捗が図られました。用地取得等を計画的に行い引き続き事業を推進します。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建設整備課
係等	建設整備担当

決算書ページ	189

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	河川費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	河川費			
	事業	0108150	河川改修事業		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
61,492,000	60,973,131	0	518,869	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　河川改修事業

区からの要望に基づき事業化した勝手沢、権田川等の河川改修を実施しました。

（１）勝手沢

ア　測量設計委託費	１ 件		352,000 円
イ　工事請負費	１ 件		12,914,000 円
ウ　公有財産購入費	１ 件		2,945,679 円
エ　物件補償費	１ 件	上水道補償	9,994,600 円

（２）権田川

ア　測量設計委託費	１ 件		495,000 円
イ　工事請負費	１ 件		33,011,000 円

（３）外、普通河川

ア　工事請負費	１ 件		1,067,000 円
イ　公有財産購入費	２ 件		193,852 円

上記の評価と課題等

安全・安心な河川環境を整えるため、洪水、氾濫の恐れのある箇所の早期改修を目指し、河川の改修工事を行い、権田川の改修については今年度で完了することができました。

勝手沢につきましても、引き続き改修を進めていきますが、狭隘な市道上での工事になるため、地下埋設物や近隣住宅への影響に配慮しながら、事業進捗を図ります。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書ページ	179

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	土木管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	土木管理費			
	事業	0108020	地籍管理費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
28,656,000	28,225,028	0	430,972	98.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
230,100		公図写等発行手数料	230,100		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　土地台帳、公図管理事務

法務局からの土地登記済通知書を基に、「安曇野市地籍管理システム」の地図データ、台帳データ及び土地所在図データの更新を年６回、委託により行いました。

また、境界立会等で発見された公図錯誤や未登記事案の解消に向け、地図等作成業務を委託しました。

（１）委託料

ア　地籍管理システム土地異動更新業務委託

属性修正(所有者・地目・地積)土地台帳変換・図形修正　11,245件　18,007,000円

イ　公図錯誤解消に伴う地図等作成委託

地図訂正・地積更正及び未登記解消測量業務委託　11件　3,359,189円

２　官民境界確認立会事務

道路・水路の管理者として、境界確認立会申請書に基づき官民境界の確認事務を行いました。

官民境界確認実施件数　356件

３　公共用地登記事務

安曇野市が取得及び用途廃止した用地の嘱託登記事務を行いました。

所有権移転・地目変更地積更正・分筆登記等　668件

上記の評価と課題等

令和７年度からホームページで公開している道路台帳へ境界立会等で必要な基準点座標の位置を確認できるようにレイヤーを整備したことにより、窓口へ来庁して交付申請する方が減少し、窓口対応業務が減り業務の効率が向上しました。

更新する地図情報は、本市ＧＩＳシステムの基礎として利用され、タイムリーな土地情報の提供及び共有化と土地関係業務の効率化が図られています。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	土木管理費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	土木管理費			
	事業	0108030	建設機械管理費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,916,000	1,285,380	0	630,620	67.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　道路維持作業車整備事業

市が保有する維持作業車５台及び草刈機等作業機械の保守・管理を行いました。

（１）消耗品費

草刈り機用替刃、部品等　142,657円

（２）燃料費

作業車燃料（軽油代）　240,435円

（３）物品修繕費

作業車車検、点検に伴う修繕費　388,648円

（４）手数料

作業車車検、定期点検手数料　287,960円

（５）保険料

作業車自賠責保険料　47,980円

（６）備品購入費

チェーンソー　58,000円

（７）自動車重量税

作業車自動車重量税　119,700円

上記の評価と課題等

引き続き維持作業車、作業機械の保守点検等を行い、良好な状態を保つよう管理に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108050	道路橋梁管理費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
24,010,000	23,293,407	0	716,593	97.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,060		地図等交付代	20,060		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　道路台帳加除事業

　道路法第28条の規定に基づき整備している道路台帳の更新修正に伴う道路台帳図のデータ更新を行いました。

　整備したデータは道路行政の基礎資料として使用し、道路台帳図は市のホームページで閲覧、印刷が可能です。

（1）委託料

ア　道路台帳補正業務委託　19,965,000円

　　新設・改良50m以上　6.71ｋｍ

　　新設・改良50m未満　22箇所

　　舗装箇所　31箇所

上記の評価と課題等

　業務効率化のため、道路及び公共物の占用物件のデータ化を実施しました。システム管理を行うことにより、更新、権利譲渡等の申請時の確認作業時間が短縮となります。

　また、道路台帳補正業務は、良好な状態で利用するため、引き続きデータの更新を行い、適正な台帳管理に努めます

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108060	道の駅維持管理		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,036,000	4,036,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　道の駅管理業務

道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里 」の情報交流室、トイレ、駐車場の施設管理を「株式会社旬の味堀金物産センター」との指定管理委託により行いました。

（1）委託料

道の駅「アルプス安曇野ほりがねの里」指定管理業務委託　4,036,000円

上記の評価と課題等

利用者の利便性向上のため、指定管理者による管理を行っています。
今後も快適な休憩空間を提供するため、適正な施設管理に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	181

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108070	道路橋梁維持費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
374,881,000	373,088,821	0	1,792,179	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
108,512,000		道路復旧費原因者負担金	49,962,000		
		道路橋梁維持事業（緊自債）	58,550,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　道路橋梁維持事業

道路維持作業員による日常的な巡視点検に加え、職員による定期的な道路パトロールを行いました。巡視時や市民からの通報及びLINEを活用した通報による道路情報を基に、欠損部の補修や除草等の道路管理を行いました。

併せて、区からの要望を含めた道路施設の補修及び幹線道路の路面補修、原因者負担による路面復旧受託などの維持工事を実施しました。

また、工事発注の平準化に向けた取組みとして、債務負担行為による生活道路の舗装工事等を実施しました。

（１）委託料

ア　草刈り、側溝清掃作業ほか	67件	36,022,571円
イ　境界復元測量、設計業務ほか	3件	2,959,000円

（２）工事請負費

ア　道路橋梁維持・補修工事	138件	205,938,700円
イ　道路占用路面復旧受託工事	３件	49,962,000円
ウ　緊急自然災害防止対策事業	２件	58,597,000円

（３）原材料費

ア　道路補修用資材		
補修用アスファルト	860袋	1,536,320円
その他（水切工、補修資材ほか）		978,160円
イ　資材支給（除草剤、防草シート、砕石）	９件	379,654円

上記の評価と課題等

道路施設の老朽化は年々進んでいるため、維持工事費を予算の範囲内で効率的・効果的に実施する必要があります。

道路パトロールの強化を図り、安全・安心な道路環境を提供できるよう維持管理に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	183

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	道路橋梁維持費			
	事業	0108080	除雪対策費		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
136,098,000	133,583,821	0	2,514,179	98.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,900,000		除融雪事業（緊自債）	8,900,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　除雪融雪業務

市道約1,688kmのうち、除雪指定路線約874kmの除雪作業と凍結防止剤散布路線約105kmの融雪作業を市内70事業者に業務委託し、冬期の交通確保に努めました。

除雪用建設機械を保有することが困難となっている事業者等に対して、市が保有する機械20台と借上げ機械33台を貸与し、除雪体制を整えました。

（１）消耗品費

ア　塩化カルシウム	181ｔ	16,956,500円

（２）委託料

ア　除雪作業	延べ 233 時間	5,622,400円
イ　凍結防止剤散布作業	延べ 312 時間	6,857,400円
ウ　除雪等機械管理費	70台	44,201,600円
エ　貸付機械保険加入費	57台	2,565,000円

２　除雪車両の整備

（１）借上料

ア　除雪ドーザ（８ｔ級）	10台	16,848,000円
イ　除雪ドーザ（５ｔ級）	3台	4,620,000円
ウ　除雪ドーザ（３ｔ級）	20台	20,680,000円

（２）備品購入費

ア　車載式小型凍結防止剤散布機	１台	1,649,780円
イ　除雪機	１台	7,260,000円

上記の評価と課題等

除雪機械については、計画的な機械購入や借上げによって補うほか、除雪機械配置の見直しを行います。オペレーターについては、新規受託者の確保に努めます。

広域農道やオリンピック道路などの管理者が混在している路線の除雪については、引き続き長野県安曇野建設事務所との連携強化に努めます。

除雪は、行政、市民、地域の企業などの協力によって行う必要があることから、除雪協力を引き続き要請し、広報紙、ホームページ、コミュニティＦＭなどを活用した情報発信に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	185

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0108111	社会資本整備総合交付金事業(修繕)		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
336,850,000	259,060,913	77,000,000	789,087	76.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
199,459,000		道路修繕費補助金	105,709,000		
		市道修繕事業（特例債）	60,200,000		
		道路橋梁維持事業（緊自債）	33,550,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　社会資本整備総合交付金事業　（道路橋梁修繕事業（交付金））

社会資本整備総合交付金・道路メンテナンス事業を活用し、舗装維持管理計画・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、舗装修繕・橋梁修繕を行いました。

（１）舗装修繕

ア　工事請負費

市道穂高1級9号線	L=88.3m	16,049,000円
市道堀金1級3号線	L=195.0m	33,550,000円

（２）橋梁修繕

ア　委託料　56,727,000円

橋梁定期点検	n=203橋
詳細設計業務委託（三郷137号橋、川手跨線人道橋）	n=２橋

イ　工事請負費　152,734,913円

市道明科3017号線（中條跨線道路橋）
市道明科4253号線（東栄町跨線橋）
市道堀金1422号線（堀金76号橋）
市道明科4163号線（釜蓋橋）

上記の評価と課題等

舗装維持管理計画・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した舗装・橋梁の修繕を進めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	道路橋梁新設改良費			
	事業	0190150	【明許】道路橋梁修繕事業（交付金）		施策	道路整備の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,000,000	25,487,000	0	1,513,000	94.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
25,075,000		【明許】道路修繕費補助金	12,775,000		
		【明許】道路整備事業（補正予算債 加速化対策分）（国土強靭化債）	12,300,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　社会資本整備総合交付金事業

　社会資本整備総合交付金等の補正予算により明許繰越した事業について、工事が完了しました。

（1）橋梁修繕

　ア　委託料　4,114,000円

　　詳細設計業務委託　n= 1橋

　　（沢六橋）

　イ　工事請負費　21,373,000円

　　市道堀金1441号線舗装工事 L=230.0m

上記の評価と課題等

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、老朽化した橋梁の修繕を進めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	187

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	道路橋梁費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	03	交通安全施設費			
	事業	0108120	交通安全施設整備費		施策	防犯・交通安全の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
31,175,000	31,076,320	0	98,680	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　交通安全施設整備費

安曇野市交通安全計画や区・ＰＴＡ等からの要望に基づき、道路区画線や道路反射鏡などの交通安全施設を設置するとともに、信号機や横断歩道設置などの要望を取りまとめ、長野県公安委員会へ交通安全施設整備の要望を行いました。

（１）工事請負費

ア　道路区画線設置	19,830m	12,122,000円
イ　道路反射鏡設置・補修	37箇所	11,457,820円
ウ　ガードレール、柵設置		3,762,000円
エ　その他（標識、看板、ポール設置・補修など）		3,734,500円

上記の評価と課題等

道路利用者に対し、安全・安心な道路環境の提供に努めました。

今後も道路パトロールにより老朽化した交通安全施設を把握し、施設の更新を進め事故防止に努めるとともに、区やＰＴＡ等からの要望に基づき、施設の維持管理や整備を進めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	管理登記担当

決算書ページ	189

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	河川費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	河川費			
	事業	0108140	河川管理費		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,531,000	5,588,110	0	942,890	85.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
606,045		取水占用料	606,045		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　河川管理事務

（１）役務費　435,000 円

河川環境の保全のため、市内普通河川等の除草清掃管理を地元区や河川愛護会の協力により実施しました。

赤川（狐島区）
権田川（株式会社　清澤）
富士尾沢川（NPO法人マイトリー虹）
穂高川（穂高河川愛護会）

（２）委託料　4,355,650円

支障木等の伐採を行い維持管理に努めました。

実施箇所数　７箇所（黒沢川沿いほか）

水害に備え、内水氾濫対策用として導入した排水ポンプ車、排水用水中ポンプの動作確認及び訓練作業を緊急体制を整えている建設業組合に委託し訓練を実施しました。

訓練実施　６回　1,256,950円

（３）備品購入費　363,000円

豪雨災害などによる内水氾濫に対処するため、排水ホース用備品を購入しました。

排水サポーター　口径200ｍｍ　２個

上記の評価と課題等

今後も河川環境の美化及び維持を目的に適正な河川管理に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	維持管理課
係等	維持担当

決算書ページ	189

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	河川費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	河川費			
	事業	0108160	河川維持費		施策	砂防・治水事業の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,307,000	18,234,926	0	1,072,074	94.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　河川維持事業

市が管理する河川について、堤防の除草、河床整理及び施設の修繕を行いました。
また、災害時に使用する土のう袋、ブルーシートなどを補充し災害に備えました。

（１）委託料

堤防の除草、沈砂池の清掃など　8,244,270円

（２）工事請負費

河床整理、沈砂池浚渫など　8,602,000円

２　水防倉庫施設管理事業

水防倉庫７棟の施設管理を行うとともに、災害用応急資材の補充を行いました。

（１）消耗品費（土のう袋、ブルーシートなど）　393,670円
（２）施設修繕費（シャッター修繕）　184,690円
（３）光熱水費　403,639円
（４）物品修繕費（ボイラー洗車機修繕）　64,130円
（５）原材料（洗滌砂）　88,616円

上記の評価と課題等

河川の環境保全、機能を維持するための維持管理に努めました。
河川及び施設のパトロールを実施し現状把握に努め、適時適切な維持補修を行うことで、出水時の被害防止に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	計画係

決算書ページ	189

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108180	都市計画総務費		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
253,246,000	249,690,194	0	3,555,806	98.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
27,552,000		都市再生推進事業費補助金	22,550,000		
		都市計画図交付代	2,000		
		森林環境譲与税基金繰入金	5,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　都市計画総務費

（１）都市計画基本図修正業務　45,518,000 円

都市計画法、測量法に基づく都市計画基本図（２次元地図）の更新及び国が推進する３Ｄ都市モデル（３次元地図）の作成を進め、対象区域198.4k㎡のうち、令和６年度に70.3k㎡、令和７年度に128.1k㎡の整備を行いました。

（２）安曇野市道路整備推進計画改定業務　13,783,000 円

道路整備推進計画は、市内道路網の合理的・効果的な整備を目的に策定した計画です。前回改定から５年が経過する中、交通量調査等により市内道路を取り巻く状況の再評価を行い、短期・中長期に整備を行うべき道路を再設定し、計画の改定を行いました。

（３）土地利用審議会（委員報酬等）　315,980 円

土地利用条例の規定に基づく市長の諮問に応じ、主に特定開発事業の認定について審議を行うために組織された審議会です。令和７年度は審議会を11回開催し、事業認定に関する審議のほか、土地利用制度の改正に係る意見聴取を行いました。

（４）都市計画審議会（委員報酬等）　241,107 円

都市計画法の規定に基づき設置される付属機関で、主に市が定める都市計画について調査審議するために組織された審議会です。令和７年度は４回の審議会を開催し、安曇野都市計画下水道の決定変更について審議したほか、土地利用制度の改正に係る意見聴取を行いました。

（５）制度評価委員会（委員報酬等）　60,000 円

平成23年度から運用している土地利用制度の評価検証のために組織された委員会です。令和７年度は１回の委員会を開催し、土地利用制度の改正について議論しました。

（６）有明駅駐輪場屋根整備　34,103,300 円

駅利用者の利便性向上のため、有明駅に屋根付き駐輪場を整備しました。

上記の評価と課題等

市では、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、土地利用基本計画などの計画と安曇野市の適正な土地利用に関する条例等により、開発事業に対して適正な制度運用を行うことで、秩序ある土地利用に繋げています。

都市計画審議会及び土地利用審議会は、都市計画法や条例に基づく審議を行う重要な機関です。

今後も秩序ある土地利用が図られるよう、制度の適正な運用と評価検証を行ってまいります。

令和８年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	191

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108213	明科駅前広場維持管理事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,631,000	3,334,243	0	1,296,757	72.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,333,900		明科駅前駐車場利用料	3,333,900		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　明科駅前広場維持管理事業
　都市再生整備計画事業（明科駅周辺）により設置した広場・トイレ・駐車場の維持管理を行いました。
（１）需用費
　ア　消耗品(トイレットペーパーほか)　102,804 円
　イ　施設修繕　550,000 円
　ウ　光熱水費（電気・水道）　695,433 円

（２）委託料
　ア　管理委託（シルバー人材センター）　490,613 円

２　駐車場維持管理
　12台のコインパーキングの混雑状況がインターネット上で確認できるように管理を行いました。
（１）役務費
　ア　通信費　121,053 円

（２）委託料
　ア　精算機管理業務　1,293,600 円
　イ　駐車管制機器点検業務　80,740 円

上記の評価と課題等

安曇野市の東の玄関口として、また、交通の結節点として、快適な利用ができるよう維持管理を行いました。
駅前駐車場（コインパーキング）については、利用者が多い中、インターネットを通じて現地の混雑状況をリアルタイムで確認可能となり、利便性が図られています。

令和８年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	193

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	02	街路事業費			
	事業	0108211	都市再生整備計画事業（都市整備分）		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,768,000	20,768,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,700,000		明科駅前周辺整備事業（過疎債）	20,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　都市再生整備計画事業　明科駅周辺
　　市道明科4145号線の舗装工事を行いました。

（１）工事請負費
　ア　舗装工事　　20,768,000 円

上記の評価と課題等

明科駅周辺まちづくり計画に基づき、明科駅から龍門渕公園の動線の整備が完了し、安全性・利便性が向上しました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	公園緑地担当

決算書ページ	193

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	03	公園事業費			
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
298,426,000	294,706,986	0	3,719,014	98.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
157,109,737		碌山公園使用料	2,691,850	常念ふれあい公園太陽光発電売電	917
		室山アグリパーク施設使用料	42,000	講座参加料	56,000
		都市公園使用料	275,660	都市公園事業（特例債）	120,200,000
		都市公園占用料	923,310	都市公園管理事業（過疎債）	6,700,000
		社会資本整備総合交付金（公園分）	26,220,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　都市公園等維持管理事業

都市公園(44箇所：面積37ha)、その他公園(８箇所：37ha)、農村公園(10箇所：面積2.8ha)について、利用者が安全で快適に利用できるよう維持管理に努めました。

日常的な草刈りや清掃等の維持業務は、市内造園業者やシルバー人材センター等へ委託しました。また、公園愛護会（区、ボランティア組織等）の協力により、各地区の公園の日常管理を行いました。

公園の遊具については、都市公園で月１回、その他の公園で３カ月に１回の日常点検、また年１回の定期点検を実施しました。

公園施設の経年劣化に対応するため「公園施設長寿命化計画」に基づき、計画的に施設の長寿命化を進めています。令和７年度は、起債事業を活用し、35件の修繕と21件の補修工事を行いました。

緑の基本計画を推進する取り組みとしては、市民や企業と協働で行う沿道緑化事業に30団体が取り組み、市内の道路沿いを彩りました。

令和９年度に改定する緑の基本計画の見直しを進めるため、令和７年度は市民アンケート等を実施しました。

（１）需用費

ア　施設修繕費　35件（公園施設長寿命化計画による遊具等修繕）	10,449,950円
イ　光熱水費	9,207,921円
ウ　消耗品費	
①沿道緑化苗代　30件	550,384円
②公園掃除用品等	3,363,054円
エ　燃料費、物品修繕費外	954,364円

（２）役務費

ア　通信運搬費	156,516円
イ　手数料、保険料	269,950円

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	03	公園事業費			
	事業	0108220	都市公園等維持管理事業		施策	良質な住環境の整備

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（３）委託料

ア　管理委託料	332件	84,319,353円
イ　事務事業委託料	４件	5,955,400円
ウ　設計監理委託料	12件	6,272,200円

（４）使用料及び借地料

ア　借地料	24件	5,260,607円
イ　借上料	２件	455,950円
ウ　使用料	１件	463,257円

（５）工事請負費（公園施設長寿命化計画による）

ア　公園長寿命化事業　豊科南部総合公園キュービクル・テニスコート照明更新工事	70,048,000円
イ　旧合併特例事業債　室山アグリパーク便所改築工事	42,383,000円
ウ　旧合併特例事業債　下長尾公園便所改築工事	27,500,000円
エ　旧合併特例事業債　室山アグリパークでいらぼっちゃ改修工事	11,066,000円
オ　安曇野市防災広場インクルーシブ遊具設置工事外16件	12,611,500円

（６）負担金補助及び交付金

ア　負担金	日本公園緑地協会外４件	100,054円
イ　交付金	安曇野市公園愛護会交付金　28公園	2,911,000円

（７）報償費　95,000円

（８）旅費　24,358円

（９）原材料費　93,148円

(10) 備品購入費　196,020円

上記の評価と課題等

今後も定期的に公園パトロールを実施することで不具合箇所等を把握し、市民が安全・安心に公園を利用できるよう計画的な公園の施設整備と保全管理に努めます。

市民の緑化への意識の高揚を図るため「緑の基本計画」に基づく事業を行い、花や緑であふれる潤いのあるまちづくりを進めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	195

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	04	都市下水路事業費			
	事業	0108240	都市下水路維持管理費		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,706,000	2,505,205	0	200,795	92.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　都市下水路維持管理事業
　市街地における雨水を円滑に排水し、浸水を防ぐため、都市下水路(延長3.8km)の維持管理を行いました。
（１）委託料
　ア　管理委託（新田都市下水路、成相都市下水路）　300,000 円

（２）工事請負費
　ア　補修工事　745,800 円

２　潮雨水ポンプ場維持管理
　豪雨時の内水対策のため、潮雨水ポンプ場の維持管理を行いました。
（１）需用費
　ア　燃料費　40,997 円
　イ　光熱水費（電気）　160,448 円

（２）委託料
　ア　管理委託（維持管理、点検、システム管理）　971,960 円
　イ　軽油処分　286,000 円

上記の評価と課題等

都市下水路の管理委託や維持工事を実施し、浸水被害に備えることができました。
また、潮雨水ポンプ場の維持管理において、軽油が経年劣化していたため、抜き取り作業を委託し、軽油の給油を行いました。

令和８年度	
部	都市建設部
課	都市計画課
係等	都市整備係

決算書ページ	195

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	04	都市下水路事業費			
	事業	0108250	市街地排水路改修事業		施策	良質な住環境の整備

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,600,000	10,378,380	0	221,620	97.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市街地排水路改修事業
　　住環境整備のため、拠点市街区域内の水路改修や浚渫を実施しました。
（１）委託料
　ア　清掃業務　　3,850,000 円

（２）工事請負費
　ア　市街地排水路改修工事（４件）　　6,457,000 円

（３）原材料費
　ア　補修材料　　71,380 円

上記の評価と課題等

要望のあった拠点市街区域内の水路を改修し、浸水被害等を未然に防ぐことができました。
他部署との連携を図り、日常的な水路管理を効率的に行う必要があります。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	建築景観係

決算書ページ	191

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108190	景観整備事業		施策	暮らしと調和する景観の保全

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
17,129,000	15,328,737	0	1,800,263	89.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,533,700		屋外広告物許可手数料	425,700		
		景観改善推進事業補助金	2,108,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　景観づくり住民協定活動補助金

　景観づくり住民協定締結地区の活動に対し、補助金を交付して活動の支援を行いました。

　また、市連絡会において、小布施町を視察し、次世代につなぐ潤いのある美しいまちづくりを講義とまち歩きにより、説明を受けました。（補助団体：住民協定16団体、市連絡会１団体）

２　景観条例に基づく行為の届出

　安曇野市景観条例で定める届出対象行為について、景観計画の基準により審査を行い、写真により確認をした上で、行為短縮通知の交付を行いました。

【届出件数】　807件（内訳：建築物 706件、工作物 11件、土地形質変更等 90件）

３　屋外広告物条例に基づく許可及びパトロール

　屋外広告物条例に基づき、広告物掲出に関する相談や指導、許可事務を行いました。また、許可手続きに漏れがないように、制度の周知とパトロールを実施しました。

【許可件数】　66件　146基　（内訳：第１種地域 23基、第２種 65基、第３種 58基）

【許可更新件数】　30件　107基　（内訳：第１種地域 17基、第２種 29基、第３種 61基）

４　緑のまちづくり事業

　緑に囲まれた安らぎを感じる環境づくりとして、記念樹の配布や生垣設置等への助成を行いました。

【実　績】記念樹：申請件数 322件（重複数 32件）　1,876,618 円

　　生　垣：申請件数　25件（内、ブロック塀撤去併用 4件）　1,602,000 円

上記の評価と課題等

　自主的に景観を守る活動を実施している「景観づくり住民協定」の締結地区に対して、引き続き情報提供及び活動支援を行います。

　景観条例及び屋外広告物条例について、適正に運用を進めることができました。今後も良好な景観づくりのため、窓口や現場での指導やパトロールに努め、制度に関する周知を継続して行います。

　緑のまちづくり事業については、住宅地等、緑化促進のため、広報誌やホームページ等、周知活動の充実を図り、利用拡大に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	開発調整係

決算書ページ	191

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108200	土地利用調整事業		施策	自然と発展が織りなすまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
756,000	409,459	0	346,541	54.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　土地利用条例の運用

（1）開発事業の承認

市内で行う開発事業として166件の提案がありました。 関係部署との協議・調整を踏まえ審査を行ない、土地利用基本計画に整合すると認めたものを事業承認しています。

（2）特定開発事業の認定

土地利用基本計画の基準に定めのない開発事業として29件の提案がありました。関係部署との協議・調整、説明会及び土地利用審議会の意見を踏まえ審査を行い、特定開発事業の認定に関する指針等に照らして適正な開発事業として判断したものを事業認定しています。

【土地利用条例における開発事業の承認、特定開発事業の認定申請件数及び面積（区域別）】

区　域	拠点市街	準拠点市街	田園居住	田園環境	山麓保養	森林環境	合　計
	909.0ha	183.5ha	215.5ha	11,085.9ha	1,331.0ha	19,453.1ha	33,178.0ha
開発事業承認申請	25件	3件	7件	119件	12件	0件	166件
	4.3ha	0.8ha	0.3ha	8.8ha	1.4ha	0.0ha	15.6ha
特定開発認定申請	0件	1件	0件	27件	1件	0件	29件
	0.0ha	0.0ha	0.0ha	3.3ha	0.0ha	0.0ha	3.3ha

※ 開発事業承認の件数は、特定開発の認定後に承認申請へ移行したものを含みます。

上記の評価と課題等

土地利用条例の運用においては、窓口・電話相談等に対する丁寧な説明や、申請案件等の事務処理を適切に行い、適正かつ合理的な土地利用を推進しました。市民及び開発事業者の方に条例の趣旨をご理解いただくよう、引き続き丁寧な説明に努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	住宅係

決算書ページ	191

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	安全で安心に暮らせるまち
	目	01	都市計画総務費			
	事業	0108205	耐震改修促進事業		施策	防災・減災対策の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
42,081,000	41,779,010	0	301,990	99.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
29,969,000		住宅・建築物安全ストック形成事業補助金	19,613,000		
		住宅・建築物耐震改修促進事業補助金	10,356,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　住宅・建築物耐震改修促進事業

（１）耐震診断業務委託　9,680,000円

昭和56年５月末日以前に着工された既存木造住宅の耐震診断業務を県建築士事務所協会へ委託し、110件の診断を実施しました。

（２）住宅耐震改修補助　31,747,000円

耐震診断を実施した住宅のうち、申請のあった29件に対して耐震改修（23件）・除却工事（６件）に係る費用を補助しました。

（３）耐震化促進に向けた取組み

国の総合支援メニューに基づき、昨年度に引き続き、「安曇野市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム」に取組みました。取組みの内容としては、住宅の耐震化に関する情報を市ホームページや広報紙へ掲載、旧耐震基準で建築された住宅の所有者へのダイレクトメール（2,731通）の送付など、フォローアップに努めました。

上記の評価と課題等

今後も耐震化が図られるよう、耐震診断、耐震改修工事補助制度活用の事業ＰＲに努めます。

令和８年度	
部	都市建設部
課	建築住宅課
係等	住宅係

決算書ページ	197

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	住宅費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	住宅管理費			
	事業	0108290	住宅管理費		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
668,363,000	666,222,557	0	2,140,443	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
580,421,300		公営住宅使用料	52,087,300	公営住宅等整備事業補助金	6,579,000
		公営住宅駐車場使用料	3,374,470	アルプス団地生活雑排水処理施設除却費負担金	14,560,000
		公営住宅使用料滞納繰越分	334,610	太陽光発電売電等	23,590
		公営住宅駐車場使用料滞納繰越分	7,330	公営住宅建設事業債	363,200,000
		公営住宅等ストック総合改善事業補助金	140,255,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公営住宅等維持管理事業

市営住宅13団地285戸、特定公共賃貸住宅２団地20戸の維持管理を行いました。

（１）需用費（消耗品費、施設修繕費、外）　15,188,839円

（２）役務費（手数料等、保険料）、委託料（管理委託料、外）　3,065,053円

２　公営住宅等長寿命化事業

安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく予防保全型の維持管理（耐久性の向上等）を実施しました。

（１）外壁・屋根改修　53,000,200円

○ 追分団地：Ｅ棟外壁・屋根改修工事、監理業務委託、ほか

○ ファミーユ柳瀬団地：Ａ棟・集会所外壁・屋根改修設計業務委託

３　公営住宅整備事業

長寿命化計画に基づく工事及び設計等を行い施設の長寿命化と住環境整備等を進めました。

（１）委託料　16,599,000円

○ 柏原団地：改修工事監理　○ 穂高団地：改修工事監理、解体工事設計ほか

○ アルプス団地：用地測量業務委託

（２）工事請負費　574,387,000円

○ 柏原団地：改修２棟　○ 穂高団地：改修３棟

○ アルプス団地：舗装本復旧工事

（３）補償金　2,382,000円

○ 柏原団地：改修工事に伴う移転補償 10件　○ 穂高団地：改修工事に伴う移転補償 １件

上記の評価と課題等

市営住宅及び特定公共賃貸住宅の入居者が良好な住宅環境で居住できるよう、施設の点検・修繕等を行いました。また、長寿命化計画に基づく計画的な施設改修、維持管理に努めました。

上下水道部

令和８年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当（上下水）

決算書ページ	149

予算				総合計画		
	款	04	衛生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	上水道費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	01	上水道施設費			
	事業	0104300	水道事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
59,362,000	59,361,152	0	848	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

18節　負担金補助及び交付金

地方公営企業である、水道事業の安定化を図るため、合併前の旧豊科町において政策的に実施した水道施設の整備費用に対して一般会計から負担しました。

負担金

・光ニュータウン関連水道事業負担金　7,827,876円

・下水道工事関連水道事業負担金　51,533,276円

決算額　59,361,152円

上記の評価と課題等

水道事業施設の整備費用の負担金として、光ニュータウン関連水道事業分は令和10年度まで、下水道工事関連水道事業分は令和16年度まで、一般会計から支出します。

令和８年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当（上下水）

決算書ページ	195

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	下水道事業費			
	事業	0108270	下水道事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,457,427,000	1,386,387,220	70,400,000	639,780	95.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
61,800,000		一般会計出資債（旧合併特例事業債）	61,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

23節 投資及び出資金

出資金61,800,000円及び翌年度繰越額 70,400,000円は、下水道施設統廃合事業（管路工事、現場技術業務委託、路面復旧工事）に係るものです。

27節 繰出金

下水道事業経営の健全化を促進し、経営基盤の強化を図るため、一般会計から繰出しを行いました。

下水道事業会計繰出金

・基準内で繰出すもの　1,320,920,271円

・基準外で繰出すもの　1,369,159円

（農業集落排水事業874,724円　特定地域生活排水事業494,435円）

・生活保護受給者に対する下水道使用料の基本使用料減免分　2,297,790円

決算額　1,324,587,220円

上記の評価と課題等

下水道事業は資産規模が大きいことから、企業債償還額の負担も大きく、住民生活に密着したサービス提供を行うためには、一般会計の繰出金が重要な財源です。

一般会計からの繰出金については、総務省で定める下水道事業の繰出基準などにより繰出しを行っています。

令和８年度	
部	上下水道部
課	経営管理課
係等	庶務担当（上下水）

決算書ページ	195

予算				総合計画		
	款	08	土木費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	都市計画費		目標	自然と暮らしやすさが調和するまち
	目	05	下水道事業費			
	事業	0190170	【明許】下水道施設統廃合事業		施策	上下水道の安定経営

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
50,500,000	49,000,000	0	1,500,000	97.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
49,000,000		一般会計出資債（旧合併特例事業債）	49,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

23節 投資及び出資金

繰越明許額 49,000,000円は、下水道施設統廃合事業（管路工事、現場技術業務委託）に係る出資金です。

上記の評価と課題等

旧合併特例事業債を活用して下水道事業会計に出資し、下水道施設統廃合事業を推進しました。

教育委員会　教育部

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育総務係

決算書ページ	201

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	教育委員会費			
	事業	0110010	教育委員会費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,821,000	4,390,737	0	1,430,263	75.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　教育委員会

教育委員会は、教育長、教育長職務代理者、委員３名の計５名で構成されています。

	R5.11.9	R6.11.9	R7.11.9
教育長	橋渡　勝也	橋渡　勝也	橋渡　勝也
教育長職務代理者	遠藤　正志	遠藤　正志	遠藤　正志
教育委員	二村　美智子	羽田野　賢二	羽田野　賢二
	羽田野　賢二	川北　久美	川北　久美
	川北　久美	金子　孝	金子　孝

（R8.3.31.現在）

教育委員会会議

会議は、12回の定例会及び１回の臨時会を開催し、教育委員会規則等の制定・改廃の審議その他の教育行政に係る案件についての審議を行いました。

（１）　定例会

No.	期　日	No.	期　日	No.	期　日	No.	期　日
1	4/25	2	5/27	3	6/25	4	7/24
5	8/19	6	9/26	7	10/23	8	11/28
9	12/23	10	1/23	11	2/17	12	3/25

（２）　臨時会　11/11

2　総合教育会議

地方教育行政法に基づく「総合教育会議」を開催し、市長と教育委員会が本市の教育の課題及び目指す姿等について、認識の共有を図りました。

回数	期　日	主　な　議　題
第１回	R7.7.11	本年度の学校向け文化・芸術プログラムと信州安曇野薪能関連事業について

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	教育委員会費			
	事業	0110010	教育委員会費		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

組織の合理的な意思決定を行うため、教育委員会の定例会等を的確に運用しました。

上記の評価と課題等

事務局が提案した案件及び本市の教育を取り巻く諸問題について、教育委員会定例会で議論を深めるとともに、課題等の解決を図りました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育総務係、教育指導室、 学校庶務担当、学校教育担当

決算書 ページ	203

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110015	事務局費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
306,401,000	299,615,667	0	6,785,333	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,792,158		入学準備金貸付基金利子	248,558	地域自殺対策強化事業補助金	36,000
		入学準備金貸付基金繰入金	6,800,000	指定寄附	1,000,000
		入学準備貸付金	5,635,800		
		入学準備貸付金滞納繰越金	71,800		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1 事務局費総務

（1）教育指導員の配置

教育指導室へ指導員を配置し、指導体制の充実を図っています。

区分	人数	決算額
教育指導員	5人	14,763,533 円

（2）いじめ・不登校対策事業

学校教職員への研修や校長会・教頭会への指導助言を行いながら、児童生徒のいじめ不登校等への支援方法や早期発見、早期対応への研究、関係機関との意見交換を行いました。

（3）就学相談

就学相談調査員９名が学校や認定こども園等を訪問し、就学に関する相談を実施しました。就学相談委員会(委員18名、開催12回)において、知的障がいや心身障がい等の特性のある子どもの学びの場について検討し、判断を行いました。

対象者	人数	判断結果			判断と異なる就学者
		通常学級	特別支援学級	特別支援学校	
幼児	113	36	70	7	0
児童	141	16	122	3	0
生徒	11	4	7	0	0
小計	265	56	199	10	0

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110015	事務局費		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）各種大会等出場者補助金(交付先:各学校長)
　各種大会等へ参加する際の費用負担軽減のため補助を行いました。(基本的に県大会以上)

区分	体育大会		合唱・吹奏楽ｺﾝｸｰﾙ等		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
小学校	7	118,200 円	10	688,800 円	17	807,000 円
中学校	60	2,702,800 円	16	812,000 円	76	3,514,800 円
合計	67	2,821,000 円	26	1,500,800 円	93	4,321,800 円

（５）私立高等学校運営費補助金　5,440,000円
　対象校８校、補助対象生徒数　544人

２ 学校システム管理事業
（１）教育用システム・サーバの借上げ
・センターサーバ（令和２年度、令和３年度　更新５年リース）　6,551,578円
　教育委員会管理のセンターサーバを設け、学校との情報ネットワークの一元化、
　セキュリティの確保を行っています。
・学校図書館システム（令和６年度更新・５年リース）　6,066,720円
　学校図書館の蔵書管理システムを構築することにより貸出・返却を効率的に管理します。

（２）主な委託事業
・センターサーバ管理保守、学校ネットワーク用機器管理保守　8,087,200円
・ＩＣＴ支援員業務委託　31,900,000円
（３）GIGAスクール構想の推進
・GIGAスクール運営支援センター業務委託　3,342,900円
・GIGAスクール端末フィルタリングサービス使用料　2,556,136円
・授業目的公衆送信補償金　983,136円

３ 学校安全対策事業

事業名等	金額	備考
学校安全対策用品の購入(熊よけ鈴)	148,500円	購入数100個
通学路安全マップの作成	638,000円	関係者に配布
学校安全連絡メール配信システム使用料	1,015,740円	
通学路標識工事・修理の実施	884,400円	地域要望への対応
GIS通学路マップデータ更新委託	330,000円	

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110015	事務局費		施策	学校教育の充実

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　入学準備金貸付事業

未来を担う人材の育成を図るため、入学の準備に要する費用を保護者に対して無利子で貸し付ける「安曇野市入学準備金貸付制度」の運用を平成28年11月から行っています。

【Ｒ７年度利用実績】

公立高校	私立高校	国公立大学・短大・専修学校	私立大学・短大・専修学校	計
３件	１件	１件	10件	15件
300,000円	300,000円	400,000円	5,800,000円	6,800,000円

上記の評価と課題等

就学相談は、幼児期からの早期支援により、公立認定こども園等だけでなく、私立保育園や認可外保育園、児童発達支援施設等との連携も推進しています。就学判断数は昨年度から若干の増、年中児の参観・相談は高止まりの状況となっています。

学校システム管理事業では、ＩＣＴ支援員による各校への定期的なＩＣＴ活用支援を実施することで、ＩＣＴを活用した教育の更なる推進や、教職員の負担軽減につながりました。

学校安全対策事業では、通学路合同点検で確認した点検結果による対策内容は、交通管理者（警察）、道路管理者（国県、市）と連携し、対応していきます。

入学準備金貸付金事業については、制度の的確な周知・運営を行いました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	203

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110020	学校支援員配置事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
233,011,000	230,860,567	0	2,150,433	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,659,000		小中学校看護師配置事業補助金	2,659,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 報酬・職員手当　220,994,412円
２ 謝礼　5,827,595円
３ 旅費　4,025,910円

（１）学校支援員の配置

学校からの支援員配置要望に基づき、県教委による教職員等の配置や学校実情を勘案し、適正な人材配置に努めました。

職　種	人　数	備　考	職　種	人　数	備　考
医療支援員	３人		学力向上指導員	５人	(中学校)
自立支援員	17人		特別支援教育支援員	42人	
合　計				67人	

（２）スクールカウンセラー及び障がい児等指導相談員、放課後学習室支援員等の派遣

配慮を要する児童生徒への支援や学校職員による指導の相談対応のため、市費でスクールカウンセラー及び障がい児等指導相談員（学校心理士・作業療法士・言語聴覚士）を派遣しました。また、学習意欲の刺激や理解促進のため、放課後の学習支援を実施しました。

職　種	人　数	備　考	職　種	人　数	備　考
スクールカウンセラー	８人	(巡回型)	障がい児等指導相談員	３人	(巡回型)
放課後学習室支援員	52人		合　計	63人	

上記の評価と課題等

学校支援員の配置、スクールカウンセラー等の派遣他により、教員と連携して個に応じた支援を行い、子どもが安心して学校生活を送る環境を整えています。不登校（傾向）の児童生徒に対しては、主に教員と自立支援員・スクールソーシャルワーカー・自立支援コーディネーターが学校内外の支援者と連携し、多様な学びの場の保障に努めています。配慮を要すると考えられる児童生徒は、家庭環境や社会状況等の複合的要因から年々増加しています。

・また、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」に基づき、地域の学校でも医療的ケアを要する子どもの受け入れ体制の整備、医療支援員（看護師）の配置を求められる機会は増える可能性があります。今後も学校支援員の配置要望は高まる可能性があるため、子どもの状況や学校の実情に配慮した適正人員の配置に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	205

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110022	キャリアフェスティバル推進事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,384,000	4,327,183	0	1,056,817	80.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　「安曇野市中学生キャリアフェスティバル」の運営

キャリア教育の一環として堀金中学校の学年行事で実施した会を全市開催とする形に発展させた事業。生徒が、地元安曇野市にある企業などを知り、そこで働く大人の姿や考えに触れることで、自らの生き方や働く意味を考える機会とすると共に、地域の大人とのつながりを通して郷土愛をもてるようにする目的で、安曇野市７中学校の１年生全員を対象として初開催しました。

・事業を実施するにあたり、中学生の実行委員会（各校２名ずつ計14名）を組織しました。当日の開会式・閉会式における司会進行は、実行委員会の中学生が主に担いました。
・また、当日は63の事業所（企業や団体、個人事業者）が出展者として参加いただき、仕事の内容紹介、自分がその仕事についたきっかけ（就職の動機）、やりがいや夢、苦労を生徒たちに伝えてもらい、交流しました。

節名称	決算額	備考
10　需用費	723,387円	消耗品、印刷製本
12　委託費	2,603,000円	会場設営・撤収業務、生徒学習用素材の作成等委託
13　借上料	1,000,796円	大型バス借上

上記の評価と課題等

令和６年度から市の事業として開催し、市内に拠点がある企業や団体、個人事業者の協力を得て、当日は63出展者が参加しました。生徒たちに向けて、仕事の紹介と自身の働く思いを伝えてもらうことができました。また、産学官の取り組みとして出展者間、出展者・教員間、あるいは生徒間での交流も図る場面も作ることに留意しました。会を通して、中学２年生で実施する職場体験の受入先として相談できる事業所との出会いも生まれています。今後は、事業に協力いただける出展者（多様な職種）を確保していくことや、生徒実行委員会との連携を更に深めていくことを大事にしていきたいです。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書ページ	205

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110025	コミュニティスクール事業		施策	家庭・地域との連携の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,313,000	3,246,902	0	2,066,098	61.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	3,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　　学校運営協議会（コミュニティ・スクール）

地域住民、保護者、地域コーディネーター等が、学校運営に参画し、意見を反映させ、学校運営の強化を図ります。

委員総数	128人	会議回数　　49回	798,000円

2　　地域学校協働活動推進員（地域コーディネーター）

地域や学校の実情に応じた地域学校協働活動の企画・立案や学校と地域の連絡・調整等を行う役割を担います。

・連絡会議（事業確認・情報交換）　２回開催

地域コーディネーター総数	34名	313,063円

3　　学校運営協議会活動支援交付金

学校運営協議会の運営事業や地域と学校が連携・協働して実施する教育活動に必要な費用を支援します。

申請学校数　　17校	1,352,697円

上記の評価と課題等

コミュニティスクール事業が目指す「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の実現に向け、学校と地域が共有する育てたい子ども像や目指す教育ビジョンの明確化と共有化を進めていきます。

これらの取組について市民や地域への周知が十分でないという課題を踏まえ、情報発信の強化と理解促進に取り組むことを重視していきます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書ページ	205

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110027	外国語指導助手配置事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
60,194,000	59,934,677	0	259,323	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
50,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	50,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　　小中学校外国語指導助手派遣業務

市内小中学校17校に外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置することにより、外国語に触れる機会、外国の異文化、生活に慣れ親しむ機会を提供し、文部科学省が示す学習指導要領に基づき、言語活動を通じて、コミュニケーションを図る資質・能力を育成し、国際感覚を養うことを目指して、外国語（英語）教育の推進を図っています。

ＡＬＴの配置		11人（児童生徒数に応じて）	56,362,284円

２　　中学校英語課外授業、小学校オンライン国際交流事業

中学校では、２年生を対象に各校で英会話の課外授業を実施しています。小学校では、５年生を対象に海外講師とオンラインで交流する国際交流事業を実施することで、英語学習への意欲を高めることや異なる文化への理解を深める機会の提供を図っています。

オンライン国際交流事業	小学校10校　５学年対象	2,217,600円
英語課外授業の実施	中学校７校　　２年生対象	1,332,980円

上記の評価と課題等

小学校では、ＡＬＴが担任教諭等と連携した授業を実施することで、児童が楽しみながら英語に触れ、親しむ体験を通して、英語で自分の意見を伝えたり、相手の話を理解する力を身につける学習の場を提供しています。

中学校では、ＡＬＴが英語の授業に参加することで、生徒の英語でコミュニケーションを図る能力の育成や国際感覚の基盤を培う機会の確保を図っています。

このほか、中学生２年生を対象とした英語課外授業や小学校５年生を対象としたオンライン国際交流事業を実施し、外国語（英語）教育の推進を図っています。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	205

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110030	教育支援センター運営事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
26,053,000	25,435,648	0	617,352	97.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

教育支援センターは豊科公民館内に設置しています。学校や関係機関と連携しながら、児童生徒や保護者等の支援を実施しています。

１　教育支援センターの運営状況

（１）開室日：原則小中学校の登校日

（２）人員体制：指導員５名（常勤２名、非常勤３名）
自立支援コーディネーター２名、教育施設連携促進コーディネーター２名配置
スクールソーシャルワーカー５名（市による委嘱４名、県による市派遣１名）

（３）教育支援センター利用の推移（単位：人）　※アウトリーチ支援は除く

利用者数	令和３年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
小学生	24	20	26	31	35
中学生	14	16	27	29	25
小　計	38	36	53	60	60

（４）出張教室：週１回、穂高会館・穂高総合体育館を活用して出張教室を実施
内容：運動、調理実習など

（５）不登校（傾向）児童生徒と保護者に向け実施した活動や民間施設との体験的活動
内容：スマートフォンの使い方（つきあい方）の学習会、高校説明会、
現役高校生との座談会、ドローン体験、交流会

上記の評価と課題等

教育支援センターは、年間で60人が通室や相談等で利用しました。くわえて、アウトリーチ支援として、18名に家庭訪問等で支援を実施しました。また、令和７年度は出張教室の実施や、民間施設と共同で実施できる体験的活動、市で主催の高校説明会の実施に取り組みました。

子どもの中には、教育支援センターまで通うことが難しい場合もあることから、アウトリーチ支援を継続して教育支援センターの機能充実を図りつつ、関係機関との連携を推進する必要があります。子どもの多様な学びの場の保障と支援ができるよう努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	205

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110035	学校バス運行事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
121,822,000	119,718,266	0	2,103,734	98.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　スクールバス運行事業

市内小(中)学校遠距離通学児童の安全確保のため、スクールバス等の運行を委託しました。
なお、令和２年度より安曇野市タクシー運営協議会と市内全路線一括契約し、運行しています。

【日数】合計　3,276日　　(前年度3,311日)

地域	学校（路線）	基本運行時間	日数
豊科	豊科南小（たつみ原線）	登校2便　下校2便	205
	豊科南小（飯田・真々部線）	登校2便　下校2便	203
	豊科南小（臨時便）	下校1便	110
	豊科南小（応援車両：たつみ原線）	登校2便　下校2便	198
	豊科南小（応援車両：飯田・真々部線）	登校2便　下校1便	199
	豊科北中（大口沢線）	登校1便　下校1便	186
穂高	穂高北小（北穂高･有明線）	北穂高（狐島）登校1便　下校2便	205
		有明（豊里・小岩岳）登校2便　下校2便	205
		有明（宮城・立足）登校2便　下校2便	205
	穂高北小（臨時便）	下校1便	92
	穂高西小（牧線）	登校2便　下校2便	210
	穂高西小（臨時便）	下校1便	139
三郷	三郷小（小倉線）（通常2台運行）	登校2便　下校2便	204
	三郷小（臨時便）	下校1便	87
明科	明南小（大足線）	登校1便　下校2便	205
	明南小（押野線）	登校1便　下校2便	205
	明北小、明科中（潮沢線）	登校1便　下校2便	208
	明北小、明科中（犀川線）	登校2便　下校4便	210

市バスと業者バスを併用してスクールバスを運行しています。
利用基準は地域性、地形的なことを配慮し、距離を基準としている学校と、地区を基準としている学校があります。

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110035	学校バス運行事業		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　学校行事バス運行事業

学校行事等における児童の送迎を、市所有バス・民間バス借り上げにより対応しました。

コロナ禍終息以降、バスを利用した学校行事は増加傾向でしたが、令和７年度は前年並みの運行台数でした。

	市バスの運行(運転委託)		借り上げバス	
	台　数	金　額	台　数	金　額
令和5年度	203 台	3,113,140 円	55 台	4,357,890 円
令和6年度	202 台	3,673,840 円	80 台	6,081,187 円
令和7年度	217 台	3,952,960 円	62 台	5,313,208 円

上記の評価と課題等

＜スクールバスの運行＞

市内全路線を安曇野市タクシー運営協議会と一括契約を締結することで、配車できる車両規格を複数種類用意し、緊急時にも柔軟に対応できる体制を構築しています。

＜学校行事バス＞

運行台数はほぼ前年並みとなりました。費用を削減するため優先的に市バスを利用するよう調整しましたが、利用できなかった場合は業者バスを借り上げることで、滞りなく行事が実施できました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校教育担当

決算書ページ	207

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110070	学校保健事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
34,463,000	32,964,538	0	1,498,462	95.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　小・中学校保健指導事業

（1）児童生徒の定期健康診断、歯科指導等

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
学校医報酬	7,932,000円	4,813,900円	学校医、学校歯科医、学校薬剤師
歯科指導等謝礼	462,915円	114,453円	
看護師謝礼	20,985円	9,793円	
養護教諭補助者等派遣事業謝礼	202,224円	―	

（2）来年度入学児童の就学時健診

種　別	決算額	備　　考
医師謝礼	1,030,000円	
歯科衛生士謝礼	16,038円	
看護師謝礼	8,394円	
健診事務補助者報酬･通勤費	427,120円	報酬399,113円　通勤費28,007円

（3）児童生徒の各種検査

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
尿検査	2,846,437円	1,453,683円	全児童生徒
心電図検査	2,249,995円	1,162,480円	小学１・４年生、中学１年生
血液検査	1,413,225円	1,388,475円	小学５年生、中学２年生

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110070	学校保健事業		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）飲料水・簡易水道の水質検査、教室内化学物質標準検査等

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
水質検査	739,200円	425,700円	飲料水、簡易水道、プール
揮発性有機化合物濃度測定	88,000円	61,600円	教室内化学物質標準検査

（５）健康診断用機器の点検、修繕

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
点検	319,000円	218,900円	ｵｰｼﾞｵﾒｰﾀ校正点検 小学校10台、中学校７台
修繕	242,770円	―	オートクレーブ、オージオメータ

２　教職員健康推進事業

学校関係職員の健康維持のための健康診断、カウンセリング事業等

種　別	決算額	備　　考
学校職員健康管理医謝礼	1,440,000円	健康管理医（産業医）２人を配置
教職員カウンセリング	114,400円	日本産業カウンセラー協会　単価契約
教職員ストレスチェック	98,208円	公立学校共済組合　単価契約
教職員健康診断	3,013,065円	長野県労働基準協会連合会　単価契約

３　健康診断用機器の購入

種　別	決算額		備　　考
	小学校	中学校	
デジタル微風速計	86,900円	―	学校環境衛生検査

上記の評価と課題等

児童生徒の健康維持、疾病の早期発見のため、学校や関係団体と連携を取りながら実施しました。結果を基に、かかりつけ医等への受診を勧めるため、必要な児童生徒の保護者に「勧奨通知」を出しています。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	207

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	住宅管理費			
	事業	0110040	教職員住宅運営事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,012,000	2,629,880	0	382,120	87.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,540,924		住宅貸付料	3,509,900		
		その他雑収入	12,744		
		公共施設目的外使用料	18,280		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市立学校に勤務する教職員の住環境等整備のために設置している教職員住宅を管理しました。

1　施設管理状況

管理戸数	63戸		
住宅貸付料	3,509,900円		
使用料の月額	5,550円～29,800円		
主な管理経費	施設修繕費	779,724円	給排水設備、内外装等の施設修繕
	管理委託料	671,278円	消防用設備保守点検業務
	工事請負費	442,860円	換気扇取替工事
入居状況	25戸（令和７年度末）　入居率　39.68％		

2　施設の整理

公共施設再配置計画に基づく教職員住宅の用途廃止を進めてきました。

令和７年度は、南中教職員住宅の財産管理課への所管換えについて協議を続けています。

上記の評価と課題等

自宅からの通勤、民間アパート等を活用する教員の増加、また、管理施設の多くが老朽化している状況があるため、教員住宅のあり方や必要性を検討していきます。

令和７年度末の入居率は39.68%と４割程度であり、今後も老朽化した住宅の用途廃止や利用可能な住宅は他の用途への用途変更等、有効活用について関係部署と引き続き取り組みを進めます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当、学校教育担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110075	小学校総務管理費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
395,258,000	383,644,799	0	11,613,201	97.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
77,801		公共施設目的外使用料（学校教育課）	71,135		
		その他雑入（学校教育課）	6,666		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等学校別に予算を編成した方が執行管理上効率的と思われる事業費については各学校別予算とし、一括管理した方が効率的と考えられる事業費について、総務管理費として管理しました。

1　小学校総務管理費

（１）学校事務員・学校庁務員・図書館司書の配置

小学校に市費職員として、事務員（7人）・庁務員（10人）・学校図書館司書（10人）（会計年度任用職員）を配置し、学校運営の円滑化を図っています。　101,244,412円

事務員・庁務員・学校図書館司書　　報酬・職員手当・費用弁償(通勤費)　101,102,798円
事務員・庁務員・学校図書館司書・支援員　　費用弁償(出張旅費)　141,614円

（２）主な委託事業

業務名	決算額	内容等
学校施設保守業務等	17,142,070 円	警備業務、自家用電気工作物保安、プール施設点検、消防用設備点検、防火設備点検、地下タンク保守、エレベータ保守、FFストーブ保守等

2　市内10小学校の総務管理費

（１）市内小学校の児童数等(R7.5.1現在 ｸﾗｽ数には特別支援学級数を含む)　() 内R6年度

学校名	児童数	クラス数	学校名	児童数	クラス数
豊科南小学校	679 (700)	29 (29)	穂高西小学校	408 (384)	18 (17)
豊科北小学校	529 (532)	26 (26)	三郷小学校	904 (915)	38 (38)
豊科東小学校	166 (173)	10 (10)	堀金小学校	389 (417)	17 (18)
穂高南小学校	630 (630)	27 (24)	明南小学校	173 (189)	11 (10)
穂高北小学校	555 (587)	26 (27)	明北小学校	85 (80)	8 (8)
			合計	4,518 (4,607)	210 (207)

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110075	小学校総務管理費		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）各小学校には、実情に応じた予算を配当し、執行を行いました。

節名称	決算額	主な内容
07　報償費	2,358,216 円	講師謝礼他
10　需用費	139,107,811 円	学校管理用消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕外
11　役務費	11,083,842 円	通信運搬費、マット等のレンタル、楽器調整、庭木の剪定、クリーニング外
12　委託料	13,941,784 円	粗大ごみ処理、芝生管理外
13　使用料及び賃借料	925,403 円	コピー機使用料、学校田等賃借料外
17　備品購入費	9,918,016 円	児童用の机椅子、草刈り機外
18　負担金及び補助金	6,668 円	水利組合
合　　計	177,341,740 円	※10小学校の総額

（３）　学校用地の賃借　　4,931,018円
学校運営のために必要な学校用地及び駐車場・スクールバス停用地の借用

（４）　カラー複合機の借上げ　　10,956,000円
R6年度に市内10小学校の職員室・事務室の印刷機器をカラー複合機に入れ替えました。

（５）　管理備品等の購入　3,535,050円
石油温風暖房機、可搬式ヒーター等購入

（６）災害共済給付掛金　　4,219,930円
児童の「学校の管理下」(登下校を含む)における災害等の対策として、日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入しています。

加入者数	共済掛金	災害発生件数	給付件数	給付額
4,518人	4,219,930円	218件	338件	2,618,869円

３　　小学校情報教育推進事業（学校ICT事業の推進）
- 学校システム管理（委託料）　　18,802,223円
- 教育用(パソコン教室)及び校務用パソコン等のリース(借上料)　　31,844,736円
- 校務支援システム負担金　　5,821,920円

上記の評価と課題等

学校生活環境を快適なものとするため、市内10小学校の適正な管理運営を実施しました。
児童数は、R6年度は対前年比減(34人減)でしたが、R7年度も減少(R6：4,607人、R7：4,518人　89人減)しました。学級数は3学級増加（普通学級：4減、特別支援学級：7増）しました。
GIGAスクール構想に基づいて整備したICT機器を活用し、引き続きICTを活用した教育の推進を図っていきます。
学校運営に必要な経費を計上支出することで学校生活や学習活動を支える条件整備など、きめ細やかな対応が行えました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当、学校教育担当

決算書ページ	213

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110130	小学校教育振興費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
87,988,000	85,748,314	0	2,239,686	97.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
36,185,000		特別支援教育就学奨励費補助金	4,704,000		
		理科教育設備整備費補助金	1,183,000		
		指定寄附金	1,298,000		
		ふるさと寄附基金繰入金	29,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　小学校就学援助事業

（1）要保護・準要保護児童生徒就学援助費　　37,543,966円

経済的理由によって就学が困難と認められる児童に対して就学援助費を支給しました。

対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

(支給実績)

要保護児童		準要保護児童		合　計	
0人	0円	522人	37,543,966円	522人	37,543,966円

※要保護児童の国庫補助対象経費：修学旅行費（国庫補助率：対象経費の1/2)

※要保護児童は修学旅行費のみが対象

（2）特別支援教育就学援助費　　対象児童数:250人　支給額:10,584,220円

特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、就学援助費を支給しました。

対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

※国庫補助率：対象経費の1/2

(新入学児童生徒学用品費に市独自加算があり、独自加算分は補助対象外)

- 要保護とは生活保護受給者(年度内廃止者含む)
- 準要保護とは所得要件(世帯収入)
- 特別支援教育就学奨励費とは特別支援学級在籍かつ所得要件(世帯収入)

2　小学校教科用指導書等購入事業

人権教育副読本「あけぼの」（児童用）の購入外　　8,840円

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110130	小学校教育振興費		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3　市内10小学校

学校で必要な教材用消耗品、教材備品、児童用図書を購入して学習環境の整備を進めました。

節名称	決算額	主な内容
10　需要費	15,720,943 円	教育事業を進めるために必要な消耗品
17　備品購入費（教材）	8,632,084 円	吹奏楽等楽器、理科振興備品、顕微鏡、ミシン、体育用マット、洗濯機外
17　備品購入費（図書）	8,500,449 円	図書館配備図書　達成率118.48％
合計	32,853,476 円	

※達成率：国が目標と定めた蔵書数（学校図書館図書標準）に対しての達成率

上記の評価と課題等

児童が安心して教育を受け、学校生活を送れるよう、経済的支援や、学習面・生活面における支援を必要とする家庭について、学校長等と連携しながら対応していきます。

学校別の教育振興費消耗品及び備品購入費は、基本額・人数割・クラス割により予算額を算出し配当しています。また、図書購入費は達成率を基に予算額を算出して配当しています。

配当された予算内で必要な教材や備品等を購入していますが、高額な備品（楽器など）で老朽化が著しいものについては、一度に整備することが困難であるため、学校と協議・調整を行いながら計画的に購入しています。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	213

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110185	小学校通級指導教室事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,091,000	928,893	0	162,107	85.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　言語障がい通級指導教室「ことばの教室」、LD等通級指導教室「まなびの教室」の運営

※LDとは、Learning Disabilitiesの略、学習障がいを意味します。

（１）言語障がい通級指導教室「ことばの教室」

設置校：穂高北小学校２教室

サテライト校：三郷小学校１教室

「ことばの教室」は、通常の学級に在籍する言語障がい等を有する児童に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の教育課程による指導を県費加配担当教員２人が実施しています。

（２）LD等通級指導教室「まなびの教室」

設置校：穂高北小学校２教室、三郷小学校２教室、豊科北小学校１教室

サテライト校：堀金小学校１教室

「まなびの教室」は、通常の学級に在籍する発達障がいや学習障がい等を有する児童に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の教育課程による指導を県費加配担当教員５人が実施しています。また、グループソーシャルスキルトレーニングとして小集団での指導を行いました。

２　令和７年度通級及び相談支援実績

	通級人数	グループＳＳＴ	教育相談
ことばの教室	38人		13人
まなびの教室	90人	3人	54人
小　計	128人	3人	67人
合　計			198人

上記の評価と課題等

通級指導教室が３校７教室となり、サテライト教室も開設していることから、支援件数と教育相談件数は増加しています。通級及び相談支援件数は延べ188人になり、通常学級での支援・家庭での関わり方についての助言や、通級指導教室での指導により児童の主訴改善を図ることができています。

令和８年度から、「まなびの教室」はサテライト教室１教室を増設予定です。言語や発達障がいだけでなく、複合的な要因からコミュニケーションの課題や学びづらさを抱える児童の相談が増えています。在籍校や家庭と連携した指導・支援に努め、子どもたちが通級指導教室で学んだことを、生活場面においても発揮できること（汎化）を目指します。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
64,489,000	53,755,158	7,655,000	3,078,842	83.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内小学校10校について、児童の安全・安心の学校施設環境を維持するための修繕を実施しました。

【繰越明許事業】　学校施設環境改善交付金の前倒し交付により令和８年度に繰越
明北小学校：特別支援教室の増加に伴い、空調設備を整備します。

1　施設修繕　　22,607,337円（ガラス破損などの軽微なものは学校予算にて対応）

主な修繕	件数	決算額	実施校
照明修繕（蛍光灯からLED照明へ）	15件	1,368,444円	豊科北小学校外
プール関連設備修繕	４件	363,990円	穂高西小学校外
給排水設備修繕	７件	1,167,969円	豊科北小学校外
空調設備修繕	４件	403,480円	三郷小学校外
その他修繕	53件	19,303,454円	

2　遊具点検業務の実施　　579,700円

3　業務委託　　7,142,956円

主な業務委託	件数	決算額	内容等
草刈作業	10件	276,665円	三郷小学校外
伐採・剪定作業	11件	1,574,982円	穂高北小学校外
公立学校施設台帳作成	１件	499,950円	市内全小学校
小学校改修工事　設計	１件	2,502,500円	穂高北小学校外

4　工事請負費　20,731,343円

主な工事	件数	決算額	実施校
空調設備設置等工事	４件	5,619,900円	穂高南小学校外
トイレ等関連工事	３件	3,040,959円	豊科東小学校外
体育館床塗装工事	１件	5,115,000円	豊科南小学校
その他工事	58件	6,955,484円	

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110190	小学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

５　学校施設の点検業務

項　目		頻　度
建築物定期調査	建築基準法12条に基づく、建築物及び建築設備の点検	３年に１度
防火設備点検	シャッターの動作及び動作制御盤やシャッターと連動している煙感知器の保守点検	毎年
消防用設備点検	消防法に規定される設備、機器（制御盤、感知器及び消火栓設備）等の保守点検	毎年
昇降機保守点検	常用エレベーターの保守点検	毎年
自家用電気工作物点検	自家用電気工作物の保安管理	毎年
プール設備点検	水泳プール循環機等の点検	毎年
高架水槽・受水槽清掃点検	学校の飲料水を清潔に保つための清掃・点検	毎年
遊具点検	小学校内の遊具の安全点検	毎年
空調機定期点検	フロン排出抑制法に基づく空調機定期点検	３年に１度

上記の評価と課題等

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行う必要があります。従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができる「学校施設の長寿命化」を図るうえで「計画保全」の考え方が重要になります。

効率的、効果的な保全を行うためには、その判断材料となる施設の定期的な点検業務を確実に行っていくことが重要です。

本市の学校施設では点検業務を着実に実施し、活用していきます。また、施設の基礎情報や保守記録とあわせ、点検結果の情報を集積し、一元的に管理しています。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110195	小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
99,778,000	25,101,800	73,999,000	677,200	25.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科南小学校：空気中総繊維数（アスベスト）調査を行いました。
三郷小学校：令和７年度につづき、長寿命化改良工事を行いました。
小学校の全灯の調査とLED化に向けた設計を行いました。

【繰越明許事業】　学校施設環境改善交付金の前倒し交付により令和８年度に繰越
穂高西小学校：令和７年度につづき、老朽化したトイレの改修及び洋式化工事を行います。

1　委託料　　8,148,800円

主な業務名	決算額
豊科南小学校　空気中総繊維数調査業務委託	668,800円
小学校照明器具全灯LED化工事　調査設計業務委託	6,600,000円

2　工事請負費　　16,953,000円

主な工事	決算額
三郷小学校　長寿命化改良工事	16,953,000円

上記の評価と課題等

豊科南小学校アスベスト調査を実施しました。
三郷小学校は、躯体の是正工事が必要な校舎を中心に工事をすすめ、普通教室棟、普通教室・特別教室棟、昇降口棟工事が完了し、供用が開始されました。
蛍光灯の生産中止をうけ、小学校の照明器具をLEDに更新するため、全灯の調査とLED化の設計を行いました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い　人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	01900190	【明許】小学校冷房設備等整備事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
14,459,000	13,662,000	0	797,000	94.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,547,000		学校施設環境改善交付金	847,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	7,100,000		
		学校施設改修事業（補正予算債）	1,600,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

明科地域小学校２校（明南小・明北小）において、特別教室として使用する教室に冷房設備を導入し学習環境の改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　638,000円

２　工事請負費　　13,024,000円

上記の評価と課題等

近年の猛暑により特別教室への冷房設備設置の必要が生じています。これにより、児童の学習環境の改善を図ることができました。引続き、小中学校の特別教室への冷房設備の設置を推し進めていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い　人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	01900200	【明許】穂高西小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
161,126,000	149,325,000	0	11,801,000	92.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
144,566,000		学校施設環境改善交付金	23,566,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	74,600,000		
		学校施設改修事業（国土強靭化債）	46,400,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

建設時から改修が行われていない穂高西小学校のトイレを令和６年度から令和８年度にかけ、全面改修します。令和７年度はⅡ期工事として北校舎西側の１～３階トイレ、南校舎西側１～２階トイレの改修を行い、タイル張りの湿式トイレを長尺塩ビシート張りの乾式トイレへ改修するとともに、和式トイレの洋式化を行い、施設の環境改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　3,465,000円

２　工事請負費　　145,860,000円

上記の評価と課題等

タイル張りのトイレを改修することで、トイレの臭気や湿気の解消につながること、また、トイレの洋式化も図られることから積極的に整備を進めていきます。
工事期間中はトイレの使用ができず、複数年の工事が必要となることから、学校と調整しながら生徒への影響を最小限にして進める必要があります。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	215

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	小学校費		目標	学び合い　人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	01900210	【明許】三郷小学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,692,920,000	872,852,223	800,046,000	20,021,777	51.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
912,389,000		学校施設環境改善交付金	295,889,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	140,500,000		
		学校施設改修事業	299,100,000		
		学校施設改修事業（補正予算債）	176,900,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市学校施設長寿命化計画で定めた実施計画により、建設から50年以上が経過した三郷小学校校舎の耐用年数を延長させるため、長寿命化改良工事を実施しています。工事期間中であっても授業を続けられるよう、仮設校舎を借上げ、工事対象校舎の教室等を引越しながら工事をすすめている中、本体工事で躯体に是正が必要な箇所が発覚し、工期を延長しました。耐震再診断を行い是正工事と並行して長寿命化改良工事を行い、校舎毎に工事を完了させています。

1	設計監理委託料	38,579,900円
2	工事請負費	715,577,000円
3	借上料	113,630,000円
4	引越等費用	3,903,020円
5	備品等購入費	1,162,303円

上記の評価と課題等

令和７年度は、躯体の是正工事が必要な校舎を中心に工事をすすめ、普通教室棟、普通教室・特別教室棟、昇降口棟工事が完了し、供用が開始されました。令和８年度は、残りの管理・普通教室棟の完了、並びに工事全体のしゅん工を目指します。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当、学校教育担当

決算書ページ	217

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110205	中学校総務管理費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
344,870,000	332,293,207	0	12,576,793	96.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
77,890,040		公共施設目的外使用料（学校教育課）	105,805		
		その他雑入（学校教育課）	4,125		
		中学校公衆電話料	80,110		
		デジタル活用推進事業債	77,700,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

報償費、需用費、役務費、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費等学校別に予算を編成した方が執行管理上効率的と思われる事業費については各学校別予算とし、一括管理した方が効率的と考えられる事業費について、総務管理費として管理しました。

1　中学校総務管理費（一括管理）

（1）学校事務員・学校庁務員・図書館司書の配置・中学校部活動指導員

中学校に市費職員として、事務員（3人）・庁務員（7人）・学校図書館司書（7人）（会計年度任用職員）を配置し、学校運営の円滑化を図っています。　59,996,559円

[事務員・庁務員・学校図書館司書　報酬・職員手当・費用弁償(通勤費)　59,428,629円
事務員・庁務員・学校図書館司書・支援員　費用弁償(出張旅費)　567,930円]

（2）主な委託事業

業務名	決算額	内容等
学校施設保守業務等	13,869,783 円	警備業務、自家用電気工作物保安、プール施設点検、消防用設備点検、防火設備点検、地下タンク保守、エレベータ保守、FFストーブ保守等

2　市内７中学校の総務管理費

（1）市内中学校の生徒数等(R7.5.1現在 ｸﾗｽ数には特別支援学級数を含む)　() 内R6年度

学校名	児童数	クラス数	学校名	児童数	クラス数
豊科南中学校	341 (316)	15 (14)	三郷中学校	484 (493)	20 (21)
豊科北中学校	354 (353)	17 (17)	堀金中学校	227 (240)	10 (11)
穂高東中学校	432 (438)	17 (18)	明科中学校	157 (161)	9 (9)
穂高西中学校	364 (378)	17 (17)			
			合計	2,359 (2,379)	105 (107)

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	学校管理費			
	事業	0110205	中学校総務管理費		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）　各中学校には、実情に応じた予算を配当し、執行を行いました。

節名称	決算額	主な内容
07　報償費	908,480 円	講師謝礼他
10　需用費	88,465,072 円	学校管理用消耗品、燃料費、施設修繕、光熱水費、印刷製本、物品修繕外
11　役務費	7,979,795 円	通信運搬費、マット等のレンタル、楽器調整、庭木の剪定、クリーニング外
12　委託料	2,882,330 円	粗大ごみ処理、庭木の伐採
13　使用料及び賃借料	135,879 円	コピー機使用料、学校田等賃借料
17　備品購入費	5,132,601 円	生徒用の机椅子、整理戸棚外
合　　計	105,504,157 円	※７中学校の総額

（３）　学校用地の賃借　　1,309,795円
　学校運営のために必要な学校用地及び駐車場・スクールバス停用地の借用

（４）　カラー複合機の借上げ　　8,289,600円
　R６年度に市内7中学校の職員室・事務室の印刷機器をカラー複合機に入れ替えました。

（５）　管理備品等の購入　3,900,490円
　石油温風暖房機、可搬式ヒーター

（６）災害共済給付掛金　　2,203,025円
生徒の「学校の管理下」(登下校を含む)における災害等の対策として、日本スポーツ振興センターの災害給付制度に加入しています。

加入者数	共済掛金	災害発生件数	給付件数	給付額
2,359人	2,203,025円	119件	265件	2,339,436円

３　中学校情報教育推進事業（学校ICT事業の推進）
- 学校システム管理（委託料）　　10,060,281円
- 教育用(パソコン教室)及び校務用パソコン等のリース(借上料)　　21,566,028円
- 自動採点システム使用料　　924,000円
- 校務支援システム負担金　　4,246,200円
- 電子黒板等購入　　86,350,000円

上記の評価と課題等

学校生活環境を快適なものとするため、市内７中学校の適正な管理運営を実施しました。
生徒数は、R５年度は対前年比減（49人減）でしたが、R７年度も減少(R6：2,379、R7：2,359人　20人減)となりました。学級数も２学級減少（普通学級：2減　特別支援学級：増減なし）しました。
GIGAスクール構想に基づいて整備したICT機器を活用し、引き続きICTを活用した教育の推進を図っていきます。
学校運営に必要な経費を計上支出することで学校生活や学習活動を支える条件整備など、きめ細やかな対応が行えました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当、学校教育担当

決算書ページ	217

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110245	中学校教育振興費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
91,009,000	83,938,221	0	7,070,779	92.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
36,939,310		特別支援教育就学奨励費補助金	2,081,000	地域スポーツクラブ活動体制整備事業	1,751,000
		被災児童生徒就学等支援事業補助金	151,910	地域文化芸術クラブ活動体制整備事業	281,400
		中学校部活動指導員任用事業補助金	1,838,000	指定寄付金	714,000
		理科教育設備整備費補助金	1,122,000	ふるさと寄附基金繰入金	29,000,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　中学校就学援助事業

（1）要保護・準要保護児童生徒就学援助費　　35,861,247円

経済的理由によって就学が困難と認められる生徒に対して就学援助費を支給しました。

対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

(支給実績)

要保護生徒		準要保護生徒		合　　計	
0人	0円	347人	35,861,247円	347人	35,861,247円

※要保護生徒の国庫補助対象経費：修学旅行費（国庫補助率：対象経費の1/2)

※要保護生徒は修学旅行費のみが対象

※準要保護のうち被災生徒　1人、支給額　151,910円（県補助率10/10）

（2）特別支援教育就学援助費　　対象生徒数:77人　支給額:4,918,406円

特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、就学援助費を支給しました。

対象経費:学用品費、新入学児童生徒学用品費、修学旅行費、学校給食費等

※国庫補助率：対象経費の1/2

(新入学児童生徒学用品費に市独自加算があり、独自加算分は補助対象外)

- 要保護とは生活保護受給者(年度内廃止者含む)
- 準要保護とは所得要件(世帯収入)
- 特別支援教育就学奨励費とは特別支援学級在籍かつ所得要件(世帯収入)

2　中学校教科用指導書等購入事業

・令和７年度実績なし

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110245	中学校教育振興費		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３ 市内７中学校

学校で必要な教材用消耗品、教材備品、児童用図書を購入して学習環境の整備を進めました。

節名称	決算額	主な内容
10　需要費	15,103,837 円	教育事業を進めるために必要な消耗品
17　備品購入費（教材）	5,880,429 円	吹奏楽等楽器、理科振興備品、ミシン、体育用マット、跳び箱、冷蔵庫外
17　備品購入費（図書）	6,088,848 円	図書館配備図書　達成率110.14％
合計	27,073,114 円	

※達成率：国が目標と定めた蔵書数（学校図書館図書標準）に対しての達成率

４　　地域部活動推進事業

・中学校教諭の部活動負担の軽減、部活動の地域展開の進展を目的として部活動指導員を雇用しました。

・小学校課外クラブ活動と中学校部活動について、技術的指導者として学校外部の指導者を派遣します。また、朝の自主練習を実施した際に地域の見守りとして、巡回員を派遣します。

・部活動の地域展開の取り組みにより誕生した「地域クラブ」への支援のため、地域クラブの指導者謝礼を負担しました。

＜令和７年度 実績＞

部活動指導員	12名	2,834,400円
部活動外部指導者総数	49名	1,831,750円
朝の自主練習巡回員総数	29名	212,800円
地域クラブ指導者	26名	4,487,400円

上記の評価と課題等

生徒が安心して教育を受け、学校生活を送れるよう、経済的支援や、学習面・生活面における支援を必要とする家庭について、学校長等と連携しながら対応していきます。

学校別の教育振興費消耗品及び備品購入費は、基本額・人数割・クラス割により予算額を算出し配当しています。また、図書購入費は達成率を基に予算額を算出して配当しています。

配当された予算内で必要な教材や備品等を購入していますが、楽器など高額な備品で老朽化が著しいものについては、一度に整備することが困難であるため、学校と協議・調整を行いながら計画的に購入しています。

地域部活動推進事業では、地域クラブの指導者謝礼の負担を中心として支援を続けていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	教育指導室

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	教育振興費			
	事業	0110250	中学校通級指導教室事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
394,000	357,833	0	36,167	90.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　LD等通級指導教室「まなびの教室」の運営
※LDとは、Learning Disabilitiesの略、学習障がいを意味します。

設置校：穂高東中学校２教室、三郷中学校１教室
サテライト校：穂高西中学校１教室、豊科北中学校１教室、堀金中学校１教室
「まなびの教室」は、通常の学級に在籍している発達障がい・学習障がい・情緒障がい等を有する生徒に対し、各教科等の指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいの状態に応じた特別の指導を通級指導教室にて実施しています。
県から担当教員３人が配置され、通級による個別指導や教育相談にあたりました。

２　令和７年度通級及び相談支援実績

	通級人数	教育相談
まなびの教室	46人	16人
合　計		62人

上記の評価と課題等

中学校では、通常学級の授業や部活動を大切にしている生徒もいるため、学校生活に配慮しながら通級による指導を実施しています。令和８年度から「まなびの教室」は３教室から４教室（穂高東中２、三郷中２）に増設予定です。サテライト教室も設置することで、市内中学校から広く教育相談を受けることができています。通級指導教室での学びは、在籍校（担任や学級）、家庭等と連携し、継続的に指導・支援することで、その子どもの日常生活におけるコミュニケーションをはじめとした力に繋がります。進路等を含め、本人の願いを軸にしながら、支援者間で連携を図るよう努めます。通級指導教室での学びを、本人の日常生活でも発揮できる状態（汎化）を目指して、指導・支援に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
55,060,000	51,990,388	0	3,069,612	94.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市内中学校７校について、生徒の安全・安心の学校施設環境を維持するための修繕を実施しました。

1　施設修繕　　26,185,049円（ガラス破損などの軽微なものは学校予算にて対応）

主な修繕	件数	決算額	実施校
照明修繕（蛍光灯からLED照明へ）	６件	459,360円	堀金中学校外
プール関連設備修繕	４件	753,280円	穂高東中学校外
給排水設備修繕	８件	2,206,875円	豊科南中学校外
空調設備修繕	５件	1,262,030円	豊科南中学校外
その他修繕	55件	21,503,504円	

2　業務委託　　3,585,165円

主な業務委託	件数	決算額	内容等
草刈作業	１件	39,449円	三郷中学校外
伐採・剪定作業	10件	1,409,923円	穂高東中学校外
公立学校施設台帳作成	１件	299,200円	市内全中学校
明科中学校中庭地盤状況確認	１件	1,595,000円	

3　工事請負費　　15,505,820円

主な工事	件数	決算額	実施校
空調機改修工事	１件	1,221,000円	豊科北中学校
消防設備関連工事	１件	3,080,000円	明科中学校
体育館床塗装工事	１件	7,150,000円	豊科北中学校
その他工事	11件	4,054,820円	

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110285	中学校施設維持修繕事業		施策	学校教育の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

4　学校施設の点検業務

項　目		頻　度
建築物定期調査	建築基準法12条に基づく、建築物及び建築設備の点検	３年に１度
防火設備点検	シャッターの動作及び動作制御盤やシャッターと連動している煙感知器の保守点検	毎年
消防用設備点検	消防法に規定される設備、機器（制御盤、感知器及び消火栓設備）等の保守点検	毎年
昇降機保守点検	常用エレベーターの保守点検	毎年
自家用電気工作物点検	自家用電気工作物の保安管理	毎年
プール設備点検	水泳プール循環機等の点検	毎年
高架水槽・受水槽清掃点検	学校の飲料水を清潔に保つための清掃・点検	毎年
空調機定期点検	フロン排出抑制法に基づく空調機定期点検	３年に１度

上記の評価と課題等

学校施設を常に健全な状態に保ち、安全安心で快適な教育環境を維持するためには、老朽化や機能の低下が生じる前に予防的な修繕を行う必要があります。従来の事後保全での整備と比較して施設を長く使用することができる「学校施設の長寿命化」を図るうえで「計画保全」の考え方が重要になります。

効率的、効果的な保全を行うためには、その判断材料となる施設の定期的な点検業務を確実に行っていくことが重要です。

本市の学校施設では、点検業務を着実に実施し活用していきます。また、施設の基礎情報や保守記録とあわせ、点検結果の情報を集積し、一元的に管理しています。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	0110290	中学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,183,000	5,060,000	0	123,000	97.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

中学校の全灯の調査とLED化に向けた設計を行いました。

1　業務委託　　5,060,000円

業務名	決算額
中学校照明器具全灯LED化工事　調査設計業務委託	5,060,000円

上記の評価と課題等

蛍光灯の生産中止をうけ、中学校の照明器具をLEDに更新するため、全灯の調査とLED化の設計を行いました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い　人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	01900220	【明許】中学校冷房設備等整備事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
45,488,000	33,506,000	0	11,982,000	73.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
31,664,000		学校施設環境改善交付金	5,664,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	14,900,000		
		学校施設改修事業（補正予算債）	11,100,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

堀金中学校図書館、明科中学校理科室において、教室に冷房設備を更新・導入し学習環境の改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　550,000円

２　工事請負費　　32,956,000円

上記の評価と課題等

近年の猛暑により特別教室への冷房設備設置の必要が生じています。また、図書館、音楽室等は冷房設備の更新時期がきています。適切に設置・更新することにより、生徒の学習環境の改善を図ることができました。引続き、小中学校の特別教室への冷房設備の設置を推し進めていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い　人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	01900230	【明許】三郷中学校施設改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
92,038,000	74,349,000	0	17,689,000	80.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
66,476,000		学校施設環境改善交付金	15,576,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	20,300,000		
		学校施設改修事業（国土強靭化債）	30,600,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

三郷中学校のトイレを令和６年度から令和７年度にかけ、全面改修します。令和７年度はⅡ期工事として北校舎トイレを中心に改修を行い、タイル張りの湿式トイレを長尺塩ビシート張りの乾式トイレへ改修するとともに、和式トイレの洋式化を行い、施設の環境改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　2,145,000円

２　工事請負費　　72,204,000円

上記の評価と課題等

タイル張りのトイレを改修することで、トイレの臭気や湿気の解消につながること、また、トイレの洋式化も図られることから積極的に整備を進めていきます。
工事期間中はトイレの使用ができず、複数年の工事が必要となることから、学校と調整しながら生徒への影響を最小限にして進める必要があります。

令和８年度	
部	教育部
課	学校教育課
係等	学校庶務担当

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	中学校費		目標	学び合い　人と文化を育むまち
	目	03	学校施設整備費			
	事業	01900240	【明許】中学校照明ＬＥＤ化事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
31,647,000	23,804,000	0	7,843,000	75.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
23,716,000		学校施設環境改善交付金	7,716,000		
		学校施設整備事業（特例債・施設）	800,000		
		学校施設改修事業（補正予算債）	15,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科南中学校、明科中学校の体育館において、照明器具のLEDへの更新を行い、学習環境の改善を図ることができました。

１　設計監理委託料　　880,000円

２　工事請負費　　22,924,000円

上記の評価と課題等

LED照明への更新が部分的に完了していなかった豊科南中学校、明科中学校の体育館の照明の更新を行いました。体育の授業等で安定した環境を提供できるようになりました。これにより、小中学校の全ての体育館・講堂等のLED照明への更新を完了しました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	207

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110045	給食センター総務費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
778,647,000	774,790,842	0	3,856,158	99.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
504,094,699		学校給食費（現年分）	434,228,879		
		学校給食費（滞納繰越分）	365,820		
		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）	69,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　市内学校給食センターの運営体制

学校給食センターの運営に係る適正な人員配置により円滑な給食運営が行えました。

※令和７年４月現在

	正規職員等	会計年度任用職員	県栄養士	合計
北部学校給食センター	1人	23人	2人	26人
堀金学校給食センター	1人	13人	1人	15人
中部学校給食センター	3人	19人	2人	24人
南部学校給食センター	1人	23人	2人	26人
合　計	6人	78人	7人	91人

2　地産地消の推進

（1）地元産食材の使用等

月１回「安曇野の日」を設定し、わさびコロッケやりんごナポリタンなどの地元産食材を使用した献立のほか、かぼちゃ団子などの郷土食や行事食を取入れた献立を提供できました。また、安曇野市に縁のある「新宿中村屋」のご協力のもと、中村屋カリーを年２回学校給食で提供しました。

（2）生産者等との交流

生産者団体等（農業者）やＪＡと地域食材について情報交換を行い、交流を深めることで学校給食へ季節を感じることができる地元産農作物の活用が図れました。

3　安全な食材への取り組み

児童・生徒に安心・安全でおいしい給食を提供するため、各給食センターで生産地の確認や成分表による含有物質の確認を行う等、給食として提供する食材の安全性を確認しました。

4　学校給食費の額の改定

物価高騰等による影響に伴い、令和６年度に続き令和７年４月から学校給食費の額を改定しました。

なお、引き続き保護者負担額は据え置き、増額分は公費負担としています。

給食費単価（１食）	小学校	中学校
改定後（R７年度）	330円（280円）	390円（330円）
改定前（R６年度）	320円（280円）	375円（330円）
増減	10円（0円）	15円（0円）

（　）内は保護者負担額

5　学校給食費の徴収

給食費の口座振替から徴収、督促状の発送等の業務を一元管理できる収納管理システムの運用により、学校給食費の効率的な徴収が出来ました。

上記の評価と課題等

職員の健康管理、保菌検査、衛生管理指導、異物混入等防止の徹底を図り、安全・安心でおいしい給食の提供に努めました。また、季節を感じる地元産農産物等をできる限り使用した給食を提供するなど、学校給食における地産地消や食育を推進することが出来ました。

令和７年度も給食の質および量の確保を図るため、食材費高騰分の給食費を増額改定しましたが、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用することで保護者負担を軽減することが出来ました。

令和８年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	209

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110050	北部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
74,495,000	70,912,890	0	3,582,110	95.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
306,776		食用廃油売渡し収入	61,776		
		その他雑入（ゼロカーボン推進課）	245,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 施設管理、衛生管理の取組み

（１）施設管理

北部学校給食センターは、平成24年２月に稼働した施設で、令和８年１月で14年を経過しており、近年では、一部の設備や機器類の老朽化等による不具合も発生していますが、機械設備や厨房機器の保守点検を専門業者に 委託することで、機器や設備の異常を早期に発見し、初期対応を適切に行うことで大きなトラブルや事故を未然に防ぐことができました。

（２）衛生管理

給食センターの調理員・職員に家族の健康状態も含めた毎日の健康観察記録を義務付けることで感染症等の予防対策を講じるとともに給食センターに入場する全ての来所者に７日前までの健康状態の把握を求めるなど、感染症対策や衛生対策を徹底しました。

２ 食育推進と地産地消の取組み

（１）食育の推進

毎日の献立表に「一口メモ」を掲載し、給食に関する情報を各家庭に発信するとともに各クラスに給食だよりを随時発行することで、給食の特色や情報を提供することができました。また、月に１回、「安曇野の日」を設定して地場産物を使った行事食や季節料理を提供し、インスタグラムに投稿することで給食や食育に関する情報を配信できました。

（２）地産地消の推進

米飯は安曇野産米を使用し、農産物は可能な限り安曇野産を使用することで安全・安心な食材で給食提供ができました。また、無農薬で環境に優しい有機米等の提供を年４回実施しました。

（３）給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

小学校保護者の見学・試食会に41人の皆様を受入れ、給食に対する理解を深めていただきました。
また、職場体験学習で中学生２名を受け入れました。

３ アレルギー対応

保護者、学校職員、給食センター職員が学校説明会や事前協議会を行い、アレルギー対応食提供にそれぞれの立場で共通認識を持ち組織的に対応することで、食物アレルギーを有する児童・生徒へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行うことができました。
また、アレルギー調理室と一般調理室を完全に分離して調理するとともにアレルギー食を専門に取扱う調理員を専任配置することで調理過程でのアレルギー食材混入防止対策を徹底しました。

上記の評価と課題等

職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入防止等の徹底を図り、引き続き安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできる限り使用した給食を提供するなど、学校給食における地産地消や食育の推進に取組みます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	209

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110055	堀金給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,015,000	24,701,666	0	2,313,334	91.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,450		食用廃油売渡し収入	21,450		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 施設管理、衛生管理の取り組み

（１）施設管理

堀金学校給食センターは建設から18年以上が経過し、施設、設備の老朽化が進んだことから、令和５年度から令和６年度にかけて厨房機器等更新工事を実施しました。現在は、保守点検を行いながら順調に稼働しています。

（２）衛生管理

食中毒対策と感染症対策として、職員の日々の健康確認はもとより、月に２回の保菌検査を実施しており、来所者にも７日前までの健康チェックを求めています。

２ 食育推進と地産地消の取組み

（１）食育の推進

毎日の献立表に「一口メモ」を掲載し、給食に関する情報を各家庭に発信すると共に、各クラスにお便り「Happy Kitchen Time」を随時発行することで、給食の特色や情報を提供することができました。

また、月に１度の「安曇野の日」に、地場産物を使った行事食や季節料理を提供し、インスタグラムに投稿することで学校給食のPRを行いました。

（２）地産地消の推進

米飯は安曇野産米を使用し、農産物は可能な限り安曇野産を使用することで安全・安心な食材で給食提供ができました。また、無農薬で環境に優しい有機米等の提供を年４回実施しました。

（３）給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

給食に対する理解を深めていただくことを目的として、小・中学校の保護者の試食会を行いました。

３ アレルギー対応

保護者、学校職員、給食センター職員で学校説明会や事前協議会を行い、アレルギー対応食提供にそれぞれの立場で共通認識を持つことで、食物アレルギーを有する児童・生徒へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行うことができました。また、アレルギー室と一般調理室を完全に分離して調理するとともにアレルギー食を専門に取扱う調理員を専任配置することで調理過程でのアレルギー食材混入防止対策が徹底しました。

上記の評価と課題等

職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入防止等の徹底を図り、引き続き安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできる限り使用した給食を提供するなど、学校給食における地産地消や食育の推進に取組みます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110060	中部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
79,679,000	76,576,968	0	3,102,032	96.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
109,655		太陽光発電売電収入	38,012		
		食用廃油売渡し収入	71,643		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 施設管理、衛生管理の取組み

（１）施設管理

中部学校給食センターは、平成19年８月に稼働した施設で、令和７年７月で18年を経過しており、近年では、一部の設備や機器類の老朽化等による不具合も発生していますが、機械設備や厨房機器の保守点検を専門業者に委託することで、機器や設備の異常を早期に発見し、初期対応を適切に行うことで大きなトラブルや事故を未然に防ぐことができました。

（２）衛生管理

給食センターの調理員・職員に家族の健康状態も含めた毎日の健康観察記録を義務付けることで感染症等の予防対策を講じるとともに給食センターに入場する全ての来所者に７日前までの健康状態の把握を求めるなど、感染症対策や衛生対策を徹底しました。

２ 食育推進と地産地消の取組み

（１）食育の推進

毎日の献立表に「一口メモ」を掲載し、給食に関する情報を各家庭に発信するとともに各クラスに給食だよりを随時発行することで、給食の特色や情報を提供することができました。また、月に１回、「安曇野の日」を設定して地場産物を使った行事食や季節料理を提供し、インスタグラムに投稿することで給食や食育に関する情報を配信できました。

（２）地産地消の推進

米飯は安曇野産米を使用し、農産物は可能な限り安曇野産を使用することで安全・安心な食材で給食提供ができました。また、無農薬で環境に優しい有機米等の提供を年４回実施しました。

（３）給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

職場体験学習で中学生１名を受け入れました。

３ アレルギー対応

保護者、学校職員、給食センター職員が学校説明会や事前協議会を行い、アレルギー対応食提供にそれぞれの立場で共通認識を持ち組織的に対応することで、食物アレルギーを有する児童・生徒へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行うことができました。また、アレルギー調理室と一般調理室を完全に分離して調理するとともにアレルギー食を専門に取扱う調理員を専任配置することで調理過程でのアレルギー食材混入防止対策を徹底しました。

上記の評価と課題等

職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入防止等の徹底を図り、引き続き安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできる限り使用した給食を提供するなど、学校給食における地産地消や食育の推進に取組みます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110065	南部給食センター費		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
66,064,000	64,117,491	0	1,946,509	97.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
123,643		太陽光発電売電収入	64,012		
		食用廃油売渡し収入	59,631		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１ 施設管理、衛生管理の取組み

（１）施設管理

南部学校給食センターは、平成19年８月に稼働した施設で、令和７年７月で18年を経過しており、近年では、一部の設備や機器類の老朽化等による不具合も発生していますが、機械設備や厨房機器の保守点検を専門業者に委託することで、機器や設備の異常を早期に発見し、初期対応を適切に行うことで大きなトラブルや事故を未然に防ぐことができました。

（２）衛生管理

給食センターの調理員・職員に家族の健康状態も含めた毎日の健康観察記録を義務付けることで感染症等の予防対策を講じるとともに給食センターに入場する全ての来所者に７日前までの健康状態の把握を求めるなど、感染症対策や衛生対策を徹底しました。

２ 食育推進と地産地消の取組み

（１）食育の推進

毎日の献立表に「一口メモ」を掲載し、給食に関する情報を各家庭に発信するとともに各クラスに給食だよりを随時発行することで、給食の特色や情報を提供することができました。また、月に１回、「安曇野の日」を設定して地場産物を使った行事食や季節料理を提供し、インスタグラムに投稿することで給食や食育に関する情報を配信できました。

（２）地産地消の推進

米飯は安曇野産米を使用し、農産物は可能な限り安曇野産を使用することで安全・安心な食材で給食提供ができました。また、無農薬で環境に優しい有機米等の提供を年４回実施しました。

（３）給食センター視察・試食・体験学習の受け入れ

小学校保護者の見学・試食会に18人の皆様を受入れ、給食に対する理解を深めていただきました。また、職場体験学習で中学生２名を受け入れました。

３ アレルギー対応

保護者、学校職員、給食センター職員が学校説明会や事前協議会を行い、アレルギー対応食提供にそれぞれの立場で共通認識を持ち組織的に対応することで、食物アレルギーを有する児童・生徒へのアレルギー対応食（対象食材の完全除去食、あるいは代替食）の提供を行うことができました。また、アレルギー調理室と一般調理室を完全に分離して調理するとともにアレルギー食を専門に取扱う調理員を専任配置することで調理過程でのアレルギー食材混入防止対策を徹底しました。

上記の評価と課題等

職員の健康管理はもとより、保菌検査、衛生管理指導、異物混入防止等の徹底を図り、引き続き安全・安心でおいしい給食の提供に心がけていきます。

季節を感じる地元産農産物等をできる限り使用した給食を提供するなど、学校給食における地産地消や食育の推進に取組みます。

令和８年度	
部	教育部
課	学校給食課
係等	学校給食担当

決算書ページ	211

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	給食センター費			
	事業	0110067	給食センター改修事業		施策	学校教育の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
220,000	154,000	0	66,000	70.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　工事概要
（1）工事名　　令和７年度安曇野市北部学校給食センター軒樋修繕
（2）工　期　　令和８年３月５日～令和８年３月31日
（3）工事費　　154,000円
（4）概　要　　軒樋取替
　　軒樋損傷部の撤去、軒樋工事、　塩ビ角型材４ｍ
　　軒樋結合部取替
　　結合損傷部の撤去、結合部材の取替１個

上記の評価と課題等

融雪により損傷した軒樋の取替修繕を行いました。今後も給食センター施設を健全に維持管理し、引き続き安全・安心な給食の提供を実施します。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	221

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110305	社会教育総務費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
250,330,000	247,474,453	0	2,855,547	98.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

社会教育の推進を図り、活力ある人づくり地域づくりに資するため、次の事業を行いました。

1　社会教育委員の会議　（決算額：234,500円）

社会教育法に基づき、社会教育に関する助言等を受けるため、社会教育委員12名を置き、各種事業について協議しました。

（1）安曇野市社会教育委員の会議　３回
- 市生涯学習事業の検討、進捗状況の管理

（2）中信地区社会教育委員連絡協議会 総会及び研修会
- 麻績村の事例発表と情報交換

（3）長野県社会教育研究大会への参加

（4）中信地区社会教育委員連絡協議会　安曇野市ブロック研修
- リニューアルした安曇野市美術館の視察

（5）教育委員との懇談会の開催

2　生涯学習推進計画

第２次安曇野市生涯学習推進計画後期計画（令和５年度～令和９年度）は、「ふるさと安曇野をまるごと学びの場にして生きる」を基本理念に、学習機会の充実と学習成果の活用に関する62の施策項目が掲げられています。

計画の推進にあたり、社会教育委員会議において進捗状況を確認し、評価及び検証を行いました。

また、令和７年度の施策指標及び成果指標を設定し、各施策の推進に取り組みました。

上記の評価と課題等

社会教育委員の会議において、社会教育事業の計画や実績について協議していただき、各種事業の改善につなげることができました。

また、県及び中信地区の社会教育連絡協議会で開催される研修会等に社会教育委員が参加することで、生涯学習に関する視野を広げ、安曇野市の社会教育事業への理解や助言を積極的に行ってもらうことができました。

第２次安曇野市生涯学習推進計画後期計画に基づき、生涯学習の推進を図っていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	223

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110308	生涯学習推進費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,124,000	2,693,475	0	1,430,525	65.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
271,000		地域日本語教育推進補助金	271,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市生涯学習推進計画に基づき、健康で豊かな生涯学習社会の実現に向け各種事業に取り組みました。

1　生涯学習講座実施事業（決算額：1,583,906円）
(1) 市民大学講座　信州大学編（全５回）
信州大学との包括的連携事業として大学の協力をいただき、講座を開催しました。
受講者数：延べ186人
(2) 安曇野アカデミー（全５回）
「長谷川　清登と飯沼　正明」や「相馬愛蔵」など安曇野ゆかりの人物をテーマに、講演（５回）を開催しました。
受講者数：延べ188人
(3) 学校開放講座（15講座38回）
市内の中学校、高等学校の協力により、学校施設を会場に教員等が講師となり開催しました。
受講者数：延べ238人
(4) 日本語教室（毎週１回、豊科・穂高・三郷・明科地域で実施）
市内在住の外国人を対象とした日本語教室を市民ボランティアの協力により実施しました。
開催数：延べ163回　受講者数：延べ1,114人
(5) オンライン日本語教室（全14回）
オンラインでの日本語教室を開催しました。
受講者数：延べ76人

2　社会教育団体支援事業（決算額：1,109,569円）
各地域芸術文化協会等社会教育団体の運営支援として、６団体に補助金を交付しました。

上記の評価と課題等

学校開放講座は、市内の中学校・高校４校で開催しました。人気が高く、好評で、幅広い年齢層にご参加いただき、市民ニーズに即した講座を開催することができました。
また、安曇野アカデミーでは、毎年郷土の自然や歴史、文化を知るための講座として定着しています。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	233

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	03	人権教育推進費			
	事業	0110365	人権教育推進事業		施策	共生社会の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,316,000	4,408,399	0	907,601	82.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
45,000		人権教育促進事業補助金	45,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市人権教育・啓発推進計画に基づき、人権教育の推進に向けて全市的に啓発事業に取り組むとともに、各地域の人権教育推進協議会等と地区公民館での取り組みを推進しました。

１　人権教育推進事業
（１）人権教育推進委員及び人権教育指導員　（決算額：1,648,500円）
①市小委員会　１回・合同委員会　２回開催（参加者:延べ223人）
②５地域人権教育推進協議会：各地域２回開催（参加者:延べ248人）
（２）企業人権教育推進協議会　（決算額：2,000円）
35企業56事業所が加入。
①総会及び研修会（参加者:23人）
②企業人権啓発講演会（人権のつどい）（参加者:219人）
（３）人権教育集会所管理　（決算額：2,578,730円）
老朽化に伴い、令和６年度末をもって廃止した、穂高・堀金人権集会所の解体に向け、解体の実施設計等を行いました。

上記の評価と課題等

講演会や研修会を開催し、多くの方に人権意識を高める機会となりました。
企業人権推進協議会等との共催事業である企業人権啓発講演会（人権のつどい）では、市政20周年記念事業として姜尚中氏を講師としてお招きし、多くの市民が参加されました。
市民一人ひとりが様々な人権問題について正しい理解と認識を深めるため、地域公民館主催・地区公民館主催の人権学習会などを通じ、地域に密着した人権教育活動を推進していきます。
廃止した人権教育集会所については、解体設計を行い、来年度に解体を予定しています。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	235

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	みんなでともにつくるまち
	目	04	青少年健全育成費			
	事業	0110371	二十歳の集い実施事業		施策	協働によるまちづくり

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,296,000	4,885,496	0	410,504	92.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

二十歳となる若者を一堂に迎えて祝福するとともに、二十歳としての自覚と誇りをもって前進することを念願して、安曇野市二十歳の集いを挙行しました。

今回はテーマを「灯火～感謝の想いを受け継ぎ、仲間とともに未来を照らす光～」とし、テーマに関連した３つの交流企画（ありがとうクイズ、写真ブース＆＃、未来へのランタン飛ばし）を実施しました。また、記念品として式典当日の写真等を収めた「記念冊子」を作成・配布しました。

１　二十歳の集い

（１）　開　催　　令和８年１月11日（日）
（２）　主　催　　安曇野市、安曇野市教育委員会、安曇野市二十歳の集い実行委員会（委員12人）
（３）　対象者　　972人
（４）　参加者　　688人（70.8%）
（５）　主な経費　　・駐車場等誘導業務委託　247,500円
・会場設営委託　1,650,000円
・写真撮影・記念冊子作成委託　　1,482,338円
・LEDスカイランタン打ち上げ業務委託　　995,060円

上記の評価と課題等

実行委員は、前年度実行委員会で活躍した４名のサポーターを含め12名で、３回の実行委員会と役割ごとのチームとして積極的に運営に参加していただきました。自らが実行委員として活動する中で、新たな友人と出会い、やりがいを感じたとの感想を寄せられました。

その取り組みが、参加者の高い満足度（参加者アンケート：大変良い60%、良い36%）につながり、社会参加と明るく豊かな社会づくりへの積極的な意識・態度を養う契機となりました。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	社会教育係

決算書ページ	235

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110380	中央公民館事業費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
73,804,000	72,182,709	0	1,621,291	97.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市公民館の理念の下、５地域の公民館と連携を取りながら、全市的な事業展開を図りました。

1　公民館運営審議会(決算額：108,500円)
　公民館運営審議会（委員12人）を３回開催し、公民館事業の計画・実績に意見を頂きました。
2　第19回安曇野市公民館大会（決算額：73,805円）
　６月８日（日）に開催し、功労者・公民館報表彰、事例発表及び講演会を行いました。
　参加者：254人
3　公民館報（決算額：2,093,892円）
　年４回発行し、地域のグループ、地域公民館・地区公民館の活動などを掲載しました。
4　第15回安曇野市総合芸術展（決算額：227,500円）
　３月５日（水）～13日（金）に各地域文化祭の出展作品から選考された122点を展示しました。
　入場者：584人
5　生涯学習情報誌（決算額：678,700円）
　年２回、計2,000部発行し、講座情報、サークルやリーダーバンク等の人財情報、施設情報のほか、おすすめ講座のレポート等を掲載しました。
　YouTube「Linkニュース」での情報発信を行いました。
6　地区公民館支援（決算額:32,072,104円）
　地区公民館活動補助金として98地区公民館に30,816,344円の補助を行い、活動を支援しました。
　地区公民館建設補助金として１地区公民館に1,255,760円の補助を行いました。
　市ホームページ内に地区公民館のサイトを立ち上げ、情報発信をしています。
7　公民館講座（決算額：1,296,000円）
　５地域の公民館が、地域の文化・歴史・特性を生かした講座を開催しました。

上記の評価と課題等

地区公民館が、十分な活動ができるよう費用の一部を補助することで、活動資金が乏しい公民館の支援を行うとともに、事業の活発化を図ることができました。

また、今年度は活用が１館であった地区公民館活動補助金についても、物価高騰等に対応するため拡充を検討し、地区公民館支援を進めていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	豊科生涯学習係

決算書ページ	237

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110385	豊科公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
24,337,000	22,329,507	0	2,007,493	91.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,692,449		豊科公民館使用料	3,623,290		
		豊科公民館雑入（コピー代）	69,159		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

施設を快適に利用していただけるよう、日常清掃、設備の保守点検、修繕等を行い、適正な維持管理に努めました。

2　主な経費

（1）光熱水費　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
3,240,037	5,076,425	4,642,620

（2）管理委託料　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
10,149,431	10,127,082	11,034,630

3　施設利用者数の推移　（単位：人）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
32,388	36,733	41,340

上記の評価と課題等

引き続き、利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	豊科生涯学習係

決算書ページ	237

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110390	豊科公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,236,000	6,391,316	0	844,684	88.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
61,200		豊科公民館雑入（講座受講料）	61,200		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

市民の主体的な「学び」と「実践」を支援するとともに、地区公民館や団体等と連携・協働を深め、地域づくりを推進しました。

市民参加型のピアノリレーコンサートなどを開催し、ホールの利活用推進に努めました。

2　主な事業

（1）第21回豊科地域文化祭（10月30日～11月16日）　出展及び出演者数：600人

・菊花展　・短歌大会　・芸能発表会

・華道、書道展　・俳句大会　・一般作品展　外

（2）主な開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
第63回童謡祭り・第45回作詞作曲コンクール	1	150
コーラスグループ交流発表会	1	200
楽しい菊づくり講座	7	154
彫刻の巨匠を巡る美術館ツアー	1	20
ICT講座	1	7

（3）地区公民館支援　役員研修会　開催回数：１回　参加者数：111人

（4）体育事業

・球技大会（ソフトボール・ワンバウンドふらば～るバレー）を開催しました。

・第20回豊科地域さわやか市民運動会を開催しました。

・ボッチャ大会を開催しました。

3　主な事業経費

・公民館事業報償費（サポート委員謝礼、文化祭・運動会等記念品　外）　769,726円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものへと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	穂高生涯学習係

決算書ページ	239

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110395	穂高公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
36,516,000	35,223,541	0	1,292,459	96.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,178,950		穂高公民館使用料	1,038,950		
		穂高公民館雑入（自販機・印刷機）	140,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

施設を快適に利用していただけるよう、日常清掃、設備の保守点検、修繕等を行い、適正な維持管理に努めました。

2　主な経費

（1）光熱水費(電気料・上下水道料・ガス料)　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
7,619,286	11,180,415	9,868,210

（2）管理委託料（床清掃・エレベーター保守・警備業務・施設管理ほか）　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
10,177,701	10,831,563	11,122,425

3　施設利用者数の推移　（単位：人）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
28,977	33,926	39,341

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	穂高生涯学習係

決算書ページ	239

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110400	穂高公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,697,000	5,368,339	0	328,661	94.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
92,122		穂高公民館雑入（講座受講料）	92,122		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　概要

公民館事業は、人々が学び、その成果を生かす環境を整え、より良いまちづくりを進めるための事業の一つとなっている。穂高納涼祭を開催し市民が繋がりを深め、親睦と交流を図ることができた。同じく6月と10月に球技大会を開催し、運営では競技に精通した市民の協力を得ることにより、当日の競技進行等をスムーズに進めることができ協働が図られた。講座では市職員を講師にする等コスト低減に努めた。

２　主な事業

（１）穂高地域文化祭（10月24日～26日）

・盆栽・山野草展　・あづみ野菊花展
・総合美術展・芸能祭り　｝57団体・702人　｝来場者数：1,964人

（２）主な開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
健康づくり講座	20	248
自然体験・環境講座	6	138
季節のコンサート	3	259
文化教養講座	8	173
趣味の講座	18	206

（３）6月 9人制バレーボール　参加８チーム（７公民館）延べ88人

（４）6月 ソフトボール　雨天中止

（５）8月 穂高納涼祭（ステージ発表・盆踊り）会場;穂高神社北神苑　来場者およそ4,500人

（６）11月 ソフトバレーボール（3カテゴリー）参加36チーム（21公民館）延べ232人

３　主な事業経費

・穂高地域文化祭（パンフレット印刷代、会場設営経費ほか）：929,000円
・公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものへと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	三郷生涯学習係

決算書ページ	239

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110405	三郷公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,258,000	11,677,329	0	580,671	95.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,241,294		三郷公民館使用料	965,130		
		三郷公民館雑入（コピー・自販機等）	276,164		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

施設を快適に利用していただけるよう、日常清掃、設備の保守点検、修繕等を行い、適正な維持管理に努めました。

2　主な経費

（1）管理委託料（施設管理及び清掃、エレベーター保守）　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
5,075,686	2,361,881	5,625,727

（2）三郷公民館借地料　2,673,936円　（単位：円）

3　施設利用者数の推移　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
47,751	11,499	46,888

上記の評価と課題等

今後も利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	三郷生涯学習係

決算書ページ	241

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110410	三郷公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,205,000	5,904,692	0	300,308	95.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
8,400		三郷公民館雑入（講座受講料）	8,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

地域が抱える様々な課題への対応などについて、学習機会を企画・提供し、事業を行ってきました。

2　主な事業

（１）三郷祭（10月11日～11月14日）

・ふれあいコンサート　10月11日（土）　来場者数：　246人
・市民運動会　10月19日（日）　来場者数：1,200人
・文化産業展　10月25日（土）～26日（月）　来場者数：1,200人
・菊花展　11月１日（土）～14日（金）　来場者数：　613人
・芸能発表会　11月７日（土）　来場者数：　540人

（２）主な開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
生きがい講座	5	191
親子支援講座	7	97
健康長寿講座	5	136
教養講座	12	508
ＩＣＴ講座	2	18

（３）地区公民館支援

・普通救命講習会　８月２日（土）　受講者数：　26人

（４）体育事業

・５月及び２月に三郷地域スポーツ大会を開催しました。競技種目は、５月は「ソフトバレーボール」、２月は「ボッチャ」でした。

3　主な事業経費

・市民運動会及び文化産業展設営業務委託　605,880円

上記の評価と課題等

今後も事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策やICTなど時代に即したものへ展開し、地域づくりならびに人づくりを進めます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	堀金生涯学習係

決算書ページ	241

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110415	堀金公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,285,000	6,999,541	0	285,459	96.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,457,572		堀金公民館使用料	2,397,370		
		堀金公民館雑入（コピー等）	60,202		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

公民館を快適に利用できるよう、運営・維持管理を行いました。

2　主な経費

（1）光熱水費(上下水道料・ガス料)　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
99,161	112,687	113,513

（2）管理委託料（清掃及び施設管理ほか）　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
2,927,897	3,106,056	3,343,705

3　施設利用者数の推移　（単位：人）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
40,331	44,047	44,476

上記の評価と課題等

利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう、維持管理に努めていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	堀金生涯学習係

決算書ページ	241

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110420	堀金公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,589,000	5,147,612	0	441,388	92.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
93,853		堀金公民館雑入（講座受講料等）	93,853		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

地域の学習や交流の場であるとともに、地域づくりの拠点としての役割を果たすため、多様化する市民ニーズに対応する各種の事業の企画や実施及び地区公民館の支援を行いました。

2　主な事業

（1）堀金地域文化祭（10月31日～11月２日）

・芸能発表会（出演：18団体/162人　来場：245名）

・作品展（出展：36団体/680点）

（2）開設講座

講座名	開催数（回）	参加（延べ人数）
地域文化・歴史講座	12	477
趣味の講座	18	290
健康づくり講座	13	366
子ども公民館講座	14	176

（3）公民館報「常念の里」発行　　12回

（4）地区公民館支援　公民館関係者研修会　1回　　参加者数：51人

3　主な体育事業

・スポーツ大会（みんなでスポーツin常念：191人・市民運動会：513人・駅伝大会：165人）

4　主な事業経費

・公民館事業報償費（サポート委員謝礼・文化祭等記念品）：　942,962円

・公民館総合補償制度加入掛金：194,000円

上記の評価と課題等

事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策など時代に即したものへと展開し、地域づくりと人づくりを進めます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	明科生涯学習係

決算書ページ	243

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110430	明科公民館事業		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
4,847,000	4,595,407	0	251,593	94.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
31,200		明科公民館雑入（講座受講料）	31,200		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

地区公民館役員を対象に定期会議を開催し、地域づくりの向上を図ることができました。

市民全体の地域づくり団体等との協働により、地域課題に目を向けた講座や学習会を企画、運営することができました。

スポーツ大会等の運営はスポーツ推進員等の協力を得ながら事業を行うことができました。

2　主な事業

（１）明科地域文化祭（10月31日～11月２日）

・展示発表（14団体・８個人）　出展者数　：　603 人
・お楽しみサロン（参加団体：３団体）　出展者数　：　65 人
・芸能発表会（参加団体：18団体）　出展者数　：　112 人

（２）開設講座

講座名	開催数（回）	参加人数（人）
健康づくり講座	11	253
地域文化・歴史・自然探索講座	7	136
ゆとりと生きがい講座	9	274
地域食材活用講座、ICT講座など	5	163

3　主な事業経費

・文化祭報償費　：　159,743　円
・公民館総合補償制度加入掛金　：　194,000　円

上記の評価と課題等

今後も事業の継続性を大事にしながら、フレイル対策やICTなど時代に即したものへ展開し、地域づくりならびに人づくりを進めます。

令和８年度	
部	教育部
課	生涯学習課
係等	明科生涯学習係

決算書ページ	243

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	05	公民館費			
	事業	0110425	明科公民館管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,593,000	8,302,473	0	290,527	96.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,094,827		明科公民館使用料	876,310		
		明科公民館雑入（コピー等）	218,517		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　概要

施設利用方法を周知、徹底し、安全な施設管理を図ることができました。

施設、備品等の点検や修理（ロビー・講堂のLED化）を行い、安心して利用できる環境を整備し、利用者の要望や意向に添えるよう施設案内及び情報提供を行うことができました。

また、利用者の使用日誌を活用し、光熱水費の節減に努めました。

2　主な経費

（１）光熱水費（ガス料）　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
15,440	23,078	21,521

（２）管理委託料（清掃及び施設管理ほか）　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
2,719,747	2,828,573	2,990,801

3　施設利用者数の推移　（単位：円）

令和５年度	令和６年度	令和７年度
14,977	17,991	15,183

上記の評価と課題等

今後も利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう維持管理に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書ページ	223

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		施策	文化・芸術活動の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
650,031,000	644,330,785	0	5,700,215	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
422,671,171		安曇野市文化振興基金利子	120,224	美術館グッズ等販売	80,000
		名誉市民田淵行男顕彰基金利子	5,372	交流学習センター講座受講料	318,900
		ちくに生きものみらい基金利子	149,648	高橋節郎記念美術館電気料	2,255,724
		ちくに生きものみらい基金繰入金	1,382,520	豊科近代美術館大規模修繕工事事業（特例債）	397,600,000
		安曇野市文化振興基金繰入	14,619,866	文化団体補助事業（過疎債ソフト）	4,400,000
		名誉市民田淵行男顕彰基金繰入金	1,738,917		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

「第２次文化振興計画」に掲げた施策の実現に向け諸事業を実施しました。
　諸団体への補助、協働による事業実施などを通じて、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出しました。

１　芸術教育普及事業

(1) 東京藝術大学との交流事業（楽器演奏指導・コンサート）　参加者　大学生20人、中学生73人
　第１回：楽器演奏指導　11月15日豊科北中学校、16日明科中学校
　第２回：２月７日、８日　市内中学生有志

(2) 能楽教室　　能楽に親しむ機会として、平成13年から市内小中学校で開催しています。
　６月17日　豊科南小学校、　６月18日　明北小学校

(3) 新進音楽家オーディション及び選出者のコンサート
　ア　あづみの新進音楽家公開オーディション　７月６日　一般６組６人　ジュニア12組15人
　イ　あづみの新進音楽家コンサート　12月６日　出演者４組６人、入場者174人
　ウ　あづみのジュニアクラシック音楽会　３月14日　出演者８組11人、入場者118人
　エ　０歳からのミニコンサート　　第１回５月30日入場者106人、第２回10月４日入場者87人

(4) ピアニスト日南由紀子さんによる学校でのワークショップ・コンサート
　ワークショップ　11月19日　コンサート　11月20日　穂高北小学校

(5) 熊井啓監督顕彰事業
　ア　映画上映会／奥田瑛二・安藤和津トークショー　９月13日「千利休　本覺坊遺文」343人
　イ　ミニ上映会５月14日「日本列島」47人／２月13日「帝銀事件 死刑囚」34人

(6) 美術系大学との連携事業
　ア　安曇野アーティスト・イン・レジデンス（安曇野AIR）
　　長野県・東京藝術大学・安曇野市の連携により、若手芸術家３名の滞在制作を実施しました。
　　市内学校・施設へワークショップ　人権共生×文化芸術フェスタワークショップ　10月４日
　　鐘の鳴る丘集会所染色ワークショップ　10月５日
　　展覧会　10月18日～10月26日　穂高交流学習センター「みらい」
　イ　京都芸術大学連携アートプロジェクト（AKAP）
　　夏展　９月20日～10月５日安曇野髙橋節郎記念美術館、貞享義民記念館、穂高陶芸会館
　　冬展　１月10日～１月17日　穂高交流学習センター「みらい」

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街 安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		施策	文化・芸術活動の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　諸団体との協働事業
(1) 第21回あづみの公園早春賦音楽祭　５月11日　入場者8,141人　補助金1,200,000円
(2) 第34回信州安曇野薪能　８月23日　入場者485人　補助金8,000,000円
(3) 『安曇野文化』刊行　55～58号　補助金2,100,000円
(4) 第63回童謡祭り　２月23日　補助金374,066円
(5) 第７回田淵行男賞写真作品公募　８月10日　表彰式・記念講演　参加者74人　補助金2,000,000円
受賞作品巡回展（東京・大阪・記念館）　来場者数8,124人
(6) ミュージアム活性化事業　市内の公立私立の博物館・美術館が連携して事業を実施しました。
ア　大学連携　施設を巡るバスツアー　６月８日　信州大学生27人、12月13日　信州大学生30人
イ　美術館博物館年間予定／パスポート　市立施設の保護者１名が入館無料となるパスポートの発行
市内小中学校の児童生徒に配布しました。利用者966人
ウ　ギャラリートークリレー　10月25日～11月３日　全15館　参加者731人
エ　学校ミュージアム　11月10日　豊科北小学校、11月25日～28日　堀金中学校、
12月10日　豊科北中学校、　１月22日　穂高東中学校、１月23日　豊科南中学校
オ　あづみのミュージアムカード2025　参加館数　25館　年間配布数　1,195枚
(7) 長野県文化振興事業団「かいころく」公演
鐘の鳴る丘集会所にて滞在制作　１月19日～２月１日
安曇野市美術館にて公演　１月31日、２月１日　各日２回公演　計115人
(8) 田淵行男記念館　新田樹写真展「Sakhalin/サハリン」　来館者数714人　補助金600,000円

３　施設リニューアルオープン関連
(1) 安曇野市美術館　リニューアルオープンセレモニー　８月30日　参加者65人
シンポジウム　９月20日　参加者20人
(2) 穂高鐘の鳴る丘集会所　リニューアルオープンセレモニー・セミナー　６月８日　参加者60人

４　財政支援団体への補助金交付
(1) 公益財団法人安曇野文化財団運営補助　補助金8,294,000円
(2) 一般財団法人井口喜源治記念館運営補助　補助金1,400,000円

５　資料受納・収集・整理事務
美術資料等選定委員会の審査を経た美術作品の収集を行いました。

６　ちくに生きものみらい基金充当事業　実施件数21件　参加者数982人　講師・バス委託料937,120円
学級単位等で行う自然観察会用のバス代の支出、講師の手配、併せて博物館等の利用促進も図りました。

７　博物館・美術館等の管理運営
(1) 博物館協議会　第１回：５月23日　第２回：10月24日　第３回：３月17日
(2) 美術資料等選定委員会　第１回：10月24日

８　文化振興基金積立　将来の文化振興事業の実施、博物館の修繕に備え積み立てを行いました。
14,000,000円

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街 安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110310	文化振興費		施策	文化・芸術活動の推進

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

9　指定管理委託料

施設名	指定管理者	指定管理委託料（円）
安曇野市美術館	公益財団法人安曇野文化財団	43,800,000
田淵行男記念館		15,200,000
飯沼飛行士記念館		3,100,000
穂高陶芸会館		7,500,000
安曇野髙橋節郎記念美術館		25,300,000

10　施設修繕等

経年劣化が認められた施設の修繕等を行いました。主な内容は以下のとおりです。

施設名	修繕等内容	修繕費（円）
穂高陶芸会館	誘導灯修繕、砕石舗装の整備	521,400
田淵行男記念館	公衆トイレ身障者トイレ戸修繕	660,000
安曇野市美術館	屋外タイル修繕	261,800

11　文化施設長寿命化

公共施設長寿命化計画に基づき、文化施設の改修工事設計業務を実施しました。

(1)豊科近代美術館大規模改修工事（R6債務負担行為）

大規模改修工事　　720,500,000円　　R7:432,300,000円（R6:288,200,000円）

工事監理業務委託　18,150,000円

(2)田淵行男記念館　外壁・屋根等改修工事

改修工事　　19,987,000円

工事監理業務委託　　671,000円

単価入替　　126,500円

上記の評価と課題等

「第２次文化振興計画」に基づき諸事業を行い、市民が多様な文化芸術に親しむ機会を創出することができました。長寿命化計画に基づく安曇野市美術館の大規模改修工事が完了し、市内の美術館の基幹施設として位置づけました。また、穂高鐘の鳴る丘集会所はアーティストの滞在拠点として新たな運用を開始しました。市民の自主的な文化芸術活動や文化的な暮らしの実現に向け様々な取り組みを支援し、連携と参画を促進していきます。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書ページ	225

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110320	郷土博物館費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
48,105,000	42,899,626	0	5,205,374	89.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
800,860		郷土博物館等使用料	250,300		
		郷土博物館刊行物頒布代	317,580		
		郷土博物館雑入	62,580		
		ちくに生きものみらい基金繰入金	170,400		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　年間利用者数　豊科郷土博物館　10,020人、　穂高郷土資料館　836人

２　豊科郷土博物館企画展・特別展

(1)　市制施行20周年記念事業及び戦後80年平和事業「日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々」
　会期　８月２日(土)～10月５日(日)　　入館者数　1,560人

(2)　冬季特別展「一体、これは何だろう？　昔の〇珍道具」
　会期　令和８年１月10日(土)～２月１日（日）　入館者数　232人

(3)　春季企画展「土の中からの贈り物」
　会期　令和８年２月21日(日)～５月６日(水)　入館者数　646人（３月31日まで）

３　刊行物・印刷物
「ふるさと安曇野きのうきょうあした」№31、
「年報令和６年度版」、『豊科郷土博物館紀要第13号』、
『博物館ブックレット７　安曇野の戦争と、戦争遺跡―決して消えない戦争の記憶―』

４　新市立博物館準備
「安曇野市新市立博物館整備方針検討委員会」において、平成27年度に策定した「安曇野市新市立博物館構想」を再検討し、「安曇野市新市立博物館等の整備方針に係る提案書」をまとめました。

５　コンパクト展示　　実施回数　全13回、延べ日数589日

６　長野県立歴史館企画展への協力
長野県立歴史館で開催された令和７年度夏季企画展「安曇野～知られざる里山の祈り～」では、穂高郷土資料館の収蔵資料の貸出しや、市内の寺院への調査等を通じて、実施に協力しました。

上記の評価と課題等

企画展「日中戦争、太平洋戦争下の安曇野の人々」では、安曇野市域出身の戦没者と戦争遺跡の両面から、先の大戦にアプローチする展示により、多くの方々の関心を集めました。

豊科郷土博物館では、子どもたちや親子を対象とした企画、市内小中学校への出前講座にも力を入れています。夏休みのイベントとして、郷土博物館及び郷土資料館の両館で、勾玉づくり体験を行いました。冬季には、穂高郷土資料館の民具を活用した「昔の暮らしin博物館」を郷土博物館で開催し、４日間で142人（このうち子ども78人）の参加がありました。また市内小中学校及び高校、また幼稚園への出前講座も42回実施しました。

「安曇野市新市立博物館等の整備方針に係る提案書」では、平成27年度に策定された「安曇野市新市立博物館構想」の方針を受けて、新市立博物館の新規建設、既存施設の統廃合の方向性が打ち出されました。今後は、新市立博物館整備に向け市としての方向性を示す必要があります。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書ページ	227

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110325	文化財資料センター費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,780,000	6,375,485	0	404,515	94.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市文化財資料センターでは、市が所有する考古資料、歴史資料の整理を行うとともに適正な収蔵に努めています。これらの整理作業は、埋蔵文化財報告書の刊行や博物館事業につながり、豊科郷土博物館等で開催する企画展や、コンパクト展示などで市民の皆さんへ還元していきます。

また、発掘調査時には出土遺物、図面の整理を行う拠点として当センターは機能することとなります。

令和７年度事業　-考古・歴史資料の整理-

発掘・試掘調査等で出土した遺物の洗浄、注記、復元、図化等整理作業を行いました。

また、歴史資料・書籍等の目録作成を行いました。

上記の評価と課題等

昭和58年に建設された穂高町給食センターを平成24年度に改修し、収蔵庫として活用しています。年々増加する埋蔵文化財の出土遺物を効率よく整理し収納していきます。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書ページ	227

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110335	貞享義民記念館事業		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
24,159,000	21,973,957	0	2,185,043	91.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
425,290		貞享義民記念館使用料	233,720		
		義民館刊行物等頒布代	68,000		
		義民館雑入	123,570		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　年間利用者数　5,543人

２　自主企画展

(1)　「身近な擬態昆虫写真展」　　会期　４月26日(土)～６月１日(日)　　入館者数　810人

(2)　「人権ポスターパネル展」　　会期　９月20日(土)～９月28日(日)　　入館者数　22人

(3)　京都芸術大学「2025　AKAP　夏展」　会期　９月20日(土)～10月５日(日)　　入館者数　61人
（市と京都芸術大学が連携したアートプロジェクトの展覧会場として館を利用）

(4)　「安曇野から考える人権展」　　会期　12月９日(火)～12月26日(金)　入館者数　29人

(5)　企画展「中林梧竹と安曇野～筆が結ぶ明治のこころ～」
会期　令和８年１月17日(土)～３月１日(日)　入館者数　203人

３　公募企画展　開催回数12回（他団体の出展者と貞享義民記念館が共同して行う企画展）

４　主な講座

(1)　臨地講座「水野氏と松本城下町ウォーク」　　開催日　５月28日(水)　参加者　20人

(2)　臨地講座「貞享騒動旧跡巡り」　　開催日　６月14日(土)　参加者　19人

(3)　人権平和研修「無言館と塩田三重塔の見学」　開催日　10月10日(金)　参加者　30人

(4)　基礎講座

ア　「貞享騒動ってどんな一揆」　　開催日　５月17日(土)　参加者　16人

イ　「貞享騒動の伝承と物語化」　　開催日　５月31日(土)　参加者　９人

(5)　古文書講座「『赤蓑談』を読もう」　　開催日　６月～11月の土曜日（全８回）
参加者　延べ118人

(6)　夏休み親子講座「消しゴムハンコでマイうちわを作ろう」
開催日　８月９日(土)　参加者　10組30人

(7)　夏休み親子講座「回る灯篭を作ろう」　　開催日　８月10日(日)　参加者　12組29人

５　出前講座

(1)　人権学習　市内地区公民館　８ヶ所

(2)　歴史講座　市内公民館　　３ヶ所　　松本市内公民館　２ヶ所

(3)　児童・生徒の来館のための事前学習　１校

上記の評価と課題等

自主企画展「中林梧竹と安曇野」では、安曇野市や松本市から梧竹の作品や関連資料の情報が寄せられ、近代における貞享義民顕彰の動きについて、新たな知見が得られました。

貞享騒動の顕彰や「生きる権利の主張」といった館が掲げるテーマについて、発信をしていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書ページ	229

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	文化財保護費			
	事業	0110355	文化財保護費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
17,103,000	13,810,214	0	3,292,786	80.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,894,000		文化芸術振興費補助金	1,594,000		
		地域伝統芸能等保存事業助成金	300,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

●文化財保全事業（9,820,928円）

１　文化財保護審議会（２回開催）

諮問に係る審議の外、事業の進捗状況等を報告し、文化財保護事業の方向性について審議しました。

２　安曇野市文化財保存活用地域計画の策定（3,589,300円）

地域に伝わる伝統行事や、文化財などの今後の保存活用に関する具体的施策50を定めた計画策定をし、予定どおり12月に文化庁に認定されました（３年間計画策定の３年目）。

３　指定文化財保護のための補助事業（1,626,335円）

（１）無形民俗文化財保存伝承事業…お船祭り、道祖神祭りほか計12件（1,369,348円）

（２）文化財防災設備設置及び維持管理ほか計8件（136,490円）

（３）修理及び復旧、附帯物修理ほか計２件（120,497円）

４　史跡等の維持管理

穂高古墳群B-1（通称ぢいが塚）の見学道の確保等をしました。また、G-1（上原古墳）、前の髪古墳他市所有地の除草作業等を、市民団体・地区の皆さんの協力をいただきながら実施しました。

●地域史研究と文化財保存・活用（509,461円）

市内の建造物調査委託業務（499,268円）

信州大学との包括的連携協定に基づき、信州大学工学部建築学科梅干野研究室に依頼して、市内の神社本殿他の建築調査をし、地元氏子等へ建築的な視点から解説しました。

また、この成果は新規の文化財指定等へとつなげることができました。

上記の評価と課題等

今後も指定文化財への支援を続けるとともに、地域史研究の成果を市民へ還元し、文化財の保存・継承・保護意識の醸成へつなげていきます。また、少子高齢化に起因する文化財の管理者、所有者等の担い手不足については、文化庁認定の安曇野市文化財保存活用地域計画を拠り所として事業を進めていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化振興担当

決算書ページ	229

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	01	社会教育総務費			
	事業	0110340	交流学習センター等管理費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
117,084,000	111,848,473	0	5,235,527	95.5%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,078,628		穂高交流学習センター使用料	2,886,760	明科子どもと大人の交流学習施設利用料	1,444,824
		三郷交流学習センター使用料	118,860	豊科交流学習センター施設利用料	8,024,050
		学習館使用料	459,360		
		その他教育費雑入（交流学習センター等）	144,774		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

施設の定期点検や修繕を行い、利用しやすい環境づくりをしました。

1　交流学習センター及び学習施設利用状況

(1)総入館者数（人）

施設名	令和6年度	令和7年度	比較	割合（%）
穂高交流学習センター	221,336	217,749	-3,587	98.4
三郷交流学習センター	76,017	69,765	-6,252	91.8
明科子どもと大人の交流学習施設	57,630	39,873	-17,757	69.2

(2)稼働率（%）　　稼働率＝年間利用時間／年間利用可能時間

施設名	令和6年度	令和7年度	比較	割合（%）
穂高交流学習センター	39.36	36.44	-2.92	92.6
三郷交流学習センター	45.74	21.15	-24.59	46.2
明科子どもと大人の交流学習施設	49.36	21.11	-28.25	42.8

2　主な管理内容・経費

施設修繕費　6,302,340円（空調屋外機、自動ドア、駐車場舗装、インターロッキング等）
光熱水費　36,245,368円
管理委託料　30,746,577円（清掃業務、窓口業務、消防用設備等点検業等）

3　指定管理委託料

施設名	指定管理者	指定管理委託料（円）
豊科交流学習センター	公益財団法人安曇野文化財団	11,200,000

上記の評価と課題等

今後も学習の拠点として、芸術文化の発展に向けた市民の自発的な活動の場を提供するとともに、市民が情報と知識を入手し、利用することが出来る施設として適切かつ円滑な管理運営に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	博物館担当

決算書ページ	231

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	文化財保護費			
	事業	0110357	文書館費		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
39,864,000	35,234,853	0	4,629,147	88.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,819,550		文書館刊行物頒布代	1,048,060		
		文書館雑入	13,490		
		市内遺跡補助金	2,758,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　年間利用者数　文書館　　2,259人（閲覧・講演会・電話での相談・視察研修等を含む）
　　臼井吉見文学館　2,123人

２　文書館の文書公開点数（令和７年度末日現在）
　公文書　　60,160点（年間3,425点の増加）
　地域資料　74,535点（年間16,228点の増加）　　合計134,695点（年間19,653点の増加）

３　企画展
　(1)　前期企画展　「安曇野市誕生秘話」　会期　５月11日(日)～８月29日(金)
　(2)　後期企画展　市制施行20周年記念事業・戦後80年平和事業「手記　80年の時を超えて」
　　会期　９月14日(日)～12月28日(日)
　(3)　企画展「魅せます　大庄屋山口家」　会期　令和８年１月18日(日)～３月31日(火)

４　主な講座・講演会
　(1)　文書館講演会「昭和100年　清沢洌の視点から」　　開催日　９月21日(日)　　参加者49人
　(2)　文書館講演会「自立のために合併を選んだ安曇野市」開催日　７月13日(月)　　参加者51人
　(3)　臼井吉見文学館講演会「ニュースと格闘する」　開催日　令和８年３月22日(日)　参加者79人

５　『安曇野市誌』編さん事業
　(1)　市誌編さん委員会　１回
　(2)　専門調査会（民俗部会）
　　・執筆原稿の検討、巡見や聞取り調査を行いました。
　　・民俗資料編　第一部　豊科地域の監修を行い、安曇野市のホームページ上でPDF公開しました。
　(3)　専門調査会（考古部会）
　　・考古資料編の執筆原稿の検討、巡見や試掘調査、外部有識者による遺物の検討会を行いました。
　　・市内遺跡４ヶ所を測量して赤色立体地図を作成しました。
　(4)　専門調査会（自然部会）
　　・明科地域の巡見を実施しました。
　　・専門調査員が計画を立て、植物調査や、岩石、土壌等の調査を行いました。

上記の評価と課題等

文書館では「清澤洌文庫」の市有形文化財指定にあわせて講演会「昭和100年　清沢洌の視点から」を開催しました。また臼井吉見文学館友の会では、清澤洌の新出資料の読書会を実施し、安曇野出身のジャーナリスト清澤洌への関心が集まりました。

『安曇野市誌』の編さんでは、令和７年度に当面のスケジュールを見直しました。今後、他の部会も含め、進捗管理を適切に行っていきたいと考えます。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	文化財保護係

決算書ページ	231

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	02	文化財保護費			
	事業	0110360	埋蔵文化財発掘調査事業		施策	歴史・文化遺産の継承

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,101,000	13,472,257	0	2,628,743	83.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,895,620		埋蔵文化財発掘調査委託料	2,895,620		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　発掘調査の報告書を刊行しました（1,191,245円）
「明科遺跡群明科廃寺第５次発掘調査報告書　第30集」
「三枚橋遺跡第２次発掘調査報告書　第32集」

２　文化財保護法に基づき、周知の埋蔵文化財包蔵地内での土木工事等に関し、発掘・試掘調査、工事立会い等を実施しました。（掘削重機借上料540,210円）
（１）公共・民間の事業開発に伴う発掘調査、試掘調査
・発掘調査１件（中在地遺跡）、試掘調査３件
（２）文化財保護法に基づく事務手続き
・第94条関係（公共事業）…34件　　・第93条関係（民間事業）…111件
（３）埋蔵文化財包蔵地の照会…725件

３　中在地遺跡の第２次発掘調査を実施しました（1,444,459円）
民間の店舗開発に伴い、周知の埋蔵文化財包蔵地である中在地遺跡の発掘調査を行いました。
４月７日から５月27日まで調査を実施し、古墳時代後期～平安時代の遺物と遺構が出土しました。

４　明科廃寺第６次調査の整理作業（1,451,161円）
令和６年度に国道19号の拡幅等工事に伴い実施した発掘調査の室内整理作業を行いました。
発掘調査の原因である国土交通省と協議し、令和９年度に報告書刊行を予定しています。

上記の評価と課題等

文化財保護法に基づく届出・通知も適正に処理することができました。今後も引き続き開発側に対し、埋蔵文化財の保護についての研修会等を行うなど、無届工事などで遺跡等の破壊が行われないよう啓発活動を推進していきます。

令和８年度	
部	教育部
課	文化課
係等	図書館係

決算書ページ	243

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	06	図書館費			
	事業	0110435	図書館費		施策	生涯を通じた学びの創出

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
204,650,000	201,322,702	0	3,327,298	98.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
28,237,386		指定寄付金	50,000		
		市町村振興協会交付金	28,058,268		
		図書カード再発行手数料	16,340		
		図書館コピー使用料	112,778		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　令和７年度図書館利用状況

	中央	豊科	三郷	堀金	明科	合計	R６実績	比較
所蔵冊数＊	230,517	85,355	54,014	48,701	49,865	468,452	464,783	3,669
登録者数＊（人）	17,244	7,484	3,856	1,526	1,749	31,859	32,332	-473
開館日（日）	286	285	285	286	285			
利用者数＊（人）	100,593	30,883	24,054	11,947	6,773	174,250	177,401	-3,151
貸出点数（点）	387,229	110,883	101,834	50,319	23,920	674,185	690,846	-16,661

＊所蔵冊数：視聴覚資料を除く

＊登録者数：個人登録者数　　利用者数：利用者カードで本を借りた延べ人数

2　主な事業

（１）図書館資料収集事業　備品購入費：19,299,854円　　購入点数(視聴覚資料含む):8,930点

〈内訳〉○通常図書購入等　18,805,129円

○学校図書館調べ学習用図書の購入　494,725円

（２）市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」への登録推進　　負担金：346,152円

安曇野市　　R７登録者数　525人（全登録者数　1,820人）　　貸出件数　12,655冊

（３）各種おはなし会、図書館講座、上映会等の開催　　報償費・需用費：122,426円

読書推進のための講座等、各種イベントを開催しました。　　延べ参加人数　3,139人

（４）豊科図書館開館15周年記念講演会　参加人数：251人（PV含む）　　報償費：220,000円

講師：池澤　夏樹さん（安曇野市在住/詩人・作家）

テーマ「いま住むところと遠いところ」でご講演いただき、多くの方が熱心に聴講しました。

応募者多数のため急遽パブリックビューイング会場を設けるなど、多くの反響がありました。

（５）市内小中学校、施設等との連携事業

・小中学校との連携　　・調べ学習用図書の整備　1,524冊（R7購入：159冊）

・学校配本　調べ学習に必要な資料の選書及び配本　1,229冊

・小中学校新１年生の登録の推進（申込書の配布）

学校司書及び司書教諭との交流を図り、学校の要望に沿えるよう連携を進めています。

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	06	図書館費			
	事業	0110435	図書館費		施策	生涯を通じた学びの創出

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

②おでかけ図書館　　参加イベント数：14件　利用者総数（イベント参加数）：809人
環境課や公民館、文書館など市主催イベントに参加し、関連本の展示や貸出しを行いました。本を紹介することで、更なる学びの機会となっています。

③図書展示
テーマや時事的な展示に加え、市主催イベント等に興味を持っていただけるよう関連本の展示を行いました。

④３市（安曇野・松本・塩尻）連携展示　　テーマ「三市ロケ地巡り」

（６）ブックスタート・セカンドブック事業（絵本のプレゼント）　　報償費：1,162,370円
①ブックスタート事業（４カ月健診時）　　実施回数：24回　464人
②セカンドブック事業（２歳児健康相談時）　　実施回数：25回　593人

（７）読書支援サービス　　朗読協力者（有償ボランティア）：17人　報償費：165,000円
①広報「あづみの」（DAISY録音図書）の製作　　利用者：３人及びホームページへのアップ
②朗読協力者研修会：年11回開催
③録音図書及び点字図書の相互貸借貸出サービス　　貸出数：103点

（８）図書館フェスタの開催
期間：９月６日（土）～７日（日）（リサイクルフェア中央館のみ13日（土）まで）
①講演会　　戸来祐子さん講演会　　参加人数：64人
②各種イベント　　おはなし会・ビブリオバトル・ワークショップなど　　参加人数：288人
③リサイクルフェア　　来場者数：3,731人　　リユース数：9,983冊

（９）図書館配本事業　　年間303日運行　　委託料：4,173,312円
①図書館間の予約本及び返却本の集配
②団体貸出として、認定こども園、児童館、福祉施設などへの配本　　31団体：17,908冊

（10）図書館協議会の開催　　年２回　　報酬：56,000円

（11）データベースの提供　　使用料：699,600円
信濃毎日新聞統合データベース、官報情報検索サービス等：４種

（12）レファレンスサービスの充実　　年間利用総数：8,544件

（13）図書館の利用促進及びＰＲ
○読書通帳の配布　　配布数：1,647冊　　100冊到達者：97人
○市ホームページ・Ｘ（エックス）・LINEからの情報発信
○図書館だよりの発行：各世代（大人・子ども・中高生）に向け月１回　　等

上記の評価と課題等

資料収集は、市民ニーズや蔵書構成を踏まえ、計画的な整備に努めました。また、講演会や展示、読書活動推進事業、レファレンスサービスの充実を通じて、市民の学びや読書活動を支援しました。電子図書館「デジとしょ信州」についても、学校現場での活用を中心に利用が広がっています。今後も利用者ニーズを把握し、利用しやすい図書館運営に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書ページ	107

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103060	児童発達支援事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,746,000	18,403,641	0	1,342,359	93.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,668,000		児童虐待防止対策等総合支援事業国庫補助金	2,668,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

子ども発達支援相談室では、０歳～18歳までの発達等に心配のある子ども及び保護者に対し、子どもの最善の利益を考慮しながら、健やかな発達を支援しています。関係機関との連携により、育ちの躓きを早期発見し相談や検査などを行い、必要に応じて療育支援を行うとともに、切れ目のない支援を目指します。さらに、18歳以降の次のライフステージに繋げ、安心して生活できるよう、主に専門職の職員が相談事業、療育支援事業、地域のネットワークの構築を行っています。

１　主な事務費

（１）相談事業等　　15,587,993円　　会計年度任用職員報酬、手当・費用弁償費

（２）療育支援事業　　1,706,504円　　遊びの教室・学習会等報償費

２　相談事業

保育園等への巡回相談は、園と連携や継続支援ができるように実施方法を見直したため、入園児の相談は減少しました。小学生、中学生の相談件数は増加傾向にあり、個々に応じた支援を検討する関係者会議が増えています。相談内容は発達だけでなく、育児の悩みや家庭環境など複合した課題を多く抱えるいる家庭が多くなっています。就学以降は不登校傾向や集団不適応などの相談もあり、関係機関との連携を行い継続した支援の実施に努めました。

（１）相談実人数

令和5年度		令和6年度		令和7年度	
実人数	（内）新規	実人数	（内）新規	実人数	（内）新規
584人	329人（56.3%）	650人	271人（41.7%）	578人	237人（41.0%）

（２）年代別相談延べ件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
未就園児	118	78	48
就園児	582	589	556
小学生	678	839	864
中学生	225	255	283
高校生	123	120	93
その他	7	24	33
計	1,733	1,905	1,877

（３）相談内容別延べ件数

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
発　達	1,557	1,716	1,689
身　体	12	4	9
知　的	40	27	63
精　神	16	9	6
重度心身障害	0	0	0
その他	108	149	110
計	1,733	1,905	1,877

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103060	児童発達支援事業		施策	子どもを育む環境の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（４）方法別相談延べ件数

	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合
家庭訪問	25	1.4%	42	2.2%	4	0.2%
関係機関訪問	248	14.3%	363	19.1%	336	17.9%
来所相談	753	43.5%	709	37.2%	717	38.2%
電話相談	123	7.1%	101	5.3%	147	7.8%
支援会議	125	7.2%	199	10.4%	230	12.3%
発達検査（含報告）	454	26.2%	467	24.5%	424	22.6%
その他	5	0.3%	24	1.3%	19	1.0%
計	1,733		1,905		1,877	

（５）発達検査件数

	対象	令和5年度	令和6年度	令和7年度
WISC	５歳以上	196件	166件	144件
新版K式	主に５歳未満	63件	69件	69件

３　療育支援事業

未満児から就園する子どもの増加や保護者自身の都合により継続参加ができないなどがあり教室参加者が減少しました。教室は子どもの発達やニーズに合わせ柔軟に運営を行いました。学習会は、全体での子育て講演会のほかに、職員が各園に出向き、子育て講座を開催しました。

事業名	内容	対象	令和5年度		令和6年度		令和7年度	
			回数	延べ人数	回数	延べ人数	回数	延べ人数
遊びの教室	発達等での小集団体験	１歳児	36	277人	33	243人	20	96人
		２歳児	36	308人	30	258人	40	266人
運動発達相談日	運動発達面の個別相談	０～２歳	23	126人	32	127人	34	78人
ことばの相談日	言語面での個別相談	２歳～	21	36人	19	29人	14	21人
発達相談日（令和4年度より）	発達全般での個別相談	０～３歳	45	109人	57	147人	48	105人
親子で遊ぼう教室（令和5年度より）	親子の遊び体験・講話・相談	7～8ヵ月児	8	108組	12	170組	12	157組
保護者向け学習会	子育て・発達についての講話	主に就学前の保護者等	19	410人	20	1,365人	13	453人
ペアレントトレーニング	個別・小集団での子育ての学び	年中～小6の保護者	37	53人	30	54人	16	33人

上記の評価と課題等

事業を通じて、子どもや保護者に相談支援が継続実施をするとともに、相談ニーズに合わせ関係機関との連携に努めました。保育園等への巡回相談について、実施方法を見直した経過があり、全体の相談の件数は昨年に比べ減少はしました。しかし保護者や関係機関から様々な発達に関する相談ニーズがあります。

対象者からの相談には個々の状況に応じて支援を実施することで、二次的な問題の予防に繋がるため、事業の実施や検討を継続的に行う必要があります。切れ目のない支援を目指し、関係機関等との連携に努めていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書ページ	109

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103085	ひきこもり対応推進事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,885,000	7,063,302	0	821,698	89.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,516,000		ひきこもり対策推進事業補助金	3,516,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　ひきこもり相談事業（子ども家庭支援課受付）

（１）　当事者の年齢別相談件数（月別実数の合計）

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明	合計
Ｒ５	42	12	34	25	23	8	0	144
Ｒ６	48	22	28	22	28	3	1	152
Ｒ７	42	34	20	35	32	2	0	165

（２）　相談手法別相談件数（延件数）

手法	来所	電話	訪問・その他	合計
Ｒ５	80	77	137	294
Ｒ６	67	76	156	299
Ｒ７	88	77	212	377

２　家族交流会　年４回開催

３　ひきこもりについて知っていただくための講演会　令和７年10月30日　開催
　　演題：「ひきこもり者のきょうだいへの支援について」
　　講師：NPO法人　KHJ全国ひきこもり家族会連合会　本部事務局所属
　　ソーシャルワーカー　深谷守貞　氏
　　参加人数：34名

４　関係機関連携会議　令和８年１月30日　開催
　　支援を行う関係機関の連携強化・情報共有を目的として開催
　　参加機関：まいさぽ安曇野、関係するNPO法人、庁内関連各課等

５　委託による各種相談支援
　①　訪問・就労支援・・・２カ所のNPO法人に委託
　②　相談窓口設置・・・３カ所のNPO法人に委託
　③　居場所支援・・・３カ所のNPO法人に委託

上記の評価と課題等

専任の担当保健師を配置し、当事者や家族、関係者に対して相談支援を実施しました。家族交流会につきましては、ひきこもり者のいる家族が集まり、年４回テーマを決めた懇談や茶話会による交流を行いました。啓発講演会につきましては、外部の講師を招聘し市民の方や支援機関の職員等を対象とし開催しました。その他、３カ所のNPO法人に各種相談支援業務の委託を行い、複数の相談窓口を設置し、相談しやすい体制の整備に努めています。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書ページ	109

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103100	母子福祉事業		施策	生活の安定と自立への支援

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,598,000	6,416,034	0	181,966	97.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,819,000		児童入所施設措置費等国庫負担金	880,000		
		困難な問題を抱える女性支援推進事業費国庫補助金	1,939,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　女性保護事業

女性保護事業について、相談事業を実施し、離婚や配偶者間暴力についての相談を多く受け付けました。相談者の安全が危惧される場合は、警察等とも連携し、相談支援を行いました。

（１）女性相談件数　（単位：件）

相談方法	年度	人間関係				経済関係	医療関係	その他	合計
		夫等	子ども	親族	交際相手・その他				
訪問面談(実人数)	Ｒ５	7	0	0	1	0	0	0	8
来所面談(実人数)		119	5	30	5	3	0	1	163
電話相談(延人数)		144	5	19	27	4	1	4	204
訪問面談(実人数)	Ｒ６	7	0	1	1	2	0	1	12
来所面談(実人数)		112	5	34	3	31	1	4	190
電話相談(延人数)		209	6	29	7	46	17	28	342
訪問面談(実人数)	Ｒ７	1	0	0	1	0	0	0	2
来所面談(実人数)		85	5	21	3	10	7	5	136
電話相談(延人数)		363	32	50	8	54	30	22	559

（２）配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数　延べ186件

予算	款	03	民生費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	社会福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	社会福祉総務費			
	事業	0103100	母子福祉事業		施策	生活の安定と自立への支援

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　母子福祉事業

母子福祉事業については、ひとり親家庭への相談事業を実施しました。相談内容としては、経済的支援に関する相談を多く受付けました。必要に応じて関係機関と連携し支援を行いました。

（１）ひとり親相談件数　　（単位：延べ件数）

内容／年度	生活一般					児童	経済関係	その他	合計
	住宅	医療	家庭紛争	就労	養育費他				
Ｒ５	2	11	10	17	94	4	89	0	227
Ｒ６	1	11	2	6	18	2	118	0	158
Ｒ７	2	19	9	14	17	3	66	0	130

上記の評価と課題等

担当相談員及び担当職員を配置し、相談者に寄り添った支援が行えたと考えます。複数の課題を抱える相談者が多く、支援に際しては地区担当保健師や社会福祉協議会など関係する部局と連携しながら支援を行いました。相談件数は増加傾向にあり、相談者への適切かつ効果的な支援を行うため、今後とも担当職員の資質向上及び相談受付体制の確保に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係 ・子育て給付係・子ども家庭相談担当

決算書ページ	117

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103230	児童福祉総務費		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,436,096,000	2,427,892,038	0	8,203,962	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,842,678,480		子ども・子育て支援交付金（国）【相談室分】	485,000	子ども・子育て支援交付金（県）【相談室分】	391,000
		児童福祉施設入所負担金判定委託金	10,660	児童扶養手当国庫負担金	91,720,447
		児童手当国庫負担金	1,515,293,665	母子家庭等対策総合支援事業費国庫補助金	4,597,000
		児童手当県費負担金	178,364,443	こどもの生活・学習支援事業補助金	1,360,000
		児童手当返還金	200,000	児童手当過年度返還金	830,000
		児童扶養手当返還金	522,330	児童扶養手当過年度返還金	450,275
		ふるさと寄附基金繰入金	20,000,000	子ども・子育て支援交付金（国）【政策分】	20,414,000
		子ども・子育て支援交付金（県）【政策分】	8,029,000	児童福祉施設入所負担金判定委託金	10,660
				（地方消費税交付金（社会保障財源化分））	(111,000,000)

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　家庭児童相談事業

支援が必要な子どもの把握や支援体制の確立の際は要保護児童地域対策協議会の枠組みを活用し、家庭児童相談室を調整役として円滑な支援を行いました。深刻な事案があった際は、児童相談所や警察署と連携し対応を行いました。

（１）　新規児童相談件数　（単位：件）

年度	児童虐待	養護相談(その他)	保健	障がい	非行	育成	その他	合計
Ｒ５	92	174	0	4	6	29	12	317
Ｒ６	89	188	0	2	9	34	6	328
Ｒ７	83	195	6	2	7	20	7	320

※厚生労働省所掌「福祉行政報告例」が、令和７年度分報告よりこども家庭庁所掌「こどもの福祉と保健に関する状況報告」へ変更に伴い、当該報告と同様の相談種別に変更しました。令和６年度以前の相談件数については、令和７年度報告の相談種別分類へ再計算し修正しています。

（２）児童相談所と連携した対応　（単位：件）

年度	一時保護対応	児童福祉司指導	児童家庭センター指導	児相から市への協力要請	訓告・誓約	合計
Ｒ５	55	7	2	50	2	116
Ｒ６	37	0	1	48	0	86
Ｒ７	41	5	0	43	0	89

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103230	児童福祉総務費		施策	子どもを育む環境の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

2　児童手当給付事業

家庭の生活安定、児童の健全育成を図ることを目的に、年度末で18歳以下の児童を養育する保護者に対して、児童手当法に基づき児童手当を支給しました。

○実績

年度	延児童数	支給額	国庫負担金	県費負担金	一般財源
Ｒ７	145,949人	1,870,090,000円	1,515,293,665円	178,364,443円	176,431,892円
Ｒ６	128,030人	1,485,850,000円	1,108,014,439円	190,705,662円	187,129,899円

3　児童扶養手当給付事業

ひとり親家庭等の生活安定と自立促進・児童福祉の増進を図ることを目的に、児童扶養手当法に基づき、年６回（５月・７月・９月・11月・１月・３月）児童扶養手当を支給しました。

○実績

年度	延児童数	支給額	国庫負担金	一般財源
Ｒ７	9,332人	274,793,850円	91,720,447円	183,073,403円
Ｒ６	9,237人	265,236,410円	88,678,630円	176,557,780円

4　母子家庭等対策総合支援事業

ひとり親家庭の経済的安定を図るため、就業に有利な資格・技術を身につけるための養成機関での修業を支援する取組みを行いました。

○実績　（単位：円）

事業名	利用者数	支給額
自立支援教育訓練給付金事業	0人	0円
高等職業訓練促進給付金事業	4人	3,337,500円

5　子育て応援手当給付事業（市独自事業）

教育・保育施設等を利用せず、第２子以降の就学前児童を家庭で保育する養育者に対して、児童１人あたり月額3,000円を支給し、子育て家庭への経済的負担の軽減を図りました。

○実績

年度	延児童数	支給額
Ｒ７	6,750人	20,250,000円
Ｒ６	7,354人	22,062,000円

6　こどもの生活・学習支援事業

ひとり親家庭等の児童の受験費用に対して支援金を給付することより、進学に向けたチャレンジを支援しました。

○実績

区分	延児童数	支給額
大学等受験料支援金	48人	1,741,700円
大学等模試受験料支援金	5人	30,900円
高校等模試受験料支援金	8人	41,500円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103230	児童福祉総務費		施策	子どもを育む環境の充実

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

7　ファミリー・サポート・センター事業

小学生以下の子どもの預かり等の援助を受けたい人（依頼会員）と、行いたい人（協力会員）との連絡調整業務を委託して実施し、地域の相互援助活動を推進しました。

（１）支援件数　会員1,427人（協力175人・依頼1,218人・両方34人）（単位：件）

年度	計
Ｒ７	2,537
Ｒ６	2,363

（２）子ども子育て支援交付金（子育て援助活動支援事業）（単位：円）

総事業費	国庫補助金	県費補助金	一般財源
10,553,065	2,820,000	3,517,000	4,216,065

8　あづみの自然保育ブランディング事業

市内の一部の認定こども園で、園児に田植えから稲の世話、収穫までの一連の米作りを体験してもらう取り組みを行っています。

またその作業風景などをＳＮＳにより発信して、市内外の皆さんにもＰＲし、観光客や移住者誘致に繋げる取り組みも行っています。

令和７年度は、穂高有明あおぞら認定こども園で園庭に設置してあるミニ田んぼにより、その他に８園で、タライを使用したプチ田んぼにより田んぼ体験を行いました。

（１）園庭ミニ田んぼ・プチ田んぼ事業

・園庭ミニ田んぼ　１園（穂高有明あおぞら認定こども園）
・園庭プチ田んぼ　８園（南穂高認定こども園、穂高幼稚園ほか）

（２）自然保育の情報発信

ＳＮＳを活用した情報発信（開設時よりＲ８．６まで）

・インスタグラム　500投稿　フォロワー数　1,035人
・フェイスブック　448投稿　フォロワー数　137人
・Ｘ（旧ツイッター）　フォロワー数　200人

上記の評価と課題等

家庭児童相談事業については、新規の相談件数は横ばい傾向になっています。相談理由は、保護者の疾病や家族環境による養護相談や、支援を必要とする妊婦等に関する相談対応が増加傾向となりました。こども家庭センターにて、母子保健部門との連携強化を図り、妊娠・出産期からの継続支援に努めています。

子育て家庭への各種手当の支給事業を実施することにより、子育て家庭の生活安定、児童の健全育成を図ることができました。

ファミリー・サポート・センター事業は、地域力を活かし、安定した支援サービスを提供出来ました。積極的な利用を促進するため、委託事業者と協力しながら事業強化を図っていきます。

あづみの自然保育ブランディング事業は、安曇野ならではの自然保育の取り組みを市内外に向けて効果的に情報発信ができました。今後も各園の特色を活かし、継続的に取り組んでいきます。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	119

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103240	児童遊園管理費		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
21,631,000	21,595,278	0	35,722	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　市内児童遊園内遊具等の撤去・更新事業

児童遊園については、令和７年３月に結果が出た遊具安全点検（規準診断）において、多くの遊具が使用不可の判定となり、全132園の内82園に使用不可の遊具が設置されていることが判明しました。使用不可となった遊具は、立入禁止テープと看板により使用出来ないように処置した上で、地元区等との協議により遊具を撤去するか更新するかの対応を決定し、撤去することとした56園については、令和７年度中に対象遊具の撤去を完了いたしました。

また、その他にも必要に応じた遊具等の更新・撤去・修繕も引き続き行っています。

（１）使用不可の遊具がある児童遊園（82園）に対する対応内訳

土地所有	更新	撤去			その他
			全撤去	一部撤去(使用可は残す)	
市有地	25	20	16	4	0
民有地	0	36	27	9	1
合計	25	56	43	13	1

・その他の１園は、協議の結果地元区にて対応することとなりました。

（２）その他

場　　所：本村（本吉団地①）遊園地（豊科1832-25）外３園

実施内容：砂場の撤去等

上記の評価と課題等

今後も、児童遊園を安全に使用していただくために、点検結果等に基づき、地元区等とも調整の上で適切に更新・撤去・修繕を実施いたします。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書ページ	119

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103244	物価高対応給付金支給事業（国経済対策）		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
300,374,000	273,171,300	26,333,000	869,700	90.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
285,094,000		物価高対応子育て応援手当支給事業補助金（国経済対策）	285,094,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　物価高対応子育て応援手当支給事業

物価高の影響を強く受けている子育て世帯を支援するため、令和７年９月分児童手当受給者等に対し、対象児童一人あたり20,000円の給付金の支給を実施しました。

【実績】

（１）受給者　7,968人（対象児童 13,486人）

（２）支給額　269,720,000円

（３）事業費　273,171,300円

【内訳】給付金：269,720,000円

職員諸手当：174,421円　消耗品：25,819円

印刷製本費：129,250円　郵送料：767,040円

振込手数料：1,124,970円　システム改修業務委託：1,229,800円

上記の評価と課題等

食費等の物価高騰の影響を特に受ける子育て世帯に対して物価高対応子育て応援手当を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書ページ	121

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103245	物価高対応給付金支給事業（推奨メニュー分）		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,810,000	8,145,342	5,470,000	194,658	59.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,850,000		物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（令和７年度補正推奨事業メニュー分）	7,850,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　子育て世帯特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業

物価高の影響を強く受けている低所得のひとり親世帯を支援するため、令和７年12月分児童扶養手当受給者等に対し、対象児童一人あたり10,000円の給付金の支給を実施しました。

【実績】

（１）受給者　527人（対象児童 802人）

（２）支給額　8,020,000円

（３）事業費　8,145,342円

【内訳】給付金：8,020,000円

郵送料：50,784円　振込手数料：74,558円

上記の評価と課題等

食費等の物価高騰の影響を特に受けるひとり親世帯に対して子育て世帯特別給付金（ひとり親世帯分）を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	121

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103280	児童クラブ整備事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
16,244,000	15,809,200	0	434,800	97.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,000,000		ふるさと寄附基金繰入金	15,000,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　児童クラブ受入れ施設の確保

利用希望者が急増している放課後児童クラブに関して、受け入れ先を確保するために、学校内余裕教室の改修、児童館など市関連の校外施設の活用、専用施設の検討などを進めています。

令和７年度は以下の施設の改修等を行いました。

（１）三郷小学校の校内に児童クラブ室を整備

旧被服室を児童クラブ室に改修し51人分の受入スペースを確保

・床をタイルカーペットに改修
・下足入れ、ロッカー、庇の設置
・児童クラブ部分と学校部分の境にパイプカーテンを設置

（２）豊科北小学校　児童クラブ専用施設新築事業に着手

・実施設計業務に着手（債務負担行為）

（３）豊科南小学校及び穂高南小学校　児童クラブ専用施設新築事業に着手

・基本設計業務に着手（債務負担行為）

上記の評価と課題等

児童クラブ利用希望者が年々急増しており、特に豊科南小・豊科北小・穂高南小・三郷小において顕著です。この４校については児童クラブ専用施設の新設が急務であると考え、豊科南小・豊科北小・穂高南小については令和７年度内に設計に着手、令和９年度中のしゅん工を目指します。

三郷小については現在調整中ですが、引き続き専用施設新築の可能性を模索していきます。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	121

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0103285	地域子育て支援拠点事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
500,000	500,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市地域子育て支援拠点事業実施支援補助金

身近な場所に子育て中の親子が気軽に集え、打ち解けた雰囲気の中で相互の交流を行い、子育ての不安や悩みを安心して相談できる拠点施設の需要が高まっていることから、拠点施設を運営する団体を支援し、その施設・運営の充実を目指します。

（１）令和７年度交付実績　　１件　500,000円

（２）申請事業者
ＮＰＯ法人子育て支援ぱおぱお（三郷地域）　年間延べ2,224名利用

●地域子育て支援拠点施設とは

子育て中の親子が気軽に集い交流や子育ての悩み相談などができる場所。３歳未満児の６～７割は家庭で子育てしている現状や核家族化・地域のつながり希薄化の進行から、子育ての孤立化などの問題が発生。それら問題を解消する施設として期待されている。

上記の評価と課題等

令和７年度の申請件数は１件となっておりますが、核家族化や生活スタイルの多様化が進む中で地域子育て支援拠点施設の需要は高まっています。このことから、今後も事業を推進し、次年度以降は国及び県の補助を受けて行う補助事業の実施を予定しております。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書ページ	121

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0190070	【明許】住民税非課税世帯給付金（子育て世帯分）給付事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
25,327,000	16,631,079	0	8,695,921	65.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
16,631,079		【明許】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（低所得世帯支援枠分）	16,631,079		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　住民税非課税世帯給付金（子育て世帯分）給付事業

物価高の影響を強く受けている低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、福祉部所管の給付金「安曇野市物価高騰対応重点支援給付金（住民税均等割非課税世帯対象）」を受給する世帯に対して「こども加算分」として対象児童一人あたり20,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

【実績】

（１）受給者　497人（対象児童 795人）

（２）支給額　15,900,000円

（３）事業費　16,631,079円

【内訳】給付金：15,900,000円

報酬：351,354円　職員諸手当：66,792円　通勤手当：8,400円

消耗品費：14,099円　郵送料：48,324円　振込手数料：76,010円

システム改修業務委託：166,100円

上記の評価と課題等

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対して物価高騰対応重点支援給付金（子育て世帯分）を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書ページ	121

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0190080	【明許】住民税所得割のみ課税世帯給付金（子育て世帯分）給付事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,988,000	6,082,886	0	2,905,114	67.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,082,886		長野県価格高騰特別対策支援事業補助金	6,082,886		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　住民税均等割のみ課税世帯給付金（子育て世帯分）給付事業

物価高の影響を強く受けている低所得の子育て世帯を支援する取組の一つとして、福祉部所管の給付金「安曇野市価格高騰特別対策支援金（住民税均等割のみ課税世帯対象）」を受給する世帯に対して「こども加算分」として対象児童一人あたり20,000円の給付金を支給し、経済的負担の軽減を図りました。

【実績】

（１）受給者　164人（対象児童 288人）

（２）支給額　5,760,000円

（３）事業費　6,082,886円

【内訳】給付金：5,760,000円

消耗品費：2,574円　郵送料：15,744円　振込手数料：25,168円

システム改修業務委託：279,400円

上記の評価と課題等

食費等の物価高騰の影響を特に受ける低所得の子育て世帯に対して価格高騰特別対策支援金（子育て世帯分）を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子育て給付係

決算書ページ	123

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	児童福祉総務費			
	事業	0190090	【明許】子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
12,431,000	9,488,196	0	2,942,804	76.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,485,578		【明許】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー分）	9,485,578		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業

物価高の影響を強く受けている低所得のひとり親世帯を支援するため、令和６年12月分児童扶養手当受給者等に対し、対象児童一人あたり10,000円の給付金の支給を実施しました。

【実績】

（１）受給者　622人（対象児童 929人）

（２）支給額　9,290,000円

（３）事業費　9,488,196円

【内訳】給付金：9,290,000円

職員諸手当：18,216円　消耗品費：2,618円

郵送料：83,862円　振込手数料：93,500円

上記の評価と課題等

食費等の物価高騰の影響を特に受けるひとり親世帯に対して子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯分）を支給することで、経済的負担の軽減を図ることができました。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書ページ	123

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	児童館費			
	事業	0103260	児童館運営費		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
445,283,000	442,762,326	0	2,520,674	99.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
194,487,960		児童クラブ負担金	39,405,960	指定寄付金	1,000,000
		児童クラブ負担金滞納繰越分	27,000	企業版ふるさと納税	300,000
		子ども・子育て支援交付金（国庫）	71,071,000	児童館建設事業（こども債）	30,000,000
		子ども・子育て支援交付金（県費）	52,684,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

指定管理委託（安曇野市社会福祉協議会）により、児童館及び放課後児童クラブを運営。子育て家庭の支援と児童の健全育成に努めました。

1　指定管理委託料（児童館9館、児童クラブ）387,275,000円

2　児童館の実績
(1) 児童館利用者総数　85,783人（前年度78,312人）
(2) 地域子育て支援拠点事業（概ね3歳未満親子の児童館利用）　64,941人
(3) 各種イベント
キッズパーク（親子サークル）、育児相談、地域ボランティア事業、移動児童館、児童館祭り、豊科中央児童館オープンイベント　等
(4) 主な工事
三郷児童館遊戯室空調設置工事（前払金）　13,640,000円　※令和8年6月設置完了
堀金児童館遊戯室空調設置工事（前払金）　18,260,000円　※令和8年6月設置完了

3　児童クラブの実績
(1) 児童クラブ利用児童総数　1,503人（前年度1,407人）
通年利用　1,002人
長期利用　501人
(2) 児童クラブ室設置数　20か所

上記の評価と課題等

・児童館
利用者数は前年度比で、約10%利用者が増加しました。身近な子育て拠点として、イベント等工夫を凝らしながら運営してまいります。また、児童館の利用促進のためのポスター、パンフレットを制作、市内各所で掲示、配布しました。
・児童クラブ
核家族化や共働き世帯の増加を受け、入所申請が急増しています。児童クラブ室の不足を受け、施設整備に着手しました。同時に職員確保にも努めています。加えて、クラブの混雑状況について、保護者の皆さまにもお知らせし、譲り合ってのご利用を依頼します。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書ページ	123

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	児童館費			
	事業	0103270	児童館整備事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
203,470,000	203,423,400	0	46,600	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
165,194,000		次世代育成支援対策施設整備交付金（国）	11,197,000		
		次世代育成支援対策施設整備交付金（県）	11,197,000		
		児童館建設事業（こども債）	142,800,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

豊科中央児童館　建替え工事

老朽化が進んでいた豊科中央児童館の現地建て替えを行いました。

(1) 位置　　安曇野市豊科4027番地１（豊科中央公園隣接）
(2) 工期　　令和６年４月22日～令和７年９月12日
(3) 事業費（新築工事分）
- 令和６年９月25日　前払　　131,000,000円
- 令和７年５月14日　中間払い　65,000,000円
- 令和７年10月15日　完成払い　133,417,000円
- 合計　329,417,000円

(4) 施設概要
- 敷地面積　964.49㎡、延床面積　428.75㎡、構造　木造平屋建て
- 乳幼児親子のため未満児用遊戯室、相談室を設置
- インクルーシブ遊具設置

上記の評価と課題等

中央児童館の建替え工事は、計画どおり進行し令和７年９月、無事しゅん工いたしました。
令和7年11月1日にはオープニングイベントを開催し、多くの親子連れで賑わいました。新館は、市産カラマツや県産檜を使用しており木材の温かさが感じられる施設となっています。
令和8年度は、同じく老朽化が進行している高家児童館の建て替えに向けた検討、設計に着手いたします。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども子育て政策係

決算書ページ	125

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103305	保育政策費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,432,000	1,431,472	0	528	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,431,472		小規模保育施設整備事業補助金過年度清算分	1,431,472		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　小規模保育施設整備事業補助金返還金の国庫への返還事業

市が小規模保育事業者へ支出した小規模保育施設整備事業補助金（保育所の建設にかかる費用への補助金）については、後年度に消費税相当分を計算して返還していただくことになっています。

更に、この市の補助金は国庫補助が2/3充当されているため、その国庫補助分を国へ返還します。

令和７年度は令和５年度の補助金について対応しました。

令和５年度　小規模保育事業者への補助金額 26,209,000円　・・・①
①の内、消費税相当（市への返還）額＝　2,147,290円　・・・②
②の内、国への返還額（②×2/3）　＝　1,431,472円

上記の評価と課題等

対象となる事業者からの補助金の返還を受けて、国庫補助分を国庫へ返還しました。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	子ども家庭相談担当

決算書ページ	205

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	教育総務費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	事務局費			
	事業	0110031	教育相談事業		施策	子どもを育む環境の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,836,000	5,074,872	0	761,128	87.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　教育相談事業

教育相談室に教育相談員を配置しています。主に学校生活に関連する相談を受け、必要な助言等を行いました。

（１）相談対象者の年齢別相談件数（延べ件数）

年度	0～６歳	7～12歳	13～15歳	16～18歳	19歳以上	不明・その他	合計
R５	44	40	21	3	72	3	183
R６	72	14	20	3	25	0	134
R７	35	18	12	6	8	0	79

（２）全相談延べ件数の内、WISC-Ⅳ検査に係る件数（延べ件数）

年度	件数
R５	54
R６	77
R７	36

（２）主訴別相談件数（延べ件数）

年度	性格行動	不登校	進路	育児・しつけ	いじめ	障がい	学校・園生活	その他	合計
R５	140	40	3	0	1	20	79	8	291
R６	109	18	2	6	0	24	85	0	244
R７	44	21	4	3	2	14	45	4	137

上記の評価と課題等

教育相談員が面談や電話により、不登校や人間関係など学校生活に関する相談を中心に相談業務を実施しました。必要に応じて、学校や中間教室等の関係機関とも連携し支援を行いました。

教育相談室にて受け付けた相談件数は、WISC発達検査がWISC-ⅣからWISC-Ⅴへ移行したことに加え、こども園において新版Ｋ式発達検査へ移行していることも一因となり対応件数は減少傾向にあります。

現状を踏まえ、効果的な相談体制及び学校や関係機関等との連携方法について検討が必要と考えられます。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書ページ	233

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	青少年健全育成費			
	事業	0110370	青少年健全育成費		施策	家庭・地域との連携の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
218,256,000	215,147,556	0	3,108,444	98.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
186,248,395		青少年育成基金利子	115		
		参加者負担金	748,280		
		洞合公園整備事業（特例債）	185,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　青少年育成環境整備事務
（１）街頭巡回　　３回実施　学校長期休業中（8/19、1/6～7、3/23～24）
（２）街頭啓発　　２回実施　中学校昇降口、駅前（7/1、11/4）
（３）青少年センターだより　　２回発行（６月、２月広報あづみの）
（４）青少年センター講演会　　１回開催　42名参加　（7/12）
　　講師信州大学　横嶋敬行氏　「ありのままの自己肯定感を育む」
2　青少年体験事業
（１）友好都市交流
　・福岡市東区　　小中学生20名参加　穂高神社、上高地ほか（7/23～25）
　・江戸川区　　小学生親子13組参加　江戸川花火大会ほか（8/2～3）
　・神奈川県真鶴町　　小学生35名参加　烏川渓谷緑地ほか（8/7～8）
　・武蔵野市　　小学生親子15組参加　木工体験、雪遊びほか（2/7～8）
（２）親子プログラミング教室　８回開催　180組参加（10/26～27、11/9～10）
（３）信大プログラミング講座　　３回シリーズ　親子６組参加（12/20～21、1/17）
（４）ジュニアリーダー講座（謎解き探検、三九郎組立）　２回開催　31名参加（9/23、12/14）
（５）子ども文化祭　　ステージ発表８団体、作品展示６団体（11/22～29）
3　子ども会育成会支援事務　　令和７年度補助実績　7,403,900円

予算	款	10	教育費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	青少年健全育成費			
	事業	0110370	青少年健全育成費		施策	家庭・地域との連携の推進

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　黒沢洞合自然公園整備事業

黒沢洞合自然公園の拡張整備造成・造園工事、及びトイレ新設工事がしゅん工しました。

（１）造成工事

工期：令和７年２月５日～令和８年３月19日

工事費：総額137,654,000円

・前払　（令和７年２月19日支払）50,380,000円

・完成払（令和８年４月15日支払）87,274,000円

工事概要

・黒沢洞合自然公園東側約14,000㎡を拡張整備する造成工事

・ビオトープ、遊歩道、駐車場整備等

（２）造園工事（第一工区）

工期：令和７年２月13日～令和８年３月19日

工事費：総額50,028,000円

・前払　（令和７年３月５日支払）18,700,000円

・完成払（令和８年４月15日支払）31,328,000円

工事概要

・黒沢洞合自然公園東側拡張整備の内約7,324㎡の造園工事

・芝張約3,230㎡、植樹123本等

（３）造園工事（第二工区）

工期：令和７年２月13日～令和８年３月19日

工事費：総額32,901,000円

・前払　（令和７年３月５日支払）13,420,000円

・完成払（令和８年４月15日支払）19,481,000円

工事概要

・黒沢洞合自然公園東側拡張整備の内約6,287㎡の造園工事

・芝張2,870㎡、緑化シート約1,730㎡、植樹305本等

（４）公衆用トイレ建設・既存トイレ補修工事

工期：令和７年７月25日～令和８年３月19日

工事費：総額46,728,000円

・前払　（令和７年８月27日支払）18,691,000円

・完成払（令和８年４月15日支払）28,037,000円

工事概要

・公衆用トイレ（木造平屋建面積43.4㎡）新築

・既存トイレ（木造平屋建面積19.25㎡）の木部塗装、鉄骨階段への改修等

上記の評価と課題等

青少年交流事業は、小中学生が友好都市と隔年で相互訪問を行っています。

令和7年度は受入の年でしたが、いずれも事故なく交流を深めることができました。また、江戸川区からは毎年恒例の花火大会にご招待いただきました。他の体験講座も、日頃の学校や家庭以外での体験機会となっていますので、企画を工夫しながら今後も継続してまいります。

黒沢洞合自然公園整備事業は、拡張整備造成・造園工事及びトイレ新設工事がしゅん工し、魅力増進と利便性向上が図られました。今後は芝生を確実に定着させるために芝生の養生業務を委託します。また、専門的な知識を有するNPO法人どあいに業務委託して適切に維持管理するとともに、公園の特徴を生かしたイベント等を実施する予定です。

令和８年度	
部	教育部
課	子ども家庭支援課
係等	児童青少年係

決算書ページ	235

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	社会教育費		目標	学び合い 人と文化を育むまち
	目	04	青少年健全育成費			
	事業	0110375	放課後・家庭教育推進費		施策	家庭・地域との連携の推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,568,000	7,041,432	0	526,568	93.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,030,000		放課後こどもプラン補助金	3,030,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　放課後子ども教室「わいわいランド」

市内小学校に通う児童を対象に、異年齢間での自由遊びや体験活動のほか、地域の方々との世代間交流の機会を提供しました。活動日は毎週水曜日、コーディネーターやサポーターは地域の皆さまの有償ボランティアです。

学校名（小学校）	登録児童数（人、当初）	開催日数（日）	参加延べ児童数（人）	ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ（人）	サポーター（人）
豊科南	115	23	2,135	3	15
豊科北	126	25	2,488	3	12
豊科東	34	26	753	2	4
穂高南	180	22	3,541	2	22
穂高北	184	19	3,323	3	21
穂高西	151	21	3,046	2	26
三郷	137	26	2,075	2	30
堀金	113	25	2,291	3	16
明南	71	25	1,475	2	15
明北	42	29	1,072	2	12
合計	1,153	241	22,199	24	173

※コーディネーター・・・放課後子ども教室の調整役

※サポーター・・・子ども10人位に対して１人を目安に配置し、活動を見守ります。

上記の評価と課題等

社会教育指導員及びコーディネーター、サポーターの見守りにより、大きな事故なく参加児童に有意義な時間を提供することができました。安曇野市では全小学校での実施であり、多くの児童が参加する人気の事業となっています。子どもたちの安全確保、交流のため引き続き協力者の募集に努めます。

令和８年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	125

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103290	公立認定こども園整備費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,165,463,000	1,165,144,445	0	318,555	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,046,100,000		保育所建設事業（特例債）	549,000,000		
		保育所建設事業（施設整備事業債）	372,600,000		
		保育所施設整備事業（こども債）	124,500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

実施計画に沿って、園舎の建替えや改修に向けた調査・設計、工事等を実施し、安定的な保育サービスを提供するための施設整備を推進しました。

１　主な委託業務

（１）令和７年度　三郷東部認定こども園建設事業　旧園舎用地測量業務委託　4,246,000円

（２）令和７年度　三郷東部認定こども園建設事業　工事監理業務委託　13,170,300円

（３）令和７年度　三郷東部認定こども園建設事業　既存園舎解体工事監理業務委託　1,320,000円

（４）令和７年度　豊科認定こども園改修事業　監理業務委託　3,300,000円

２　主な工事

（１）令和５年度（債務負担行為）三郷東部認定こども園建設事業　建築主体工事　561,000,000円

（２）令和５年度（債務負担行為）三郷東部認定こども園建設事業　電気設備工事　192,500,000円

（３）令和５年度（債務負担行為）三郷東部認定こども園建設事業　機械設備工事　93,720,000円

（４）令和５年度（債務負担行為）三郷東部認定こども園建設事業　園庭整備工事　17,446,000円

（５）令和７年度　三郷東部認定こども園建設事業　既存園舎解体工事　97,680,000円

（６）令和７年度　豊科認定こども園改修事業　大規模改修工事　143,000,000円

上記の評価と課題等

三郷東部認定こども園建設事業が完了しました。今後は適宜点検（１年点検等）を行い不具合等に対応していきます。

豊科認定こども園大規模改修工事が完了しました。

今後も子育て支援の拠点となる認定こども園及び幼稚園の施設整備を計画的に進めていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	125

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103300	保育企画費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
950,671,000	941,840,295	0	8,830,705	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
648,973,826		保育児童保育料	4,153,680	子どものための教育保育給付費地方単独費用補助金	7,614,000
		子どものための教育保育給付費負担金（国・県）	583,343,079	保育対策総合支援事業補助金	16,000
		子育てのための施設等利用給付費負担金（国・県）	11,572,330	一時的保育料	9,141,000
		子育てのための施設等利用給付費負担金（前年度精算分）（国・県）	510,937	病児・病後児保育利用料	7,800
		子育て支援総合助成金	423,000	子ども子育て支援交付金（国・県）	19,010,000
		保育士加配支援事業補助金	8,240,000	保育料軽減事業補助金	4,942,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　私立の教育・保育施設等（保育所、幼稚園、認定こども園、地域型保育事業）及び市外公立園に施設型給付費又は地域型保育給付費を支給しました。

対象施設	区分	給付費	利用児童数 ※利用最終月
細萱保育園	保育所	82,991,770円	57人
認定やまぶきこども園	認定こども園	109,207,260円	75人
花園認定こども園	認定こども園	90,025,350円	60人
あづみ野おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	44,315,070円	18人
あづみ野第２おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	41,497,430円	19人
あづみ野第３おとぎ保育園	地域型保育（小規模保育事業）	41,537,770円	19人
ニチイキッズ安曇野保育園	地域型保育（小規模保育事業）	49,982,350円	22人
ニチイキッズ穂高保育園	地域型保育（小規模保育事業）	54,902,420円	22人
サンライズキッズ保育園安曇野園	地域型保育（小規模保育事業）	43,170,050円	22人
サンライズキッズ保育園豊科園	地域型保育（小規模保育事業）	38,443,640円	18人
穂高みらいく保育園	地域型保育（小規模保育事業）	45,233,290円	21人
スクルドエンジェル保育園安曇野豊科園	地域型保育（小規模保育事業）	45,197,360円	21人
ハートフルキッズ豊科保育園	地域型保育（小規模保育事業）	48,377,150円	18人
きらり穂高病院保育園	地域型保育（事業所内保育事業）	40,805,750円	19人
きらり諏訪赤十字病院園	地域型保育（事業所内保育事業）	4,409,490円	1人
保育室モモ	地域型保育（家庭的保育事業）	18,255,260円	5人
松本シュタイナー認定こども園ひなたぼっこ	認定こども園	10,847,460円	5人
ISN島内キャンパス	認定こども園	7,944,110円	13人
ISN南松本キャンパス	認定こども園	603,324円	1人
松本光明幼稚園	認定こども園	940,714円	1人
白百合幼稚園	認定こども園	983,468円	2人
やよい認定こども園	認定こども園	1,010,520円	1人
松本いずみ幼稚園	幼稚園	848,632円	2人
信学会松本神映幼稚園	幼稚園	6,667,714円	9人
信学会松本南幼稚園	幼稚園	1,944,252円	3人
松本中央幼稚園	幼稚園	149,550円	1人
認定こども園雷鳥保育園	認定こども園	2,055,126円	1人
計		832,346,280円	456人

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103300	保育企画費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

２　幼児教育・保育の無償化に伴い、子育てのための施設等利用給付を行いました。
（１）一時預かり事業　73,000円
（２）認可外保育施設等　11,337,300円
（３）新制度未移行園　0円
（４）ファミリー・サポートセンター事業　14,700円
（５）国立大学付属幼稚園　73,200円
（６）１号認定預かり保育料　786,600円

３　広域保育の状況

区分	児童数	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳
市外への委託	41 人	0 人	0 人	3 人	11 人	12 人	15 人

４　一時預かり事業の利用状況

登録者数	月平均利用者数	延べ利用者数
177 人	238.1 人	2,858 人

５　病児・病後児保育事業の利用状況

登録者数	月平均利用者数	延べ利用者数
93 人	20.3 人	244 人

６　認可外保育施設等に補助金を交付しました。　（単位：円）

対象施設	児童処遇向上（保育分）	児童処遇向上（施設整備分）	衛生・安全対策	信州やまほいく保育料負担軽減	補助金合計
保育室モモ	201,178	129,800	10,000		340,978
野外保育森の子	2,113,340	48,320	15,000	319,900	2,496,560
自由保育所ひかりの子	865,424	0	0	68,550	933,974
安曇野シュタイナーこども園おひさま	1,359,952	0	0	0	1,359,952
託児所アッパレはうす	657,754	3,144	0		660,898
計	5,197,648	181,264	25,000	388,450	5,792,362

上記の評価と課題等

子ども・子育て支援法に基づいて子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、子ども及びその保護者、保育施設に対して必要な支援事業を計画的に実施しました。
一時預かり事業については、事業が広く周知されたことや市公式LINEを用いた電子申請が可能となったこと等を受けて利用者が増加し、ニーズに対応しています。
また、認可外保育施設へ補助金を交付することで多様な保育の実施や児童の処遇向上を図りました。

令和８年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	125

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,266,581,000	2,247,777,580	0	18,803,420	99.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
298,640,197		保育児童保育料	111,901,200	園庭芝生化事業（こども債）	128,200,000
		突発長時間保育料	822,800	保育施設等園庭芝生化導入補助金	1,140,000
		保育児童保育料滞納繰越金	200,100	電源立地地域対策交付金	10,875,000
		他市町村保育児童保育料	787,040	企業版ふるさと納税	2,800,000
		子ども・子育て支援体制整備総合推進事業補助金	224,000	ふるさと寄附基金繰入金	20,000,000
		保育料軽減事業補助金	20,689,000	西穂高認定こども園太陽光発電売電	1,057
				指定寄付金	1,000,000

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公立認定こども園（18園）で教育・保育を実施しました。

（１）利用状況　（単位：人）

施設名	定員	利用児童数	年齢別内訳 ※令和８年３月１日時点					
			０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳
豊科認定こども園	150	128	5	7	12	33	26	45
豊科南部認定こども園	160	151	5	9	12	41	39	45
南穂高認定こども園	190	180	2	16	23	43	46	50
たつみ認定こども園	105	111	0	11	15	25	22	38
アルプス認定こども園	100	101	2	13	18	24	18	26
上川手認定こども園	80	40	0	3	6	9	12	10
有明の森認定こども園	160	100	4	8	14	22	21	31
有明あおぞら認定こども園	160	118	1	10	12	29	33	33
西穂高認定こども園	220	220	7	10	24	50	67	62
北穂高認定こども園	90	84	2	6	15	18	25	18
穂高認定こども園	200	184	6	11	12	38	58	59
三郷北部認定こども園	150	131	6	13	11	38	29	34
三郷南部認定こども園	160	145	7	8	14	42	33	41
三郷東部認定こども園	189	142	2	10	14	43	33	40
三郷西部認定こども園	70	52	0	8	8	16	7	13
堀金認定こども園	250	204	4	18	22	48	54	58
明科北認定こども園	90	31	3	2	6	7	6	7
明科南認定こども園	130	114	3	9	17	30	27	28
計	2,654	2,236	59	172	255	556	556	638

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

（２）保育方針等

ア　職員体制（18園中２園委託）

園長16人、主任保育士16人、保育士62人

会計年度任用職員290人（保育士233人、保育補助34人、看護師5人、事務補助18人）

計384人

イ　保育理念

一人ひとりの子どもを大切にしながら、子どもにとって最もふさわしい生活の場を保障し、家庭や地域から信頼される認定こども園を目指しています。

ウ　保育目標

○命（自分・人・生物）や物を大切にする子ども
○あいさつができる子ども
○元気に遊ぶ子ども
○意欲的に取り組み、やりぬこうとする子ども
○友だちと力を合わせ、認め合える子ども
○人の話を聴き、自分の気持ちを伝えたり、表現できる子ども
○自然の中で豊かな感性を育み、表現できる子ども

２　広域保育の状況

区分	児童数	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳	５歳
市外からの受け入れ	9 人	0 人	2 人	2 人	2 人	1 人	2 人

３　公立認定こども園（18園）の施設管理

施設修繕、物品修繕、各種器具点検調整、緊急非常通報警備、消防設備点検、電気工作物点検、除雪、必要工事等を実施しました。

（１）主な修繕

ステージ緞帳取替修繕（堀金認定こども園）　597,960円
館名サイン修繕（北穂高・有明の森認定こども園）　737,000円
プールろ過機逆流ポンプ修繕（穂高認定こども園）　425,700円

（２）主な委託業務

認定こども園芝生化事業　アルプス認定こども園外３園　園庭整備工事設計業務委託　2,468,400円
保育業務支援システム運用保守業務委託　5,346,000円
明科北認定こども園保育業務委託料　53,855,077円
三郷西部認定こども園保育業務委託料　49,657,000円
豊科地域・堀金認定こども園　園庭芝生初期維持管理業務委託　5,885,000円

（３）主な工事

木製コンビネーション遊具更新工事（堀金認定こども園）　4,818,000円
令和６年度（債務負担行為）認定こども園芝生化事業
　豊科地域認定こども園（４園）　園庭整備工事　103,642,000円
令和６年度（債務負担行為）認定こども園芝生化事業
　堀金認定こども園　園庭整備工事　43,087,000円

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103310	認定こども園管理費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

その３

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　認定こども園（18園）の運営管理

認定こども園の運営に必要な保育用品等を購入するとともに、施設の適切な維持管理を行うことができました。

（単位：円）

施設名	報償費	需用費	役務費	委託料	使用料及び賃料	備品購入費
豊科認定こども園	30,000	6,273,523	335,656	152,970	13,549	809,410
豊科南部認定こども園	30,000	6,122,317	289,309	93,940	11,712	198,730
南穂高認定こども園	30,000	7,205,309	262,633	34,760	9,297	613,813
たつみ認定こども園	30,000	4,663,647	342,099	86,680	26,400	172,000
アルプス認定こども園	30,000	4,268,767	223,483	98,340	14,112	211,140
上川手認定こども園	30,000	3,978,410	195,377	40,920	26,400	578,732
有明の森認定こども園	30,000	5,763,934	213,833	116,160	27,536	0
有明あおぞら認定こども園	30,000	5,603,186	346,167	65,340	93,720	177,100
西穂高認定こども園	30,000	9,834,847	412,338	585,420	13,267	490,620
北穂高認定こども園	30,000	5,314,451	162,750	21,780	52,647	0
穂高認定こども園	30,000	7,995,579	329,301	21,780	26,669	195,000
三郷北部認定こども園	30,000	5,977,372	410,150	118,800	15,996	99,800
三郷南部認定こども園	30,000	6,017,250	210,882	118,800	42,390	250,990
三郷東部認定こども園	30,000	7,070,488	117,465	78,210	54,562	0
三郷西部認定こども園	36,000	4,083,012	336,004	185,570	25,137	330,000
堀金認定こども園	30,000	10,530,193	444,592	112,530	69,114	569,600
明科北認定こども園	40,000	3,897,087	373,761	99,440	76,207	0
明科南認定こども園	30,000	5,567,153	282,354	101,640	19,249	0
計	556,000	110,166,525	5,288,154	2,133,080	617,964	4,696,935

上記の評価と課題等

児童福祉法及び子ども・子育て支援法に基づき、公立認定こども園の適正な管理運営に努め、幼児期の教育・保育を一体的に提供しています。

子どもたちが安心で快適な生活を送れる保育環境の整備に努め、保育担当と各園が連携して事業を実施することで、施設の維持・保全に安全かつ迅速に対応できました。

保育業務支援システム（コドモン）の運用によって保護者に必要な情報をスムーズに提供することができています。

令和８年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	127

予算				総合計画		
	款	03	民生費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	児童福祉費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	保育所費			
	事業	0103320	認定こども園給食運営費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
456,865,000	452,605,140	0	4,259,860	99.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
91,547,283		子ども・子育て応援市町村交付金	6,924,000		
		認定こども園職員給食代	29,118,310		
		認定こども園廃油売却代金	34,463		
		保育児童保育料	55,470,510		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

業務の安全面・衛生面に留意し、民間活力を生かした効率的な給食調理業務の運営及び食育の推進を図るため、公立認定こども園18園の給食調理業務を民間委託しました。また、私立認定こども園等で提供する給食の材料費高騰に伴う増額分の負担事業として補助金を交付しました。

１　主な委託業務
（１）給食調理等業務委託（Aグループ）　43,863,600円
　穂高、西穂高、北穂高
（２）給食調理等業務委託（Bグループ）　49,558,080円
　有明の森、有明あおぞら、堀金
（３）給食調理等業務委託（Cグループ）　46,292,400円
　三郷北部、三郷南部・三郷東部・三郷西部
（４）給食調理等業務委託（Dグループ）　44,246,400円
　豊科、豊科南部、たつみ、アルプス
（５）給食調理等業務委託（Eグループ）　45,028,500円
　南穂高、上川手、明科北、明科南

２　主な補助金
（１）給食材料費補助金（私立認定こども園等）　3,504,688円
（２）給食材料費補助金（認可外保育施設）　81,760円

上記の評価と課題等

市と給食調理業務委託業者との連携により、日常的な衛生管理と点検を実施することで、安全・安心でおいしい給食作りに努めました。
今後も子どもたちの健やかな発育・発達を目指し、栄養バランスに配慮した給食を提供していきます。
私立認定こども園等に給食材料費補助金を交付したことで、給食費の値上げをせずに、園児にこれまでどおりの栄養バランスを保った給食を提供することができました。

令和８年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	219

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	幼稚園費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	幼稚園費			
	事業	0110295	穂高幼稚園運営費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
98,743,000	95,547,972	0	3,195,028	96.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,681,200		幼稚園預かり保育料	81,200		
		幼稚園施設整備事業（こども債）	21,600,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　公立幼稚園で教育・保育を実施しました。

ア　職員体制

園長１人、主任教諭１人、教諭２人

会計年度任用職員８人（保育士４人、保育補助２人、看護師１人、事務補助１人）

計12人

イ　教育目標　『たくましく　しなやかな　心と体を育む』

ウ　教育重点

〇安心した環境の中で、一人ひとりが輝いて過ごす

〇幼児期の「学び」は「環境を通した遊び」であること

〇様々な事物や人との関わりの中で、豊かな人間性を育む

２　入園児数等　（令和８年３月１日現在）

	３歳児	４歳児	５歳児	合計
園児数	20人	26人	32人	78人

３　施設の維持管理、修繕・工事

（１）主な修繕

汚物流しフラッシュ弁取替（年長組）修繕　97,900円

（２）主な工事

プール改修工事　14,047,000円

屋根改修工事　11,605,000円

上記の評価と課題等

幼児期の遊びや豊かな経験が人生の基盤を作るため、地域の方や専門分野の方を招き総合的な幼児教育・保育に取り組みました。

また、幼児期の学びである「環境を通した遊び」として、自然と触れ合い、命の大切さを学ぶ機会を積極的に取り入れました。

今後は多様性の尊重やインクルーシブ保育を推進し、子どもたちが対等な関係性を保ちながら助けあえるクラスづくりを行っていきます。

令和８年度	
部	教育部
課	こども園幼稚園課
係等	保育幼稚園担当

決算書ページ	221

予算				総合計画		
	款	10	教育費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	幼稚園費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	幼稚園費			
	事業	0110300	穂高幼稚園給食運営費		施策	質の高い保育・幼児教育の実現

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
14,629,000	14,162,529	0	466,471	96.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,163,448		子ども・子育て応援市町村交付金	180,000		
		幼稚園給食費	2,004,455		
		幼稚園職員給食代	977,920		
		幼稚園廃油売却代金	1,073		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

業務の安全面・衛生面に留意し、民間活力を生かした効率的な給食調理業務の運営及び食育の推進を図るため、給食調理業務を民間委託しました。

○　主な委託業務
給食調理等業務委託業務（Bグループ）　7,716,720円

上記の評価と課題等

市と給食調理業務委託業者との連携により、日常的な衛生管理と点検を実施することで、安全・安心でおいしい給食作りに努めました。
今後も子どもたちの健やかな発育・発達を目指し、栄養バランスに配慮した給食を提供していきます。

特別会計

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

1　事業概要

（1）年度末の被保険者数は17,021人で、前年度と比較して501人減少しました。世帯数も前年度と比較して187世帯減少しています。市全体の世帯数に対する加入割合は27.2%、被保険者数での加入割合は17.9%と前年度と比較して、共に減少しています。

（2）財政面の歳入については、令和７年度において、国民健康保険税の現年度調定額が約3,428万円増加し、税収は約3,198万円の増収となりました。これは、物価上昇により所得が増加したためと考えられます。収納率は96.77%で、前年度と比較し0.07%減少しました。

歳出については、保険給付費が約6,555万円、県への納付金も約2,120万円増加しました。

特定健診事業では、集団健診を３日間の休日健診を含めて合計16日間、個別医療機関での健診を市内33医療機関において実施しました。継続受診を勧奨するため、申込がない方への通知のほか健康支援課と国保年金課で連携して電話などでの直接勧奨を行いました。特定健診の受診率は毎年10月の法定報告終了後に速報値が発表されますが、現時点では令和６年度と同率を見込んでいます。

国民健康保険支払準備基金の年度末基金残高は、278,411,780円です。

2　加入状況

	国保加入者		加入割合		国保１世帯当たり被保険者数
	世帯数	被保険者数	世帯数	被保険者数	
８年３月末	11,578世帯	17,021人	27.2%	17.9%	1.47人
７年３月末	11,765世帯	17,522人	27.9%	18.3%	1.49人
増　減	△187世帯	△501人	△0.7%	△0.4%	△0.02

3　経理状況

歳入総額9,469,592,272円、歳出総額9,374,750,045円となり、収支差引額は94,842,227円です。

4　歳入状況

（１）歳入内訳　　（単位:円、％）

区　分	保険税	県支出金	繰入金	その他の収入	合　　計
令和7年度	1,824,233,258	6,815,437,736	630,775,965	199,145,313	9,469,592,272
令和6年度	1,785,852,495	6,769,212,765	706,152,195	125,644,850	9,386,862,305
増　減	38,380,763	46,224,971	△75,376,230	73,500,463	82,729,967
伸び率	102.1%	100.7%	89.3%	158.5%	100.9%
構成比	19.3%	72.0%	6.7%	2.0%	100.0%

一般会計からの繰入金は559,675,965円で、内訳は次の表のとおりです。

区　　分	令和７年度決算額（円）
保険基盤安定分	446,372,475
未就学児均等割保険税負担金	3,535,375
産前産後保険税繰入金	1,799,799
出産一時金分	13,710,360
財政安定化支援事業	33,099,956
事務費分	61,158,000
合　　計	559,675,965
前年度比較増減	3,523,770

5 国民健康保険税の状況

（1）現年度分　　（単位：円・％・千円）

年度	調　定　額 ①	収入済額 ②	不納欠損額③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①	未済額の年度比較
7	1,838,014,900	1,778,652,895	0	59,362,005	96.77	2,300
6	1,803,733,500	1,746,671,681	0	57,061,819	96.84	7,750
5	1,811,459,700	1,762,148,055	0	49,311,645	97.28	4,138

※未済額の年度比較＝当該年度－前年度

（2）滞納繰越分　　（単位：円・％・千円）

年度	調　定　額 ①	収入済額 ②	不納欠損額③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①	未済額の年度比較
7	146,632,409	45,580,363	7,627,706	93,424,340	31.08	1,737
6	146,781,052	39,180,814	15,912,542	91,687,696	26.69	△8,242
5	153,839,521	44,380,116	9,530,098	99,929,307	28.85	△8,499

※未済額の年度比較＝当該年度－前年度

（3）現年度分＋滞納繰越分　　（単位：円・％・千円）

年度	調　定　額 ①	収入済額 ②	不納欠損額③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①	未済額の年度比較
7	1,984,647,309	1,824,233,258	7,627,706	152,786,345	91.92	4,037
6	1,950,514,552	1,785,852,495	15,912,542	148,749,515	91.56	△491
5	1,965,299,221	1,806,528,171	9,530,098	149,240,952	91.92	△4,361

※未済額の年度比較＝当該年度－前年度

（４）現年度分内訳　　（単位：円・％）

区　分		調定額 ①	収入済額 ②	不納欠損額 ③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①
一般	医療分	1,189,855,666	1,153,125,518	0	36,730,148	96.91
	支援分	497,156,546	481,713,898	0	15,442,648	96.89
	介護分	151,002,688	143,813,479	0	7,189,209	95.24
	合　計	1,838,014,900	1,778,652,895	0	59,362,005	96.77
退職	医療分	0	0	0	0	－
	支援分	0	0	0	0	－
	介護分	0	0	0	0	－
	合　計	0	0	0	0	－
合計	医療分	1,189,855,666	1,153,125,518	0	36,730,148	96.91
	支援分	497,156,546	481,713,898	0	15,442,648	96.89
	介護分	151,002,688	143,813,479	0	7,189,209	95.24
	合　計	1,838,014,900	1,778,652,895	0	59,362,005	96.77

（５）滞納繰越分内訳　　（単位：円・％）

区　分		調定額 ①	収入済額 ②	不納欠損額 ③	収入未済額 ①-②-③=④	収納率 ②/①
一般	医療分	90,984,161	28,289,300	4,898,512	57,796,349	31.09
	支援分	36,913,350	11,763,133	1,811,320	23,338,897	31.87
	介護分	18,333,831	5,527,930	916,431	11,889,470	30.15
	合　計	146,231,342	45,580,363	7,626,263	93,024,716	31.17
退職	医療分	244,871	0	872	243,999	0.00
	支援分	87,883	0	393	87,490	0.00
	介護分	68,313	0	178	68,135	0.00
	合　計	401,067	0	1,443	399,624	0.00
合計	医療分	91,229,032	28,289,300	4,899,384	58,040,398	31.01
	支援分	37,001,233	11,763,133	1,811,713	23,426,387	31.79
	介護分	18,402,144	5,527,930	916,609	11,957,605	30.04
	合　計	146,632,409	45,580,363	7,627,706	93,424,340	31.08

（６）国保税の減免・軽減の状況

① 減免の状況

区　分	規則第２条 該　当 （災害）	規則第４条 該　当 （生活保護該当）	規則第５条 該　当 （生活困窮）	規則第６条 該　当 （給付制限）	規則第７条 該　当 （旧被扶養者）
該当件数	1　件	14　件	0　件	2 件	76 件

② 軽減の状況

国保加入世帯数（Ａ）	軽減区分	世帯数（Ｂ）	被保険者数	Ｂ／Ａ
11,578　世帯	７割軽減	3,120世帯	4,008人	26.95%
被　保　険　者　数	５割軽減	1,637世帯	2,599人	14.14%
17,021　　人	２割軽減	1,317世帯	2,199人	11.38%

③ 倒産・解雇・雇い止め等による失業者（非自発的失業者）の軽減申請数等の状況

非自発的失業者数（年間申請者数）	年度末現在の非自発的失業者数
162　人　（令和６年度：148人）	280　人　（令和６年度：228人）

（７）滞納処分状況

悪質と判断される滞納者に対しては、税の公平性の観点から処分を行っています。

① 資格確認書等の制限

特別療養費の支給対象			
世帯数	74 世帯	被保険者	92人（うち13人）※

※（うち13人）は、特別療養費の支給対象世帯のうち、18歳未満の被保険者（18歳の誕生日以降、最初の３月31日までの間を含む）及び公費による医療費の助成を受けている被保険者数で、資格確認書等が交付されています。

② 差押及び分納誓約

国民健康保険税の滞納整理は収納課が所管し、効果的・効率的な収納体制が取られています。

③ 令和７年度国民健康保険税不納欠損

不 納 欠 損 事 由		人数(人)	総件数	金 額(円)
時 効 執行停止を伴わないもの		6	111	1,005,790
即 時 欠 損 法第15条の7第5項		0	0	0
執行停止後3年経過 法第15条の7第4項	無財産(同条第1項1号)	19	393	5,224,753
	生活困窮(同条第1項2号)	5	42	491,850
	所在不明(同条第1項3号)	2	25	280,321
時 効（執行停止3年経過前） 法第18条第1項		19	77	624,992
合 計		51	648	7,627,706

（８）口座振替の状況

令和７年度最終納期（第12期）の口座振替は、課税世帯数11,578世帯中、6,838世帯が利用しており、第12期での口座振替利用率は59.06％になっています。

また、口座振替成功率は再振替後、約99.00％（83,998件/84,849件）で、収納率を上げるうえで大きな役割を果たしており、今後も口座振替の勧奨に努めていきます。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	1100010	一般管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
34,040,000	34,031,921	0	8,079	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
34,031,921		社会保険・税番号制度システム整備費補助金	19,000		
		事務費繰入金	34,012,921		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険事業の安定運営のための事務的経費を支出しました。

主な事務経費　（単位：円）

予算科目（節）	予算額	予算執行額	予算残	執行内容
報酬	13,380,000	13,379,318	682	会計年度任用職員報酬
職員手当等	5,055,000	5,053,946	1,054	会計年度任用職員諸手当
旅費(費用弁償)	304,000	303,400	600	会計年度任用職員通勤費
需用費(消耗品費)	651,000	650,344	656	事務用消耗品
需用費(印刷製本費)	20,000	19,800	200	封筒作成等
役務費（手数料等）	7,944,000	7,943,085	915	共同電算処理手数料等
委託料(事務事業委託)	3,448,000	3,446,408	1,592	被保険者証等発行業務委託等
使用料	12,000	11,760	240	有料道路使用料等
備品購入費	2,438,000	2,436,720	1,280	事務備品購入
負担金	788,000	787,140	860	オンライン資格確認等システム運営負担金
合　計	34,040,000	34,031,921	8,079	

上記の評価と課題等

事務経費により国民健康保険事業の安定運営が図られました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	連合会負担金			
	事業	1100020	連合会負担金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,194,000	3,193,477	0	523	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,193,477		事務費繰入金	3,193,477		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険事業の適正かつ安定的な運営のため、長野県国民健康保険団体連合会へ負担金の納入を行いました。

上記の評価と課題等

国保連合会からの負担金請求に基づき適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	賦課徴収費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	賦課徴収費			
	事業	1100040	賦課徴収費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
15,175,000	15,171,931	0	3,069	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
15,171,931		督促手数料	237,247		
		事務費繰入金	5,578,684		
		子ども・子育て支援事業費補助金	9,356,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

賦課徴収費の活用により、国民健康保険税の課税業務が円滑に進められ、国保税の適正な賦課ができました。

賦課徴収費の予算内容　（単位：円）

予算科目（節）	予算額	予算執行額	予算残	主な執行内容
需用費（消耗品費）	102,000	101,134	866	事務用消耗品
需用費（印刷製本費）	448,000	447,150	850	国保税通知用封筒印刷等
委託料	14,588,000	14,587,347	653	納税通知書作成封入封緘等
負担金	37,000	36,300	700	徴収事務等研修会負担金
合　計	15,175,000	15,171,931	3,069	

上記の評価と課題等

国民健康保険税の賦課徴収業務を適正に行うことができ、安定した事業運営を行えました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	267

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	運営協議会費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	運営協議会費			
	事業	1100050	運営協議会費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
221,000	220,160	0	840	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
220,160		事務費繰入金	220,160		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険運営協議会開催状況

令和７年８月１日　　第１回 国民健康保険運営協議会
安曇野市国民健康保険税条例の一部改正について
令和６年度安曇野市国民健康保険事業報告について

令和７年１１月１１日　　国民健康保険運営協議会委員等研修会　　於：長野市
長野県の国民健康保険等の現状について
医療保険と国保制度の課題について

令和７年１１月２６日　　第２回 国民健康保険運営協議会
安曇野市国民健康保険事業について

令和８年２月３日　　第３回 国民健康保険運営協議会
令和８年度安曇野市国民健康保険税の税率等について（諮問）
令和８年度安曇野市国民健康保険特別会計予算（案）について

令和８年２月９日　　令和８年度安曇野市国民健康保険税税率等について（答申）

上記の評価と課題等

安曇野市国民健康保険規則第５条の規定に基づき、令和８年度国保税率等について諮問し、市の提案承認との答申をいただきました。また、国民健康保険事業の運営に対し、様々なご意見をいただきました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	趣旨普及費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	趣旨普及費			
	事業	1100060	趣旨普及費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
109,000	108,845	0	155	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
108,845		事務費分	108,845		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険制度説明用パンフレットの作成購入により、市民に対して国民健康保険制度の説明や案内が円滑に行えました。

周知用パンフレット

70歳からのお医者さんのかかり方	1000部
資格確認書を交付します	500部
資格情報通知書を交付します	1000部

上記の評価と課題等

事務経費により市民に対して、国民健康保険事業の制度説明が円滑に行われました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	療養諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者療養給付費			
	事業	1100071	一般被保険者療養給付費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
5,727,970,000	5,727,969,242	0	758	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,727,969,242		普通交付金	5,727,969,242		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般被保険者療養給付費の支出状況

	件数（件）	対前年増減（件）	対前年比（%）	金額（円）	対前年増減（円）	対前年比（%）
令和５年度	344,563	△ 3,015	99.1	5,851,660,989	40,512,587	100.7
令和６年度	330,526	△ 14,037	95.9	5,706,933,469	△ 144,727,520	97.5
令和７年度	318,244	△ 12,282	96.3	5,727,969,242	21,035,773	100.4

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	療養諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	一般被保険者療養費			
	事業	1100091	一般被保険者療養費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
48,425,000	48,424,090	0	910	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
48,424,090		普通交付金	48,424,090		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般被保険者療養費の支出状況

	件数（件）	対前年増減（件）	対前年比（%）	金額（円）	対前年増減（円）	対前年比（%）
令和５年度	7,485	92	101.2	50,529,591	3,123,005	106.6
令和６年度	7,383	△ 102	98.6	47,241,159	△ 3,288,432	93.5
令和７年度	7,078	△ 305	95.9	48,424,090	1,182,931	102.5

上記の評価と課題等

療養費は、療養給付費の補完的事業です。

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。また、被保険者からの申請によるものは、国保連合会で審査のうえ支給決定を行い適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	療養諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	05	審査支払手数料			
	事業	1100111	審査支払手数料		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,342,000	20,341,580	0	420	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
20,341,580		普通交付金	20,341,580		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国保連合会において診療報酬請求明細書の点検審査を行い、審査手数料の支出を行いました。

年　度	審査件数	対前年増減（件）	対前年比（%）
令和５年度	349,521	△ 5,288	98.5
令和６年度	335,997	△ 13,524	96.1
令和７年度	339,046	3,049	100.9

上記の評価と課題等

国保連合会において、医療費請求審査が円滑かつ的確に行われ、請求に基づき手数料を適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	高額療養費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者高額療養費			
	事業	1100121	一般被保険者高額療養費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
932,217,000	932,216,939	0	61	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
932,216,939		普通交付金	932,216,939		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般被保険者高額療養費の支出状況

	件数（件）	対前年増減（件）	対前年比（%）	金額（円）	対前年増減（円）	対前年比（%）
令和５年度	15,742	329	102.1	885,124,177	62,758,672	107.6
令和６年度	15,354	△ 388	97.5	892,258,576	7,134,399	100.8
令和７年度	14,801	△ 553	96.4	932,216,939	39,958,363	104.5

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。また、被保険者からの申請によるものは、審査のうえ支給決定を行い適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	高額療養費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	一般被保険者高額介護合算療養費			
	事業	1100135	一般被保険者高額介護合算療養費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
866,000	865,997	0	3	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
865,997		普通交付金	865,997		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一般被保険者高額介護合算療養費の支出状況

	件数（件）	対前年増減（件）	対前年比（%）	金額（円）	対前年増減（円）	対前年比（%）
令和５年度	41	2	105.1	872,287	△ 89,550	90.7
令和６年度	31	△ 10	75.6	748,905	△ 123,382	85.9
令和７年度	24	△ 7	77.4	865,997	117,092	115.6

上記の評価と課題等

被保険者からの申請により審査のうえ支給決定を行い、適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	269

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	移送費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者移送費			
	事業	1100141	一般被保険者移送費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

負傷・疾病等により移動が困難な被保険者が、医師の指示により一時的・緊急的な必要性があって移送された場合に支給します。

上記の評価と課題等

令和７年度は支払いがありませんでした。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	出産育児諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	出産育児一時金			
	事業	1100161	出産育児一時金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
20,566,000	20,565,540	0	460	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,710,360		出産育児一時金繰入金	13,710,360		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険被保険者が出産したときに、出産育児一時金の支給を行いました。

区　分	件数（件）	金額（円）
令和５年度	39	18,739,880
令和６年度	32	16,206,690
令和７年度	41	20,565,540

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。また、被保険者からの支給申請によるものは、審査のうえ支給決定を行い適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	出産育児諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	審査支払手数料			
	事業	1100162	審査支払手数料		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,000	7,980	0	20	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

出産育児一時金に係る審査支払手数料を国保連合会へ支出しました。

年　度	件数（件）
令和５年度	36
令和６年度	30
令和７年度	38

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	葬祭諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	葬祭費			
	事業	1100171	葬祭費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,640,000	2,640,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険被保険者が死亡し葬儀を執り行った場合、葬祭執行者に葬祭費の支給を行いました。

区　分	件数（件）	金額（円）
令和５年度	114	3,420,000
令和６年度	102	3,060,000
令和７年度	88	2,640,000

上記の評価と課題等

葬祭執行者からの支給申請により、審査のうえ支給決定を行い適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	06	精神諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	精神給付金			
	事業	1100181	精神給付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
19,932,000	19,931,405	0	595	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険被保険者で障害者総合支援法による精神通院医療受給者が、受給者本人が指定した医療機関で受診した場合、自己負担分に係る費用を現物給付による支給を行いました。

区　分	件数（件）	金額（円）
令和５年度	17,007	20,042,022
令和６年度	17,292	19,962,624
令和７年度	17,538	19,931,405

上記の評価と課題等

国保連合会からの請求に基づき適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	07	傷病手当諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	傷病手当金			
	事業	1100182	傷病手当金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

給与の支払いを受けている国保加入者が、新型コロナウイルス感染症に感染した、または発熱等の症状があり感染が疑われることにより、療養のため勤務できず、給与を受けることができなかった時に給与の３分の２の額を傷病手当金として支給をしました。

区　分	件数（件）	金額（円）
令和４年度	30	785,043
令和５年度	1	9,080
令和６年度	0	0
令和７年度	0	0

＊令和５年５月７日までに感染した方が対象

上記の評価と課題等

令和７年度は支払いがありませんでした。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	271

予算				総合計画		
	款	03	国民健康保険事業費納付金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	医療給付費分		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者医療給付費分			
	事業	1100371	一般被保険者医療給付費分		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,482,293,000	1,482,292,823	0	177	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
416,962,605		保険者努力支援分	44,507,000	未就学児均等割保険税繰入金	2,417,375
		特別調整交付金分	8,830,000	産前産後保険税繰入金	1,299,799
		保険基盤安定事業（軽減分）	171,202,200	財政安定化支援事業	33,099,956
		保険基盤安定事業（支援分）	110,770,275	基金繰入金	44,600,000
		県繰入金（２号分）	236,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県へ国民健康保険事業費納付金を支出しました。

区　分	支出額（円）	対前年増減額（円）	対前年比（%）
令和５年度	1,548,508,727	△ 92,762,822	94.3
令和６年度	1,434,956,950	△ 113,551,777	92.7
令和７年度	1,482,292,823	47,335,873	103.3

上記の評価と課題等

長野県からの請求に基づき適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	03	国民健康保険事業費納付金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	後期高齢者支援金等分		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者後期高齢者支援金等分			
	事業	1100391	一般被保険者後期高齢者支援金等分		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
601,409,000	601,409,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
143,818,000		保険基盤安定事業（軽減分）	74,700,000	基金繰入金	19,300,000
		保険基盤安定事業（支援分）	48,200,000		
		未就学児均等割保険税繰入金	1,118,000		
		産前産後保険税繰入金	500,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県へ国民健康保険事業費納付金を支出しました。

区　分	支出額（円）	対前年増減額（円）	対前年比（%）
令和５年度	635,406,868	56,735,182	109.8
令和６年度	625,390,769	△ 10,016,099	98.4
令和７年度	601,409,000	△ 23,981,769	96.2

上記の評価と課題等

長野県からの請求に基づき適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	03	国民健康保険事業費納付金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	介護納付金分		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護納付金分			
	事業	1100411	介護納付金分		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
209,727,000	209,726,546	0	454	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
48,700,000		保険基盤安定事業（軽減分）	25,200,000		
		保険基盤安定事業（支援分）	16,300,000		
		基金繰入金	7,200,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

長野県へ国民健康保険事業費納付金を支出しました。

区　分	支出額（円）	対前年増減額（円）	対前年比（%）
令和５年度	215,165,174	9,042,016	104.4
令和６年度	211,877,489	△ 3,287,685	98.5
令和７年度	209,726,546	△ 2,150,943	99.0

上記の評価と課題等

長野県からの請求に基づき適正に支出しました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	04	保健事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健事業費			
	事業	1100250	保健事業費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
11,856,000	11,849,844	0	6,156	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,849,844		保険者努力支援分	3,694,564		
		事務費分	5,941,280		
		県繰入金（2号分）	2,214,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

１　安曇野市国民健康保険高額療養費資金貸付規則により、高額療養費支給見込額の８割を貸付する事業です。令和７年度は申請がありませんでした。

２　後発医薬品（ジェネリック医薬品）の活用を促進するため、当該医薬品の利用により軽減差額が200円以上となる被保険者を対象に、通知を送付しました。
　年２回（８月および２月）・・・合計119通

３　安曇野市国保健康ポイント制度実施要綱により、平成30年度から開始しています。
　自らが楽しみながら健康づくりを行い、健康意識を高め、健診等の受診率向上を目指すことを目的に、対象となる健診（検診）を受診することでポイントが貯まり、年度末の集計により500ポイントごと500円の割引券を郵送します。
　ポイント券は次年度の健（検）診等受診時に割引券として使用できるほか、市内の農産物直売所や喫茶および入浴施設等で利用できるよう配布しました。

・配布実績：計 5,175枚（前年度比 226枚減）、4,513人（174人減）
　500ポイント対象者・・・3,877人 × 1枚 ＝ 3,877枚
　1,000ポイント対象者・・・ 610人 × 2枚＝ 1,220枚
　1,500ポイント対象者・・・ 26人 × 3枚 ＝ 78枚
・使用実績：計 4,137枚（2,068,500円）　使用率：79.9%　（前年比0.7%減）

上記の評価と課題等

高額療養費貸付金は、申請がありませんでした。

健康意識を高め、健診受診率向上に繋げるための国保健康ポイント制度普及に努め、ポイント割引券の利用を促すとともに、ポイント割引券の利用範囲の拡大などで利便性を高めます。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	273

予算				総合計画		
	款	04	保健事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	特定健康診査等事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	特定健康診査等事業費			
	事業	1100249	特定健康診査等事業費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
122,459,000	122,406,839	0	52,161	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
39,539,069		特定健康診査等負担金	20,550,000	県繰入金（2号分）	319,000
		保険者努力支援分	5,259,436		
		事務費分	12,102,633		
		特定健診等個人負担金	1,308,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

事業の成果

生活習慣病の発症および重症化予防のため、健康診査の実施及び人間ドックの助成を行いました。健診意向が確認できない未受診者等には個別受診勧奨やながの電子申請による24時間の健診受付体制を継続しました。集団健診は３日間の休日健診を含めて16日間実施しました。

	令和５年度（報告値）	令和６年度（報告値）	令和７年度（推計値）
受診率(%)	47.7%	45.3%	44.2%
対象者数(人)	13,374	12,774	13,123
受診者数(人)	6,386	5,781	5,795

報告値：通年国保に加入した40～74歳(年度末)を受診者として、翌年10月に法定報告します。

特定健康診査等　受診状況内訳　（人）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
集団健診	1,436	1,382	1,321
個別健診	2,290	2,207	2,163
人間ドック	2,498	2,474	2,447
内訳)一日ドック	2,393	2,378	2,359
内訳)一泊ドック	105	96	88
脳ドック	767	667	599
再)特定健診含	20	21	15
みなし健診	974	331	341
計	7,965	7,061	6,871

特定健康診査の集団健診及び人間ドック受診者には40歳未満の受診者を含みます。

上記の評価と課題等

団塊世代の後期高齢者医療への移行などにより対象者および受診者数は減少しており、法定報告による健診受診率も前年度同様か減少が見込まれます。若年期からの生活習慣病の発症・重症化予防と介護予防のため、健診受診勧奨と必要な保健指導の実施による医療費増加の抑制と健康寿命の延伸を目指します。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	275

予算				総合計画		
	款	05	積立金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	積立金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	基金積立金			
	事業	1100261	基金積立金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
63,000,000	63,000,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険支払準備基金保有額状況　　単位：円

区　分	令和５年度	令和６年度	令和７年度
基金取崩額	150,000,000	150,000,000	71,100,000
基金積立額	10,913,539	30,838,190	63,885,268
年度末基金保有額	404,788,322	285,626,512	278,411,780

上記の評価と課題等

令和７年度は、基金の取り崩しにより基金残高が減少しました。安定的な運営のために一定程度の残高を保有する必要があります。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	275

予算				総合計画		
	款	05	積立金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	積立金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	基金積立金利子			
	事業	1100266	基金積立金利子		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
886,000	885,268	0	732	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
885,268		基金積立金利子	885,268		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

会計課から示された基金運用利息配分表により、支払準備基金への積立てを行いました。

令和７年度利息による積立額・・・885,268円

上記の評価と課題等

会計課から示された基金運用利息額を適正に積立てました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	275

予算				総合計画		
	款	06	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一時借入金利子			
	事業	1100275	一時借入金利子		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一時的資金不足に対する借入金利子の支払いです。

上記の評価と課題等

令和７年度借入金はありませんでした。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	275

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般被保険者保険税還付金			
	事業	1100281	一般被保険者保険税還付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,577,000	6,576,694	0	306	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

資格喪失、所得更正等の事由により過年度へ遡及して国保税の減額更正がされ、還付が必要となる納税義務者に対し、迅速な対応ができました。

	還付した額（内)充当額（円）		還付対象者（人）	充当対象者（人）
令和５年度	4,424,167	（内）　207,500	103	21
令和６年度	5,756,400	（内）　229,600	88	21
令和７年度	6,576,694	（内）　721,794	159	34

上記の評価と課題等

地方税法の規定に基づき、国保税の還付事務が適切に遂行できました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	275

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	退職被保険者等保険税還付金			
	事業	1100291	退職被保険者等保険税還付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地方税法の規定に基づき支払いをします。

上記の評価と課題等

令和７年度は支払いがありませんでした。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	275

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	一般被保険者還付加算金			
	事業	1100301	一般被保険者還付加算金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
34,000	34,000	0	0	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国保税の還付金（過誤納金）が発生した場合、地方税法第17条の4の規定に基づき、国保税が納入された日の翌日から起算して支払いが決定された日までの間の日数に応じ、年1.3%（令和４年１月１日から令和７年12月31日までの期間は年0.9%、令和３年１月１日から令和３年12月31日までの期間は年1.0%、平成30年１月１日から令和２年12月31日までの期間は年1.6%）の割合を乗じて計算した額を、還付すべき税額に加算します。

	還付した額（内)充当額（円）		還付対象者（人）	充当対象者（人）
令和５年度	16,200	（内）　0	6	0
令和６年度	47,300	（内）　0	11	0
令和７年度	34,000	（内）　0	12	0

上記の評価と課題等

地方税法の規定に基づき、適切に国保税の過誤納金に対する還付加算金の事務処理ができました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	277

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	04	退職被保険者等還付加算金			
	事業	1100311	退職被保険者等還付加算金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0		0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地方税法の規定に基づき支払いをします。

上記の評価と課題等

令和７年度は支払いがありませんでした。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	277

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	05	保険給付費等交付金償還金			
	事業	1100315	保険給付費等交付金償還金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
50,871,000	50,870,036	0	964	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
42,548,589		普通交付金	9,888		
		療養給付費等返還金	42,538,701		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

償還金内訳

令和６年度国民健康保険保険給付費等交付金普通交付金返還金	50,870,036円	県から交付された国民健康保険保険給付費等交付金普通交付金について、実績に基づき超過分の返還を行いました。

上記の評価と課題等

実績報告書提出後、県からの返還請求に基づき適正に返還処理を行いました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	277

予算				総合計画		
	款	07	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金利子及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	06	一般被保険者返納金還付金			
	事業	1100361	一般被保険者返納金還付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
10,000	9,888	0	112	98.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

資格喪失後受診などによる返納金が過納となった場合に支払いをします。

区　分	支出額（円）	対前年増減額（円）
令和５年度	0	0
令和６年度	0	0
令和７年度	9,888	9,888

上記の評価と課題等

過納となった返納金を適切に還付できました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	277

予算				総合計画		
	款	08	予備費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	予備費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	予備費			
	事業	1100340	予備費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
32,516,000	0	0	32,516,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費の執行はありませんでした。

上記の評価と課題等

予備費の執行はありませんでした。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

1　事業概要

後期高齢者医療制度は、高齢者が安心できる適切な医療の確保を目的として創設されました。長野県後期高齢者医療広域連合が保険者として事業の運営を行い、長野県内全市町村で構成されています。

広域連合と市町村で役割分担が明確化されており、保険料については広域連合が賦課し、市町村が徴収をすることとなっています。

市町村は特別会計を設け、徴収した保険料や決められた事務的経費などを広域連合へ納付します。

2　加入状況　（令和８年３月 31 日現在）

	後期高齢者被保険者数		全人口に占める被保険者の加入割合
	全被保険者数	内障害認定	
令和 7 年度	18,717 人	118 人	19.6 %
令和 6 年度	18,304 人	138 人	19.2 %
令和 5 年度	17,846 人	161 人	18.9 %

3　一人当りの年間医療費の状況

令和 7 年度	904,336　円
令和 6 年度	902,224　円
令和 5 年度	883,695　円

※令和７年度は速報値。

4　歳入状況

（１）　歳入内訳　（単位:円）

区　　分	特別徴収保険料（現年分）①	普通徴収保険料（現年分）②	普通徴収保険料（滞納繰越分）③	督促手数料④	小計(⑤) ①+②+③+④
令和７年度	897,101,500	505,306,100	3,044,410	27,500	1,405,479,510
令和６年度	827,787,600	459,010,500	1,434,306	162,400	1,288,394,806
令和５年度	734,006,200	362,973,404	1,080,660	144,100	1,098,204,364

国庫補助金⑥	事務費繰入金⑦	保険基盤安定繰入金⑧	繰越金⑨	保険料還付金還付加算金⑩	延滞金⑪	合　　計 (⑤+⑥+⑦+⑧+⑨+⑩+⑪)
2,808,000	50,752,828	306,918,990	44,571,011	1,937,400	84,900	1,812,552,639
0	46,905,127	308,187,839	33,663,891	727,300	49,000	1,677,927,963
0	45,296,522	275,869,414	34,182,559	825,700	75,100	1,454,453,659

（２）　一般会計繰入金内訳　　（単位:円）

区　　分	令和 7 年度	令和 6 年度	令和 5 年度
保険基盤安定繰入金	306,918,990	308,187,839	275,869,414
広域連合事務費分	44,348,774	40,925,627	39,881,322
特別会計事務費分	6,404,054	5,979,500	5,415,200
合　　計	357,671,818	355,092,966	321,165,936

（３）　保険料収納状況

ア　保険料率　均等割額：６・７年度　44,365 円　（４・５年度　40,907 円）

所得割率：６・７年度　　9.45 ％　（４・５年度　　8.43%）

イ　保険料収納率等の推移

特別徴収：現年度分　　（単位：円・%）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠損額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備　考
7	896,205,800	897,101,500	0	△895,700	100.10		還付未済
6	825,884,300	827,787,600	0	△1,903,300	100.23		還付未済
5	733,240,200	734,006,200	0	△766,000	100.10		還付未済

普通徴収：現年度分　　（単位：円・%）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠損額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備 考
7	510,017,000	505,306,100	0	4,710,900	99.08	1,761,200	
6	461,960,200	459,010,500	0	2,949,700	99.36	1,305,004	
5	364,618,100	362,973,404	0	1,644,696	99.55	223,996	

※未済額の年度比較＝当該年度-前年度

現年度分計　（特別徴収＋普通徴収）　　（単位：円・%）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠　損 額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備 考
7	1,406,222,800	1,402,407,600	0	3,815,200	99.73	2,768,800	
6	1,287,844,500	1,286,798,100	0	1,046,400	99.92	167,704	
5	1,097,858,300	1,096,979,604	0	878,696	99.92	487,396	

※未済額の年度比較＝当該年度-前年度

滞納繰越分　　（単位：円・%）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠損額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備 考
7	6,924,150	3,044,410	1,160,000	2,719,740	43.97	△866,610	
6	5,169,156	1,434,306	148,500	3,586,350	27.75	158,690	
5	5,323,020	1,080,660	814,700	3,427,660	20.30	△354,160	

※未済額の年度比較＝当該年度-前年度

現年度分計＋滞納繰越分　　（単位：円・％）

年度	調 定 額①	収入済額②	不　納 欠損額③	収　入 未済額 (①-②-③)	収納率 ②/①	未済額の 年度比較	備 考
7	1,413,146,950	1,405,452,010	1,160,000	6,534,940	99.46	1,902,190	
6	1,293,013,656	1,288,232,406	148,500	4,632,750	99.63	326,394	
5	1,103,181,320	1,098,060,264	814,700	4,306,356	99.54	△133,236	

※未済額の年度比較＝当該年度-前年度

（4）保険料の軽減状況（令和８年３月 31 日：被保険者数　18,717　人）①

均等割　軽減区分	一般(人)②	被扶養者(人)③	小　計(人) (②+③) ④	割合(%) ④/①
7　割　軽　減	6,701	583	7,284	38.92
5　割　軽　減	3,307	91	3,398	18.15
2　割　軽　減	2,523	49	2,572	13.74
合　　計	12,531	723	13,254	70.81

※　後期高齢者医療保険制度加入直前に被用者保険（国保、国保組合は対象外）の被扶養者であった被保険者については、所得割がかからず、制度加入から２年間は５割軽減となります。

（5）滞納処分状況

a　資格確認書等の制限　　特別療養費：該当なし

b　差　押　平成 23 年度から、後期高齢者医療保険料の滞納整理を収納課の所管とし、効果的・効率的な収納体制が取られています。

c　分納誓約について　　同上

d　令和７年度後期高齢者医療保険料不納欠損状況

不 納 欠 損 事 由	人数(人)	総 期数　(件)	金　額(円)
時　　効　執行停止を伴わないもの	6	107	444,900
即 時 欠 損　法第 15 条の 7 第 5 項			
時　　効（執行停止済）	4	54	715,100
合　　計	10	161	1,160,000

5　経理状況

歳入総額 1,812,552,639 円、歳出総額 1,769,178,959 円となり、収支差引額は 43,373,680 円です。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	289

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	2600010	一般管理費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
52,000	51,883	0	117	99.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
51,883		事務費繰入金	51,883		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

後期高齢者医療制度は、長野県後期高齢者医療広域連合と市町村が、事業運営に係る事務分担を明確にして、運営されています。

１　資格確認書の交付事務
申請・各種届出の受付、広域連合への申請書等の送付、端末への情報入力、広域連合から送付された資格確認書等の被保険者への交付などを行います。

２　医療給付事務
所得・世帯状況の把握、負担区分判定等の広域連合との連携処理（負担区分判定に必要な情報等の送付）などを行います。

３　保険料の賦課・徴収に係る事務
保険料の徴収、保険料の減免・徴収猶予に係る申請の受付等を行います。

上記の評価と課題等

資格確認書の交付、高額介護合算療養費等給付関係の申請受付事務等が順調に遂行できました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	289

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴収費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	徴収費			
	事業	2600030	徴収費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,189,000	9,187,971	0	1,029	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,187,971		事務費繰入金	6,352,471		
		督促手数料	27,500		
		子ども・子育て支援事業費補助金	2,808,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

事務費の確保により、後期高齢者医療保険料徴収事務を行いました。

・納付書等封入封緘業務委託　　5,472,193円
・子供子育て支援金対応システム改修業務委託　2,808,300円
・後期高齢者医療システム標準化に係る業務委託　671,000円

上記の評価と課題等

収納課との連携等により、適切かつ効率的な保険料徴収事務が行われ、現年度分については、99.73%となりました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	289

予算				総合計画		
	款	02	後期高齢者医療広域連合納付金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	後期高齢者医療広域連合納付金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	後期高齢者医療広域連合納付金			
	事業	2600070	広域連合納付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,758,002,000	1,758,001,505	0	495	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
347,873,106		事務費繰入金	40,954,116		
		保険基盤安定繰入金	306,918,990		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

後期高齢者医療保険の保険者である『長野県後期高齢者医療広域連合』へ、法令等で定められた納付金を納入することにより、健全な運営が保たれています。

区　分	支出額（円）	対前年増減額（円）	対前年比（%）
令和５年度	1,414,424,900	69,808,952	105.2
令和６年度	1,626,516,041	212,091,141	115.0
令和７年度	1,758,001,505	131,485,464	108.1

上記の評価と課題等

高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、決められた納付金を適正に納入することができました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	289

予算				総合計画		
	款	03	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保険料還付金			
	事業	2600080	保険料還付金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,938,000	1,937,600	0	400	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

所得の減額更正等により、過年度へ遡及して保険料の減額更正が行われ、それに伴い発生する保険料の還付事務を適切に遂行することができました。

後期高齢者医療被保険者還付金の推移　（単位：円・人）

	還付した額（内)充当額		還付対象者	充当対象者
令和５年度	826,000	（内）　3,800	127	2
令和６年度	727,500	（内）10,600	138	2
令和７年度	1,937,600	（内）　2,200	172	1

上記の評価と課題等

地方税法の規定に基づき、保険料の還付事務が適切に遂行できました。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	289

予算				総合計画		
	款	03	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	還付加算金			
	事業	2600085	還付加算金		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

後期高齢者医療保険料（以下「保険料」という）の還付金（過誤納金）が発生した場合、地方税法第17条の4の規定に基づき、保険料が納付された翌日から起算して支払いが決定された日までの間の日数に応じて、年1.3%（令和４年１月１日から令和７年12月31日までの期間は年0.9%、令和３年１月１日から令和３年12月31日までの期間は年1.0%、平成30年１月１日から令和２年12月31日までの期間は年1.6%）の割合を乗じて計算した額を、還付すべき過誤納額（保険料）に加算します。

上記の評価と課題等

還付加算金の該当となる還付金はありませんでした。

令和８年度	
部	保健医療部
課	国保年金課
係等	国保年金担当

決算書ページ	289

予算				総合計画		
	款	04	予備費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	予備費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	予備費			
	事業	2600150	予備費		施策	健康づくりの推進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
39,597,000	0	0	39,597,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

予備費の執行はありませんでした。

上記の評価と課題等

予備費の執行はありませんでした。

介護保険特別会計

介護保険特別会計　概要

1　要介護認定者と介護給付の状況

令和８年３月末における第１号被保険者数（65 歳以上）は 30,760 人で、前年の同時点より 0.32%増加しました。

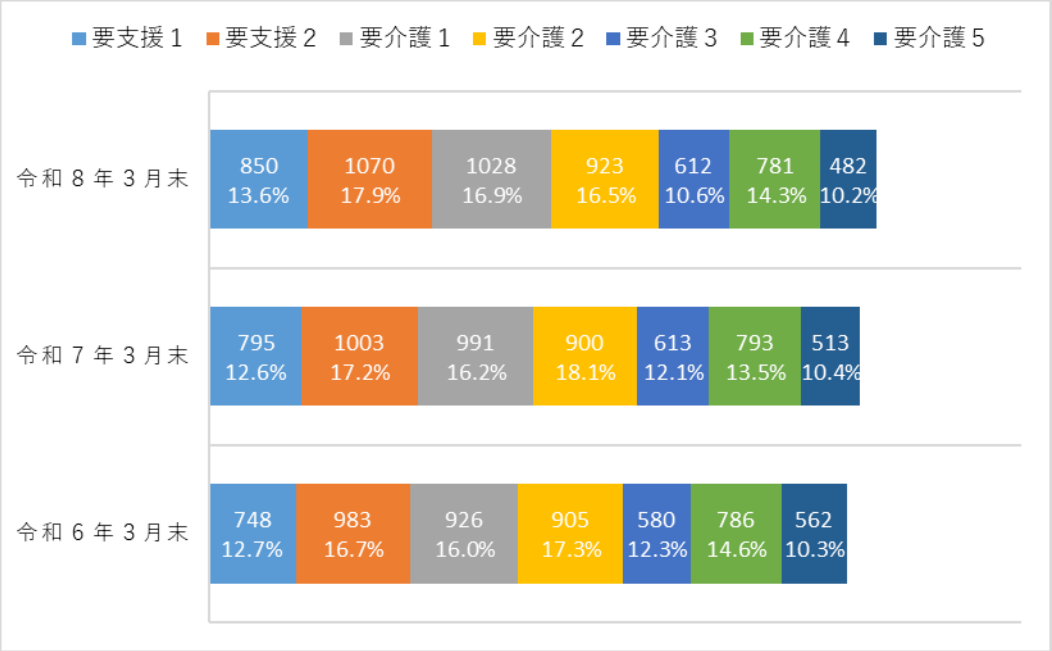
第１号被保険者数の推移（介護保険事業状況報告）　（人）

	令和６年３月末	令和７年３月末	令和８年３月末
65 歳～74 歳	12,939	12,417	12,105
75 歳～84 歳	11,787	12,233	12,520
85 歳以上	5,962	6,011	6,135
合計	30,688	30,661	30,760

また同時点の、第１号被保険者における要介護・要支援認定者数は、5,746 人で、前年に比べ 138 人（2.5%）増加しており、ここ４年間は増加しています。第１号被保険者数に対する認定者数の割合（認定率）は、18.68%と前年の 18.32%に対して 0.36 ポイント増加しました。

また、介護度別にみると、要支援・要介護１・２の認定者数は 3,871 人で前年に比べ 182 人増加しました。介護度の高い認定者数（要介護 3～5）は 1,875 人で前年に比べ 44 人減少となりました。

第１号被保険者の要介護認定者数の推移（介護保険事業状況報告）　（人）



介護給付の受給者は、居宅サービス等の受給者が 3,827 人で前年より 56 人増加、地域密着型サービス受給者は 1,121 人で前年より７人増加、施設サービス受給者が 794 人で前年より 28 人減少となりました。

介護給付の受給者(介護保険事業状況報告)(人)

	令和６年３月分	令和７年３月分	令和８年３月分
居宅介護（介護予防）サービス受給者数	3,664	3,771	3,827
地域密着型（介護予防）サービス受給者数	1,088	1,114	1,121
施設介護サービス受給者数	830	822	794

２　介護予防・日常生活支援総合事業の状況

この事業は、要支援者等に対して、要介護状態等となることの予防又は要介護状態の軽減若しくは重度化防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施することにより、一人ひとりが活動的で生きがいのある生活を送ることができるようになることを目的としています。

(1)総合事業各年度の3月末における利用者数(人)

サービス種類	令和５年度末	令和６年度末	令和７年度末
訪問介護相当サービス	268	230	199
訪問型サービスＡ	71	71	84
通所介護相当サービス	757	767	802
通所型サービスＡ	61	74	58
合計	1,157	1,142	1,143

(2)介護予防普及啓発事業の参加延べ人数(人)

サービス種類	令和５年度	令和６年度	令和７年度
拠点介護予防教室	588	738	912
認知機能向上教室	513	494	254
複合型介護予防教室 （運動機能向上教室）	1,827	1,030	658
口腔機能向上教室	291	346	352
合計	3,219	2,608	2,176

(3)介護予防体操動画配信事業の参加延べ人数(人)

介護予防体操動画配信事業	1,664	2,026	2,134

３　歳入歳出の状況

（１）　決算額

	令和５年度決算額	令和６年度決算額	**令和７年度決算額**
歳入総額	10,121,514,791 円	10,351,523,359 円	**10,349,145,116 円**
歳出総額	9,831,042,171 円	10,145,473,443 円	**10,116,100,945 円**
歳入歳出差引額	290,472,620 円	206,049,916 円	**233,044,171 円**

（２） 歳入

ア　主な歳入　　（単位：千円）

年度	保 険 料	国庫支出金	支払基金交付金	県支出金	繰 入 金
令和５年度	2,148,706	2,364,124	2,566,424	1,423,495	1,369,791
令和６年度	2,200,630	2,400,757	2,595,873	1,438,194	1,399,065
令和７年度	2,239,565	2,403,186	2,615,730	1,455,594	1,422,610

※償還金を含む金額です。

イ　介護保険料の内訳

	年度	調定額 ①　(円)	収入済額 ②　(円)	収納率 ②/①	不納欠損額 (円)	収入未済額 (円)
現年度分 特別徴収	5	1,979,760,380	1,981,273,280	100.0%	0	△1,512,900
	6	2,022,342,280	2,024,015,330	100.0%	0	△1,673,050
	7	2,052,925,810	2,054,025,870	100.0%	0	△1,100,060
現年度分 普通徴収	5	167,760,960	163,617,289	97.53%	0	4,143,671
	6	177,698,590	173,644,650	97.72%	0	4,053,940
	7	186,675,750	182,546,220	97.79%	0	4,129,530
滞納繰越分	5	9,912,236	3,816,294	38.50%	617,407	5,478,536
	6	9,617,266	2,970,871	30.89%	400,060	6,246,335
	7	10,372,765	2,993,346	28.86%	1,131,304	6,248,115
合　計	5	2,157,433,576	2,148,706,863	99.60%	617,407	8,109,307
	6	2,209,658,136	2,200,630,851	99.59%	400,060	8,627,225
	7	2,249,974,352	2,239,565,436	99.54%	1,131,304	9,227,585

＊現年度分特別徴収の収入未済額△1,100,060 円は、年度途中で死亡された方などの保険料ですが、年金保険者（日本年金機構等）への返納手続きを要する場合もあり、令和７年度末時点では還付未済となっています。

ウ　介護保険料の減免実績

年度	件数	減免額
令和７年度	０件	０円

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	305

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般管理費			
	事業	3100010	一般管理費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
14,613,000	14,592,605	0	20,395	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
14,592,805		介護保険審査支払等システム改修経費補助金	825,000		
		事務費繰入金	13,767,805		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　地域密着型事業所等の指導・管理
- 令和７年度の指定更新および中間年における運営指導
  - 指定更新　　地域密着型事業所（８事業所）　居宅介護支援事業所（11事業所）
  - 中間年　　地域密着型事業所（12事業所）　居宅介護支援事業所（3事業所）
  - その他指導　地域密着型事業等（３事業所）　居宅介護支援事業所（１事業所）
- 令和７年度の監査および行政処分
  - 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護において、利用者に対する身体的虐待事案が確認されたことから、監査を実施し事実確認を行った。
  - 監査の結果、人格尊重義務違反による指定の一部効力停止　６箇月（介護報酬上限７割）

2　介護事業者台帳システム「介護台帳LIGHT」使用
- 年間：令和７年４月１日～令和８年３月31日　363,000 円（使用料）

3　介護保険システムの改修
- 税制改定に伴う介護保険システム（Reams.NET)の改修　1,090,000 円
  - 介護保険料段階判定、所得管理項目の追加、住民税所得引き出しの修正
- 介護報酬改定に伴う介護保険システム（Reams.NET)の改修　536,800 円
  - 保険料における所得基準(80万円の基準)、高額介護サービス・補足給付における所得基準(80万円の基準)を改正し80.9万円とする制度改正に係るシステム改修

上記の評価と課題等

新規指定申請に伴う現地確認・その他事業所の運営確認のための運営指導を行いました。定期的に実施している指定更新及び中間年に行う地域密着型事業所等の運営指導も行いました。また、指定の一部効力停止６箇月（介護報酬上限７割）とした行政処分を行い、今後も事業所の適切な管理運営を図る必要性から、定期的に事業の運営状況を確認していく予定です。

介護事業者台帳システムを継続活用することにより、指定事業者管理が一元化できています。また、県とのデータ連携を定期的に行うことで、情報の正確性が得られています。今後、電子申請ｻｰﾋﾞｽの活用を進めることで、事務の効率化に繋げていきます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	305

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	徴収費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	賦課徴収費			
	事業	3100020	賦課徴収事務費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,108,000	7,106,902	0	1,098	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,051,402		督促手数料	46,111		
		事務費繰入金	6,950,562		
		事務費繰越金	54,729		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　納入開始通知書封入封緘業務・代行プリント・帳票作成業務委託　委託料　　5,378,698 円

2　督促状　　2,694 件　　（前年度2,711 件）

上記の評価と課題等

前年度と比較し、督促状発送件数が0.63%減少しました。引き続き口座振替登録を推奨する等、督促状発送件数の削減に努め、滞納額の削減を目指します。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	認定調査係

決算書ページ	305

予算				総合計画		
	款	01	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	介護認定審査会費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	認定調査費等			
	事業	3100030	認定調査費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
99,969,000	99,946,703	0	22,297	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
99,946,703		事務費繰入金	99,945,703		
		雑入	1,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

介護保険申請に基づき、認定調査員が認定調査票を基に本人や家族から被保険者の心身の状況および介護の状況等を聞き取り、要介護認定に必要な基礎的調査を実施しました。その調査票と主治医意見書を基に、松本広域連合にて要介護認定の審査判定を実施していますが、認定調査員の研鑽もあり、継続して質の高い調査票作成事務を行うことができています。

1　要介護・要支援認定申請件数

	初回	区分変更	更新	再申請(外)	転入等	計
令和５年度	1,442 件	577 件	2,800 件	165 件	44 件	5,028 件
令和６年度	1,609 件	658 件	1,654 件	188 件	63 件	4,172 件
令和７年度	1,506 件	643 件	2,320 件	148 件	57 件	4,674 件

2　主治医意見書の作成依頼件数

	在宅・新規 @5,000円	施設・新規 @4,000円	在宅・継続 @4,000円	施設・継続 @3,000円	計	作成料
令和５年度	1,718 件	1,102 件	1,819 件	314 件	4,953 件	23,337,600 円
令和６年度	1,451 件	1,076 件	1,175 件	280 件	3,982 件	18,808,900 円
令和７年度	1,489 件	1,162 件	1,533 件	322 件	4,506 件	21,110,100 円

3　業務委託、業務受託

県外の介護保険施設等を利用する被保険者を対象に、認定調査の業務委託を現地の居宅介護支援事業所等に委託するとともに、状態が安定している更新申請の被保険者を対象に個人委託しました。また、他市町村等からの認定調査を受託しました。

（委託）行政委託　8件　　事業所等委託　30件　　個人委託　733件

（受託）行政受託　8件　　２号生保受託　2件

上記の評価と課題等

・今後も公平・公正且つ効率的な認定調査を実施するとともに、認定調査技術の向上に努め質の高い認定調査を実施します。

・高齢者人口の増加に伴い、申請件数も増加傾向にあります。速やかな認定調査の実施のため、令和８年度から指定市町村事務受託法人へ認定調査の一部委託を開始予定です。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	307

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護サービス等諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護サービス等諸費			
	事業	3100070	介護サービス等諸費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,893,204,000	8,893,203,533	0	467	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,908,860,169		介護給付費負担金(国)	1,616,314,469	介護給付費繰入金	1,111,645,574
		介護給付費負担金(県)	1,273,964,023	現年度分調整交付金	433,735,664
		介護給付費交付金	2,401,154,439	納付金	34,000
		低所得者保険料軽減繰入金	72,012,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　給付額の種類別受給者延べ人数内訳（介護保険事業状況報告）

（単位：人）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
居宅サービス	44,257	45,215	45,813
地域密着型サービス	13,220	13,139	13,416
施設サービス	9,913	9,833	9,718
合　　計	67,390	68,187	68,947

2　給付額の種類別給付額内訳

（単位：円）

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
居宅サービス	3,857,201,451	3,998,461,434	4,040,448,055
前年度比	101.9%	103.7%	101.1%
地域密着型サービス	1,922,532,762	1,969,813,490	2,016,229,222
前年度比	99.4%	102.5%	102.4%
施設サービス	2,845,327,939	2,872,811,200	2,836,526,256
前年度比	100.2%	101.0%	98.7%
合　　計	8,625,062,152	8,841,086,124	8,893,203,533
前年度比	100.8%	102.5%	100.6%

予算	款	02	保険給付費	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護サービス等諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護サービス等諸費			
	事業	3100070	介護サービス等諸費		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　居宅サービス給付額の種類別内訳　　（単位：円）

サービス種類	令和５年度	令和６年度	令和７年度
居宅介護サービス費	3,174,946,198	3,291,188,910	3,331,471,237
前年度比	100.1%	103.7%	101.2%
居宅介護福祉用具購入費	8,317,354	10,073,152	10,539,891
前年度比	82.0%	121.1%	104.6%
居宅介護住宅改修費	10,163,985	11,896,724	12,232,960
前年度比	89.5%	117.0%	102.8%
居宅介護サービス計画費	405,830,492	408,482,243	406,019,107
前年度比	100.9%	100.7%	99.4%
介護予防サービス費	187,781,406	200,974,130	202,239,407
前年度比	99.3%	107.0%	100.6%
介護予防福祉用具購入費	4,467,718	4,366,048	5,159,357
前年度比	127.0%	97.7%	118.2%
介護予防住宅改修費	10,189,201	11,429,226	11,089,143
前年度比	100.8%	112.2%	97.0%
介護予防サービス計画費	55,505,097	60,051,001	61,696,953
前年度比	102.5%	108.2%	102.7%
合　　計	3,857,201,451	3,998,461,434	4,040,448,055
前年度比	100.1%	103.7%	101.1%

上記の評価と課題等

総給付額は、微少傾向にあり、令和７年度は前年比95.8%と減少しました。居宅等サービスは受給者人数が増加し、給付額も増加しています。施設サービスは受給者が減少、給付費も減少しています。特養等への入所について、感染症等で入所を遅らせるケース等があったためと思われます。８年度も施設サービス費は給付制限をしている施設があるため減少する可能性があります。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	307

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料			
	事業	3100080	審査支払手数料		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
8,924,000	8,923,184	0	816	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,860,490		介護給付費負担金(国)	1,621,912	介護給付費繰入金	1,115,495
		介護給付費負担金(県)	1,278,376	現年度調整交付金	435,238
		介護給付費交付金	2,409,469		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国民健康保険団体連合会への審査委託支払金額・件数

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
支払金額	8,724,592 円	8,853,004 円	8,923,184 円
対象件数	150,424 件	152,638 件	153,848 件

・令和7年度は前年度比1.08%増加しました
・審査単価　58円/1件

上記の評価と課題等

令和７年度の審査件数は前年度に比べ微増となりました。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	307

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	高額介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	高額介護・予防サービス費			
	事業	3100090	高額介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
197,379,000	197,378,665	0	335	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
151,738,480		介護給付費負担金(国)	35,873,010	介護給付費繰入金	24,672,224
		介護給付費負担金(県)	28,274,772	現年度調整交付金	9,626,471
		介護給付費交付金	53,292,003		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

サービス利用者の１か月の費用負担（１～３割負担）が、負担上限額を超えたときに支給するものです。

	令和５年度	令和６年度	令和7年度
給付費	184,288,636 円	196,845,362 円	197,378,665 円
対象件数	15,257 件	15,597 件	15,801 件

・給付費の前年度比では、令和６年度は6.8%増加、令和７年度は0.3%増加しました。
・対象件数の前年度比では、令和６年度は340件、令和７年度は204件増加しました。

上記の評価と課題等

令和３年度の制度改正により、自己負担限度額の上限が上がり、令和５年度から給付費並びに件数が微増しています。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	307

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	特定入所者介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	特定入所者介護・予防サービス費			
	事業	3100095	特定入所者介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
144,502,000	144,501,696	0	304	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
111,088,343		介護給付費負担金(国)	26,262,773	介護給付費繰入金	18,062,633
		介護給付費負担金(県)	20,700,073	現年度調整交付金	7,047,577
		介護給付費交付金	39,015,287		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

施設入所者やショートステイ利用者の低所得者対策として、食費、居住費（滞在費）に係る費用の一部（利用者負担限度額と施設が定める基準額の差額）を給付しました。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
給付金額	167,642,594 円	154,397,353 円	144,501,696 円
負担限度額認定者	718 人	714 人	727 人

（負担限度額認定者数は高齢者介護課調べ）

上記の評価と課題等

給付費の減少は、令和３年度の制度改正により認定基準となる要件及び区分が改正された影響が残っていると推察されます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	307

予算				総合計画		
	款	02	保険給付費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	05	高額医療合算介護サービス等費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	高額医療合算介護・予防サービス費			
	事業	3100096	高額医療合算介護・予防サービス費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
31,436,000	31,435,766	0	234	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
24,180,664		介護給付費負担金(国)	5,716,633	介護給付費繰入金	3,931,704
		介護給付費負担金(県)	4,505,797	現年度調整交付金	1,534,050
		介護給付費交付金	8,492,480		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

同一世帯内で１年間の医療及び介護の両制度における自己負担額の合算額が高額になった場合に、合算算定基準額の上限額を超える部分について給付しました。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
給付費	26,686,669 円	28,269,559 円	31,435,766 円
対象件数	848 件	941 件	994 件

上記の評価と課題等

給付費、件数ともに増加傾向です。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	309

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護予防事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般介護予防事業費			
	事業	3100102	一般介護予防事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
24,949,000	23,905,750	0	1,043,250	95.8%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,407,425		地域支援交付金（新総合事業）	4,781,150	総合事業現年度分調整交付金	1,195,287
		支払基金支援交付金現年度分	6,454,552		
		地域支援県交付金（新総合事業）	2,988,218		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	2,988,218		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

65歳以上の方が、介護予防の知識を身につけ、地域の身近な場所で、人との繋がりを通して介護予防活動に継続して取り組めるよう以下の事業を実施しました。

1　介護予防把握事業　（報償費、委託料他：2,722,367円）

（1）対象者実態把握

健診未受診かつ医療・介護サービス未利用等の方を対象に、看護師が訪問し健康状態を把握するとともに、介護予防活動の普及啓発をしました。

	対象者数	訪問実施者数
令和５年度	106 人	81 人（76.4%）
令和６年度	101 人	79 人（78.2%）
令和７年度	118 人	97 人（82.2%）

（2）シニア歯科健康診査

	対象者数	受診者数
令和５年度	4,084 人	525 人（12.9%）
令和６年度	3,717 人	487 人（13.1%）
令和７年度	3,558 人	431 人（12.1%）

2　介護予防普及啓発事業（報酬、委託料他：10,673,783円）

介護予防に関する啓発活動・介護予防教室・認知症予防教室・口腔機能改善事業等を行いました。教室終了後も継続して介護予防活動に取り組めるよう参加者に対して情報提供と相談支援等を行いました。介護予防体操動画配信事業では、オンラインによる介護予防体操動画配信コンテンツを提供し、自宅や通いの場での活用を推進しました。

		教室等講座種別数	開催回数	参加実人員	参加延人員
令和５年度	介護予防教室等	6 教室等	237 回	500 人	3,219 人
	出前講座等	3　講座	10 回	109 人	109 人
	動画配信事業			（※）1,664 人	
令和６年度	介護予防教室等	5 教室等	160 回	355 人	2,608 人
	出前講座等	3　講座	16 回	282 人	282 人
	動画配信事業			（※）2,026 人	
令和７年度	介護予防教室等	5 教室等	139 回	381 人	2,238 人
	出前講座等	1　講座	33 回	428 人	428 人
	動画配信事業			（※）2,134 人	

（※）令和５年度からの延べ人数

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護予防事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	一般介護予防事業費			
	事業	3100102	一般介護予防事業費		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　地域介護予防活動支援事業（報償費、補助金他：10,509,600円）

近隣住民が気軽に集まり地区単位で介護予防教室等を開催する自主グループ（通いの場）の活動内容の把握を行い、必要な住民に情報提供を行いました。また、３か所で新たな自主グループの立ち上げ支援を行いました。

（１）通いの場等の把握

	通いの場等の数	参加する高齢者数	参加率
令和５年度	321 か所	2,624 人	7.6 %
令和６年度	340 か所	2,883 人	8.1 %
令和７年度	263 か所	3,585 人	9.3 %

＊参加率は、毎年４月１日高齢者人口に対する割合

＊通いの場の数は月１回未満の活動団体も含む

＊参加する高齢者数は月１回以上参加する者の人数

（２）自主グループ活動支援事業　　新規自主グループ立ち上げ支援

	実施個所数	実施回数	参加実人員	参加延人員
令和５年度	3 か所	116 回	42 人	1,361 人
令和６年度	7 か所	96 回	146 人	1,569 人
令和７年度	3 か所	59 回	46 人	640 人

（３）アクティブシニアがんばろう事業

	団体数
令和５年度	85
令和６年度	94
令和７年度	104

※令和６年度より一般会計から介護保険特別会計へ事業を移管しています。

４　高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（決算：健康支援課計上）

健康支援課、国保年金課と当課におけるプロジェクト会議を実施し、KDB（国保データベース）システム等の分析、健康課題、対象者の明確化など保健事業と介護予防の一体的な事業を実施しました。

当課としては、通いの場等においてフレイル全般、認知症、栄養、口腔機能向上等の健康教育と健康相談、後期高齢者質問票による健康状態の把握を行いました。

		開催通いの場数	回数	高齢者数
令和５年度	健康教育・健康相談※	18か所	18 回	206 人
	健康状態把握(再掲)	5か所	5 回	90 人
令和６年度	健康教育・健康相談※	28か所	28 回	423 人
	健康状態把握(再掲)	9か所	9 回	120 人
令和７年度	健康教育・健康相談※	29か所	33 回	428 人
	健康状態把握(再掲)	26か所	32 回	417 人

上記の評価と課題等

生活面・運動面・栄養面・口腔面の機能維持向上について、各分野の専門職が連携した介護予防教室を実施するとともに、民間事業所が所有するICT機器を活用した認知機能検査とフレイル予防を学ぶ講座を開催し、介護予防・フレイル予防について普及啓発を行いました。また、教室参加者が自主グループの立上げを希望する場合は保健師等が自主化までを支援し、自宅や通いの場において、介護予防の体操に手軽に取り組めるよう動画配信事業を実施しました。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業では、75歳以上の高齢者を対象に健康教育や健康状態の把握、フレイル予防のためのポピュレーションアプローチを実施しました。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	309

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費			
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
93,405,000	93,031,908	0	373,092	99.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
72,123,510		地域支援交付金（新総合事業以外）	35,059,100	雑入	194,760
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	17,529,550		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	17,565,550		
		介護予防サービス計画費収入	1,774,550		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括支援センターは、市が設置主体となり、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、３職種のチームアプローチにより、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的とする施設です。

地域包括支援センターを市内３か所（本庁舎、穂高支所、三郷支所）に設置しています。運営については、中部地域包括支援センター（豊科・明科地域担当）は令和７年度から、北部地域包括支援センター（穂高地域担当）は平成25年度から、南部地域包括支援センター（三郷・堀金地域担当）は平成23年度から委託で運営しています。

１　地域包括支援センターの業務内容

（１）包括的支援事業

介護予防ケアマネジメント業務、総合相談支援業務、権利擁護業務、包括的･継続的ケアマネジメント支援業務の４業務を実施しました。

（２）指定介護予防支援事業

要支援認認定者及び事業対象者（介護予防のために何らかの支援が必要と判断された方）に対する介護予防支援業務を実施しました。

２　中部地域包括支援センター（担当地域：豊科・明科）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）

事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	その他		
令和５年度	1,256件		1,439件	130件	85件	162件	3,072件	103.1%
	40.9%		46.8%	4.2%	2.8%	5.3%	100%	
令和６年度	1,530件		2,142件	193件	203件	143件	4,211件	137.1%
	36.3%		50.9%	4.6%	4.8%	3.4%	100%	
令和７年度	2,622件		3,015件	231件	295件	124件	6,287件	149.3%
	41.7%		48.0%	3.7%	4.7%	2.0%	100%	

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業費			
	事業	3100106	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

3　南部地域包括支援センター（担当地域：三郷・堀金）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）

事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	その他		
令和５年度	1,943件		935件	76件	32件	20件	3,006件	75.5%
	64.6%		31.1%	2.5%	1.1%	0.7%	100%	
令和６年度	1,447件		857件	130件	47件	14件	2,495件	83.0%
	58.0%		34.3%	5.2%	1.9%	0.6%	100%	
令和７年度	1,525件		1,551件	47件	28件	41件	3,192件	127.9%
	47.8%		48.6%	1.5%	0.9%	1.3%	100%	

4　北部地域包括支援センター（担当地域：穂高）（上段：相談支援延べ件数 下段：割合）

事業	指定介護予防支援	包括的支援					合計	前年度比
業務	介護予防支援	介護予防ケアマネジメント	総合相談	権利擁護	包括的・継続的ｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ	その他		
令和５年度	3,966件		1,531件	181件	197件	44件	5,919件	103.5%
	67.0%		25.9%	3.1%	3.3%	0.7%	100%	
令和６年度	3,677件		1,920件	147件	271件	71件	6,086件	102.8%
	60.4%		31.5%	2.4%	4.5%	1.2%	100%	
令和７年度	2,893件		2,018件	198件	231件	27件	5,367件	88.2%
	53.9%		37.6%	3.7%	4.3%	0.5%	100%	

上記の評価と課題等

支援件数の合計は中部包括と南部包括で増加し北部包括は減少しています。権利擁護に関する相談は中部包括と北部包括で増加し、南部包括で減少となっています。業務の割合については、北部包括では介護予防支援・予防給付ケアマネジメントが最も高く、中部包括と南部包括では総合相談が最も高くなっています。

今後も高齢者の総合相談窓口として体制強化に努めるとともに、地域包括ケア推進に向け、委託包括と連携を図りながら各事業を継続して実施していく必要があります。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	309

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	任意事業費			
	事業	3100107	任意事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,901,000	6,514,448	0	386,552	94.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
5,025,236		地域支援交付金（新総合事業以外）	2,492,794		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	1,246,396		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	1,246,396		
		雑入	39,650		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　家族介護支援事業　　（扶助費：4,914,310円）

重度要介護者を介護する家族等の支援を行うことを目的として実施しました。

（1）家族介護用品購入助成事業

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
利用者数	176 人	163 人	118 人
決算額	7,714,060 円	6,330,113 円	4,914,310 円

（2）介護慰労金支給事業

令和７年度の申請はありませんでした。

2　介護給付費適正化事業　　（報償費、消耗品費：18,120円）

（1）ケアプラン点検の実施

長野県介護支援専門員協会から講師の派遣を受け、介護給付費の適正化のためのケアプラン点検を行いました。同時に該当事業所への保険者によるコンプライアンスの確保に関する点検も実施しました。また、点検内容の講評及び自立支援に資するケアプラン作成のための講習会を開催しました。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
点検件数	102 件	101 件	110 件
点検を受けた介護支援専門員	26 人	30 人	31 人
点検を受けた事業所数	14 事業所	12 事業所	12 事業所

（2）ケアプラン検証会議

訪問介護における生活援助中心型サービスの利用回数が基準回数以上のケアプランについて、利用者の自立支援・重度化防止や地域資源の有効活用等の観点から、リハビリ専門職（理学療法士）にも参加いただき、多職種協働による検証会議を開催しました。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
検証会議件数	4 件	2 件	4 件

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	02	任意事業費			
	事業	3100107	任意事業		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

３　認知症サポーター等養成事業　　（報償費、消耗品費：126,520円）

認知症を理解し、認知症の人と家族を支える認知症サポーターを養成する講座を開催しました。

	開催回数	参加者数	サポーター累計
令和５年度	19 回	326 人	7,787 人
令和６年度	18 回	327 人	8,114 人
令和７年度	29 回	628 人	8,742 人

４　介護相談員派遣事業　　（報償費、負担金、保険料他：1,032,000円）

介護サービスを利用する高齢者や家族から介護サービスに関する不安、疑問等の相談等に応じ、その解決のためにサービス事業者や行政との橋渡しを行い、介護サービスの質の向上を図るため４人の介護相談員を施設等へ派遣しています。令和７年度は、直接施設への訪問を実施しました。

また、介護相談員には活動に必要な知識の習得のために研修会に参加いただいています。

	開催回数			開催施設数			
	計	訪問	オンライン	計	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	有料老人ホーム
令和５年度	47 回	38 回	9 回	8 施設	4 施設	1 施設	3 施設
令和６年度	84 回	84 回	0 回	8 施設	4 施設	1 施設	3 施設
令和７年度	82 回	82 回	0 回	9 施設	5 施設	1 施設	3 施設

※施設に併設されるデイサービスセンター等にも訪問しています。

５　成年後見制度利用支援事業　　（役務費、扶助費：201,860円）

成年後見制度の市長申立てが必要な高齢者の審判にかかる費用負担等について、令和７年度は、４件でした。また、成年後見人への報酬助成は１件でした。

	市長申立て件数	報酬助成件数
令和５年度	0件	0件
令和６年度	6件	0件
令和７年度	4件	1件

上記の評価と課題等

家族介護用品購入助成事業は、利用者数、使用率（使用枚数/交付枚数）共に減少しましたが、家族介護者の経済的な負担軽減を図ることができています。

ケアプラン点検は、介護支援専門員の資質向上、スキルアップのために有効であり、適正なサービス提供から給付の適正化につながる効果が期待できます。

認知症サポーター養成講座については、市主催で一般市民と市職員を対象に５月と９月のオレンジキャンペーン期間中に開催したほか、依頼等により27回開催し計29回の開催となりました。より多くの年代に普及啓発していけるよう、地区や小中学校、市内企業等と連携していく必要があります。

成年後見制度利用支援事業の報酬助成について、経済的に困窮している人の市長申立てが増えていることから、今後は報酬助成の件数も増えていくことが見込まれます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100112	在宅医療・介護連携推進事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
455,000	402,960	0	52,040	88.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
310,277		地域支援交付金（新総合事業以外）	155,139		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	77,569		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	77,569		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療・介護連携推進事業を実施しました。

地域包括ケアシステムの実現に向けて、切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築のため、安曇野市医師会、介護保険事業所等と協働し、在宅医療・介護連携事業を実施しています。

（１）安曇野市医師会への委託業務（委託料：108,400円）

在宅医療と介護サービスを一体的に提供するために事業の一部を医師会へ委託する中で、在宅医療推進協議会全体会議を１回開催し、在宅医療・介護連携のための情報共有、課題について意見交換を行いました。

医療・介護関係者の人材育成のための研修として、安曇野市介護保険業務継続計画研修会、在宅医療・介護連携多職種連携研修会を開催しました。多職種連携研修会は「看取り対応」についての症例報告・グループワークを行いました。

自分の望む医療やケアを意思表示する「安曇野市リビングウィル」を800部作成し、普及啓発を進めました。

（２）エンディングノートの普及啓発（需用費：258,500円）

これまでの人生を振り返り、これからの人生を考えるきっかけづくりとなる「エンディングノート」を1,500部印刷し、普及啓発を進めました。

上記の評価と課題等

第９期介護保険事業計画に基づき、在宅医療推進協議会で確認された「ACP、リビングウィルの取組」と「多職種連携の取組」を柱に事業を進めます。６年ぶりに開催することができた多職種連携研修会では、医療介護専門職の知識向上、顔の見える関係づくりにつながりました。市医師会とともに作成したリビングウィルは、令和８年１月からの運用を開始しました。本人の意思が尊重され、望む医療やケアが受けられるよう、エンディングノート、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）、リビングウィルの普及啓発を進めていきます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
9,170,000	8,584,614	0	585,386	93.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,610,152		地域支援交付金（新総合事業以外）	3,305,076		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	1,652,538		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	1,652,538		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括ケアの推進に向けて、生活支援体制整備事業を実施しました。市全体を第１層、旧町村を単位とする市内５地域を第２層とし、第２層圏域の生活支援体制整備事業は、社会福祉協議会及びNPO法人JAあづみくらしの助け合いネットワークあんしんに委託しました。
（委託料；7,858,000円）

１　生活支援コーディネーターの取組

生活支援コーディネーターは第１層に１人、第２層の５地域にそれぞれ１人ずつ配置しています。各地域の課題を把握し、その課題の解決にむけた活動に取り組みながら、地域共生社会の実現を目指しました。

２　協議体の取組

コーディネーターが主体となり、介護予防・生活支援サービス提供団体等を委員とする協議体を必要に応じて地域に設置し会議を開催しました。

第１層協議体会議 開催回数：０回
内容：これまで介護保険等運営協議会に位置付けていた第１層協議体を令和７年度から地域包括ケア推進会議の部会において実施することとしました。今後は第２層からの依頼に基づき開催していく予定です。

第２層協議体会議 開催回数：15回
内容：各団体の取組報告、地域主催サロンの支援、認知症の方にやさしい地域づくり、支え合いの仕組みづくり等について、情報共有・検討を行いました。

３　住民参画・官民連携推進事業（安曇野いきいき大楽）

民間事業所の空きスペースや車両等を活用した送迎付きの通いの場を穂高地域で実施しました。
・いきいき元気塾キャンパス　　（令和７年４月～）　登録者76人
・トレーニングジムZEROキャンパス　（令和８年２月～）　登録者11人

予算	款	03	地域支援事業	総合計画	将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100113	生活支援体制整備事業費		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　地域支え合い推進フォーラム（旅費、講師謝礼：28,020円）

開催日	令和８年２月21日(土)
目的・テーマ	超超高齢社会をどう生きるか？～自分らしく生きるためのきっかけを見つけよう～
内　容	講演及び地域の団体、企業の活動紹介
参加者	生活支援コーディネーター、区長、民生委員、シニアクラブ会員、介護保険事業者、民間事業者、市職員等　191名

５　通いの場・生活支援サービスガイドブックの増刷（印刷製本費：316,800円）

介護予防・フレイル予防に取り組むきっかけにしていただくため、地域の「通いの場」や高齢者の生活を支える「生活支援サービス」の情報をまとめたガイドブック（R5作成）を更新しました（R8.2発行）。高齢者が自分のやりたい活動を簡単に探せるように「何を楽しみたいのか」という視点から掲載団体をとりまとめ、2,000部印刷し、区長やケアマネに配布したほか、市民、関係者、市窓口で周知しました。

６　地域見守り活動ステッカー（印刷製本費：352,000円）

地域見守り活動を進めるために、車両貼り付け用マグネットシートを　450部（B5、B6、B7）作成し、周知啓発を進めました。

上記の評価と課題等

生活支援コーディネーターの配置と協議体の設置により、身近な地域でのネットワークの仕組みづくりや、高齢者が地域で安心して生活するための地域課題を検討し、軽作業やサロンの立ち上げなどの地域支え合い活動を始めています。今後も、地域において支え合いや助け合いを広げるため、庁内関係部署と連携して協議体活動を進め、地域包括ケア体制の充実を図ります。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100114	認知症総合支援事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,627,000	1,529,558	0	97,442	94.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,177,757		地域支援交付金（新総合事業以外）	588,879		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	294,439		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	294,439		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域包括ケア推進に向けて、認知症総合支援事業を実施しました。

1　認知症初期集中支援事業（報酬、負担金他：166,060円）

平成29年12月に認知症初期集中支援チームを設置以降、月１回チーム員会議を開催し、医療機関への受診や介護サービス等に繋がっていない認知症の方に対する支援を行っています。

平成30年７月から月１回相談会を設け、令和７年度は延べ８件の相談があり、認知症専門医への受診や支援（介護サービス利用等）につなぐなど、より初期の段階から早期解決に向けた対応を行いました。

		令和５年度	令和６年度	令和７年度
チーム員会議	実施回数	9 回	5 回	7 回
	年度中新規支援件数	1 件	0 件	0 件
	年間訪問延べ件数	5 件	0 件	0 件
相談会	実施回数	7 回	5 回	7 回
	年度中相談件数	13 件	5 件	8 件
	年度中相談延べ件数	13 件	5 件	8 件

2　認知症カフェ運営助成（補助金：117,000円）

市内で開催している認知症カフェ６団体のうち、補助金の活用の実績は２件でした。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
補助件数	0 件	1 件	2 件

3　オレンジキャンペーンの実施（需用費、報償費等：167,012円）

認知症の方が、周囲の理解と協力のもと住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、９月の世界アルツハイマー月間に合わせ、認知症地域支援推進員が中心となり安曇野市オレンジキャンペーンを実施しました。

内容としては、認知症講演会（117名参加）、認知症サポーター養成講座（31名参加）、本庁舎南側ベランダへ横断幕の設置、ライトアップ、市役所１階西側ロビーに認知症に関する展示及び啓発資料の配布を行いました。また、市内５地域の図書館と連携し、認知症に関する文献とオレンジキャンペーンの紹介展示を実施するとともに、広報あづみのへ記事を掲載し認知症月間について周知しました。

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100114	認知症総合支援事業費		施策	高齢者福祉の充実

その２

主要な施策（事務事業）の成果の概要

４　高齢者見守りシール交付事業（需用費：０円）

認知症症状を有する人の安全の確保及び介護者等の精神的負担の軽減を図るために、高齢者見守りシール交付事業を令和４年度から実施しています。医療介護関係者、区長、民生委員等に周知し、令和７年度は新たに３件交付しました。

５　認知症サポーターステップアップ講座・チームオレンジ（36,600円）

認知症サポーターを対象に、認知症に関する正しい知識をさらに深め、認知症の人を地域で見守り支える人を育成するため、認知症サポーターステップアップ講座を開催しました。

地域の認知症の人やその家族のニーズとステップアップ講座の受講者を中心とした支援をつなぐ仕組みであるチームオレンジの活動を各地域へ広げていきます。

認知症サポーターステップアップ講座

	令和６年度	令和７年度
講座回数	2 回	1 回
受講実人員	22 人	29 人
受講延人員	22 人	83 人

上記の評価と課題等

認知症の人ができる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症本人とその家族の視点に立ち、認知症への理解を深めるための啓発を継続します。また、早期に医療や介護サービス等に繋がるよう引き続き、地域包括支援センター、ケアマネジャー、民生児童委員等と連携を図り支援を行っていきます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100116	地域ケア会議推進事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
245,000	140,680	0	104,320	57.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
108,321		地域支援交付金（新総合事業以外）	54,161		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	27,080		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	27,080		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

保健、医療、福祉サービス及び社会資源の総合調整を行い、これらのサービスを必要とする市民に総合的にサービス提供を行う安曇野市地域包括ケアの推進に向けて、安曇野市地域包括ケア推進会議を開催しました。

また、地域包括支援センターにおいて、要支援者等の生活行為の課題解決、重度化防止や自立支援を目指して、多職種からの専門的な助言を得る自立支援型地域ケア個別会議を開催しました。

１　地域包括ケア推進会議　　（報償費：49,000 円）

(1) 開催日　令和７年12月22日

(2) 協議事項等

・地域包括ケア推進の取組について

・地域課題「高齢者が社会参加・外出できる地域の多様な通いの場」の今後について

・地域課題「身寄りのない高齢者が安心して暮らせる地域づくり」の取組状況について

２　自立支援型地域ケア個別会議　（報酬費：91,680円）

(1) 令和７年９月から令和８年２月の毎月１回、計６回の開催

(2) 各２事例検討

上記の評価と課題等

地域包括ケア推進会議では、これまでの地域包括ケアの取組を評価し、住み慣れた地域で自分らしく最期まで暮らし続けられるよう、医療、介護、福祉、地域の関係者とともに、高齢者個人に対する支援の充実と、それを支える社会基盤の整備に向けた方策の協議を進めます。

自立支援型地域ケア個別会議は、ケアマネジメント力やケアの質の向上等のために、市主催により定例化して実施しています。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	311

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	02	包括的支援事業・任意事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	03	地域包括ケア推進事業			
	事業	3100119	地域包括ケア総務費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
27,670,000	27,599,673	0	70,327	99.7%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
21,251,748		地域支援交付金（新総合事業以外）	10,625,874		
		地域支援県交付金（新総合事業以外）	5,312,937		
		地域支援事業繰入金（新総合事業以外）	5,312,937		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和７年４月からの３か所の地域包括支援センターの業務委託に伴い、包括への後方支援及び基幹機能の強化のため、地域包括ケアを推進するコーディネーターとして、認知症地域支援推進員（オレンジコーディネーター）、在宅医療コーディネーター、生活支援コーディネーター（第１層）の３名を配置しました。

上記の評価と課題等

地域包括ケア推進に向けて、３人のコーディネーターが連携しながら、地域包括支援センターとともに事業を推進していきます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			
	事業	3100104	介護予防ケアマネジメント事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
23,541,000	23,540,078	0	922	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
18,219,061		地域支援交付金（新総合事業）	4,626,969	総合事業現年度分調整交付金	1,156,742
		支払基金支援交付金現年度分	6,246,408	雑入	405,230
		地域支援県交付金（新総合事業）	2,891,856		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	2,891,856		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

市から社会福祉協議会に委託している北部地域包括支援センター及び南部地域包括支援センターが行う介護予防ケアマネジメント費については負担金として国保連へ支出しました。また、令和７年４月から、これまで市の直営で運営していた中央地域包括支援センターを慈泉会に委託し、中部地域包括支援センターとして運営を始めたことから当該ケアマネジメント費についても国保連へ支出しています。

また、サービスC（短期集中サービス）単独利用者の介護予防ケアマネジメント費を担当包括へ委託料として支払いました。

1　介護予防ケアマネジメント費負担金（県国保連に支出分）

	負担金額
令和５年度	16,200,960 円
令和６年度	15,647,402 円
令和７年度	23,181,518 円

2　介護予防ケアマネジメント（サービスC単独利用）委託料

	負担金額
令和６年度	56,190 円
令和７年度	358,560 円

上記の評価と課題等

各包括の委託運用を可能な限り統一し、適正な介護予防ケアマネジメントのもと利用者支援ができる体制を整えるため、令和６年度に介護予防ケアマネジメント作成の手引きを検討し、令和７年４月から施行しています。

短期集中的に専門職が関わり機能改善を図るサービスであるサービスCについては令和６年度から実施しています。引き続き、事業所・利用者の拡大を図り、効率的・効果的な介護予防を図ります。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	03	介護予防・日常生活支援総合事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防・日常生活支援総合事業			
	事業	3100105	介護予防生活支援サービス事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
304,628,000	304,290,711	0	337,289	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
255,911,237		地域支援交付金（新総合事業）	60,858,141	総合事業現年度分調整交付金	16,243,616
		支払基金支援交付金現年度分	82,158,491	保険者機能強化推進交付金	1,619,313
		地域支援県交付金（新総合事業）	38,036,338	介護保険保険者努力支援交付金	18,959,000
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	38,036,338		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

介護予防及び地域における自立した日常生活支援を行い、活動的で生きがいのある生活を送ることができるよう、介護予防・生活支援サービス事業を実施しました。

利用実績は以下のとおりです。　　（上段：決算額、下段：延べ利用者数）

サービス種類		令和５年度	令和６年度	令和７年度
第一号訪問事業	訪問介護相当サービス（旧予防給付と同等サービス）	64,648,302 円 3,004 人	63,822,901 円 2,915 人	54,443,733 円 2,425 人
	訪問型サービスＡ（人員基準を緩和した生活援助）	9,155,924 円 921 人	8,234,442 円 866 人	9,542,611 円 983 人
	訪問型サービスＣ（運動機能向上短期集中サービス）	30,560 円 4 人	22,920 円 3 人	7,640 円 1 人
	訪問型サービスＣ（口腔機能向上短期集中サービス）	7,000 円 8 人	52,500 円 15 人	7,000 円 2 人
第一号通所事業	通所介護相当サービス（旧予防給付と同等サービス）	223,825,472 円 8,800 人	237,045,664 円 9,445 人	226,570,596 円 9,540 人
	通所型サービスＡ（人員基準を緩和したサービス）	9,878,733 円 763 人	10,900,440 円 751 人	12,239,311 円 772 人
	通所型サービスＣ（運動機能向上短期集中サービス）	0 円 0 人	654,050 円 140 人	1,363,450 円 287 人

＊訪問型サービスＣ（口腔）は、令和５年度途中まで当課の会計年度任用職員（歯科衛生士）が実施し、以降は在宅歯科衛生士へ報償費として支払っています。

上記の評価と課題等

多様なサービスの推進に向けて通所型サービスＡの事業所の普及及び利用者拡大を図り、持続可能な事業運営を図るため、令和７年４月から通所介護相当サービスの単価を月額制から回数制に見直しました。これにより、令和７年度は通所介護相当サービスの利用者数は増加しましたが、事業費は減少し、通所型サービスＡは利用者数及び事業費とも増加しました。

短期集中的に専門職が関わり機能改善を図るサービスであるサービスＣは、通所型を令和７年度に３か所で実施し、農閑期の高齢者が来春も元気でいられるよう支援しました。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料等			
	事業	3100082	高額介護予防サービス費相当事業		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,415,000	1,414,243	0	757	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,088,966		地域支援交付金（新総合事業）	282,849	総合事業現年度分調整交付金	70,712
		支払基金支援交付金現年度分	381,845		
		地域支援県交付金（新総合事業）	176,780		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	176,780		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

総合事業サービス利用者の費用負担が負担上限額を超えた場合に上限額との差額を支給しました。

		令和５年度	令和６年度	令和７年度
高額総合事業サービス費	事業費	639,633 円	891,188 円	794,395 円
	件数	232 件	291 件	280 件
高額医療合算総合事業サービス費	事業費	365,981 円	533,827 円	619,848 円
	件数	26 件	29 件	45 件
合計	事業費	1,005,614 円	1,425,015 円	1,414,243 円
	件数	258 件	320 件	325 件

高額総合事業サービス事業費は、利用者の１か月の費用負担（１～３割負担）が上限額を超えた場合に支給しました。

高額医療合算総合事業サービス費は、利用者の同一世帯内で１年間の医療及び介護の両制度における自己負担額（８月１日から翌年７月31日の間）の合計が上限額を超えた場合に支給しました。

上記の評価と課題等

高額総合事業サービス費は前年度より減少し、高額医療合算総合事業サービス費は増加しています。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	313

予算				総合計画		
	款	03	地域支援事業		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	04	その他諸費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	審査支払手数料等			
	事業	3100117	地域支援事業審査支払手数料		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
1,087,000	1,086,862	0	138	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
836,881		地域支援交付金（新総合事業）	217,372	総合事業現年度分調整交付金	54,343
		支払基金支援交付金現年度分	293,452		
		地域支援県交付金（新総合事業）	135,857		
		地域支援事業繰入金（新総合事業）	135,857		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国保連合会に対し、介護予防・日常生活支援総合事業分の審査支払手数料を支払いました。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
支払金額	986,464 円	1,005,430 円	1,086,862 円
支払件数	17,008 件	17,335 件	18,739 件

＊審査単価　58円/1件

上記の評価と課題等

審査件数は利用者の増加により増加しています。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	315

予算				総合計画		
	款	04	介護サービス事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	介護予防支援事業		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護予防支援事業			
	事業	3100108	介護サービス事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
73,000	50,610	0	22,390	69.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
50,610		介護予防サービス計画費収入	50,610		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年度まで市直営の中央地域包括支援センターは指定介護予防支援事業所として、介護予防支援業務を実施していました。令和７年度より中部地域包括支援センターとして外部委託になったことに伴い、令和７年３月末まで行った介護予防支援業務の月遅れ請求等による委託料が発生しました。

介護予防サービス計画費の収支状況

１　民間の指定居宅介護支援事業所への委託料　（支出）　（但し過誤精算分を含む）

	新規	継続	金額
令和５年度	156 件	4,456 件	20,537,000 円
令和６年度	147 件	4,479 件	20,658,180 円
令和７年度	２件	５件	50,610 円

２ 介護予防サービス計画費収入　（収入）　（但し過誤精算分、電子証明書発行手数料を含む）

	新規	継続	金額	
令和５年度	139 件	4,680 件	21,829,380 円	
令和６年度	134 件	4,727 件	22,224,300 円	
令和７年度	11 件	387 件	1,825,160 円	※

※残額の1,774,550円を包括的・継続的ケアマネジメント支援事業に充当

上記の評価と課題等

令和７年度より直営地域包括支援センターの運営が外部委託になったことにより、月遅れ請求等の理由によるもの以外は皆減となりました。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	315

予算				総合計画		
	款	05	保健福祉事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	保健福祉事業費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	保健福祉事業費			
	事業	3100118	保健福祉事業費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
6,626,000	6,508,687	0	117,313	98.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
6,508,687		保険者機能強化推進交付金	6,508,687		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　支え合い整備事業補助金

生活支援や介護予防の取り組みを始めたい団体への備品購入や施設整備への補助を行い、活動の立ち上げを支援しました。３団体に補助を行いました。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
交付額	300,000 円	136,100 円	651,600 円
補助団体数	1 件	1 件	3 件

【令和７年度補助団体】

団体名	事業内容	主な補助内容	補助対象経費	補助金額
白金区	高齢者サロン	備品購入（エアコン）	466,400 円	233,200 円
住吉区	高齢者サロン	備品購入（エアコン）	583,000 円	291,500 円
荻原区	高齢者サロン	備品購入（麻雀卓）	253,800 円	126,900 円

2　介護用品支給事業

重度要介護高齢者(要介護3以上)を在宅介護している家族等に、介護用品購入の際に利用できる助成券を交付し、介護負担の軽減を支援しました。

	令和５年度	令和６年度	令和７年度
利用者数	640 人	619 人	650 人
決算額	5,953,262 円	5,846,711 円	5,583,819 円

※令和６年度より一般会計から介護保険特別会計へ事業を移管しています。

上記の評価と課題等

支え合い整備事業補助金については、高齢者も含めた地域住民が自ら活動し、それが生きがいを持って生活することにつながるなど、地域の活動の拠点等に補助することで、地域共生社会の実現に向けた取組になっています。

今後、このような取組を先進例としながら、各地域の生活支援コーディネーターとも連携し、他の地域でのサロン活動の新規立ち上げや活動の推進を支援していきます。

介護用品支給事業は、在宅介護者の支援という趣旨をより明確にするため、令和６年度から有料老人ホーム等に入所している方を対象外（前年度決定者には経過措置あり）としたことから要件該当者は微増にとどまっています。また、入所や死亡等により使用枚数が減少していることが考えられます。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	315

予算				総合計画		
	款	06	基金積立金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	基金積立金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	介護保険支払準備基金積立金			
	事業	3100110	介護保険支払準備基金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
67,843,000	67,842,077	0	923	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
3,794,000		支払準備基金利子	3,794,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和６年度の給付費繰越金から介護給付費負担金返還分、支払基金交付金返還分を除いた余剰金を基金として積立てました。

基金積立金額

	利子	積立額	基金残額
令和５年度	1,685,589 円	136,347,000 円	1,141,547,225 円
令和６年度	2,363,787 円	80,224,956 円	1,224,135,968 円
令和７年度	3,794,077 円	64,048,000 円	1,291,978,045 円

上記の評価と課題等

令和７年度の積立残額は、1,291,978,045円で、昨年度より67,842,077円増えています。

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	315

予算				総合計画		
	款	07	公債費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	公債費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	利子			
	事業	3100120	一時借入金利子		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
0	0	0	0	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

一時借入は行いませんでした。

上記の評価と課題等

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	315

予算				総合計画		
	款	08	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100140	第１号被保険者保険料還付金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,160,000	2,147,470	0	12,530	99.4%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

過年度分保険料の過誤納分を還付しました。

１　還付金　　218 件　　2,044,200 円

２　充当金　　22　件　　103,270 円

上記の評価と課題等

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	315

予算				総合計画		
	款	08	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100141	償還金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
136,856,000	136,855,218	0	782	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

国庫負担金、県費負担金及び支払基金交付金の超過交付分の返還を行いました。

1　令和７年度中の返還金内訳

令和６年度介護給付費負担金（国庫）	94,213,773 円
令和６年度介護給付費県費負担金	40,601,889 円
令和６年度支払基金交付金	2,039,556 円
合　計	136,855,218 円

2　＜参考＞返還金の状況

令和５年度	72,223,089 円
令和６年度	150,806,015 円
令和７年度	136,855,218 円

上記の評価と課題等

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	包括支援担当

決算書ページ	317

予算				総合計画		
	款	08	諸支出金		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	償還金及び還付加算金		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	償還金及び還付加算金			
	事業	3100142	地域支援事業返還金		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
13,567,000	13,566,344	0	656	100.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

地域支援事業に係る国庫負担金、県費負担金及び支払基金交付金の超過交付分の返還を行いました。

1　令和７年度返還金内訳

令和６年度地域支援事業交付金（国庫）	6,027,666 円
令和６年度地域支援事業交付金（県費）	3,398,421 円
令和６年度地域支援事業支援交付金（支払基金分）	4,140,257 円
合　計	13,566,344 円

2　＜参考＞返還金の状況

令和５年度	22,384,562 円
令和６年度	14,005,370 円
令和７年度	13,566,344 円

上記の評価と課題等

令和８年度	
部	福祉部
課	高齢者介護課
係等	介護保険担当

決算書ページ	317

予算				総合計画		
	款	09	予備費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	予備費		目標	いきいきと健康に暮らせるまち
	目	01	予備費			
	事業	3100150	予備費		施策	高齢者福祉の充実

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
225,051,000		0	225,051,000	0.0%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額

主要な施策（事務事業）の成果の概要

令和７年度中に交付を受けた介護給付費負担金国庫支出金、介護給付費負担金県支出金、介護給付費交付金（支払基金交付金）及び地域支援事業関連交付金について、交付確定が翌年度（令和８年度）になることから、超過交付返還見込額を予備費として予算確保したものです。

≪参考≫令和７年度返還金見込み額

返還金見込み内訳	金額（千円）
介護給付費負担金国庫支出金返還金	98,556,160
介護給付費支払基金交付金返還金	58,144,959
介護給付費負担金県支出金	6,398,321
地域支援事業支払基金交付金返還金	9,438,000
合　　計	172,537,440

上記の評価と課題等

令和８年度に返還金額が確定します。返還後の余剰金は、令和８年度に介護保険支払準備基金に積立てます。

山林財産区特別会計

上川手山林財産区特別会計

事業概要

上川手山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に、管理会を開催し事業方針を定め、下草刈り等計画的な森林施業を行っています。また、山林財産区内の墓地の保安林解除に伴う事務処理を進めるほか、財産区が所有する山林内で行われる光城山 1000 人ＳＡＫＵＲＡプロジェクトでは、会議への出席と現地での作業を行い事業の推進に努めています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・山林財産区内の墓地所有者団体との管理に関する契約を進める。

・光城山 1000 人 SAKURA プロジェクトへの協力を行い、現地踏査の実施や、植林や除伐等により森林の適切な管理を行う。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	329

予算				総合計画		
	款	01～03	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01				
	事業	51	安曇野市上川手山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
3,936,000	3,112,268	0	823,732	79.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
1,359,378		基金利子	50,378		
		基金繰入金	1,309,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積170haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・1000人SAKURAプロジェクトで会議出席と現地作業を行い、事業の推進に努めました。

上記の評価と課題等

・管理会を開催し、予算・決算及び事業について審議しています。

北の沢山林財産区特別会計

事業概要

北の沢山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に設置し、管理会を開催し事業方針を定め、除伐、間伐等の計画的な森林施業を行っています。また、所有地内には水源林分収造林 142ha の山林があり、水源林の維持のため下刈や間伐等を行い、計画的に森林を管理しています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・山林現地踏査の実施。

・水源林分収造林の適切な管理を行い、森林の公益的機能を維持する。

・森林経営計画により、林業事業体による伐出・地拵え、植林等の森林整備を進める。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	341

予算				総合計画		
	款	01～02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01				
	事業	52	安曇野市北の沢山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
685,000	264,529	0	420,471	38.6%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
36,229		基金利子	36,229		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積335haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・現地踏査を行い、林内の状況を確認し、下草刈り等を行い適切な管理に努めました。
・森林経営計画により、林業事業体による伐出・地拵え、植林等の森林整備が行われました。

上記の評価と課題等

・管理会を開催し、予算・決算及び事業について審議しています。
・現地踏査を実施し、財産区の財産を適正に管理しています。

有明山林財産区特別会計

事業概要

有明山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に設置し、管理会を開催し事業方針を定め、計画的に森林管理を行っています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・管理山林内の砂防事業に協力し、山林現地踏査を実施。

・山林現地踏査の実施。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	353

予算				総合計画		
	款	01～02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01				
	事業	53	安曇野市有明山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
703,000	318,545	0	384,455	45.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
114,000		基金利子	114,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積316haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・治山事業に伴う現場立会いを実施するとともに現地踏査を行い、山林内の状況を確認し適切な管理に努めました。

上記の評価と課題等

・管理会を開催し、予算・決算及び事業について審議しています。
・現地踏査を実施し、財産区の財産を適正に管理しています。

富士尾沢山林財産区特別会計

事業概要

富士尾沢山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に、管理会を開催し事業方針を定め、下草刈り等計画的な森林管理を行っています。また、所有地内には天然林があり、森林の公益的機能を高めるため、現地踏査により、間伐等を計画し適切な管理をしています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・山林現地踏査の実施。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	365

予算				総合計画		
	款	01～02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01				
	事業	54	安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
788,000	363,179	0	424,821	46.1%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
13,771		基金利子	13,771		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積119haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・現地踏査を行い、林内の状況を確認し、下草刈り等を行い適切な管理に努めました。

上記の評価と課題等

・管理会を開催し、予算・決算及び事業について審議しています。
・現地踏査を実施し、財産区の財産を適正に管理しています。

穂高山林財産区特別会計

事業概要

穂高山林財産区が所有する山林の財産管理を目的に、管理会を開催し事業方針を定め、下草刈り等計画的な森林管理を行っています。

・管理会を開催し、予算及び事業計画を協議する。

・山林現地踏査の実施。

令和８年度	
部	農林部
課	耕地林務課
係等	林務担当

決算書ページ	377

予算				総合計画		
	款	01～02	総務費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	総務管理費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01				
	事業	55	安曇野市穂高山林財産区特別会計		施策	森林の保全と資源の活用促進

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
757,000	282,465	0	474,535	37.3%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
11,305		基金利子	11,305		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

・森林面積2haの管理にあたり、管理会を開催し事業に取り組みました。
・現地踏査を行い、林内の状況を確認し、下草刈り等を行い適切な管理に努めました。

上記の評価と課題等

・管理会を開催し、予算・決算及び事業について審議しています。
・現地踏査を実施し、財産区の財産を適正に管理しています。

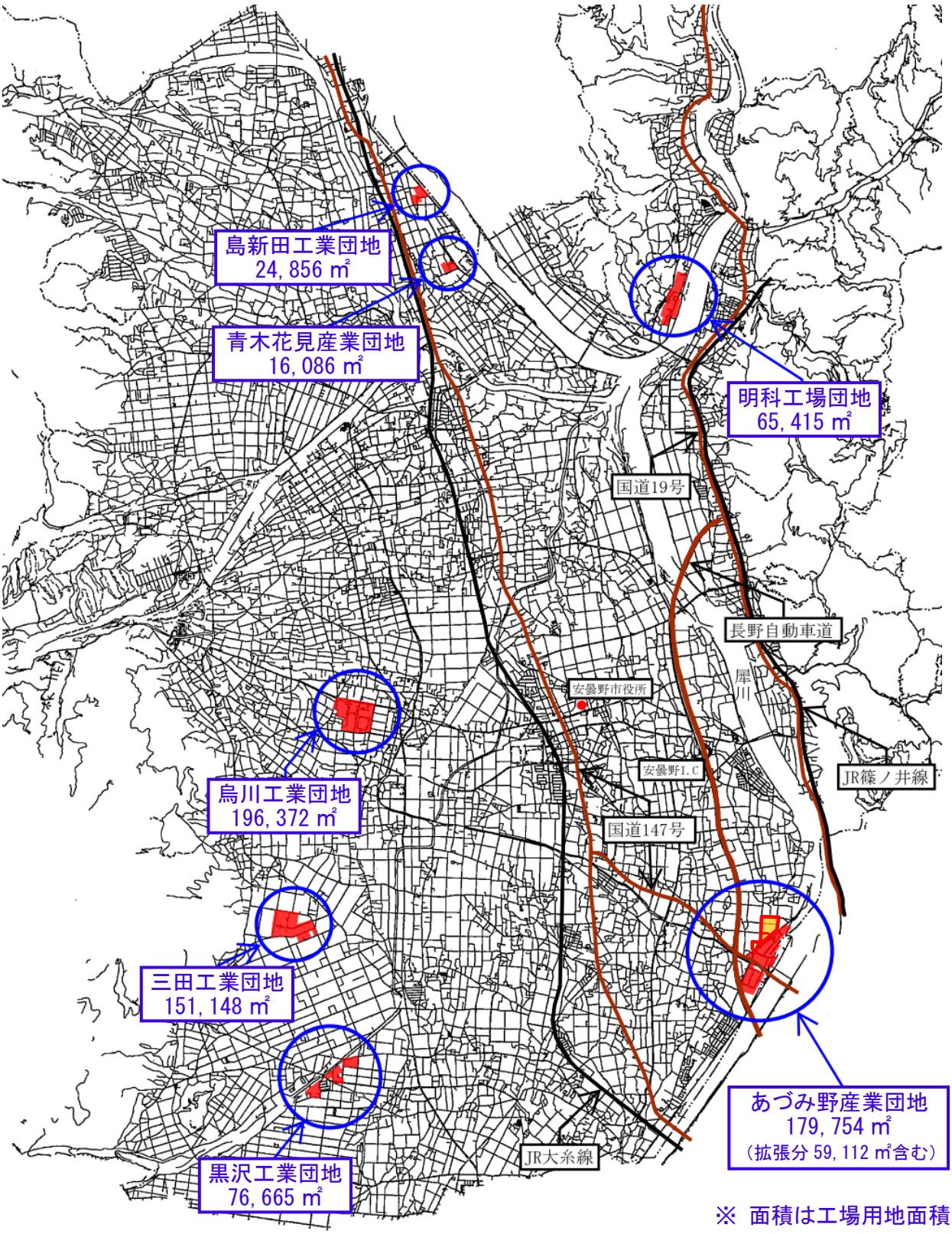
産業団地造成事業特別会計

産業団地造成事業特別会計

事業概要

この特別会計は、企業誘致による雇用の促進や移住定住を促すため、産業団地造成事業の管理運営を目的に設置し、産業団地の造成と分譲区画の売却、また、既存の産業団地の維持管理に関する事業を行います。市内には７箇所の産業団地があり、全ての分譲地が販売済みになっています。

「新たな産業用地」の確保に向け、令和７年度は、第１期開発地への進出を予定する企業２社が決定し、開発に係る各種法令 上の許認可手続きを開始しました。



※ 面積は工場用地面積

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	商工労政課
係等	商工労政担当

決算書ページ	389

予算				総合計画		
	款	01	産業団地事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	産業団地事業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	産業団地事業費			
	事業	6100010	産業団地建設事業費		施策	商工業の振興

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
2,003,000	1,927,000	0	76,000	96.2%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
2,003,332		一般会計繰入金	1,932,000		
		前年度繰越金	71,332		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

1　産業団地建設事業

あづみ野産業団地等、市内７ヶ所の産業団地等の必要となる施設の維持管理を実施しました。

委託料

・あづみ野産業団地内除草業務　　一式　　297,000円

工事請負費

・あづみ野産業団地雨水貯留槽機能回復工事ほか　1,595,000円

市内７ケ所の産業団地等には空き区画がなく、産業振興等の上で課題となっており、既存の産業団地・工業団地を拡張し、新たな産業用地を造成して解決を図るべく、新たな産業団地に関する整備方針を策定しました。実現可能な候補地として将来的に、松本糸魚川連絡道路が整備され、交通アクセスの優位性が期待される「青木花見産業団地及び島新田工業団地の周辺地」を調査対象地として設定し、地権者意向確認や農地状況調査、地元説明会を通して、開発候補地の絞り込みを行いました。

今回の開発では、民間事業者の資金力や開発ノウハウを活かし、企業進出のチャンスを逃すことがないようスピード感のある「官民連携による開発」を行うこととしており、令和６年３月に開発事業者である株式会社ヤマウラ及び株式会社d-ネクストと官民連携協定を締結しました。

新たな産業団地に進出する企業の誘致を進め、令和７年３月に第１期開発にエントリーする企業の募集を行いました。市内の雇用促進及び地域経済の活性化に寄与する企業の誘致について、第１期開発地への進出を予定する企業２社が決定し、開発に係る各種法令 上の許認可手続きを開始しました。

上記の評価と課題等

新たな企業誘致等により産業の振興を図るとともに、市民及び就労世代の移住希望者の就業先を確保し、雇用の促進と移住定住を推進していく必要があります。

また、開発にあたっては、庁内関係各課との情報共有・調整等を行いながら、地権者や地元区の同意、国・県及び関係機関等との協議を行い進めます。

有明荘特別会計

令和７年度　有明荘特別会計の概要

観光宿泊施設（安曇野市有明荘）について、指定管理制度による民間事業者のノウハウを活かした運営を行うことで、業務のスリム化、経営の効率化及びサービスの向上を図ることにより、交流人口の拡大及び市民福祉の向上を図りました。

令和７年度は例年どおり４月 18 日に営業を開始し､11 月３日までの 194 日間営業を行い、入浴者と宿泊者の受け入れを行い誘客に努めました。

令和７年度は、宿泊に関しては、令和元年度のコロナ禍以前と同等の宿泊者数に回復しましたが､中房線崩落（４月 14 日～８月８日）の影響もあり前年度に比べ減少しました。また、最低賃金の上昇による人件費や燃料費、食材費等物価高騰の影響があったものの、市に納付する納付金は納付されました。

令和８年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書ページ	401

予算				総合計画		
	款	01	施設事業費		将来ビジョン	自然、文化、産業が織りなす　共生の街　安曇野
	項	01	施設事業費		目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	目	01	施設事業費			
	事業	7100001	有明荘施設管理費		施策	地域独自の観光資源の活用

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①－②－③	執行率 ②/①
7,343,000	7,338,733	0	4,267	99.9%

特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
7,337,000		一般会計繰入金	3,717,000		
		有明荘施設使用料	3,620,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市有明荘について、指定管理者制度を活用し、民間事業者の視点による業務のスリム化及び効率化を図りサービスの向上に努めました。

令和７年度は４月18日から11月３日までの194日間営業を行い、日帰り入浴利用者と宿泊者の誘客、受け入れに努めました。

利用者数について、期間中には、県道槍ヶ岳矢村線（中房線）の一部崩落（4/14～8/8）による交通規制等があったものの、令和元年　宿泊4,024人、入浴10,562人に対して、令和７年度は宿泊4,868人、入浴5,638人と宿泊については登山利用者が顕著に訪れ、ほぼコロナ禍前の利用状況と同等を維持することができました。

また、最低賃金の上昇による人件費や燃料費、食材費等物価高騰の影響があったものの、市に納付する納付金3,620千円全額が納付されました。

○有明荘の概要

指定管理者	株式会社燕山荘		
指定期間	平成28年４月１日　から　令和９年３月31日　まで		
指定管理料	なし	市への納付金	3,620,000円
利用者数	宿泊者数　4,868人（前年度比 -140人） 入浴者数　5,638人（前年度比 -4,233人）		
主な修繕	貯水槽配管組み換え修繕　1,690,607円 食堂エアコン取替修繕　693,000円 玄関上軒天修繕　642,620円		
主な工事	露天風呂他照明LED化工事　952,600円		

上記の評価と課題等

指定管理者による、民間の経営ノウハウを活用した施設運営を行うことで、業務のスリム化及びサービスの向上が図れ宿泊者の９割以上を占める登山客から高い評価を得ています。

しかし、施設の老朽化による修繕費の増加、設備等が他の民間施設に比べて古いなどの評価も見受けられることから、こまめな点検と改修が必要と考えます。また、行政と指定管理者の二重の管理は、制約等も多く柔軟性に欠けることから、民間譲渡に向け関係機関との調整を進めます。